

山口市委託調査

2020年山口市観光動態アンケート調査 集計・分析報告書

2021年3月

山口大学経済学部

観光経済経営研究プロジェクト

はじめに

山口市は、人文観光資源としての大内文化や明治維新などの歴史・文化遺産、さらには自然観光資源として、一の坂川や長門峡など豊かな自然景観に恵まれている。長い歴史に育まれた個性的な文化や風土が、落ち着いたまちの佇まいとともに受け継がれているとともに、山口情報芸術センター（YCAM）をはじめ、現代の芸術や文化を育む土壌も形成されつつある。このように豊かな観光資源を保有する山口市を訪れる観光客数は、2019年は約515万6千人と山口ゆめ花博で大幅に増加した前年の84%の水準を維持し、過去2番目に大きな数値となった。宿泊客（約90万2千人）が前年比97%とほぼ維持できた一方で、日帰り客（約425万4千人）は前年比2割減となっており、山口ゆめ花博の勢いをそのまま維持することは出来なかった。しかし、2017年の日帰り客数（約392万6千人）よりも大幅に高い水準になり、2020年はこの水準を維持・向上することが目標であった。一方で日韓関係の悪化の影響などで外国人観光客（約7万6千人）は前年比67%と大幅に減少した。

本報告書の対象年である2020年は、2019年の山口県観光プロモーション「YAMAGUCHI MAGIC!」の成果（10連休のプラチナウィーク期間中の取組や近年のキャンプブーム、やまぐち絶景満喫バスの通年運行等県と連携した広域観光の取組など）を更に発展させる年となるはずであった。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が全国に広がり、4月7日には緊急事態宣言が発出されることとなった。山口県では5月14日に解除されたが、人流の抑制という基本対策のもとで観光活動はほぼ停止状態となった。感染拡大は第2波、第3波と収束と拡大を繰り返し、山口市の観光も大きな変動を余儀なくされた。

山口市において観光振興への注目度が高まるなかで、山口市を訪れる観光客の実態を把握するものとして、山口市観光交流課が、2009年から山口市観光動態アンケート調査を実施している。このアンケート調査は、返信用ハガキを用いた調査で、山口市内の主要な観光拠点に訪れた観光客に対して、留置、あるいは、郵送によって回収を行う全国的にも数少ない手法を用いている。実施期間は、2009年の開始時は6か月間、2010年は7か月間、2011年は8か月間であったが、2012年から通年での実施となった。これにより、一層のデータ収集と蓄積が可能となったことはいままでのない。

本報告書は、その調査結果について2020年の観光客の動向や満足度のほか、2009年から2020年における12か年の時系列での集計結果、そして、調査結果から見える山口市の観光振興へ向けた課題と提言をまとめたものであり、今後の山口市の施策や事業の評価および企画に活用されることが期待される。

なお、本報告書の作成は、山口市と山口大学との包括的連携協定の一環として、山口市観光交流課から山口大学経済学部観光経済経営研究プロジェクトに委託されたものである。本報告書における調査結果の分析と報告書の作成は、野村淳一（経済学部准教授）と野村ゼミの学生によって行った。本報告書の過誤は野村がすべての責任を負っている。

山口大学経済学部
観光経済経営研究プロジェクト

目 次

はじめに	i
目 次	ii
第 1 部 2020 年の調査結果	1
1-1 調査結果の概要	1
1-1-1 調査方法	1
1-1-2 地域区分	2
1-1-3 単純集計結果	3
1-2 旅行者の属性によるクロス集計結果	29
1-2-1 性別にみた旅行者の特徴	29
1-2-2 年齢別にみた旅行者の特徴	33
1-2-3 居住地別にみた旅行者の特徴	36
1-2-4 旅行グループ別にみた旅行者の特徴	41
1-2-5 山口市外の訪問地区	42
1-2-6 旅行のきっかけとなった情報源	48
1-3 湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」と周遊	53
1-3-1 「狐の足あと」訪問者の特徴	53
1-3-2 情報媒体としての「狐の足あと」	59
1-4 旅行の評価と満足度	63
1-4-1 山口市までの交通手段別の評価	63
1-4-2 山口市内での移動手段別の評価	69
1-4-3 山口市内の周遊行動における満足度	75
1-4-4 満足度の決定要因	81
調査票（2020 年版）	86
第 2 部 2009 年～2020 年における時系列の集計結果	88
2-1 性別	88
2-2 年齢	89
2-3 職業	90
2-4 居住地	91
2-5 山口市以外の立ち寄りエリア	93
2-6 旅行の主な目的	95
2-7 山口市を候補にあげたきっかけの媒体	97
2-8 旅行の同行者	99
2-9 旅行の同行人数	101
2-10 山口市への旅行回数	103
2-11 山口市への訪問月	105
2-12 山口市までの主な交通手段	107
2-13 山口市内での主な移動手段	109
2-14 今回の旅行の全行程	111

2-15	山口市内での宿泊数	113
2-16	山口市内での平均消費額	115
2-17	山口市内での宿泊地	116
2-18	旅行の評価と満足度	117
2-19	山口市の魅力（上位3つを選択）	135
2-20	山口市内で立ち寄った観光施設数	137
2-21	山口市内での旅行中の情報	138
2-22	山口市への再訪問の意思	142
第3部	山口市における観光の現状・課題と提言	143
3-1	山口市における観光の現状と課題	143
3-1-1	アンケート集計結果からみる山口市観光の現状	143
3-1-2	アンケート集計結果からみる山口市観光の課題	148
3-2	山口市の観光振興へ向けての提言	150
3-2-1	提言	150
3-2-2	おわりに	151

第 1 部 2020 年の調査結果

1-1 調査結果の概要

1-1-1 調査方法

アンケート調査は、山口市に訪れた訪問客を対象として、表 1-1-1 に示す山口市内 22 地点にハガキ形式のアンケート票を設置して、2020 年 1 月から 2020 年 12 月にかけて回収している。本調査は 2009 年から継続して行っており、2012 年からは表中の 18 番から 20 番の宿泊施設 3 か所での設置を追加し、さらに 2013 年から表中 21 番の YCAM（山口情報芸術センター）、2015 年 3 月から表中 22 番の湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」を追加して実施している。なお、アンケート票については、添付の資料を参照されたい。

調査方法は、留置調査で訪問客自身に記入してもらい、その場で回収ボックスにより回収する方法と、調査票（ハガキ）の郵送によって回収する方式の 2 通りの方法をとった。

2020 年の回収総数は、867 枚であった（有効回答数）。本報告書では、配布場所個別での集計は、郵送での回収の場合特定が困難であるため、すべてを合わせて集計した結果についてまとめている。

表 1-1-1 アンケート配布場所

1	山口市菜香亭
2	中原中也記念館
3	小郡文化資料館
4	重源の郷
5	ふれあいパーク大原湖
6	国民宿舎あいお荘(秋穂)
7	特産物加工販売所「南大門」
8	道の駅「きらら あじす」
9	道の駅「仁保の郷」
10	道の駅「あいお」
11	道の駅「長門峡」
12	道の駅「願成就温泉」
13	山口駅観光案内所
14	新山口駅観光案内所
15	湯田温泉観光案内所
16	香山公園前観光案内所
17	大路ロビー
18	サンルート山口
19	ホテル松政
20	ビジネスホテルきらく
21	YCAM(山口情報芸術センター)
22	湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」

1-1-2 地域区分

本報告書で集計する全国の地方区分は表 1-1-2 の通りであり、山口県内の地域区分は、表 1-1-3 に示す通りである。

表 1-1-2 全国の地方区分

北海道	北海道	甲信越	新潟県	中国	鳥取県	
東北	青森県		富山県		島根県	
	岩手県		石川県		岡山県	
	宮城県		福井県		広島県	
	秋田県		山梨県		山口県	
	山形県		長野県		四国	徳島県
	福島県		東海		岐阜県	香川県
関東	茨城県		静岡県		愛媛県	
	栃木県		愛知県		高知県	
	群馬県		三重県		九州	福岡県
	埼玉県		滋賀県			佐賀県
	千葉県		京都府			長崎県
	東京都		大阪府			熊本県
	神奈川県		兵庫県			大分県
			奈良県			宮崎県
			和歌山県			鹿児島県
						沖縄県

表 1-1-3 山口県の地域区分

東部	岩国市	中部	防府市
	和木町		山口市
	周防大島町		美祢市
	柳井市	北部	萩市
	田布施町		長門市
	上関町		阿武町
	平生町	西部	下関市
	光市		宇部市
	周南市		山陽小野田市
	下松市		

1-1-3 単純集計結果

ここでは、アンケート票回収によって得られた各質問に対する回答の単純集計結果についてまとめる。

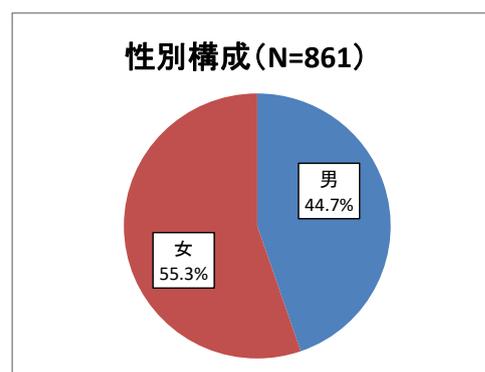
(1) 性別

表 1-1-4 は、性別の回答数と割合を表したものである。男性が 44.7%、女性が 55.3%で、女性が多かった。

表 1-1-4 性別の回答数

性別	回答数	%
男	385	44.7%
女	476	55.3%
回答数計	861	100.0%

図 1-1-1 性別構成



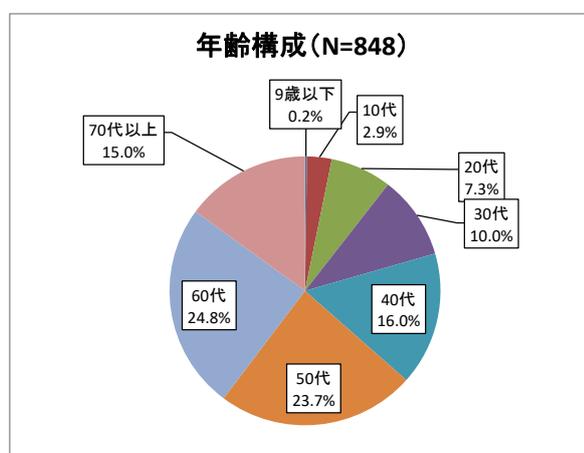
(2) 年齢

表 1-1-5 は、年齢別の回答数を表したものである。50代から60代が同程度で最も多く 20%前後である。次に多いのが40代の 16.0%である。一方、最も少ない年齢層は9歳以下で 0.2%であり、10代は 2.9%、20代は 7.3%となっている。

表 1-1-5 年齢別の回答数

年齢	回答数	%
9歳以下	2	0.2%
10代	25	2.9%
20代	62	7.3%
30代	85	10.0%
40代	136	16.0%
50代	201	23.7%
60代	210	24.8%
70代以上	127	15.0%
回答数計	848	100.0%

図 1-1-2 年齢構成



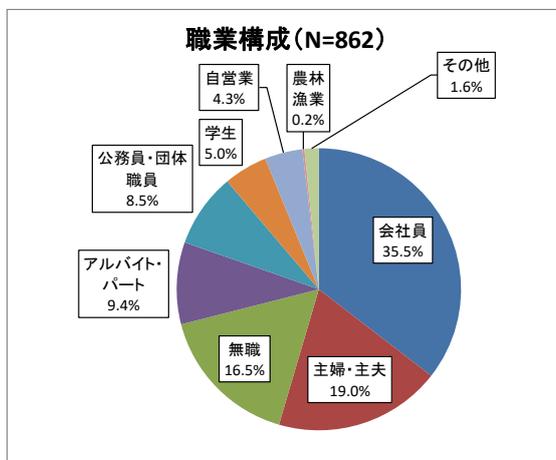
(3) 職業

表 1-1-6 は、職業別の回答数を表したものである。最も多いのは会社員の 35.5%であり、次いで主婦・主夫の 19.0%である。3 番目は無職の 16.5%である。

表 1-1-6 職業

職業	回答数	%
会社員	306	35.5%
農林漁業	2	0.2%
自営業	37	4.3%
公務員・団体職員	73	8.5%
学生	43	5.0%
主婦・主夫	164	19.0%
アルバイト・パート	81	9.4%
無職	142	16.5%
その他	14	1.6%
回答数計	862	100.0%

図 1-1-3 職業構成



(4) 居住地

表 1-1-7 は、居住地別の回答数を表したものである。まず全回答を山口県内外に区分した場合、35.9%が山口県内居住者であり、64.1%が山口県外の居住者であった。

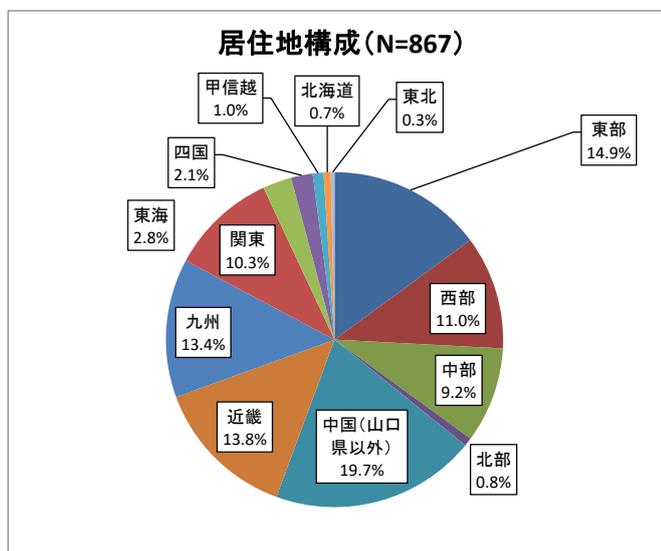
山口県内の居住者を東部、中部、北部、西部の 4 地域に区分すると、東部地域が最も多く、次いで西部地域が多くなっている。また、近隣の県については、広島県が 14.9%、福岡県が 9.1%である。山口県内は 35.9%であることから、山口市への訪問者は約半数が山口県民と両隣の県民ということになる。

さらに地方別に区分すると、山口県を除く中国地方が 19.7%と最も多く、次いで近畿が 13.8%、九州が 13.4%と続いている。

表 1-1-7 居住地別の回答数

居住地	回答数	%
山口県内	東部	129 14.9%
	中部	80 9.2%
	北部	7 0.8%
	西部	95 11.0%
	山口県計	311 35.9%
山口県外	北海道	6 0.7%
	東北	3 0.3%
	関東	89 10.3%
	甲信越	9 1.0%
	東海	24 2.8%
	近畿	120 13.8%
	中国(山口県以外)	171 19.7%
	島根県	7 0.8%
	鳥根県	17 2.0%
	岡山県	18 2.1%
	広島県	129 14.9%
	四国	18 2.1%
	九州	116 13.4%
	福岡県	79 9.1%
	山口県外計	556 64.1%
回答数計	867 100.0%	

図 1-1-4 県内・県外居住地構成



(5) 山口市以外の立ち寄り地区

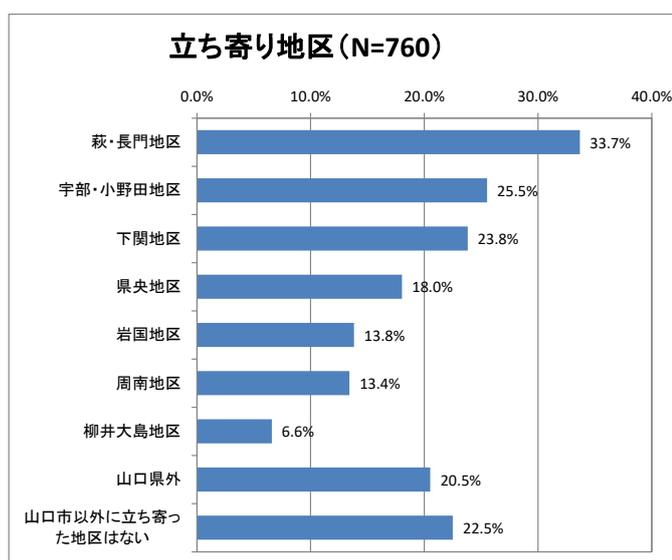
表 1-1-8 は、山口市以外で立ち寄った地区の割合を示したものである。複数回答項目であるため分母を回答者数の 760 として立ち寄り地区の割合を算出すると、山口県内においては、萩・長門地区が 33.7%と最も多く、宇部・小野田地区が 25.5%、下関地区が 23.8%と続く。一方で、山口市以外に立ち寄った地区はないとする回答割合は 22.5%であった。なお、山口県外への立ち寄り率は 20.5%となっている。

表 1-1-8 立ち寄り地区

立ち寄り地区	回答数	%
岩国地区	105	13.8%
柳井大島地区	50	6.6%
周南地区	102	13.4%
県央地区	137	18.0%
萩・長門地区	256	33.7%
下関地区	181	23.8%
宇部・小野田地区	194	25.5%
山口県外	156	20.5%
山口市以外に立ち寄った地区はない	171	22.5%
合計	1,352	177.9%
回答者数	760	100.0%

注) 複数回答項目である。

図 1-1-5 立ち寄り地区の割合



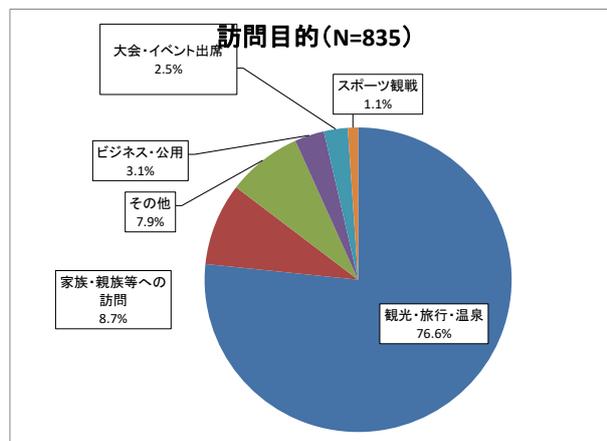
(6) 旅行の主な目的

表 1-1-9 は、旅行の主な目的を示したものである。旅行の目的は観光・旅行・温泉が 76.6%と最も多く、次いで家族・親族等への訪問が 8.7%である。ビジネス・公用は 3.1%、大会・イベント出席は 2.5%、スポーツ観戦は 1.1%であった。

表 1-1-9 旅行目的

主な目的	回答数	%
観光・旅行・温泉	640	76.6%
ビジネス・公用	26	3.1%
家族・親族等への訪問	73	8.7%
スポーツ観戦	9	1.1%
大会・イベント出席	21	2.5%
その他	66	7.9%
回答数計	835	100.0%

図 1-1-6 旅行目的 (構成)



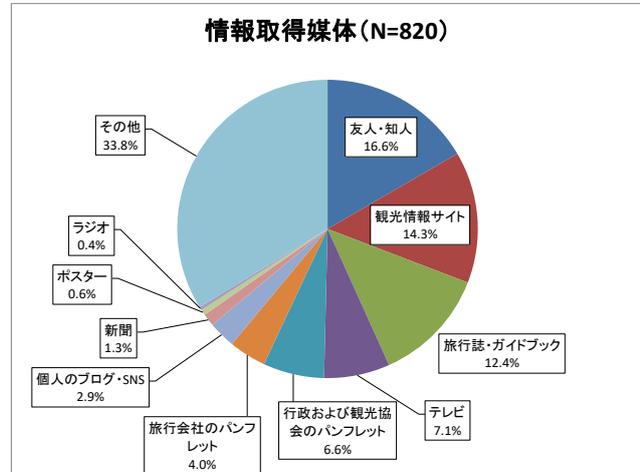
(7) 山口市を候補にあげた情報媒体

表 1-1-10 は、山口市を旅行先の候補にあげた情報媒体別の回答数である。その他が 33.8%と最も多いものの、友人・知人が 16.6%、観光情報サイトが 14.3%、旅行誌・ガイドブックが 12.4%、となっている。

表 1-1-10 山口市をあげた情報媒体

山口市を挙げたきっかけ	回答数	%
テレビ	58	7.1%
ラジオ	3	0.4%
新聞	11	1.3%
旅行誌・ガイドブック	102	12.4%
ポスター	5	0.6%
行政および観光協会のパンフレット	54	6.6%
旅行会社のパンフレット	33	4.0%
友人・知人	136	16.6%
観光情報サイト	117	14.3%
個人のブログ・SNS	24	2.9%
その他	277	33.8%
回答数計	820	100.0%

図 1-1-7 山口市をあげた情報媒体（構成）



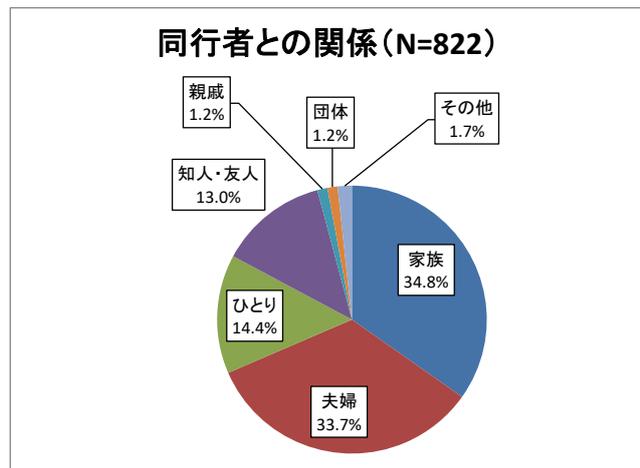
(8) 旅行の同行者との関係

表 1-1-11 は、旅行の同行者との関係について示したものである。家族が 34.8%と最も多く、次いで、夫婦が 33.7%、ひとりが 14.4%、知人・友人が 13.0%となっている。

表 1-1-11 旅行の同行者との関係

同行者	回答数	%
ひとり	118	14.4%
家族	286	34.8%
夫婦	277	33.7%
親戚	10	1.2%
知人・友人	107	13.0%
団体	10	1.2%
その他	14	1.7%
回答数計	822	100.0%

図 1-1-8 旅行の同行者との関係（構成）



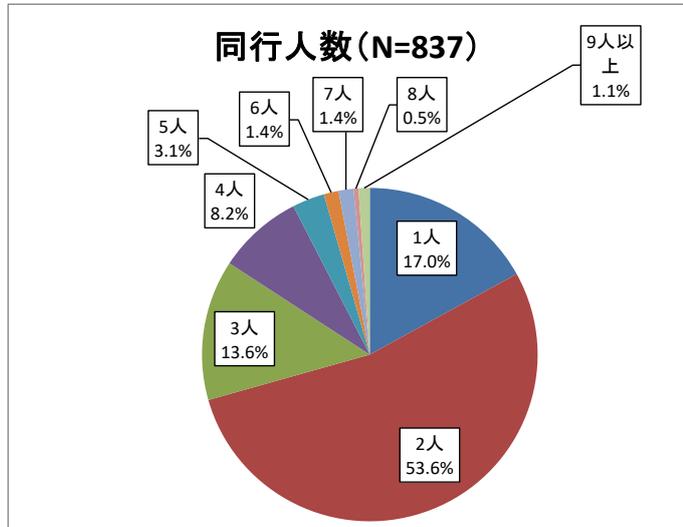
(9) 旅行の同行者の人数

表 1-1-12 は、旅行の同行者の自分自身を含めた人数を示したものである。2 人が 53.6%と最も多く、次に同行者なしの 1 人が 17.0%、3 人が 13.6%である。

表 1-1-12 旅行の同行者の人数

同行人数	回答数	%
1人	142	17.0%
2人	449	53.6%
3人	114	13.6%
4人	69	8.2%
5人	26	3.1%
6人	12	1.4%
7人	12	1.4%
8人	4	0.5%
9人以上	9	1.1%
回答数計	837	100.0%

図 1-1-9 旅行の同行者の人数構成



(10) 山口市への旅行回数

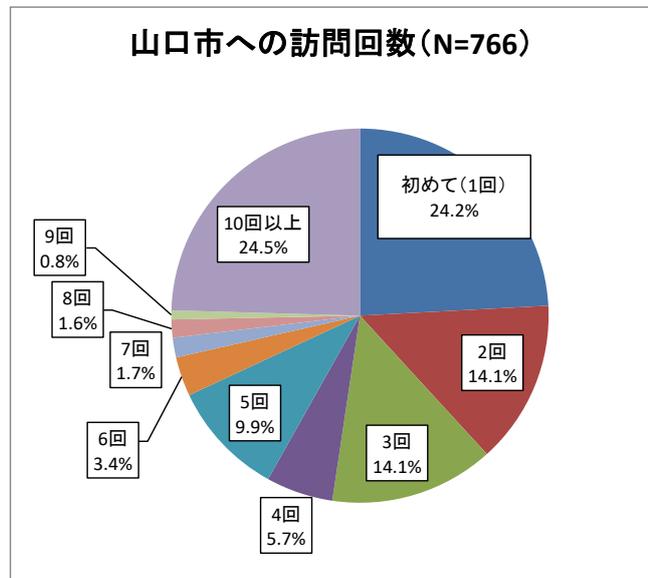
表 1-1-13 は、山口市への旅行回数を示したものである。初めての 1 回が 24.2%と多く、10 回以上も 24.5%と多くなっている。次いで 2 回と 3 回が 14.1%となっている。

初めて訪れた旅行者は全体の 24.2%なので、リピーターは 75.8%となった。

表 1-1-13 山口市への旅行回数

旅行回数	回答数	%
初めて(1回)	185	24.2%
2回	108	14.1%
3回	108	14.1%
4回	44	5.7%
5回	76	9.9%
6回	26	3.4%
7回	13	1.7%
8回	12	1.6%
9回	6	0.8%
10回以上	188	24.5%
回答数計	766	100.0%

図 1-1-10 初めて訪れた旅行者とリピーター（構成）



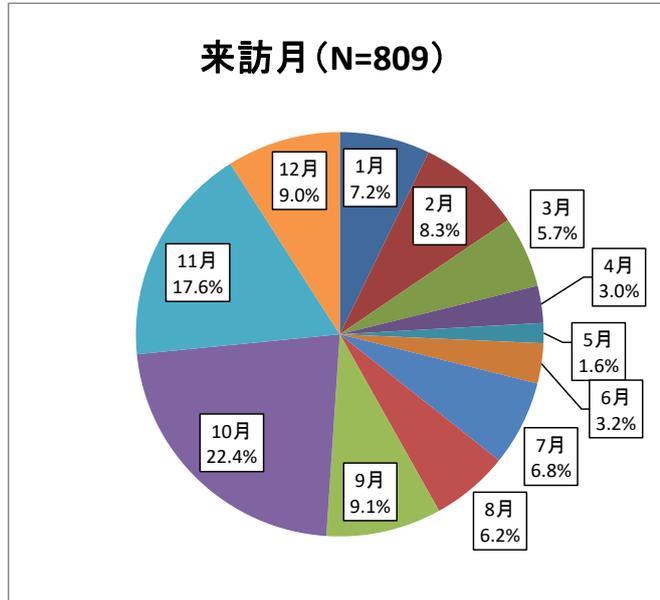
(11) 山口市への来訪月

表 1-1-14 は、山口市への来訪月を示したものである。10月が最も多く 22.4%であり、次いで11月が 17.6%であり、Go To トラベルで地域共通クーポンが発行された時期（10月1日以降）に多かったことが分かる。一方で、緊急事態宣言が発出された5月が最も少なく 1.6%であった。

表 1-1-14 山口市への来訪月

来訪月	回答数	%
1月	58	7.2%
2月	67	8.3%
3月	46	5.7%
4月	24	3.0%
5月	13	1.6%
6月	26	3.2%
7月	55	6.8%
8月	50	6.2%
9月	74	9.1%
10月	181	22.4%
11月	142	17.6%
12月	73	9.0%
回答数計	809	100.0%

図 1-1-11 山口市への来訪月（構成）



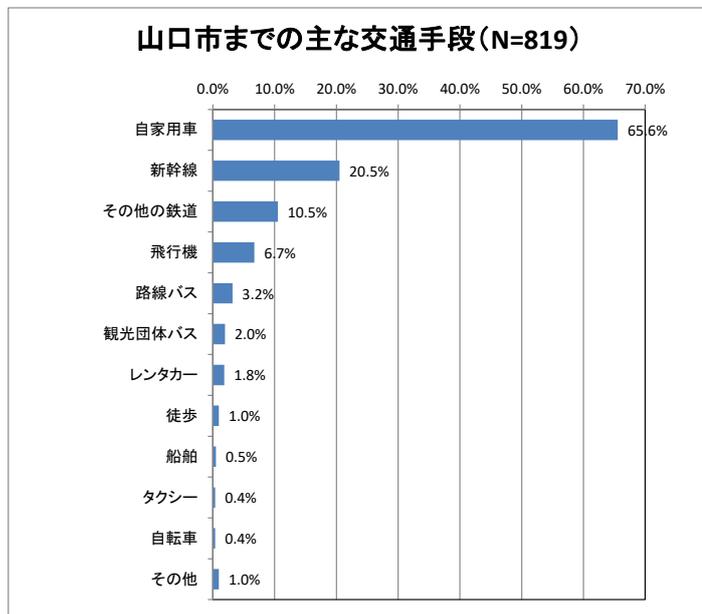
(12) 山口市までの主な移動手段

表 1-1-15 は、山口市までの主な移動手段である。複数回答項目であるため、回答者数を分母として利用割合を算出すると、自家用車が最も多く 65.6%であった。次いで新幹線が 20.5%、その他の鉄道が 10.5%と続く。

表 1-1-15 山口市までの移動手段

交通手段	回答数	%
新幹線	168	20.5%
その他の鉄道	86	10.5%
自家用車	537	65.6%
船舶	4	0.5%
観光団体バス	16	2.0%
路線バス	26	3.2%
タクシー	3	0.4%
レンタカー	15	1.8%
飛行機	55	6.7%
自転車	3	0.4%
徒歩	8	1.0%
その他	8	1.0%
合計	929	113.4%
回答者数	819	100.0%

図 1-1-12 山口市までの移動手段



注) 複数回答項目である。

(13) 山口市内での主な移動手段

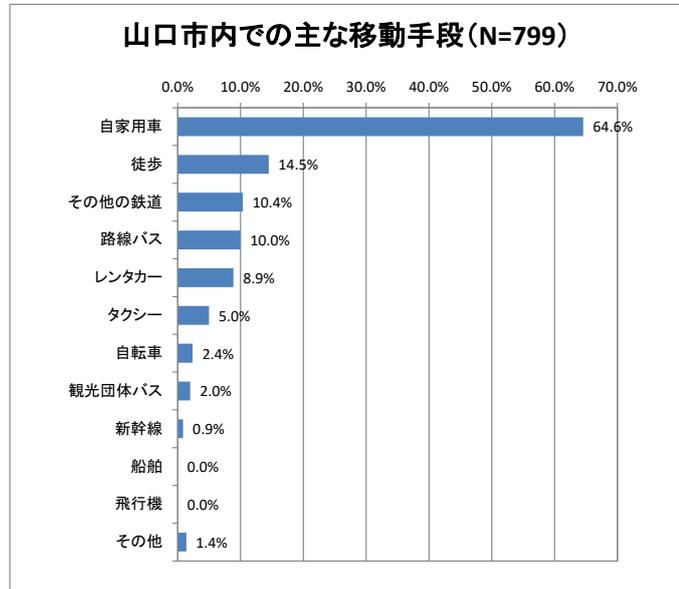
表 1-1-16 は、山口市内での主な移動手段である。複数回答項目であるため、回答者数を分母として利用割合を算出すると、自家用車が最も多く 64.6%であった。次いで徒歩が 14.5%、その他の鉄道が 10.4%、路線バスが 10.0%と続く。

表 1-1-16 山口市内での移動手段

移動手段	回答数	%
新幹線	7	0.9%
その他の鉄道	83	10.4%
自家用車	516	64.6%
船舶	0	0.0%
観光団体バス	16	2.0%
路線バス	80	10.0%
タクシー	40	5.0%
レンタカー	71	8.9%
飛行機	0	0.0%
自転車	19	2.4%
徒歩	116	14.5%
その他	11	1.4%
合計	959	120.0%
回答者数	799	100.0%

注) 複数回答項目である。

図 1-1-12 山口市内での移動手段



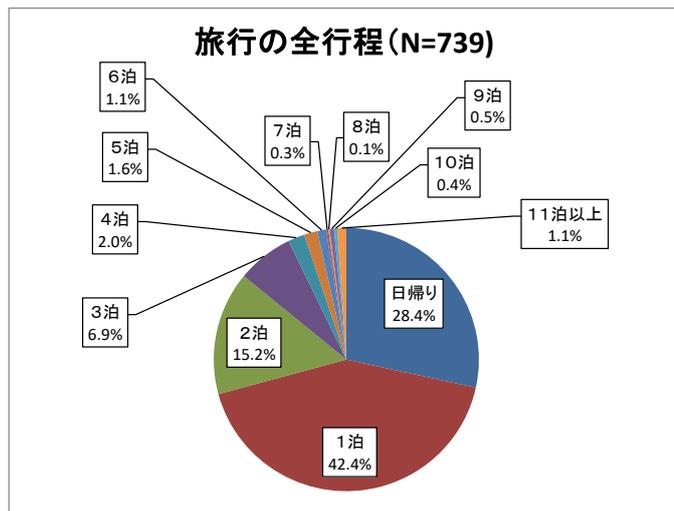
(14) 今回の旅行の全行程

表 1-1-17 は、今回の旅行の全行程を示したものである。1泊が 42.4%と最も多く、次いで日帰りの 28.4%が多くなっている。なお、通常の旅行動向からいけば、日帰りの割合がもっと高くなるのが一般的であるが、県外からの旅行者が 64.1%を占めるうえに、宿泊施設でもアンケート票を配布していることから宿泊者の回収数も多く、割合も高くなっていることが推測される。以下、本報告書で旅行の行程を考察する際はこの点に注意を要する。

表 1-1-17 旅行の全行程

旅行の全行程	回答数	%
日帰り	210	28.4%
1泊	313	42.4%
2泊	112	15.2%
3泊	51	6.9%
4泊	15	2.0%
5泊	12	1.6%
6泊	8	1.1%
7泊	2	0.3%
8泊	1	0.1%
9泊	4	0.5%
10泊	3	0.4%
11泊以上	8	1.1%
回答数計	739	100.0%

図 1-1-13 旅行の全行程



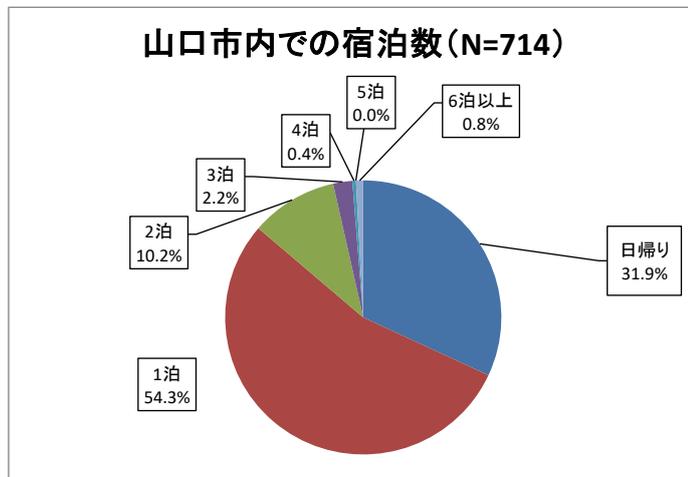
(15) 山口市内での宿泊日数

表 1-1-18 は、旅行者のうち、山口市内で何泊しているかを示したものである。1泊が 54.3%と最も多く、次いで日帰り（無泊）が 31.9%、2泊が 10.2%となっている。

表 1-1-18 山口市内での宿泊日数

山口市内宿泊数	回答数	%
日帰り	228	31.9%
1泊	388	54.3%
2泊	73	10.2%
3泊	16	2.2%
4泊	3	0.4%
5泊	0	0.0%
6泊以上	6	0.8%
回答数計	714	100.0%

図 1-1-14 山口市内での宿泊日数



(16) 山口市内での平均消費額

表 1-1-19 は、山口市内での平均消費額を示したものである。宿泊費が 16,890 円で最も多く、次いで、交通費が 4,451 円となっている。合計額は約 33,302 円となっている。

表 1-1-19 平均消費額

	消費金額
宿泊費	¥16,890
飲食費	¥4,859
土産物	¥4,500
交通費	¥4,451
施設見学料	¥960
その他	¥1,642
合計	¥33,302

図 1-1-15 平均消費額（単位：円）

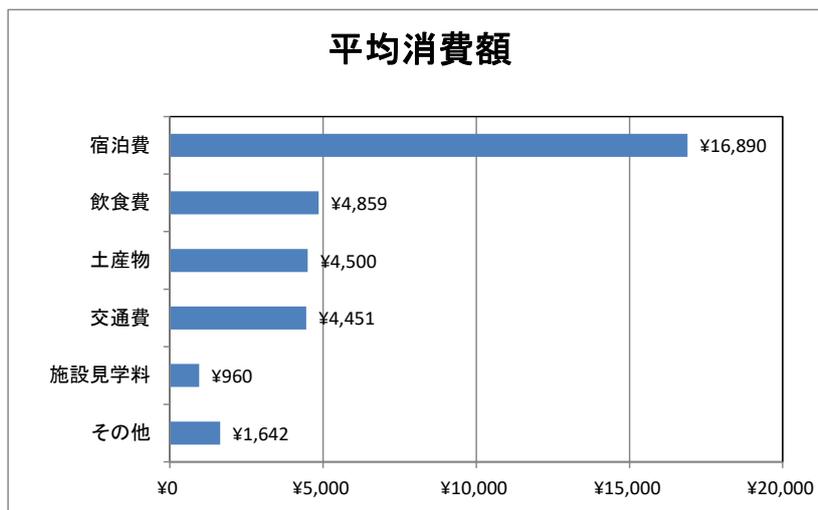


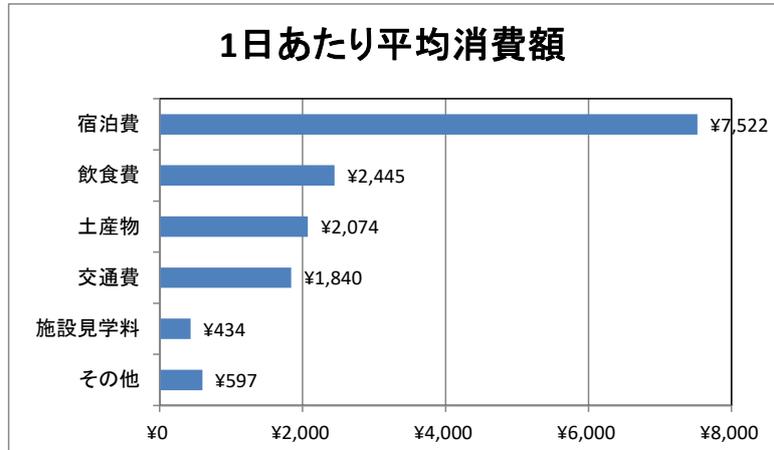
表 1-1-20 は、複数日に亘る宿泊数を考慮して 1 日あたりに換算した山口市内での平均消費額を示したものである。宿泊費が 7,522 円で最も多く、次いで、飲食費が 2,445 円となっている。合計額は約 14,913 円となっている。

表 1-1-20 1 日あたり平均消費額

	消費金額
宿泊費	¥7,522
飲食費	¥2,445
土産物	¥2,074
交通費	¥1,840
施設見学科	¥434
その他	¥597
合計	¥14,913

注) 計算上、6 泊以上を除いているため、平均消費額と整合性がとれない場合もある。

図 1-1-16 1 日あたり平均消費額 (単位: 円)



(17) 山口市内での宿泊地

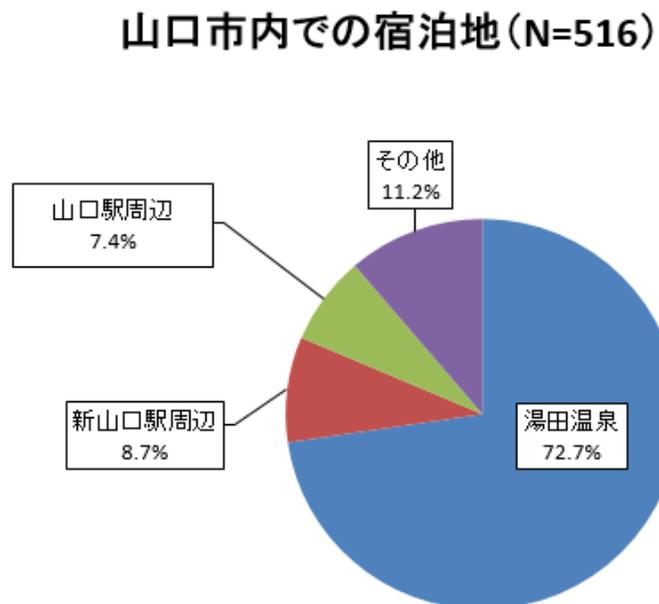
表 1-1-21 は、山口市内での宿泊地を示したものである。複数回答であるが、便宜上合計値を分母として割合を算出すると、湯田温泉が 72.7% で最も多く、次いで新山口駅周辺の 8.7% となっている。

表 1-1-21 山口市内での宿泊地

宿泊地	回答数	%
湯田温泉	375	72.7%
新山口駅周辺	45	8.7%
山口駅周辺	38	7.4%
その他	58	11.2%
合計	516	100.0%

注) この質問は複数回答のため、構成比を算出する際、分母を合計値とすることは本来不適切であるが、宿泊日数にも依存して解釈が複雑になるため、全体のシェアを示す参考として合計値を分母としている。

図 1-1-17 山口市内での宿泊地



(18) 山口市内での宿泊地と平均消費額

ここでは、山口市内での宿泊地別の平均消費額をみていく。平均消費額は、旅行の目的別に集計している。なお、宿泊数によって平均消費額が増減することが考えられるが、ここでは宿泊数を考慮せず平均消費額を算出しているので注意が必要である。

表 1-1-22 は、宿泊地別の平均消費額を示したものである。ここで、宿泊地が新山口駅周辺と山口駅周辺は標本サイズが小さいため、該当のない(空欄)となるなど、旅行目的別の数値が一般的な傾向と異なる可能性に注意する必要がある。宿泊費は、宿泊地と旅行目的によって異なっているが、観光・旅行・温泉目的では湯田温泉で高い傾向にある。飲食費は、家族・親族等への訪問で平均消費額が高い傾向にあるが、宿泊地による差異も大きい。土産物は、少数のサンプルによる変動が激しく傾向を読み取ることは難しいが大会・イベント出席で大きい可能性が示唆されている。交通費は、新山口駅が全体的に高くなっている。施設見学科も、新山口駅が高い傾向にあり、宿泊地によって利用する施設に差異がある可能性を示唆している。

表 1-1-22 宿泊地別・旅行目的別平均消費額

		湯田温泉	新山口駅周辺	山口駅周辺
宿泊費	観光・旅行・温泉	21,007	17,926	13,567
	ビジネス・公用	8,750	10,000	6,000
	家族・親族等への訪問	13,294	19,450	18,840
	大会・イベント出席	12,833	19,000	6,000
	スポーツ観戦	6,500	11,500	-
	その他	29,668	16,000	10,333
	平均	15,342	15,646	10,948
飲食費	観光・旅行・温泉	4,980	5,590	6,975
	ビジネス・公用	5,091	2,000	2,000
	家族・親族等への訪問	7,916	6,880	5,600
	大会・イベント出席	4,840	3,750	2,000
	スポーツ観戦	1,500	4,000	-
	その他	9,458	10,000	11,000
	平均	5,631	5,370	5,515
土産物	観光・旅行・温泉	5,561	4,762	4,750
	ビジネス・公用	2,375	2,000	1,000
	家族・親族等への訪問	6,000	3,000	4,300
	大会・イベント出席	17,160	11,500	3,000
	スポーツ観戦	500	2,500	-
	その他	8,850	10,000	5,167
	平均	6,741	5,627	3,643
交通費	観光・旅行・温泉	4,912	3,750	2,214
	ビジネス・公用	5,621	500	2,333
	家族・親族等への訪問	3,870	3,475	9,625
	大会・イベント出席	3,780	12,000	0
	スポーツ観戦	3,250	10,500	-
	その他	8,000	7,000	7,500
	平均	4,905	6,204	4,335
施設見学科	観光・旅行・温泉	1,121	1,105	1,378
	ビジネス・公用	770	-	0
	家族・親族等への訪問	1,073	3,000	2,500
	大会・イベント出席	2,758	4,000	0
	スポーツ観戦	0	4,000	-
	その他	500	5,000	700
	平均	1,037	3,421	916

図 1-1-18 宿泊地別平均消費額（宿泊費）

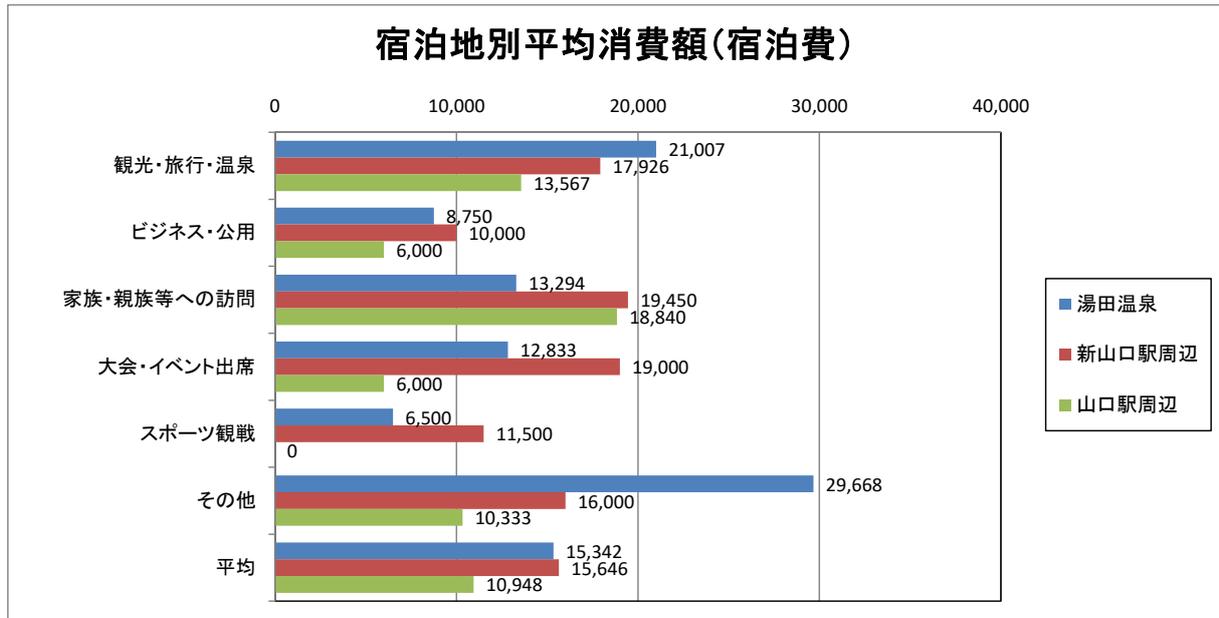


図 1-1-19 宿泊地別平均消費額（飲食費）

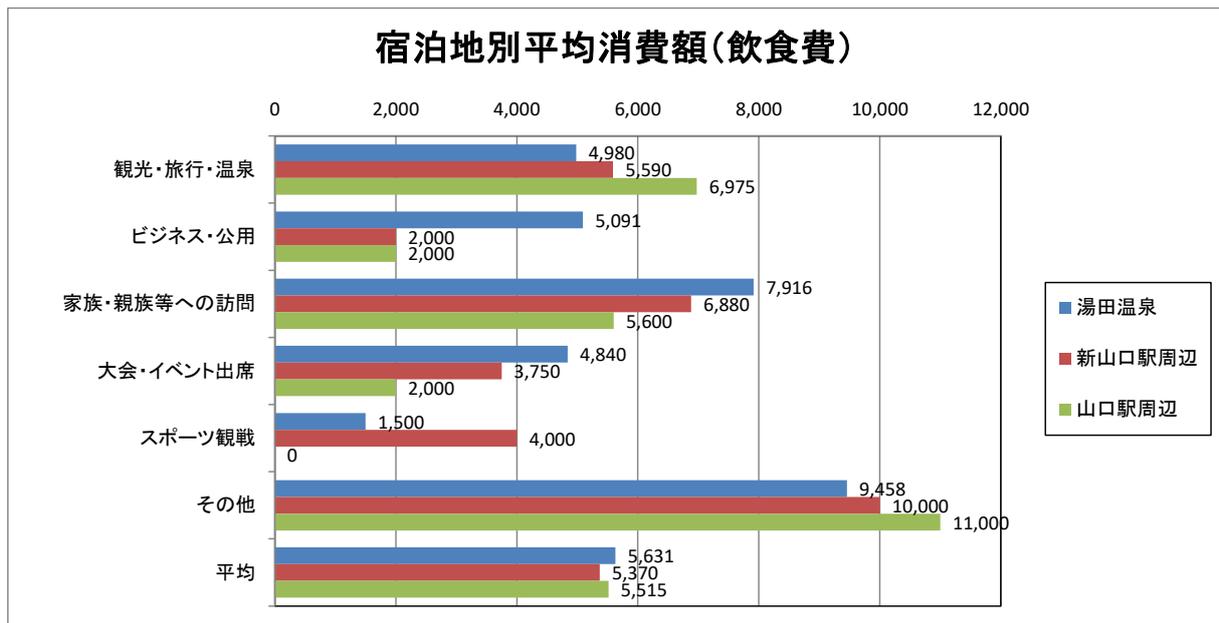


図 1-1-20 宿泊地別平均消費額（土産物）

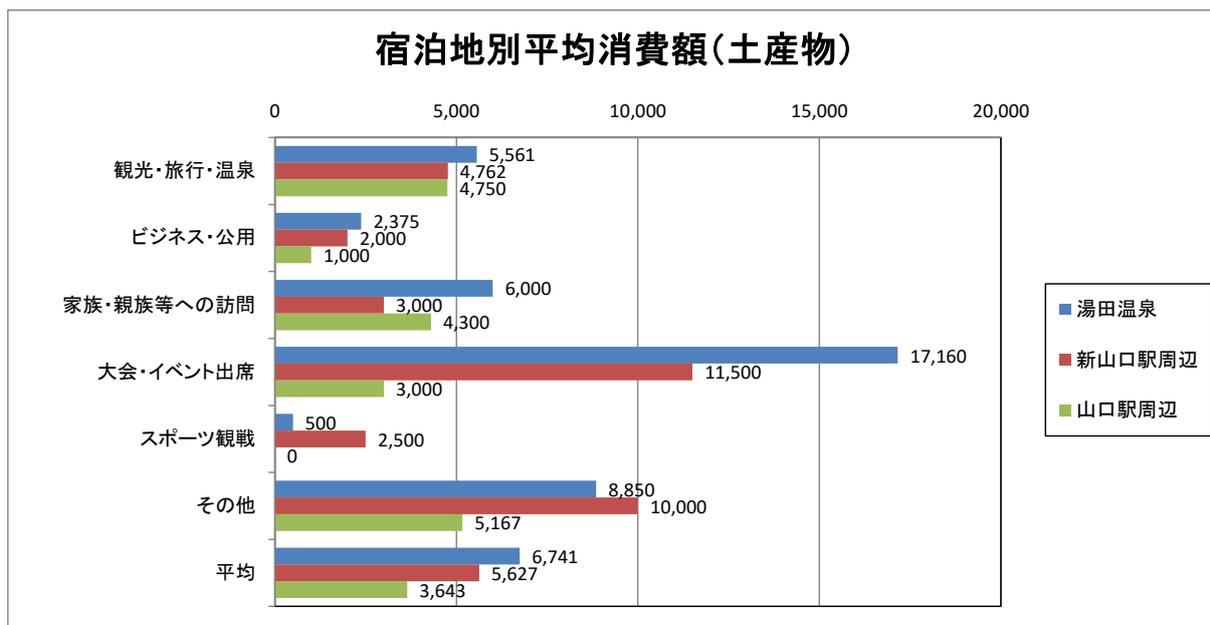


図 1-1-21 宿泊地別平均消費額（交通費）

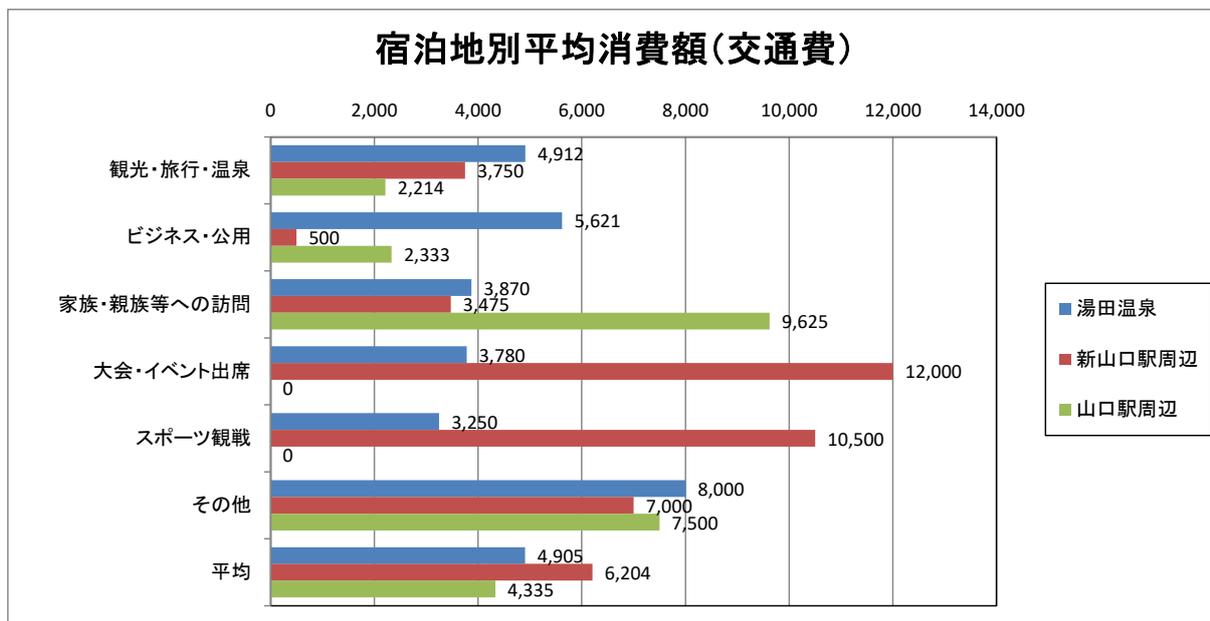
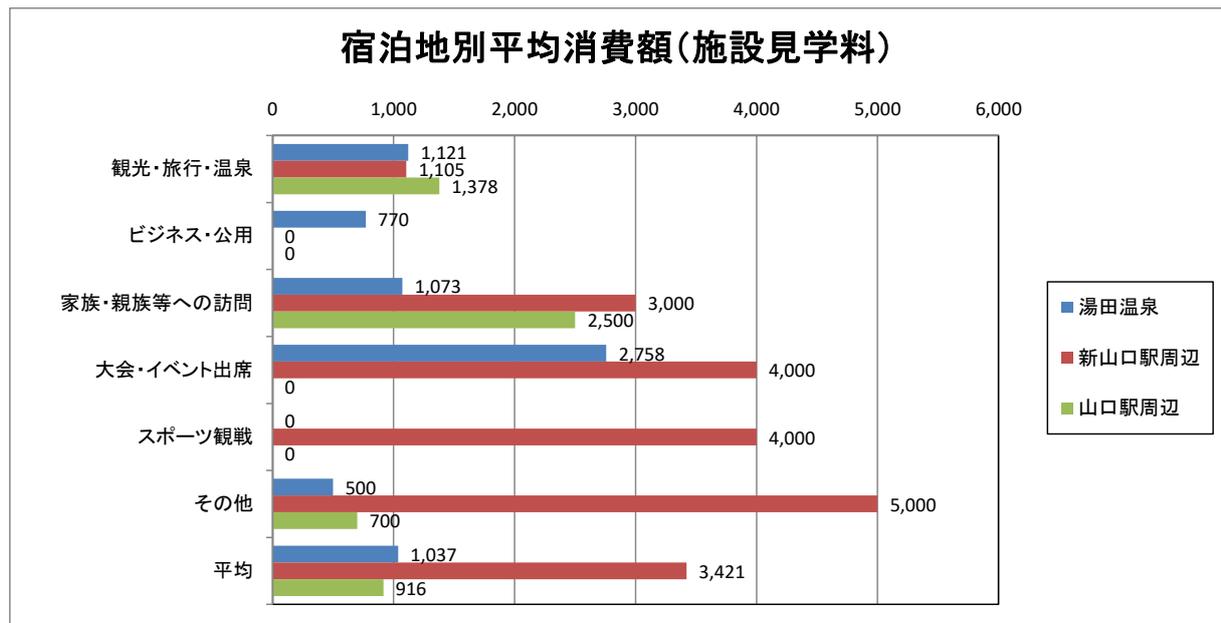


図 1-1-22 宿泊地別平均消費額（施設見学科）



(19) 宿泊施設についての評価

宿泊施設に関する質問では、各項目について5段階評価で調査している。

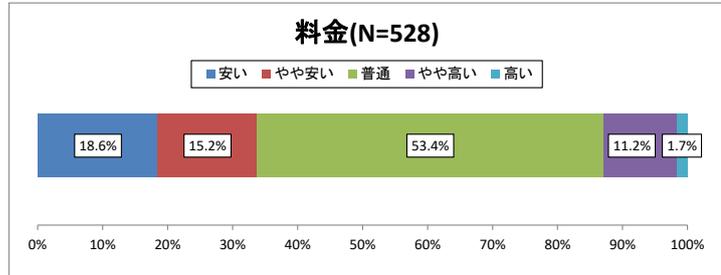
a. 料金

表 1-1-23 は、宿泊施設の料金について、5段階評価の構成比を示したものである。料金については普通が53.4%で最も多く、安いが18.6%、やや安いが15.2%であった。

表 1-1-23 料金の評価

料金の評価	回答数	%
安い	98	18.6%
やや安い	80	15.2%
普通	282	53.4%
やや高い	59	11.2%
高い	9	1.7%
回答数計	528	100.0%

図 1-1-23 料金の評価



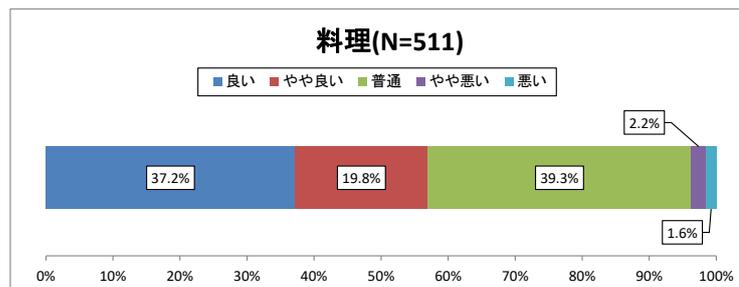
b. 料理

表 1-1-24 は、宿泊施設の料理についての評価である。普通が39.3%と最も多いが次いで、良いが37.2%、やや良いが19.8%と続いており、比較的良い評価になっている。

表 1-1-24 料理の評価

料理の評価	回答数	%
良い	190	37.2%
やや良い	101	19.8%
普通	201	39.3%
やや悪い	11	2.2%
悪い	8	1.6%
回答数計	511	100.0%

図 1-1-24 料理の評価



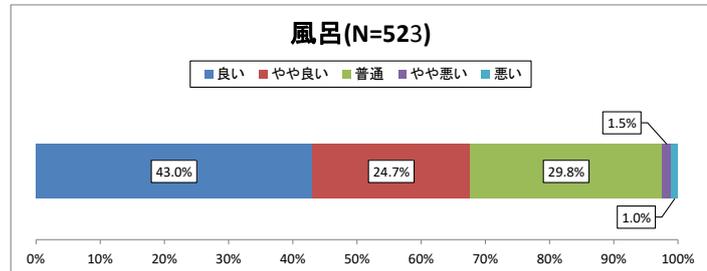
c. 風呂

表 1-1-25 は、宿泊施設の風呂についての評価である。良いが 43.0% で最も多く、普通が 29.8%、やや良いが 24.7% であった。良い、やや良いとする回答を合わせると 67.7% であり、7 割近くの人が宿泊施設の風呂に対する評価が高いことがわかる。

表 1-1-25 風呂の評価

風呂の評価	回答数	%
良い	225	43.0%
やや良い	129	24.7%
普通	156	29.8%
やや悪い	8	1.5%
悪い	5	1.0%
回答数計	523	100.0%

図 1-1-25 風呂の評価



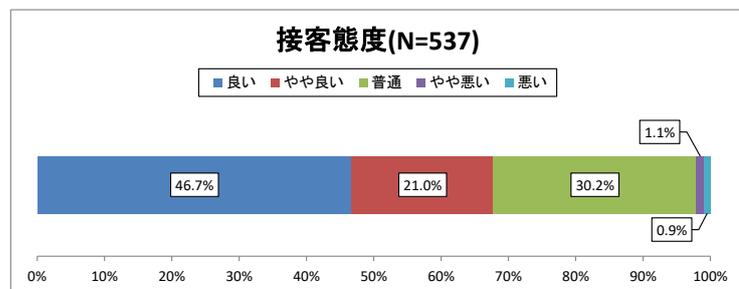
d. 接客態度

表 1-1-26 は、宿泊施設の接客態度についての評価である。良いが 46.7% で最も多く、普通が 30.2%、やや良いが 21.0% である。接客態度も風呂と同様に評価が高い。

表 1-1-26 接客態度の評価

接客態度の評価	回答数	%
良い	251	46.7%
やや良い	113	21.0%
普通	162	30.2%
やや悪い	6	1.1%
悪い	5	0.9%
回答数計	537	100.0%

図 1-1-26 接客態度の評価



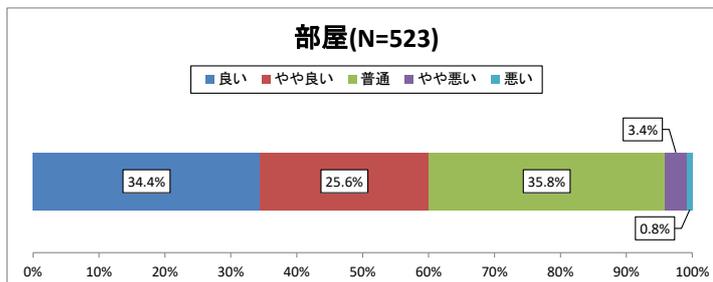
e. 部屋

表 1-1-27 は、宿泊施設の部屋についての評価である。普通が 35.8% で最も多く、良いが 34.4%、やや良いが 25.6% である。部屋については良いと評価する回答は 6 割となっている。

表 1-1-27 部屋の評価

部屋の評価	回答数	%
良い	180	34.4%
やや良い	134	25.6%
普通	187	35.8%
やや悪い	18	3.4%
悪い	4	0.8%
回答数計	523	100.0%

図 1-1-27 部屋の評価



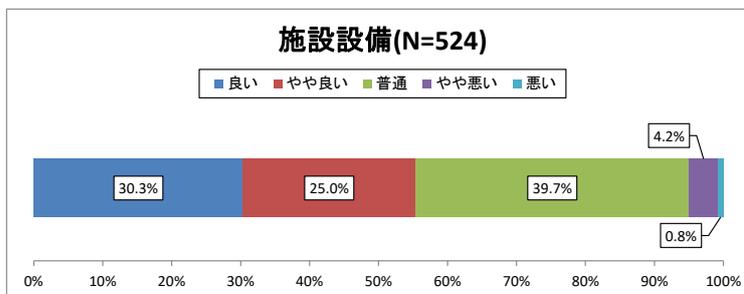
f. 施設設備

表 1-1-28 は、施設設備についての評価である。普通が 39.7% で最も多く、良いが 30.3%、やや良いが 25.0% であった。

表 1-1-28 施設設備の評価

施設設備の評価	回答数	%
良い	159	30.3%
やや良い	131	25.0%
普通	208	39.7%
やや悪い	22	4.2%
悪い	4	0.8%
回答数計	524	100.0%

図 1-1-28 施設設備の評価



(20) 交通の便についての評価

ここでは、山口市における交通の便（乗り継ぎ、道路標識、観光案内板）について、5段階で評価されたものをみる。

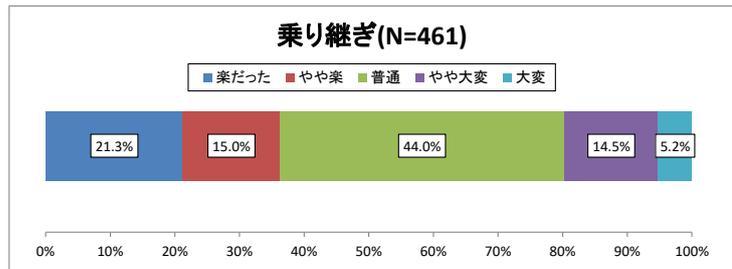
a. 乗り継ぎ

表 1-1-29 は、乗り継ぎについての評価である。普通が 44.0% で最も多く、楽だったとやや楽だったをあわせて 36.3% となっているが、大変とやや大変を合わせると 19.7% となっており、他の評価に比べて大きな割合となっている。

表 1-1-29 乗り継ぎの評価

乗り継ぎ	回答数	%
楽だった	98	21.3%
やや楽	69	15.0%
普通	203	44.0%
やや大変	67	14.5%
大変	24	5.2%
回答数計	461	100.0%

図 1-1-29 乗り継ぎの評価



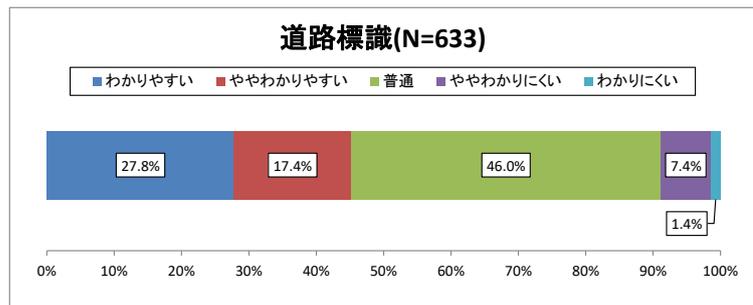
b. 道路標識

表 1-1-30 は、道路標識についての評価である。道路標識は、普通が 46.0%、わかりやすいが 27.8%、ややわかりやすいが 17.4% である。ややわかりにくいとする回答も 7.4% であった。

表 1-1-30 道路標識の評価

道路標識	回答数	%
わかりやすい	176	27.8%
ややわかりやすい	110	17.4%
普通	291	46.0%
ややわかりにくい	47	7.4%
わかりにくい	9	1.4%
回答数計	633	100.0%

図 1-1-30 道路標識の評価



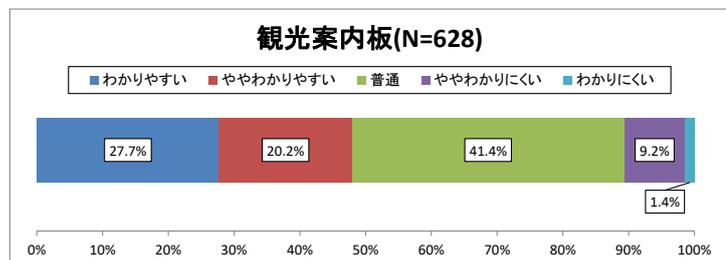
c. 観光案内板

表 1-1-31 は、観光案内板についての評価である。観光案内板は、普通が 41.4%、わかりやすいが 27.7%、ややわかりやすいが 20.2% である。ややわかりにくいとする回答も 9.2% であった。

表 1-1-31 観光案内板の評価

観光案内板	回答数	%
わかりやすい	174	27.7%
ややわかりやすい	127	20.2%
普通	260	41.4%
ややわかりにくい	58	9.2%
わかりにくい	9	1.4%
回答数計	628	100.0%

図 1-1-31 観光案内板の評価



(21) 土産物についての評価

ここでは、お土産の価格と品揃えの評価について、5段階で評価されたものを見る。

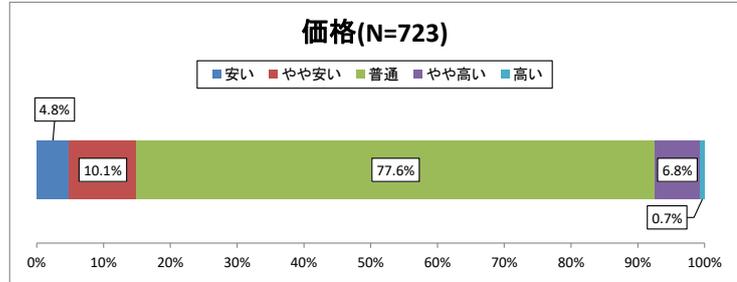
a. 土産物の価格

表 1-1-32 は、土産物の価格についての評価である。価格については普通が 77.6%、やや安いが 10.1%、やや高いが 6.8%である。普通とする評価が極めて多くなっている。

表 1-1-32 土産物の評価（価格）

土産の価格	回答数	%
安い	35	4.8%
やや安い	73	10.1%
普通	561	77.6%
やや高い	49	6.8%
高い	5	0.7%
回答数計	723	100.0%

図 1-1-32 土産物の評価（価格）



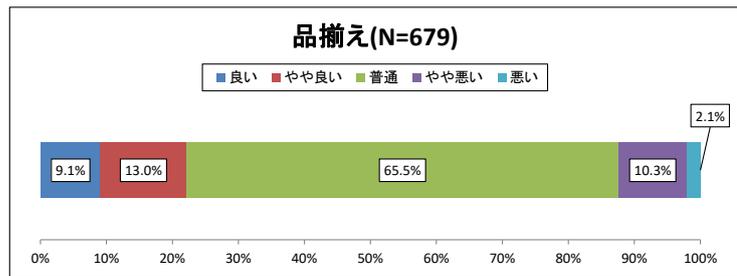
b. 土産物の品揃え

表 1-1-33 は、土産物の品揃えについての評価である。普通が 65.5%、良いが 9.1%、やや良いが 13.0%である一方、やや悪いも 10.3%であった。

表 1-1-33 土産物の評価（品揃え）

土産の品揃え	回答数	%
良い	62	9.1%
やや良い	88	13.0%
普通	445	65.5%
やや悪い	70	10.3%
悪い	14	2.1%
回答数計	679	100.0%

図 1-1-33 土産物の評価（品揃え）



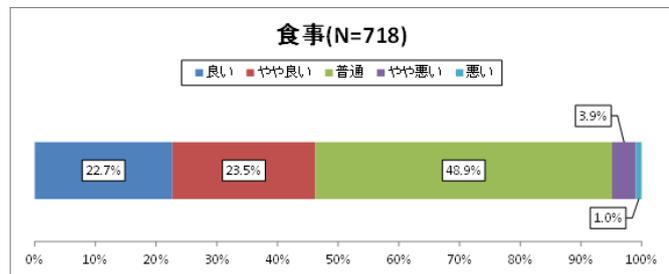
(22) 食事（宿泊施設以外）についての評価

表 1-1-34 は、宿泊施設以外の食事についての評価である。普通が 48.9%と最も多いが、やや良いが 23.5%、良いが 22.7%で、良いとする評価が約 46%と悪いとする評価を大きく上回っている。

表 1-1-34 食事の評価

食事	回答数	%
良い	163	22.7%
やや良い	169	23.5%
普通	351	48.9%
やや悪い	28	3.9%
悪い	7	1.0%
回答数計	718	100.0%

図 1-1-34 食事の評価



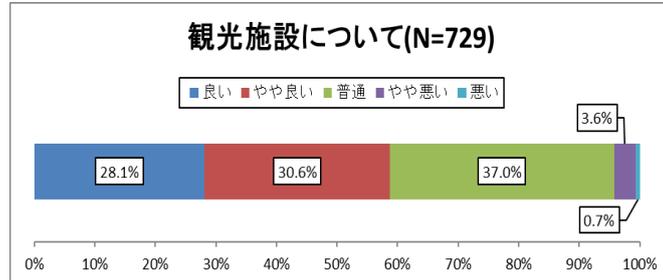
(23) 観光施設についての評価

表 1-1-35 は、観光施設についての評価である。普通が 37.0%、やや良いが 30.6%、良いが 28.1% である。観光施設については約 6 割が良いと評価している。

表 1-1-35 観光施設の評価

観光施設の評価	回答数	%
良い	205	28.1%
やや良い	223	30.6%
普通	270	37.0%
やや悪い	26	3.6%
悪い	5	0.7%
回答数計	729	100.0%

図 1-1-35 観光施設の評価



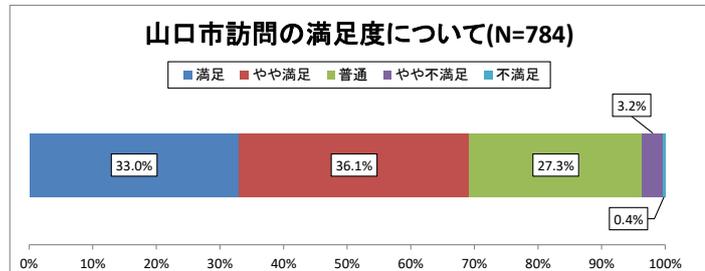
(24) 山口市訪問の満足度

表 1-1-36 は、山口市訪問の満足度を 5 段階評価で示したものである。満足が 33.0%、やや満足が 36.1% で、合わせて約 7 割が満足と評価している。

表 1-1-36 山口市訪問の満足度

山口市訪問の満足度	回答数	%
満足	259	33.0%
やや満足	283	36.1%
普通	214	27.3%
やや不満足	25	3.2%
不満足	3	0.4%
回答数計	784	100.0%

図 1-1-36 山口市訪問の満足度



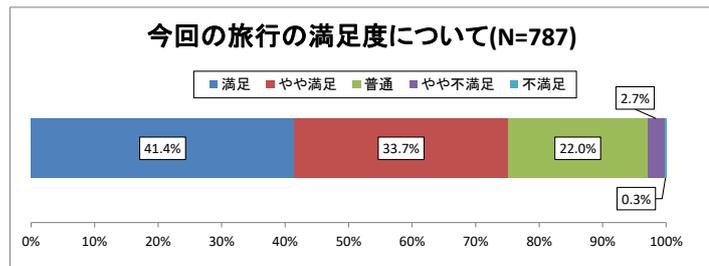
(25) 今回の旅行の満足度

表 1-1-37 は、今回の旅行の満足度を示したものである。満足が 41.4%、やや満足が 33.7%、普通が 20.0% である。全体で約 75% が満足と評価している。

表 1-1-37 今回の旅行の満足度

今回の旅行の満足度	回答数	%
満足	326	41.4%
やや満足	265	33.7%
普通	173	22.0%
やや不満足	21	2.7%
不満足	2	0.3%
回答数計	787	100%

図 1-1-37 今回の旅行の満足度



(26) 山口市の魅力 (2015年調査票からの新規調査項目)

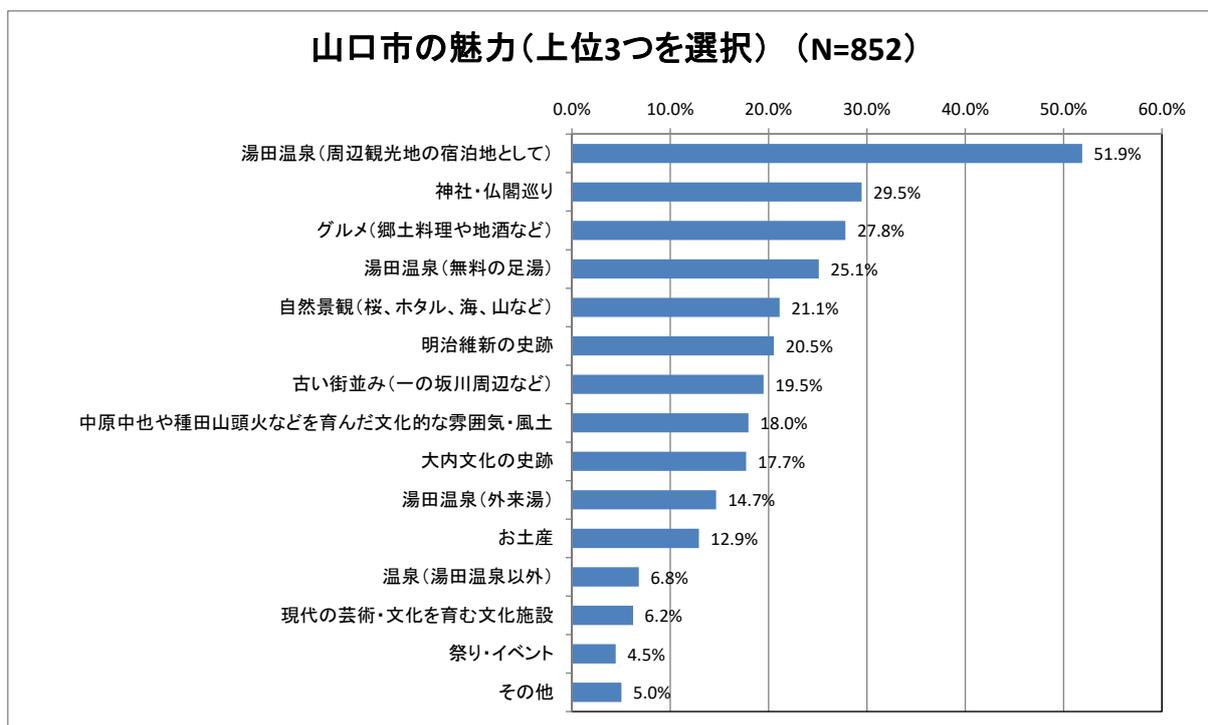
表 1-1-38 は、山口市は何が魅力的だと思うかについて、表に示す選択肢を挙げ、上位3つまで選択されたものを集計した結果である。

回答者数を分母として回答割合を算出したところ、最も多かったのは、湯田温泉(周辺観光地の宿泊地として)で51.9%であった。次に、神社仏閣巡りが29.5%、3番目がグルメ(郷土料理や地酒など)で27.8%であった。

表 1-1-38 山口市の魅力 (上位3つを選択)

山口市の魅力(上位3つ)	回答数	%
湯田温泉(周辺観光地の宿泊地として)	442	51.9%
湯田温泉(外来湯)	125	14.7%
湯田温泉(無料の足湯)	214	25.1%
温泉(湯田温泉以外)	58	6.8%
グルメ(郷土料理や地酒など)	237	27.8%
お土産	110	12.9%
大内文化の史跡	151	17.7%
明治維新の史跡	175	20.5%
神社・仏閣巡り	251	29.5%
自然景観(桜、ホテル、海、山など)	180	21.1%
古い街並み(一の坂川周辺など)	166	19.5%
祭り・イベント	38	4.5%
現代の芸術・文化を育む文化施設	53	6.2%
中原中也や種田山頭火などを育んだ文化的な雰囲気・風土	153	18.0%
その他	43	5.0%
回答数計	2,396	281.2%
回答者数	852	100.0%

図 1-1-38 山口市の魅力 (上位3つを選択)



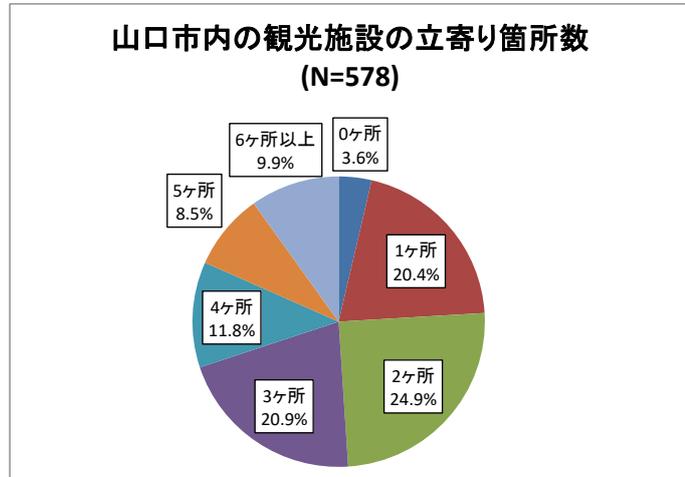
(27) 今回の旅行中に山口市内で立ち寄った観光施設数

表 1-1-39 は、今回の旅行中に山口市内で立ち寄った観光施設数を示したものである。2か所が23.4%と最も多く、次いで、3か所の22.5%、1か所の19.7%となっている。

表 1-1-39 立ち寄った観光施設数

立ち寄りか所	回答数	%
0ヶ所	21	3.6%
1ヶ所	118	20.4%
2ヶ所	144	24.9%
3ヶ所	121	20.9%
4ヶ所	68	11.8%
5ヶ所	49	8.5%
6ヶ所以上	57	9.9%
回答数計	578	100.0%

図 1-1-39 立ち寄った観光施設数



(28) 山口市内で訪れた観光施設

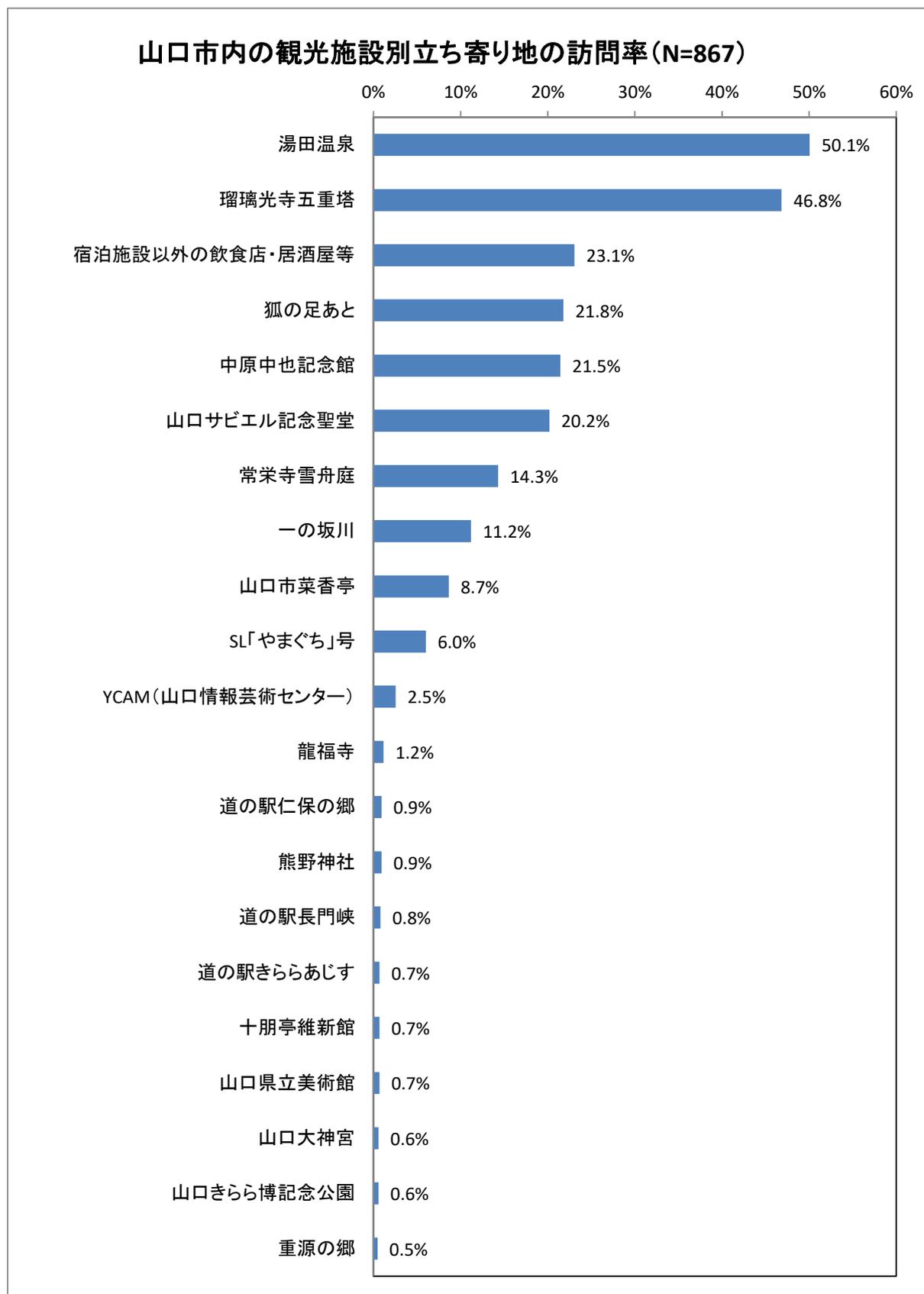
表 1-1-40 は、山口市内で訪れた観光施設のうち上位 21 位までを示したものである。最も多くの旅行者が訪れているのは湯田温泉の 434 人であり、訪問率は 50.1%であった。回答者のうち、約半数が湯田温泉を訪問していることになる。次いで、瑠璃光寺五重塔が 406 人で訪問率が 46.8%、宿泊施設以外の飲食店・居酒屋等が 200 人で 23.1%、狐の足あとが 189 人で 21.8%、中原中也記念館が 186 人で 21.5%であった。

山口市への来訪者は、温泉を魅力に感じている人が多いが、文化的な雰囲気・風土についても併せて楽しんでおり、中原中也記念館への訪問者数もそれなりに多い。また、宿泊施設以外の飲食店・居酒屋等が湯田温泉に多いこと中原中也記念館・狐の足あとの近接性から湯田温泉内での周遊行動への相乗効果があったことも推測される。なお、狐の足あとを中心とした分析については、後の節 1-3 でみていく。

表 1-1-4015 訪れた観光施設(上位 21 施設)

	訪れた観光施設	訪問者数	訪問率 (n=867)
1	湯田温泉	434	50.1%
2	瑠璃光寺五重塔	406	46.8%
3	宿泊施設以外の飲食店・居酒屋等	200	23.1%
4	狐の足あと	189	21.8%
5	中原中也記念館	186	21.5%
6	山口サビエル記念聖堂	175	20.2%
7	常栄寺雪舟庭	124	14.3%
8	一の坂川	97	11.2%
9	山口市菜香亭	75	8.7%
10	SL「やまぐち」号	52	6.0%
11	YCAM(山口情報芸術センター)	22	2.5%
12	龍福寺	10	1.2%
13	道の駅仁保の郷	8	0.9%
14	熊野神社	8	0.9%
15	道の駅長門峡	7	0.8%
16	道の駅きららあじす	6	0.7%
17	十朋亭維新館	6	0.7%
18	山口県立美術館	6	0.7%
19	山口大神宮	5	0.6%
20	山口きらら博記念公園	5	0.6%
21	重源の郷	4	0.5%

図 1-1-40 訪問率(上位 21 施設)



(29) 山口市内での旅行中の情報

ここでは山口市内での旅行中に利用した情報についての回答をまとめる。

a. 利用媒体

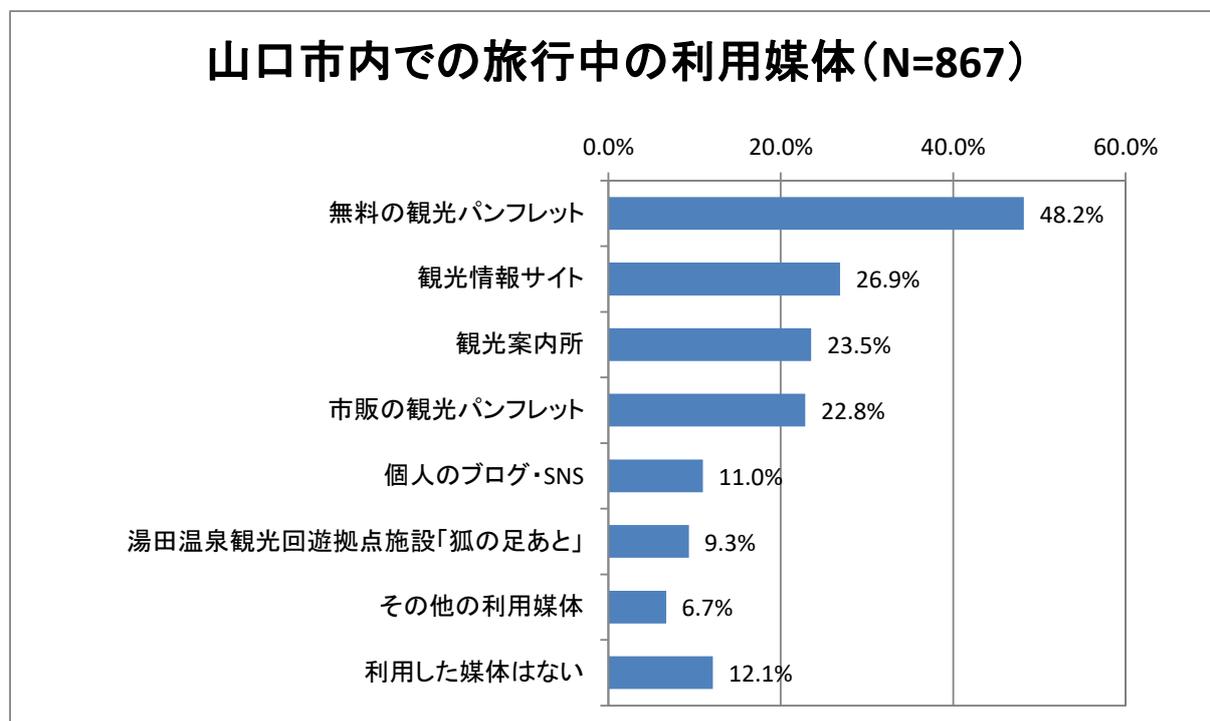
表 1-1-41 は、山口市内での旅行中に利用した情報媒体を示したものである。複数回答であるため、回答者数を分母として利用割合を算出すると、無料パンフレットが最も多く 48.2%であった。次いで、観光情報サイトは 26.9%、観光案内所が 23.5%であった。湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」は 9.3%であった。

表 1-1-41 山口市内での旅行中の利用媒体

利用媒体	回答数	%
市販の観光パンフレット	198	22.8%
無料の観光パンフレット	418	48.2%
観光案内所	204	23.5%
観光情報サイト	233	26.9%
個人のブログ・SNS	95	11.0%
湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」	81	9.3%
その他の利用媒体	58	6.7%
利用した媒体はない	105	12.1%
回答数計	1,392	160.6%
回答者数	867	100.0%

注) 複数回答項目である。

図 1-1-41 山口市内での旅行中の利用媒体



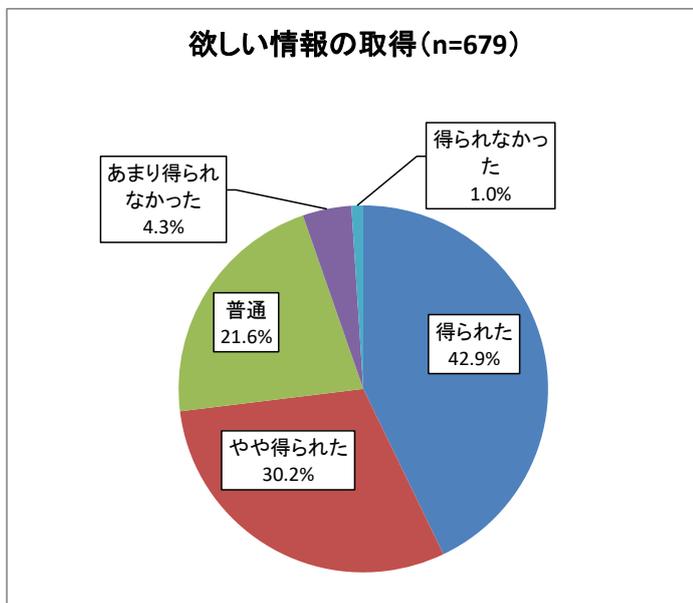
b. 欲しい情報の取得

表 1-1-42 は、山口市内を旅行中に欲しい情報が得られたかを示したものである。得られたとする回答が 42.9%、やや得られたが 30.2%であり、両者を足すと約 73%が欲しい情報が得られたとしている。

表 1-1-42 欲しい情報の取得

情報の取得	回答数	%
得られた	291	42.9%
やや得られた	205	30.2%
普通	147	21.6%
あまり得られなかった	29	4.3%
得られなかった	7	1.0%
回答数計	679	100.0%

図 1-1-42 欲しい情報の取得



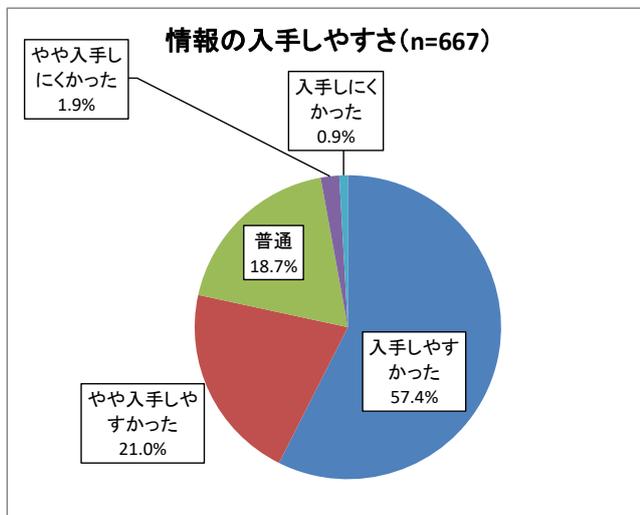
c. 情報の入手のしやすさ

表 1-1-43 は、山口市内を旅行中に欲しい情報が入手しやすかったかを示したものである。入手しやすかったが 57.4%、やや入手しやすかったが 21.0%であった。入手しにくかったは 0.9%であり、やや入手しにくかったは 1.9%であった。

表 1-1-43 情報の入手のしやすさ

入手のしやすさ	回答数	%
入手しやすかった	383	57.4%
やや入手しやすかった	140	21.0%
普通	125	18.7%
やや入手しにくかった	13	1.9%
入手しにくかった	6	0.9%
回答数計	667	100%

図 1-1-43 情報の入手のしやすさ



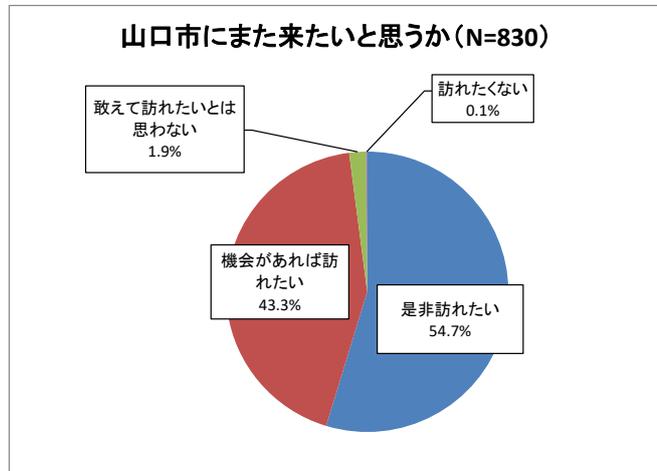
(30) 山口市を再び訪れることに関する意向

表 1-1-44 は、また山口市を訪れたいと思うか尋ねた結果である。是非訪れたいが 54.7%、機会があれば訪れたいが 43.3%であった。この 2つの回答の合計値は 98.0%であり、山口市へ再び訪れたいという意向が高い結果になった。

表 1-1-44 山口市への再訪の意向

再訪の意向	回答数	%
是非訪れたい	454	54.7%
機会があれば訪れたい	359	43.3%
敢えて訪れたいとは思わない	16	1.9%
訪れたくない	1	0.1%
回答数計	830	100.0%

図 1-1-44 山口市への再訪の意向



1-2 旅行者の属性によるクロス集計結果

1-2-1 性別にみた旅行者の特徴

図 1-2-1 は、男女別にみた年齢を図示したものである。男性は 60 代が 30.3%と最も多く、次いで 50 代が 21.1%、40 代は 15.0%、70 代以上が 16.4%であった。女性は 50 代が 25.8%で最も多く、次いで 60 代が 20.2%、40 代が 17.0%、30 代が 11.8%であった。20 代については、男性が 6.3%であるが、女性は 8.2%になっている。

女性の 20 代から 30 代にかけての旅行者が同年代の男性に対し割合が高く、男性の 50 代以上の旅行者が同年代の女性に対して割合が高くなっている。

図 1-2-1 男女別年齢の割合

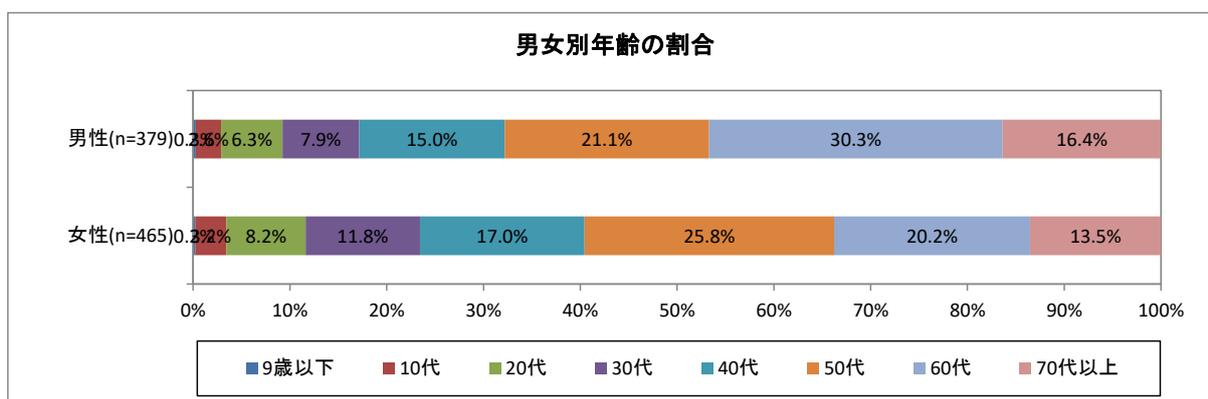


図 1-2-2 は、居住地を山口県外、山口県内に分けて男女別に表したものである。山口県内は男性が 32.2%、女性が 38.9%であるのに対して、山口県外は男性が 67.8%、女性は 61.1%で、男女ともに県外からの旅行者が 6~7 割近くを占めている。

図 1-2-2 男女別の居住地

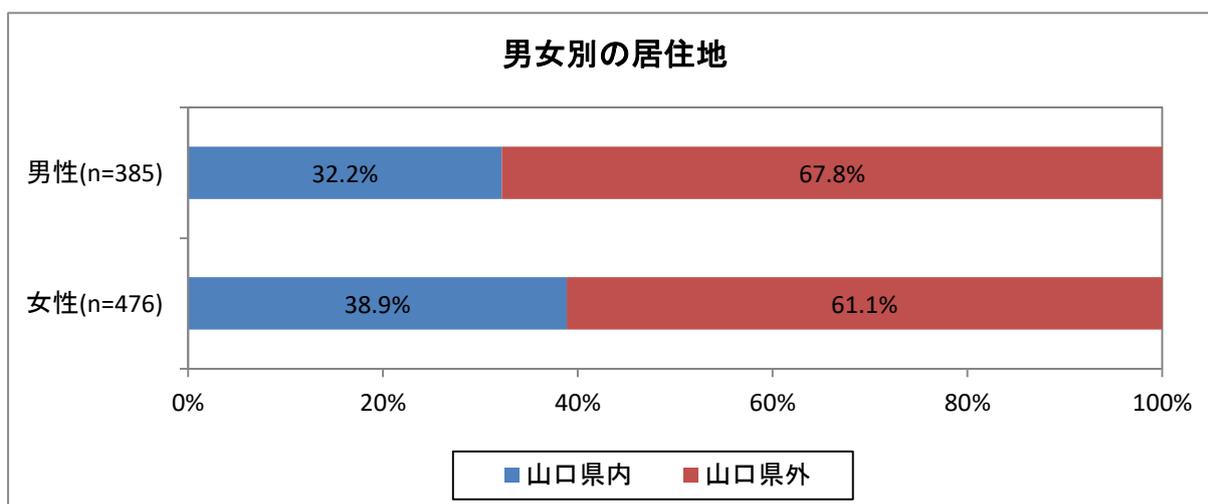


図 1-2-3 は、山口県内から訪れている旅行者のうち、山口県を東部・中部・北部・西部の4つの地域に区分して男女別に表にしたものである。男性では東部が46.8%と最も多く、次いで西部が31.5%、中部が21.0%、北部からは0.8%となっている。女性は東部が38.4%と最も多く、次いで西部が30.3%、中部が28.1%、北部からは3.2%である。

図 1-2-3 男女別居住地（県内地域）

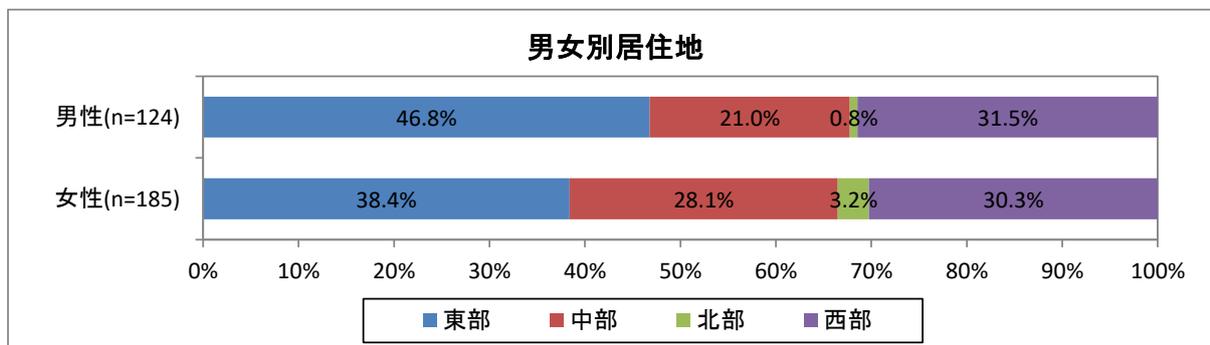


図 1-2-4 は、全国を9つの地域に区分して男女別に表したものである。男女とも中国地方が最も多く54.5%と56.3%であり、次に多いのが、男女とも近畿地方で14.5%と13.4%であった。

図 1-2-4 男女別にみた全国の地方別居住地

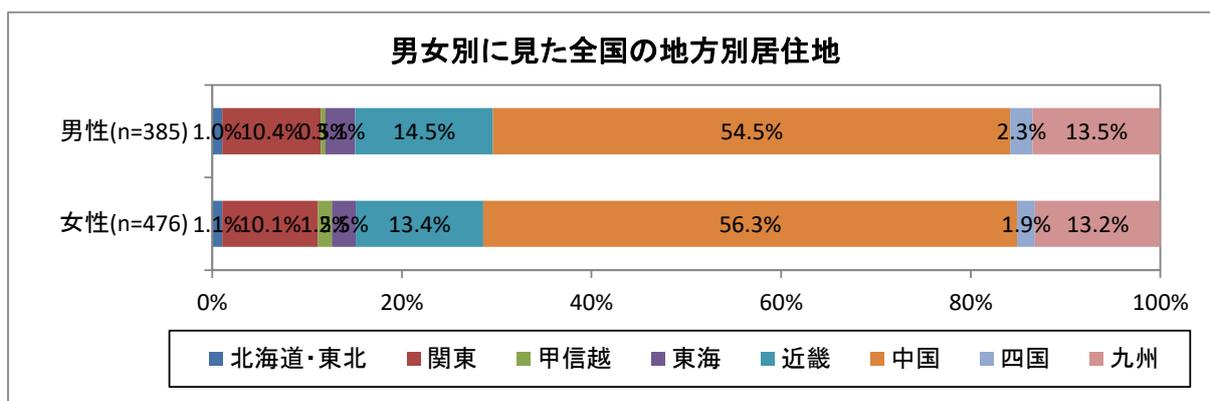


図 1-2-5 は、全旅行日程を男女別に表したものである。男性は 1 泊が最も多く 41.9%、次いで日帰りが 26.0%であり、女性も、1 泊が最も多く 42.5%、日帰りが 30.9%であった。

図 1-2-5 男女別の旅行日程

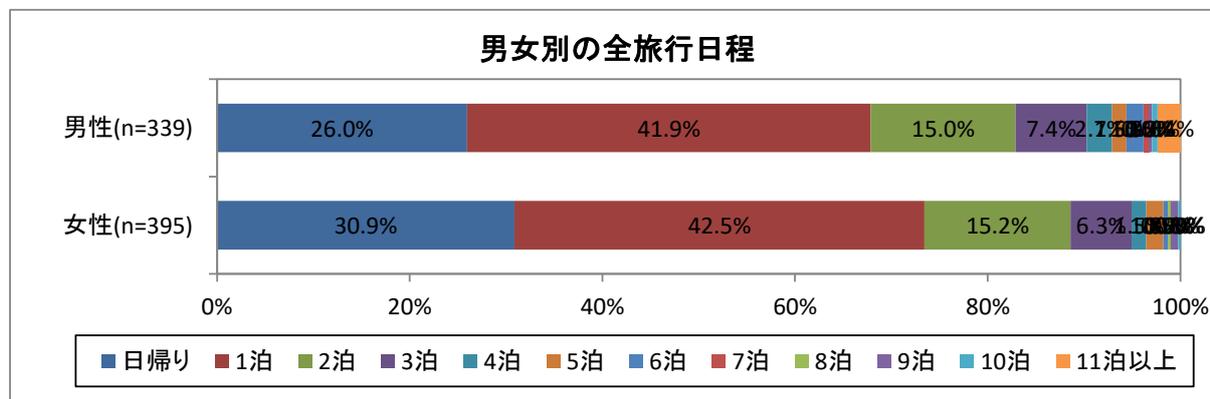


図 1-2-6 は、旅行者のうち、山口市内での旅行日程を男女別に表したものである。男女ともに 1 泊の割合が多く、男性が 56.0%であり、女性は 52.5%であった。

図 1-2-6 男女別の山口市内旅行日程

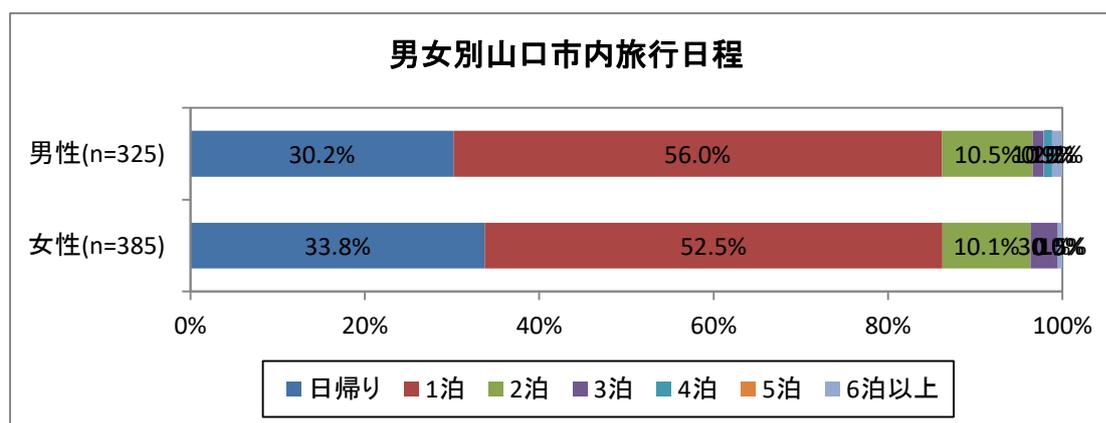
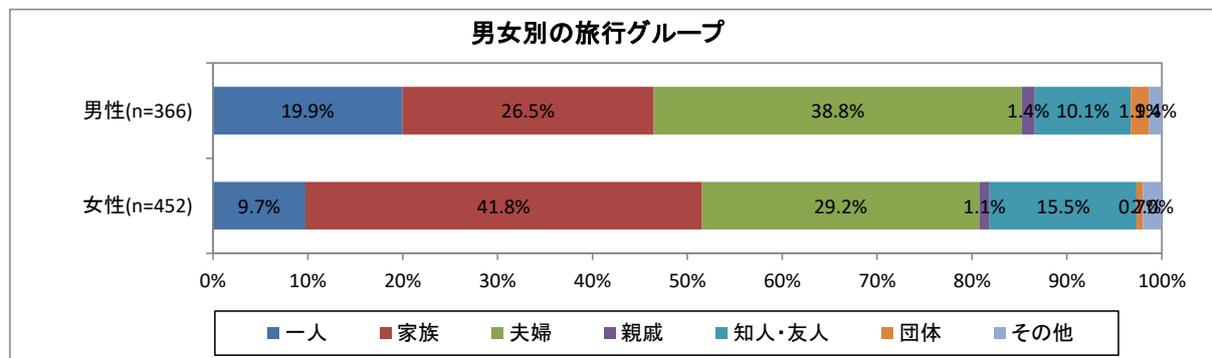


図 1-2-7 は、旅行グループを男女別に表したものである。男性は夫婦が 38.8%と最も多く、次いで家族が 26.5%となっている。女性は家族で訪れている割合が 41.8%と最も多く、次いで夫婦が 29.2%、知人・友人が 15.5%と多い。ひとりの割合は男性で 19.9%、女性では 9.7%という結果になった。

図 1-2-7 男女別の旅行グループ



1-2-2 年齢別にみた旅行者の特徴

図 1-2-8 は、年齢別の回答を居住地別に表したものである。20 代以上では、山口県外が半数を超えており、40 代、50 代の年齢層に関しては約 7 割、20 代に関しては 7 割半を占めている。

図 1-2-8 年齢別にみた居住地

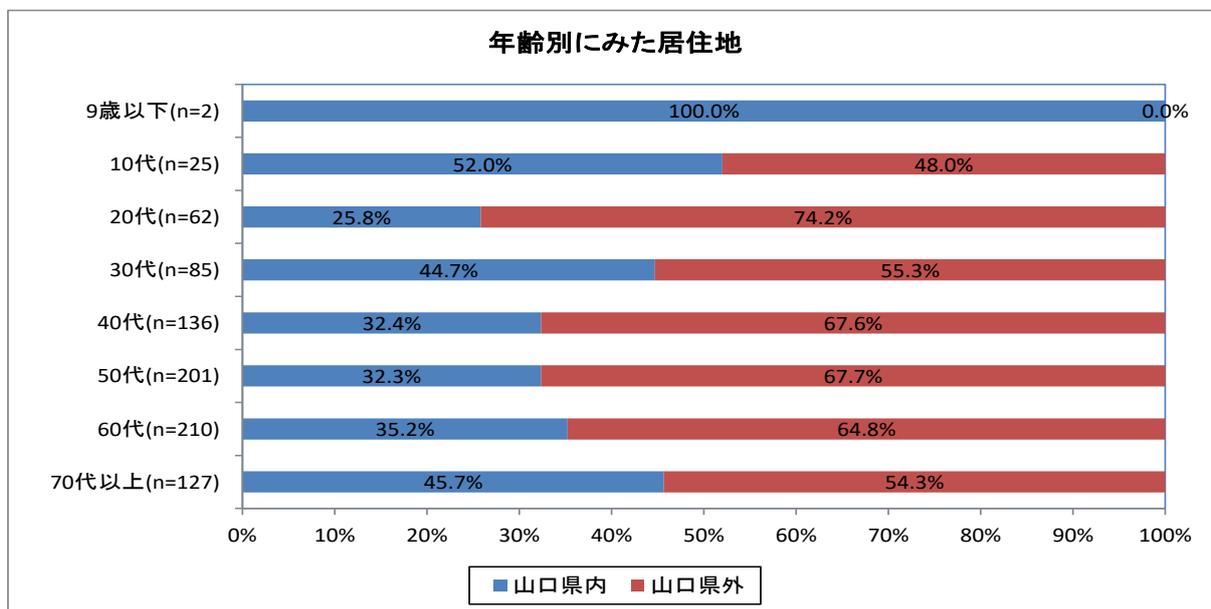


図 1-2-9 は、山口県内居住者を 4 つに区分し年齢別にみたものである。30 代では東部がやや多く、20・40 代では東部と中部が均衡し、50 代は東部が多く、中部・西部が均衡した結果になっている。60 代は西部が多く、70 代以上は東部が多くなっている。

図 1-2-9 年齢別にみた山口県内の居住地

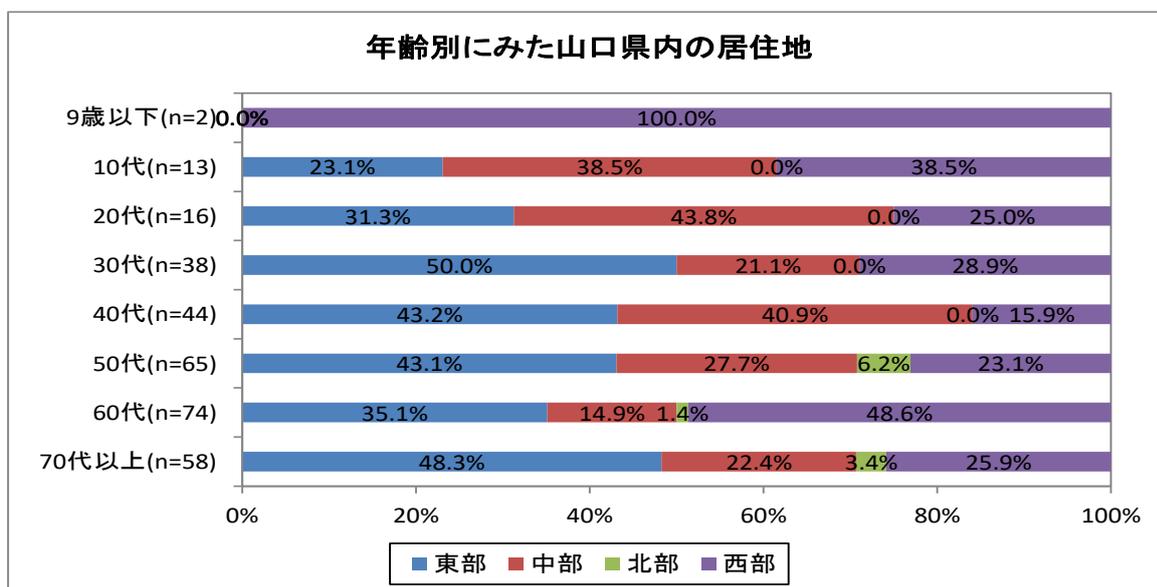


図 1-2-10 は、居住地を 8 つの地方に区分し年齢別に表したものである。どの年齢層も中国地方の割合が最も多く半数超となっている。次いで 20 代～50 代で関東・近畿・九州地方が 10～18% 程度で続いている。

図 1-2-10 年齢別にみた居住地の地方

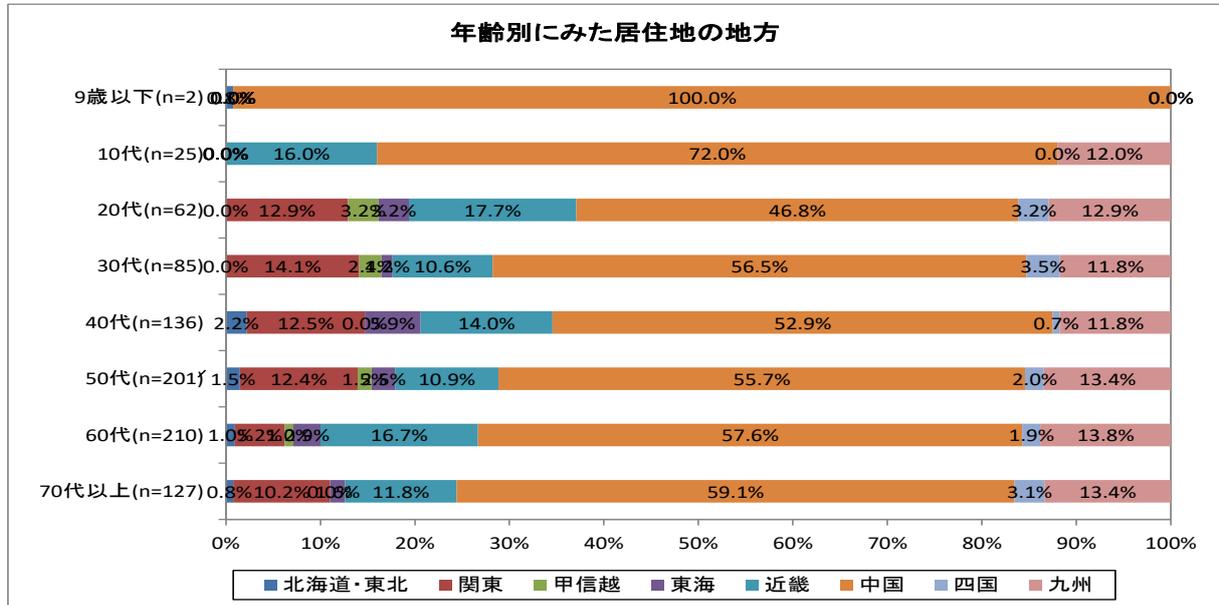


図 1-2-11 は、年齢別の旅行の全行程を表したものである。20 代以上で 1 泊が 40% 前後と高く、20 歳未満で日帰りの割合が高くなっている。40 代では 2 泊の割合もある程高くなっている。

図 1-2-11 年齢別にみた旅行の全行程

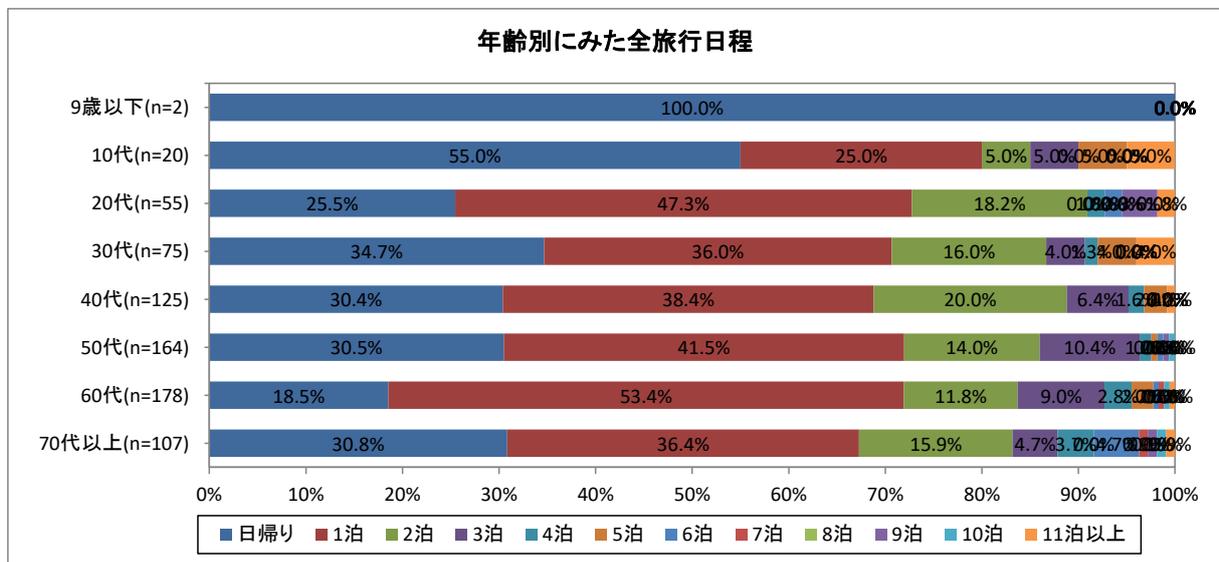


図 1-2-12 は、全旅行日程で宿泊している旅行者のうち、山口市内での旅行日程を年齢別に表したものである。20代未満で日帰りが60%程度と多く、20代以上の年齢層で1泊が4～7割程度を占める結果となっている。

図 1-2-12 年齢別にみた山口市内の旅行日程

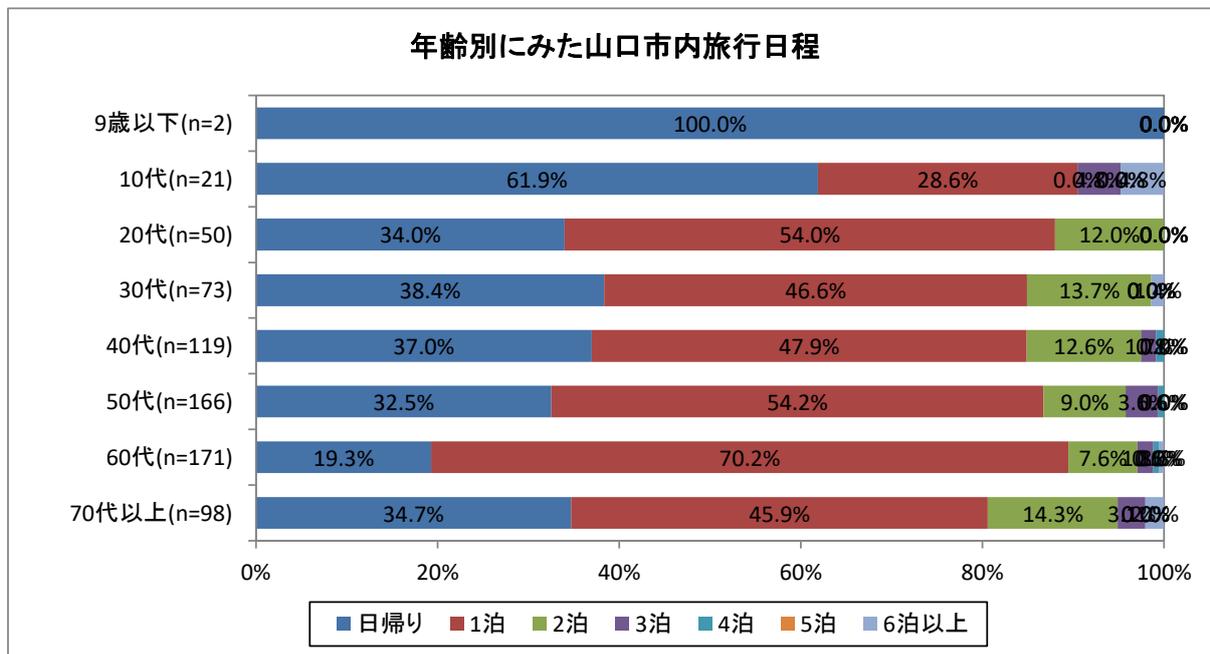
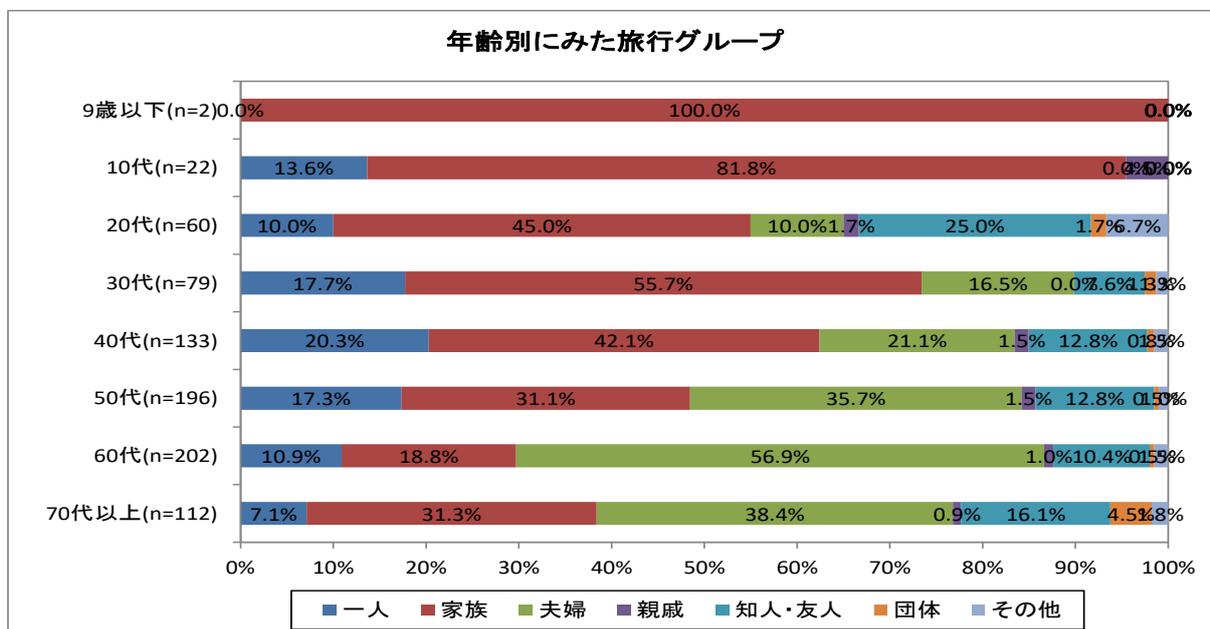


図 1-2-13 は、年齢別の旅行グループを表したものである。20代～30代で約5割が家族で訪れていることがわかる。家族の割合は30代で約56%と特に高い。また年齢が高くなるにつれ、夫婦で訪れる割合が高くなる傾向にある。

図 1-2-13 年齢別にみた旅行グループ



1-2-3 居住地別にみた旅行者の特徴

図 1-2-14 は、山口県内居住者と山口県外居住者を全旅行日程別に表したものである。山口県内居住者は日帰りが 60.8%と高い割合となった。山口県外居住者は 1泊が多く 47.4%、次に 2泊が 20.2%、日帰りが 11.9%となっている。

図 1-2-14 県内居住者と県外居住者の全旅行日程

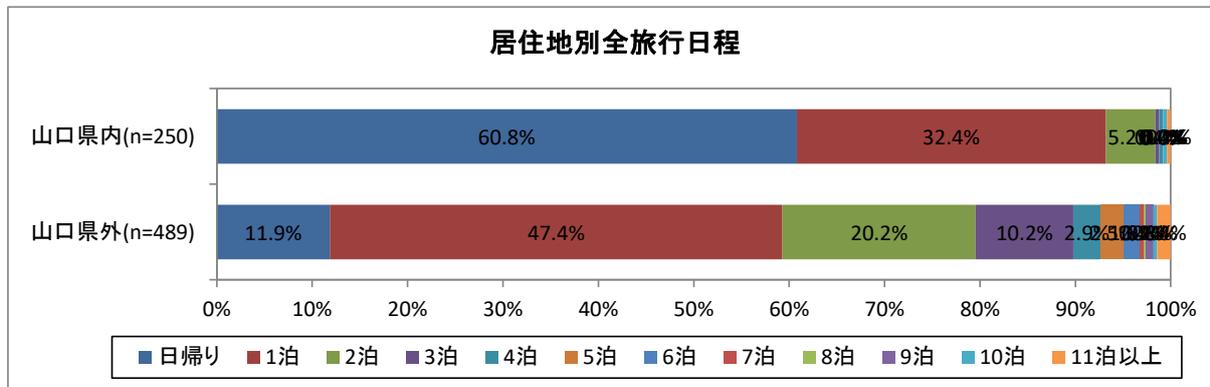


図 1-2-15 は、全旅行日程で宿泊している旅行者のうち、山口市内での旅行日程を山口県内居住者と山口県外居住者別に表したものである。山口県内居住者は 61.1%と日帰りの割合が最も多く、山口県外居住者は 1泊が 64.5%で最も多かった。山口県外居住者は 2泊も 14.3%と多い。

図 1-2-15 県内居住者と県外居住者の山口市内旅行日程

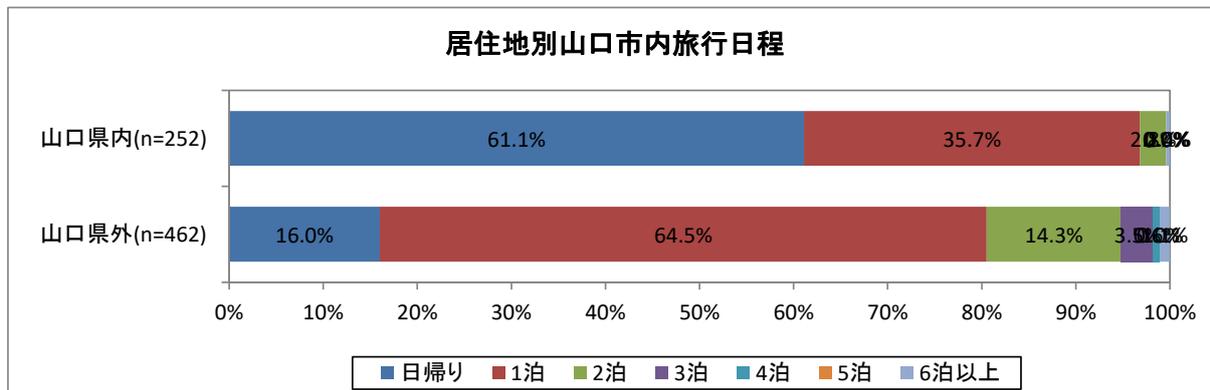


図 1-2-16 は、居住地別の旅行グループを集計したものである。山口県内居住者は家族の割合が最も多く 41.3%、山口県外居住者は夫婦の割合が最も多く 35.8%であり、次いでそれぞれ夫婦と家族の割合が 29.7%と 31.3%と続いている。

図 1-2-16 居住地別にみた旅行グループ

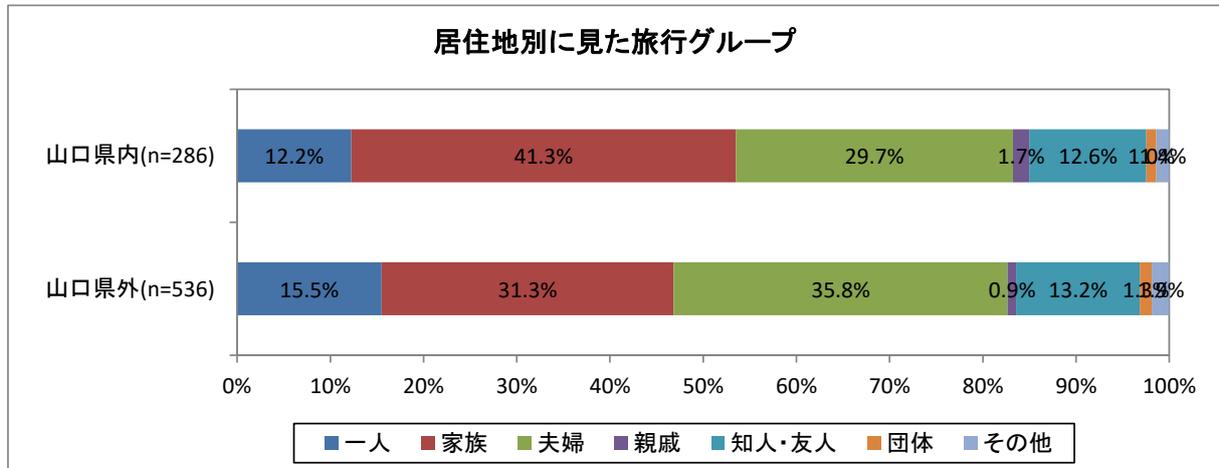


図 1-2-17 は、山口県内居住者を旅行の行程別に表したものである。どの地域においても日帰りが 5~8 割となっている。西部は比較的 1 泊が多くなっている。

図 1-2-17 山口県内地区別にみた旅行の全行程

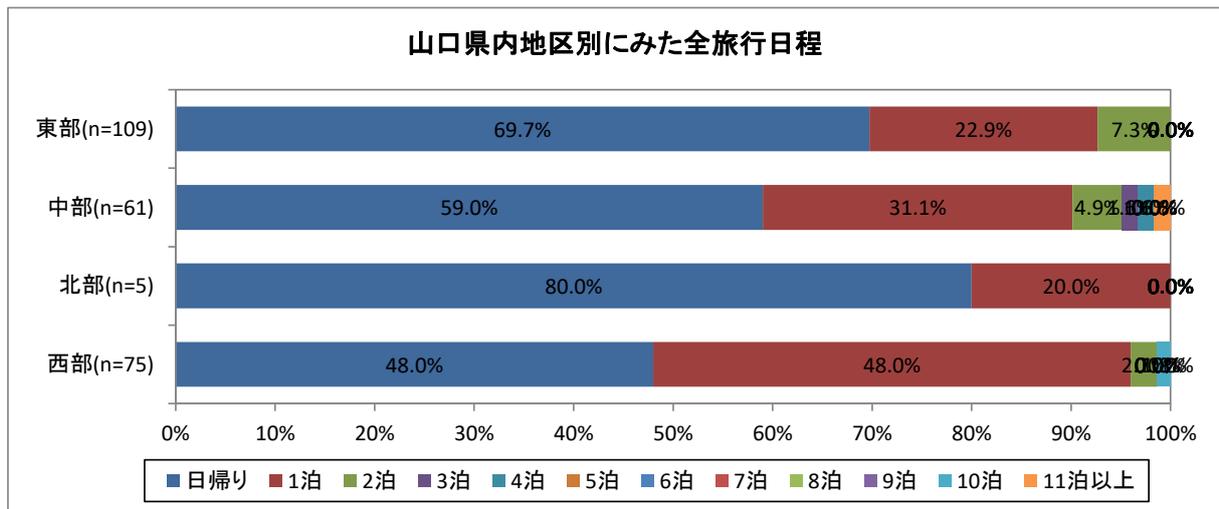


図 1-2-18 は、山口県内居住者のうち、山口市内での旅行日程を居住地区別に表したものである。北部では回答者数そのものが少ないことに注意が必要であるが、どの地区も日帰りの割合が5〜7割程度と高かった。

図 1-2-18 山口県内地区別にみた山口市内の旅行日程

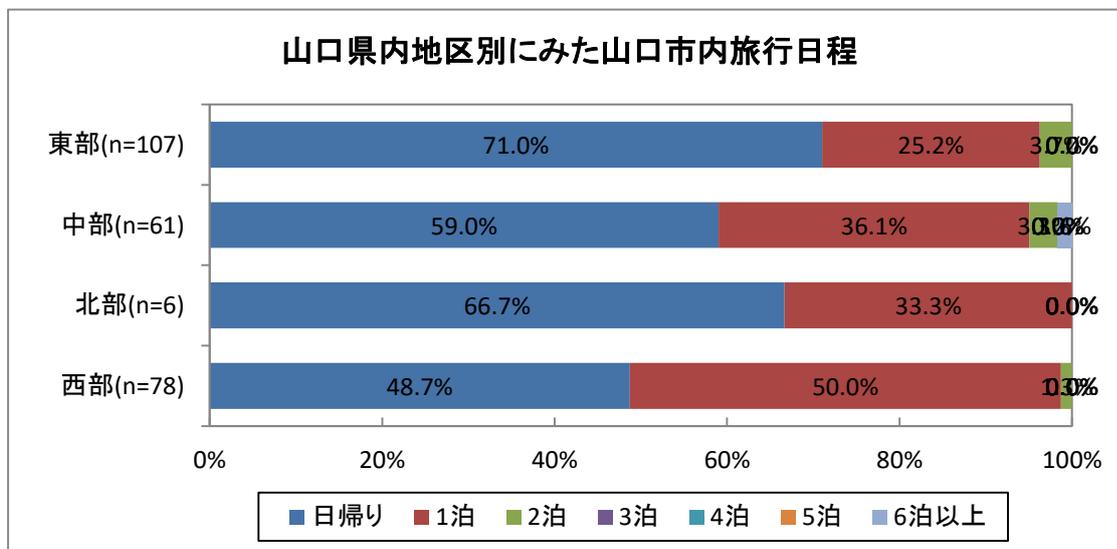


図 1-2-19 は、山口県内居住者を旅行グループ別に集計したものである。北部を除いて家族での訪問の割合が3〜5割を占めている。夫婦の割合も東部と西部で30%程度と多い。

図 1-2-19 山口県内の居住地別にみた旅行グループ

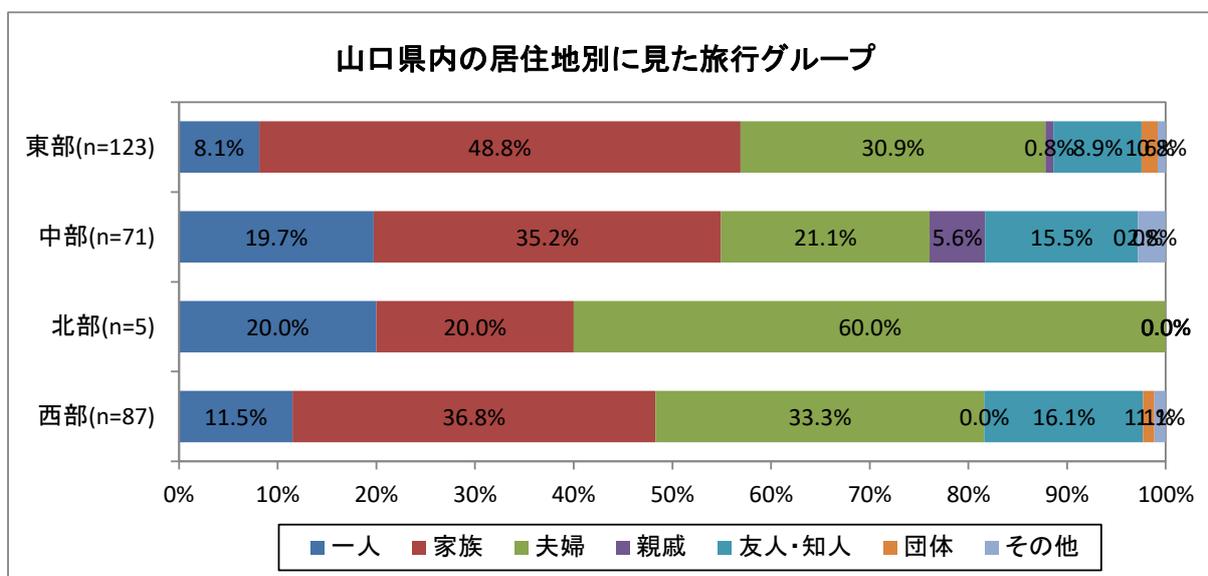


図 1-2-20 は、地方別にみた全旅行日程を表したものである。中国は日帰りが 45.3%と多かったが、九州では 1泊が 43.4%を占める。調査数の多い近畿、関東など山口から離れている地域は 1泊から 3泊の割合が多い結果となった。

図 1-2-20 地方別にみた全旅行日程

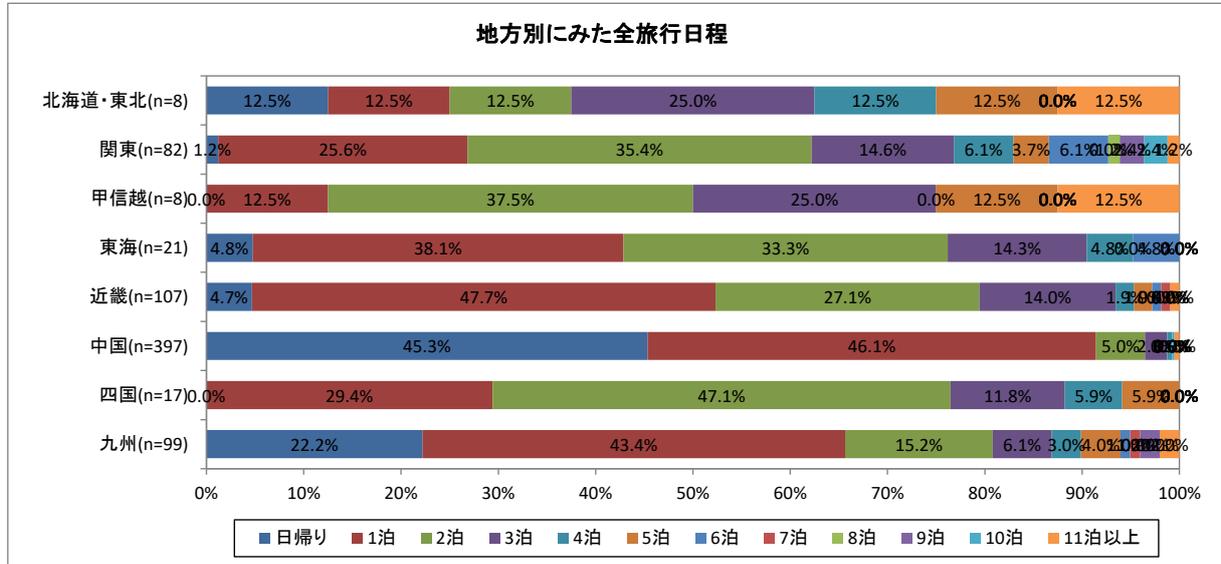


図 1-2-21 は、旅行者のうち、山口市内での旅行日程を地方別に表したものである。中国を除く地方で 1泊の割合が 50%を超えている (n=30 以上の地方)。さらに 1泊と 2泊で 7割以上を占めている。近畿、九州では 1泊の割合が 6割を超えている。関東、近畿で 2泊の割合が高くなっている。

図 1-2-21 地方別にみた山口市内の旅行日程

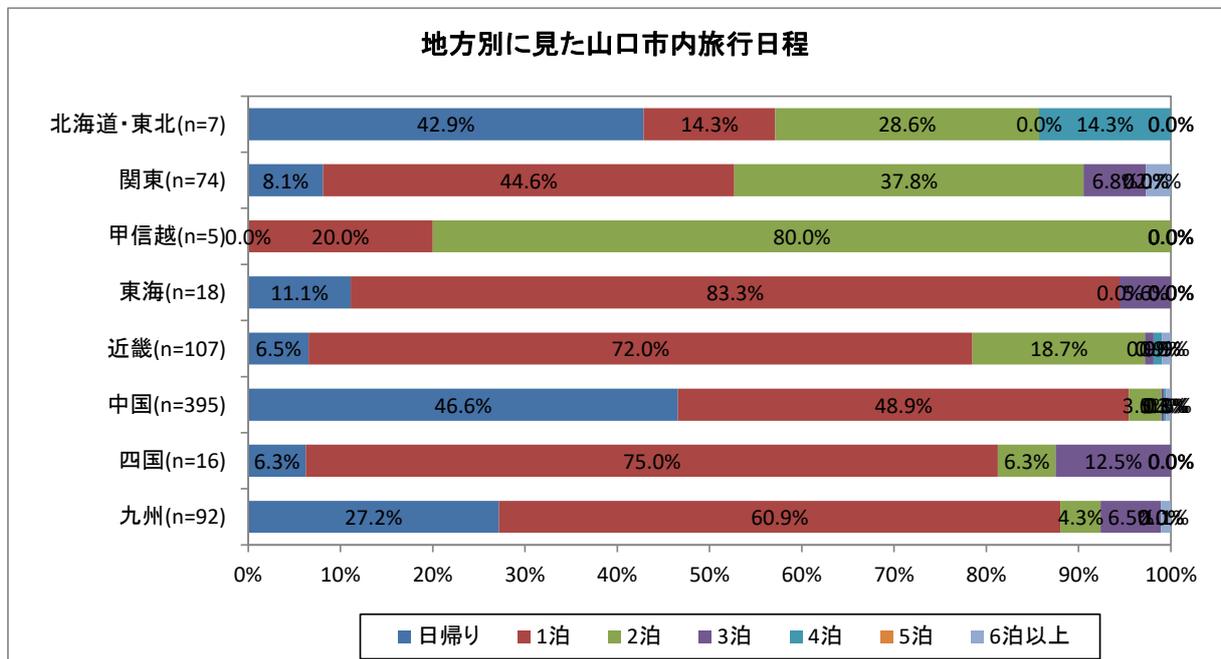
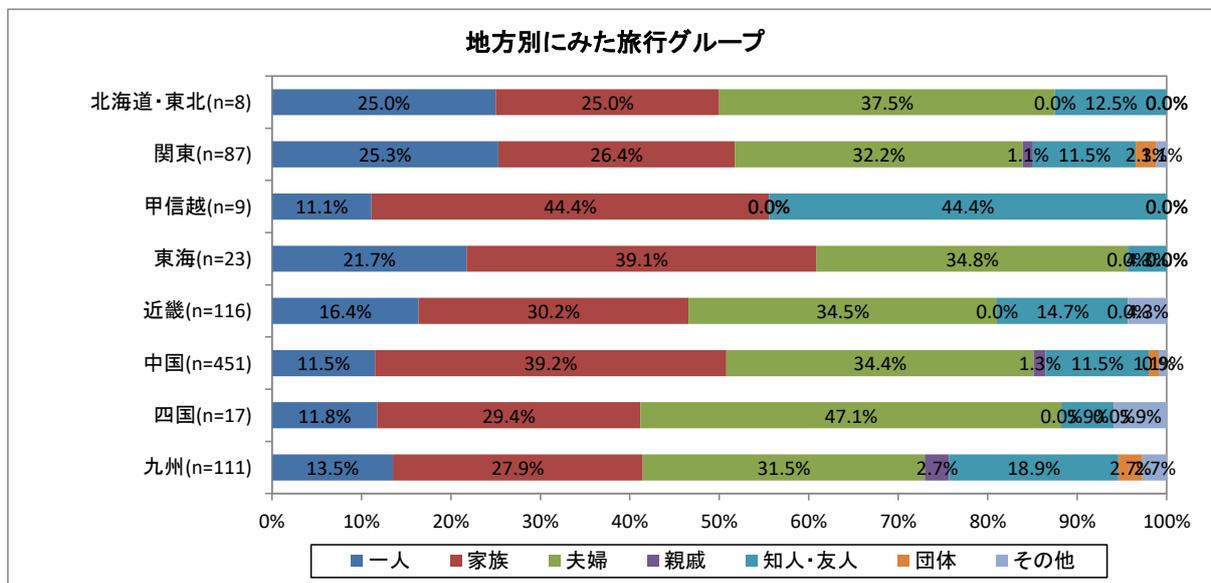


図 1-2-22 は、地方別にみた旅行グループを表したものである。調査数の多い中国、九州、近畿、関東に注目すると、中国で家族の割合が比較的多かった。関東では一人が比較的多く、近畿・九州では家族と夫婦が拮抗している。

図 1-2-22 地方別にみた旅行グループ



1-2-4 旅行グループ別にみた旅行者の特徴

図 1-2-23 は、旅行グループ別にみた全旅行日程を表したものである。調査数の多かったひとり、家族、夫婦、知人・友人を確認すると、家族で日帰りが 34.0%と比較的多かった。夫婦と知人・友人で 1泊が 5割近くと多く、ひとりでは日帰りとも 1泊で 5割強となっている。

図 1-2-23 旅行グループ別にみた全旅行日程

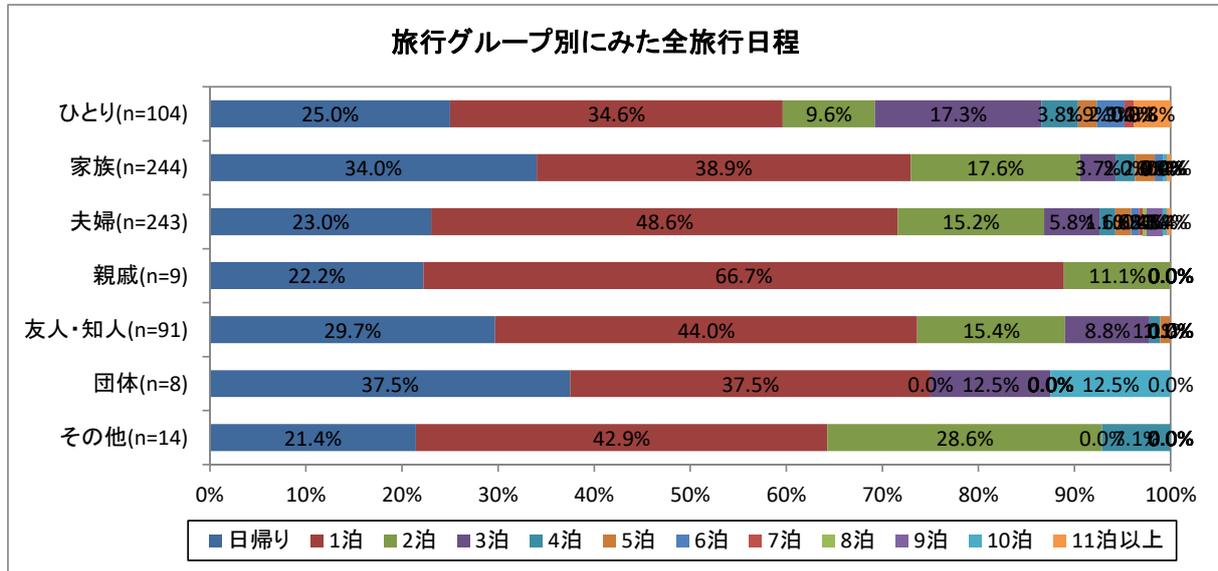
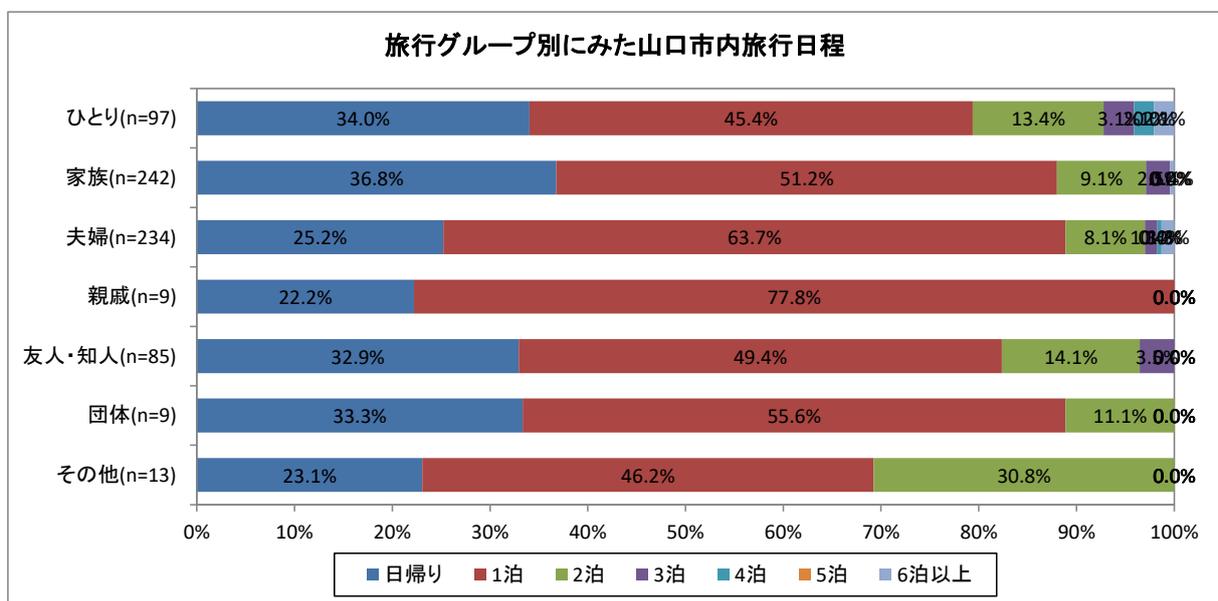


図 1-2-24 は、山口市内での旅行日程を旅行グループ別に表したものである。すべてのグループで 1泊が最も高い割合を占め、なかでも夫婦で 6割強の結果となった。

図 1-2-24 旅行グループ別にみた山口市内旅行日程



1-2-5 山口市外の訪問地区

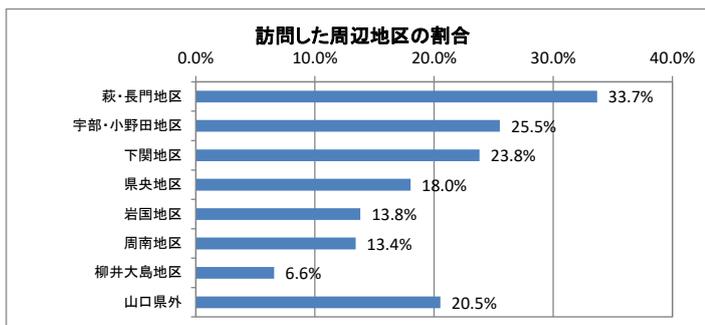
(1) 山口市外の訪問地区

表 1-2-1 は、山口市外の地区への訪問者を示したものである。山口市を訪れる際、その他に訪問した周辺地区は、萩・長門地区が 33.7%と最も多い。次いで宇部・小野田地区が 25.5%、下関地区が 23.8%となっている。山口市を訪問する旅行者は山口県内の地域だけを周遊するのではなく、山口県外地域も 20.5%が訪れている。

表 1-2-1 訪問地区

	回答数	割合
岩国地区	105	13.8%
柳井大島地区	50	6.6%
周南地区	102	13.4%
県央地区	137	18.0%
萩・長門地区	256	33.7%
下関地区	181	23.8%
宇部・小野田地区	194	25.5%
山口県外	156	20.5%
合計	1181	155.4%
回答者数	760	100.0%

図 1-2-25 訪問地区の割合



注) 複数回答である。

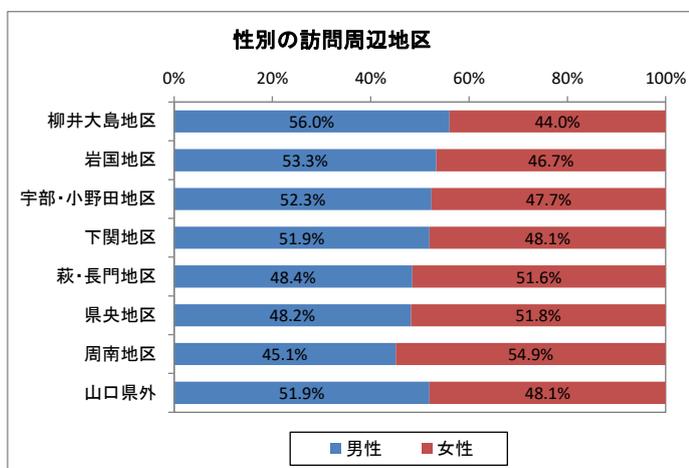
(2) 山口市外の地区を訪問している訪問者の属性

表 1-2-2 は、山口市外の地区を訪問している訪問者を性別に表したものである。山口市と他の地区を訪れている観光客は全体的には女性の比率が高くなっているが、東部や宇部・小野田地区、下関地区などでは男性の比率が高い。

表 1-2-2 性別の訪問地区

	男性	女性	合計
岩国地区	56	49	105
柳井大島地区	28	22	50
周南地区	46	56	102
県央地区	66	71	137
萩・長門地区	124	132	256
下関地区	94	87	181
宇部・小野田地区	101	92	193
山口県外	81	75	156
合計	596	584	1,180
回答者数	366	452	818

図 1-2-26 性別の訪問地区



注) 複数回答である。

表 1-2-3 は、山口市外の地区を訪問した訪問者の年齢構成を示したものである。他の地区を訪問した年齢は、30～60代が多い結果となった。他の地区別では山口市とともに周遊する回答数が多い萩・長門地区で60代が多く約34%である。次に回答数が多い宇部・小野田地区では、50代が31.4%と最も高い比率となっている。

表 1-2-3 山口市外の地区に訪問した訪問者の年齢構成（複数回答）

	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
岩国地区	0	3	9	11	18	31	20	10	102
柳井大島地区	0	1	4	8	10	12	9	6	50
周南地区	0	3	4	15	12	33	25	10	102
県央地区	0	3	13	13	16	28	41	20	134
萩・長門地区	0	5	15	18	37	46	85	47	253
下関地区	0	6	14	14	28	48	46	23	179
宇部・小野田地区	0	5	13	17	28	60	40	28	191
山口県外	0	4	8	17	24	37	40	24	154
合計	0	30	80	113	173	295	306	168	1,165

注) 複数回答である。

図 1-2-27 山口市外の地区に訪問した訪問者の年齢構成

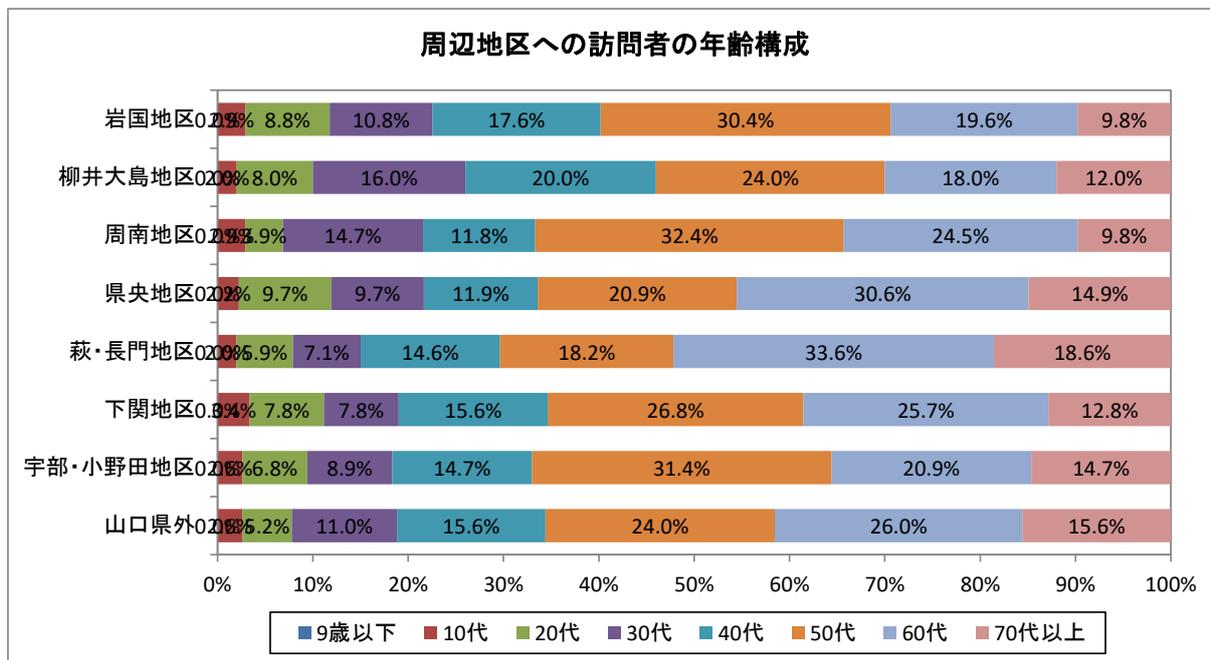


表 1-2-4 は、山口市外の地区への訪問者の居住地を示したものである。県外客が訪問している地区で最も比率が高かったのが岩国地区で 87.6%、下関地区が 81.7%であり、山口県外も 87.8%と山口県内外の地域で周遊していることがわかる。

また、県内居住者においては、柳井大島地区への訪問が 44.0%と最も多い。次いで、周南地区が 34.3%、県央地区が 33.6%、萩・長門地区が 30.9%と続いている。

表 1-2-4 山口市外の地区への訪問者の居住地

	山口県内	山口県外	合計
岩国地区	13	92	105
柳井大島地区	22	28	50
周南地区	35	67	102
県央地区	46	91	137
萩・長門地区	79	177	256
下関地区	33	148	181
宇部・小野田地区	54	140	194
山口県外	19	137	156
合計	301	880	1,181

注) 複数回答である。

図 1-2-28 山口市外地区訪問者の居住地

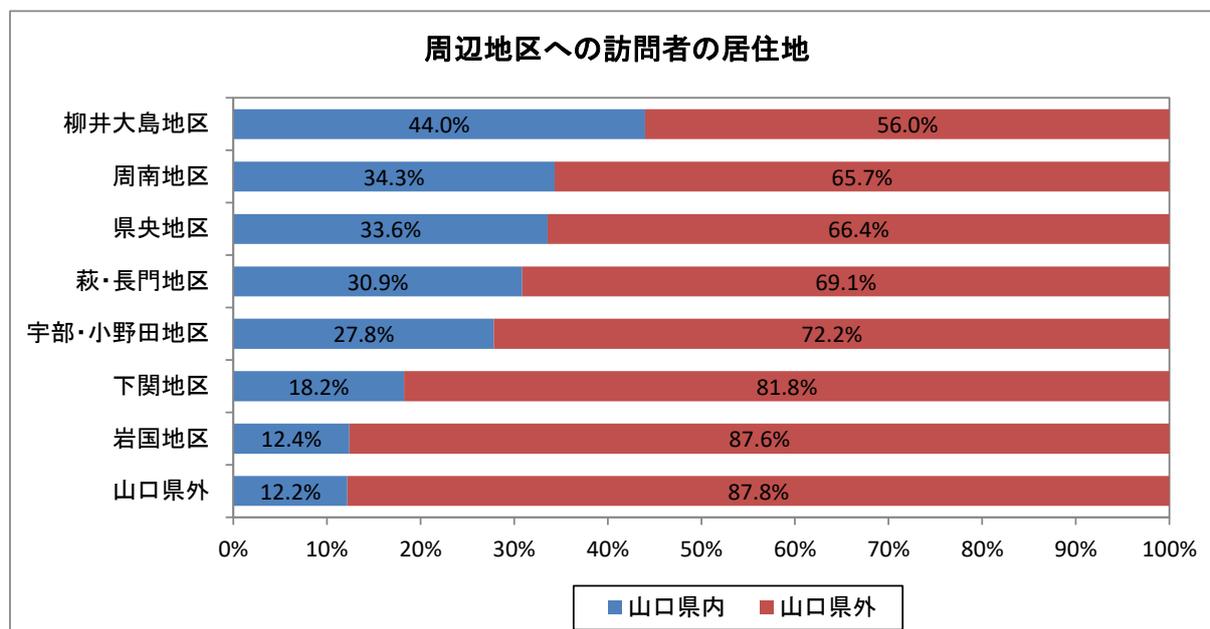


表 1-2-5 は、山口市外の地区を訪問した訪問者の全旅行日程を示したものである。山口市外の地区を訪問する訪問者のうち、日帰りの比率が高いのは柳井大島地区が 30.4%であり、周南地区への訪問が 23.9%であった。宿泊した訪問者の割合が多いのは 1泊と 2泊である。県外への訪問者では 2～3泊する割合が約 36%と高い。

表 1-2-5 山口市外の地区を訪問した訪問者の全旅行日程

	日帰り	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10泊	11泊以上	合計
岩国地区	10	40	16	9	5	1	3	0	0	0	0	5	89
柳井大島地区	14	12	13	1	1	0	0	0	0	0	0	4	46
周南地区	21	36	12	8	2	1	1	1	0	0	1	5	88
県央地区	27	49	21	10	4	4	1	1	0	2	1	6	126
萩・長門地区	46	72	50	25	8	8	7	1	0	1	1	5	224
下関地区	20	51	42	12	8	5	3	0	0	2	2	6	151
宇部・小野田地区	34	65	33	18	2	6	5	1	0	1	1	6	172
山口県外	12	42	29	21	10	10	5	1	0	2	1	5	138
合計	184	367	216	104	40	35	25	5	0	8	8	42	1,034

注) 複数回答である。

図 1-2-29 山口市外の地区を訪問した訪問者の全旅行日程

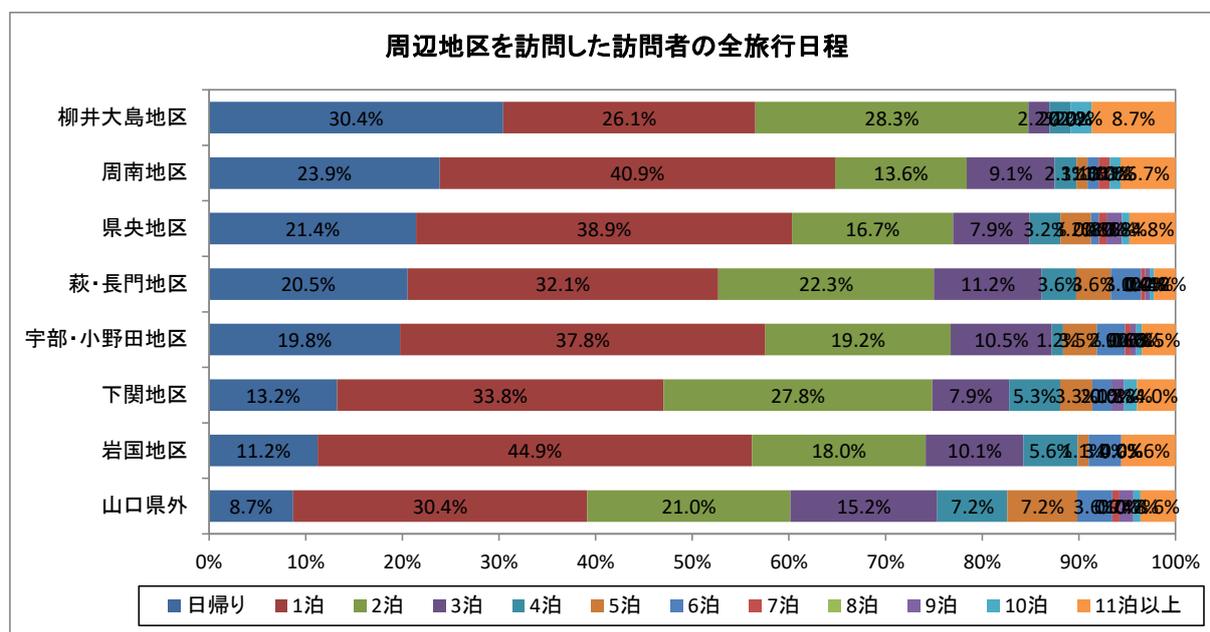


表 1-2-6 は、山口市外の地区を訪問した訪問者の山口市内での旅行日程を表したものである。山口市内に宿泊する訪問者のうち割合が多いのは1泊で、岩国地区が63.1%であり、下関地区が58.3%であった。これら以外の地区を周遊する訪問者も山口市内で1泊する割合は50%を超えている。

表 1-2-6 山口市外の地区を訪問した訪問者の山口市内旅行日程

	日帰り	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊以上	合計
岩国地区	16	53	10	3	0	0	2	84
柳井大島地区	14	19	3	1	0	0	1	38
周南地区	23	43	8	1	0	0	1	76
県央地区	29	64	10	5	1	0	2	111
萩・長門地区	55	121	29	10	1	0	4	220
下関地区	28	88	24	8	1	0	2	151
宇部・小野田地区	39	88	17	6	1	0	2	153
山口県外	18	70	25	7	1	0	1	122
合計	222	546	126	41	5	0	15	955

注) 複数回答である。

図 1-2-30 山口市外の地区を訪問した訪問者の山口市内旅行日程

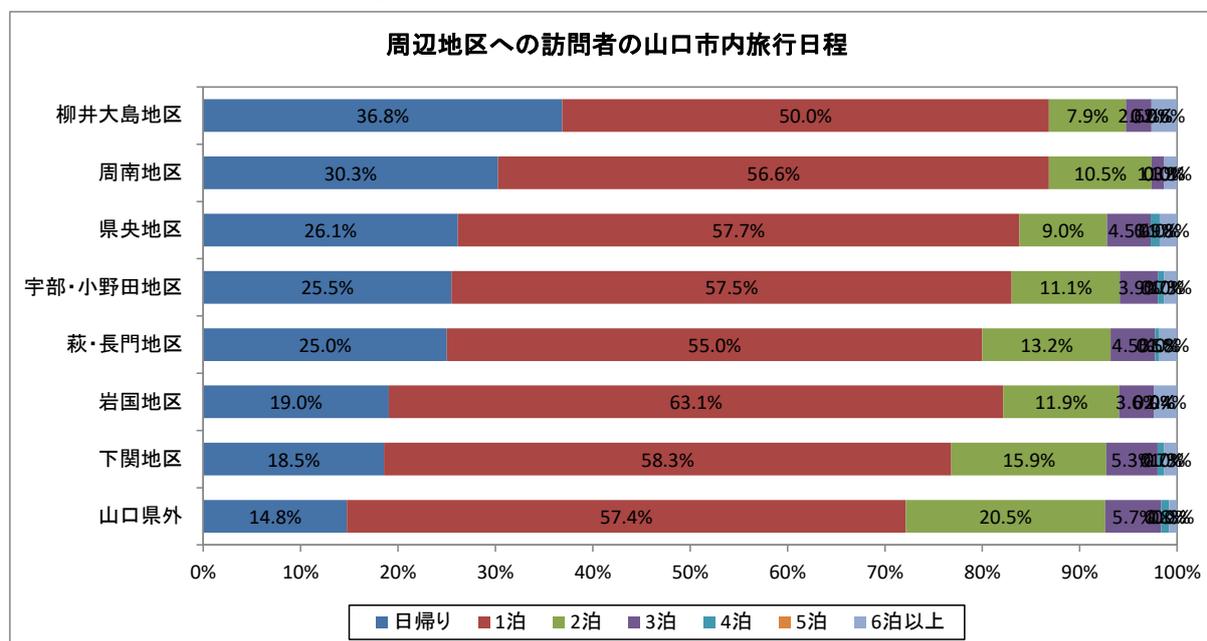


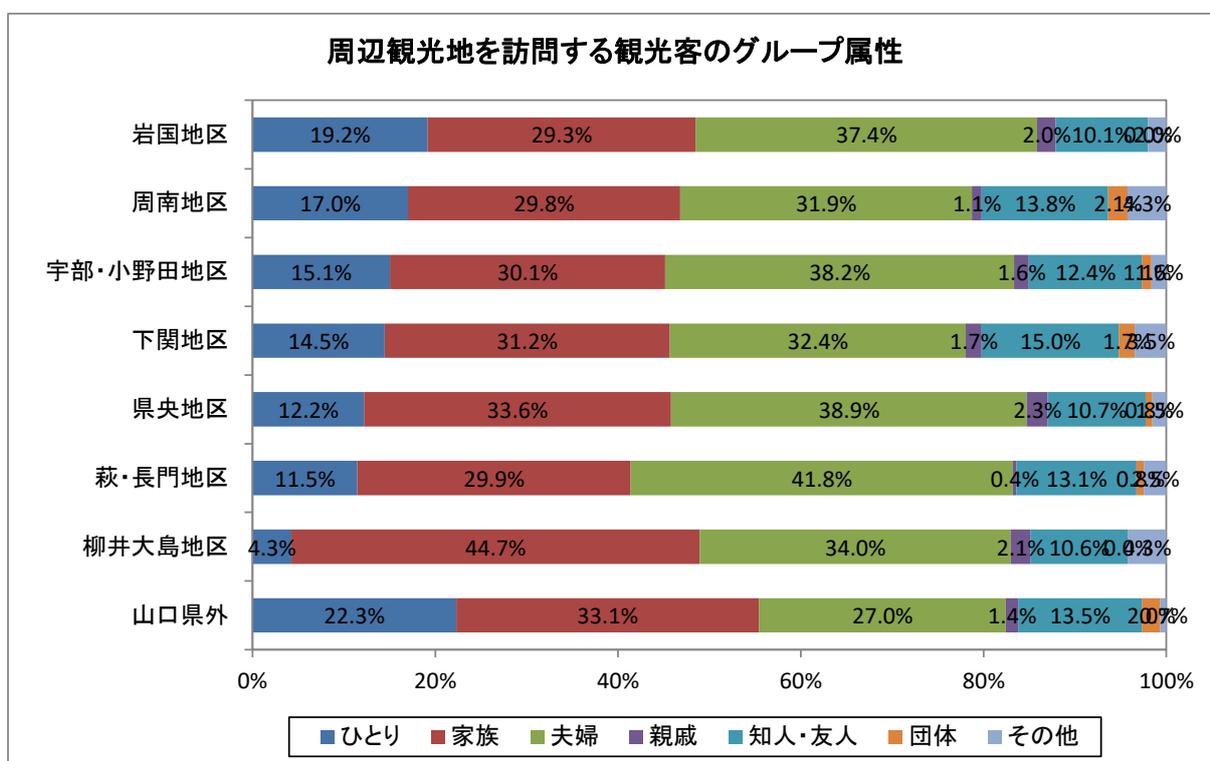
表 1-2-7 は、山口市外の地区を訪問した訪問者のグループ属性を表したものである。山口市外の地区を訪問する訪問者は家族連れや夫婦が多く、2つの合計がすべての地区で半数超を占めている。家族で訪問する地区は44.7%で柳井大島地区が最も多く、次いで県央地区が33.6%、下関地区が31.2%となっている。

表 1-2-7 山口市外の地区を訪問した訪問者のグループ属性

	ひとり	家族	夫婦	親戚	知人・友人	団体	その他	合計
岩国地区	19	29	37	2	10	0	2	99
柳井大島地区	2	21	16	1	5	0	2	47
周南地区	16	28	30	1	13	2	4	94
県央地区	16	44	51	3	14	1	2	131
萩・長門地区	28	73	102	1	32	2	6	244
下関地区	25	54	56	3	26	3	6	173
宇部・小野田地区	28	56	71	3	23	2	3	186
山口県外	33	49	40	2	20	3	1	148
合計	167	354	403	16	143	13	26	1,122

注) 複数回答である。

図 1-2-31 山口市外の地区を訪問した訪問者のグループ属性



1-2-6 旅行のきっかけとなった情報源

(1) 単純集計結果

表 1-2-8 は、旅行のきっかけとなった情報源の単純集計結果である。山口市を訪れた旅行者が参考にした、または、今回の旅行のきっかけとなった情報源は、友人・知人が 16.6%で最多であった。次いで観光情報サイトが 14.3%で、旅行誌・ガイドブックが 12.4%であった。

表 1-2-8 旅行のきっかけとなった情報源

訪問者の情報源	回答数	割合
テレビ	58	7.1%
ラジオ	3	0.4%
新聞	11	1.3%
旅行誌・ガイドブック	102	12.4%
ポスター	5	0.6%
行政および観光協会のパンフレット	54	6.6%
旅行会社のパンフレット	33	4.0%
友人・知人	136	16.6%
観光情報サイト	117	14.3%
個人のブログ・SNS	24	2.9%
その他	277	33.8%
合計	820	100.0%

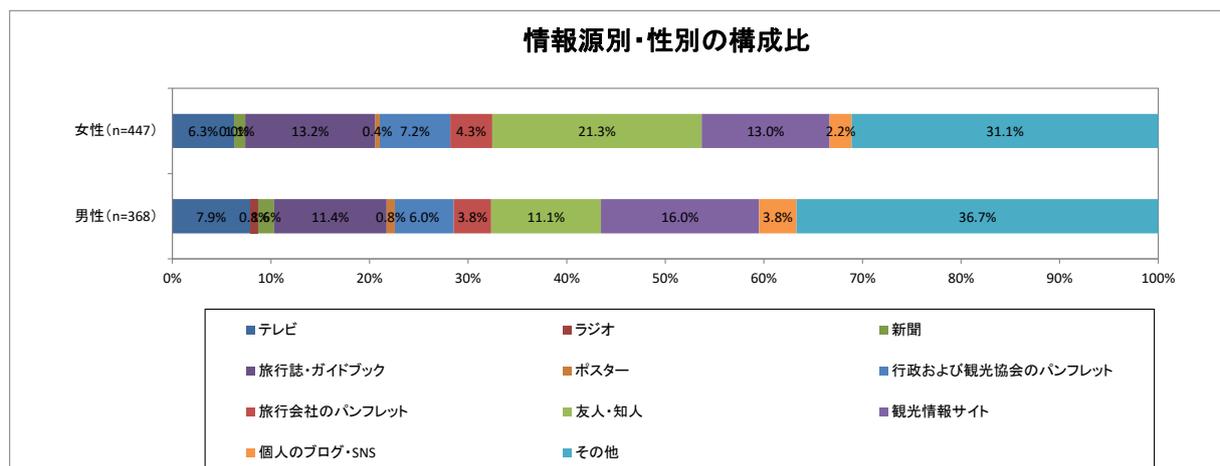
(2) 性別の情報源

表 1-2-9 は、旅行のきっかけとなった情報源を性別に示している。友人・知人で女性が 21.3% と高い比率となっている。一方、観光情報サイトで男性が上回っており、それ以外の情報源では男女で大きな差がみられない（2ポイント以内）。

表 1-2-9 性別の情報源

	テレビ	ラジオ	新聞	旅行誌・ガイドブック	ポスター	行政および観光協会のパンフレット	旅行会社のパンフレット	友人・知人	観光情報サイト	個人のブログ・SNS	その他	合計
男性	29	3	6	42	3	22	14	41	59	14	135	368
女性	28	0	5	59	2	32	19	95	58	10	139	447
合計	57	3	11	101	5	54	33	136	117	24	274	815

図 1-2-32 情報源別・性別の構成比



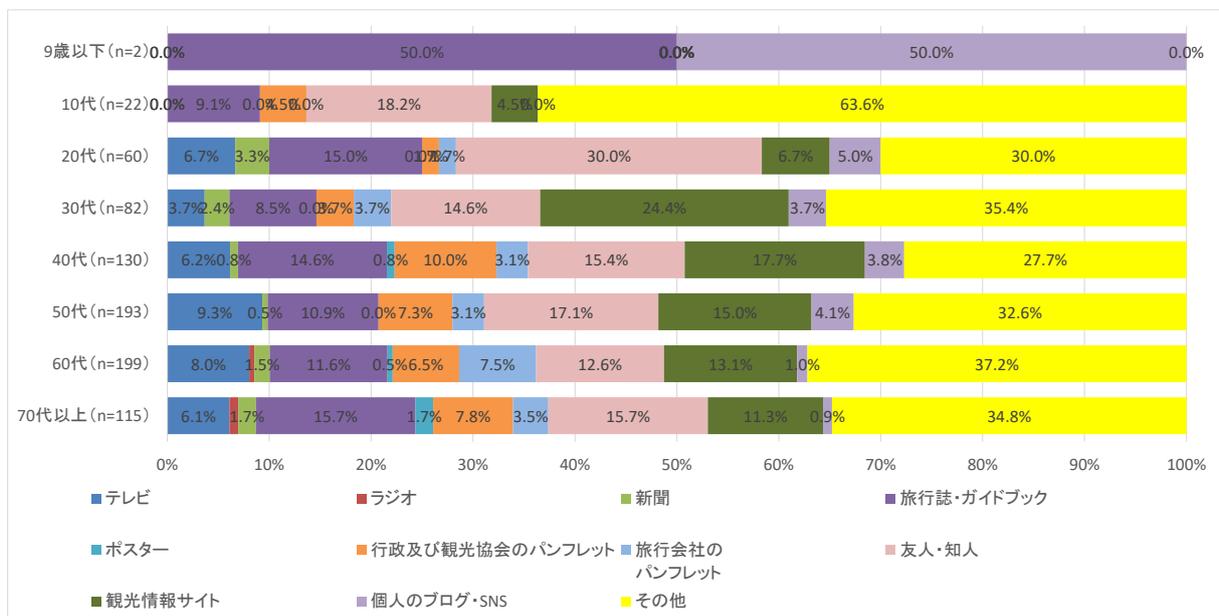
(3) 年齢別の情報源

表 1-2-10 は、年齢別にどのような情報源を利用したのかを示している。友人・知人と答えた比率がどの年代でも多くなっており、10~30%を占めている。交友関係や口コミが観光のきっかけになっているということは、世代を超えて当てはまると考えられる。また旅行誌・ガイドブックの割合も比較的高く、若年層ではネットの割合が高い。特に20代では個人のブログ・SNSが5.0%と比較的高い割合となっている。

表 1-2-10 年齢別の情報源

	テレビ	ラジオ	新聞	旅行誌・ガイドブック	ポスター	行政及び観光協会のパンフレット	旅行会社のパンフレット	友人・知人	観光情報サイト	個人のブログ・SNS	その他	合計
9歳以下	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
10代	0	0	0	2	0	1	0	4	1	0	14	22
20代	4	0	2	9	0	1	1	18	4	3	18	60
30代	3	0	2	7	0	3	3	12	20	3	29	82
40代	8	0	1	19	1	13	4	20	23	5	36	130
50代	18	0	1	21	0	14	6	33	29	8	63	193
60代	16	1	3	23	1	13	15	25	26	2	74	199
70代以上	7	1	2	18	2	9	4	18	13	1	40	115
合計	56	2	11	100	4	54	33	130	116	23	274	803

図 1-2-33 年齢別の情報源



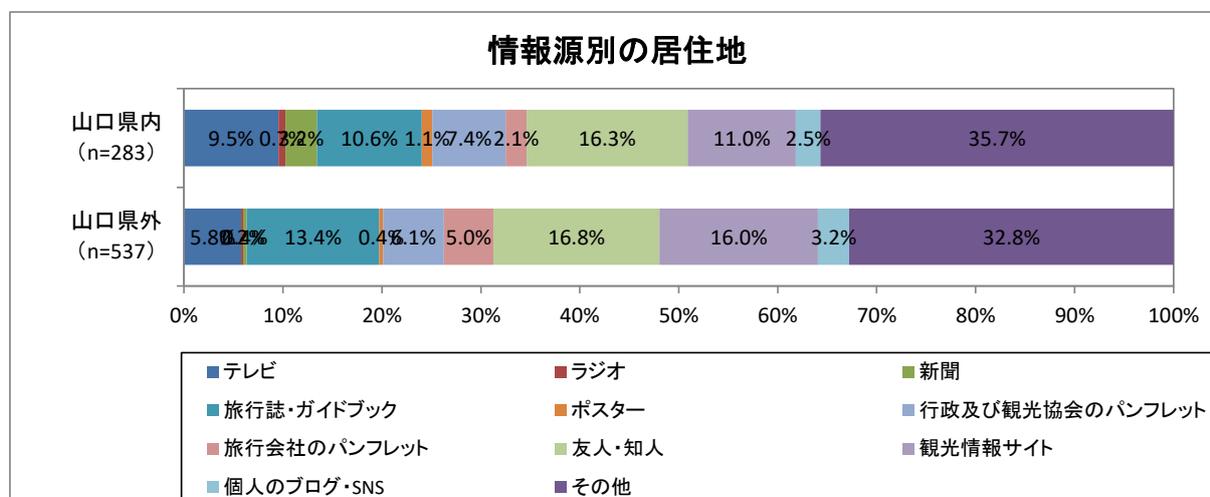
(4) 居住地別の情報源

表 1-2-11 は、居住地別の情報源を示したものである。居住地と情報源の関係をみると、旅行誌・ガイドブック、旅行会社のパンフレットでは、県外居住者の比率が高い。一方、県内居住者ではテレビや新聞、行政及び観光協会のパンフレットの割合が比較的高くなっており、地元からの情報発信の効果は県内で強く表れている。

表 1-2-11 居住地別の情報源

	テレビ	ラジオ	新聞	旅行誌・ガイドブック	ポスター	行政及び観光協会のパンフレット	旅行会社のパンフレット	友人・知人	観光情報サイト	個人のブログ・SNS	その他	合計
県内	27	2	9	30	3	21	6	46	31	7	101	283
県外	31	1	2	72	2	33	27	90	86	17	176	537
合計	58	3	11	102	5	54	33	136	117	24	277	820

図 1-2-34 居住地別の情報源



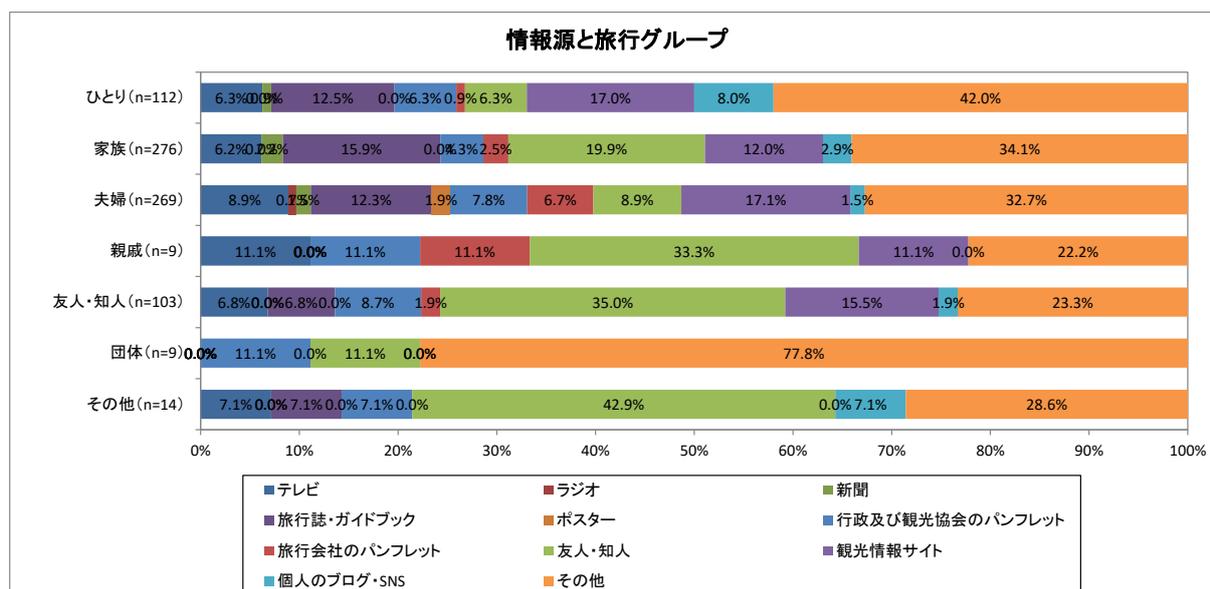
(5) 情報源と旅行グループ

表 1-2-12 は、旅行グループと情報源の関係を示したものである。回答数の多いのは家族、次に多いのが夫婦、ひとり、友人・知人である。家族、夫婦ではテレビや旅行誌・ガイドブック、友人・知人、観光情報サイトが 10～20% で並んでおり、行政及び観光協会のパンフレットも比較的多い。口コミ以外の情報の利用状況は旅行グループによってさまざまであるといえる。友人・知人のグループでは、友人・知人を情報源とする比率が比較的高く、3 割半を占めている。

表 1-2-12 情報源と旅行グループ

	テレビ	ラジオ	新聞	旅行誌・ガイドブック	ポスター	行政及び観光協会のパンフレット	旅行会社のパンフレット	友人・知人	観光情報サイト	個人のブログ・SNS	その他	合計
ひとり	7	0	1	14	0	7	1	7	19	9	47	112
家族	17	0	6	44	0	12	7	55	33	8	94	276
夫婦	24	2	4	33	5	21	18	24	46	4	88	269
親戚	1	0	0	0	0	1	1	3	1	0	2	9
友人・知人	7	0	0	7	0	9	2	36	16	2	24	103
団体	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	7	9
その他	1	0	0	1	0	1	0	6	0	1	4	14
合計	57	2	11	99	5	52	29	132	115	24	266	792

図 1-2-35 情報源と旅行グループ



1-3 湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」と周遊

1-3-1 「狐の足あと」訪問者の特徴

ここでは、2015年3月に開館した湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」の訪問者を中心に再集計して特徴をみていく。なお、「その他」の項目は、便宜上「狐の足あと」以外の選択肢を合計して算出した値である。

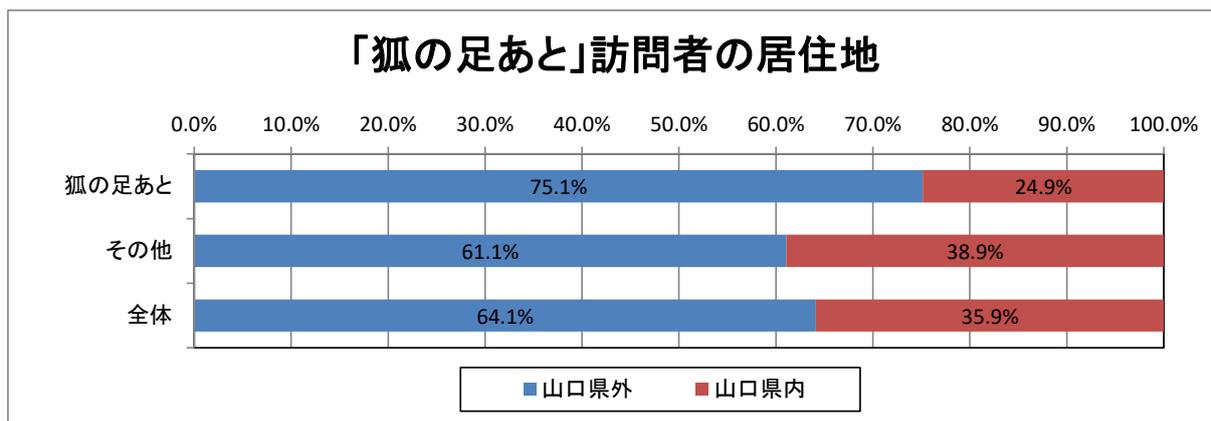
(1) 「狐の足あと」訪問者の居住地

表 1-3-1 は、「狐の足あと」訪問者の居住地を山口県外と県内に分けて示したものである。山口県外の居住者が 75.1% を占めており、その他、全体と比較して高い割合である。

表 1-3-1 「狐の足あと」訪問者の居住地

	訪問者数			割合		
	狐の足あと	その他	全体	狐の足あと	その他	全体
山口県外	142	414	556	75.1%	61.1%	64.1%
山口県内	47	264	311	24.9%	38.9%	35.9%
合計	189	678	867	100.0%	100.0%	100.0%

図 1-3-1 「狐の足あと」訪問者の居住地



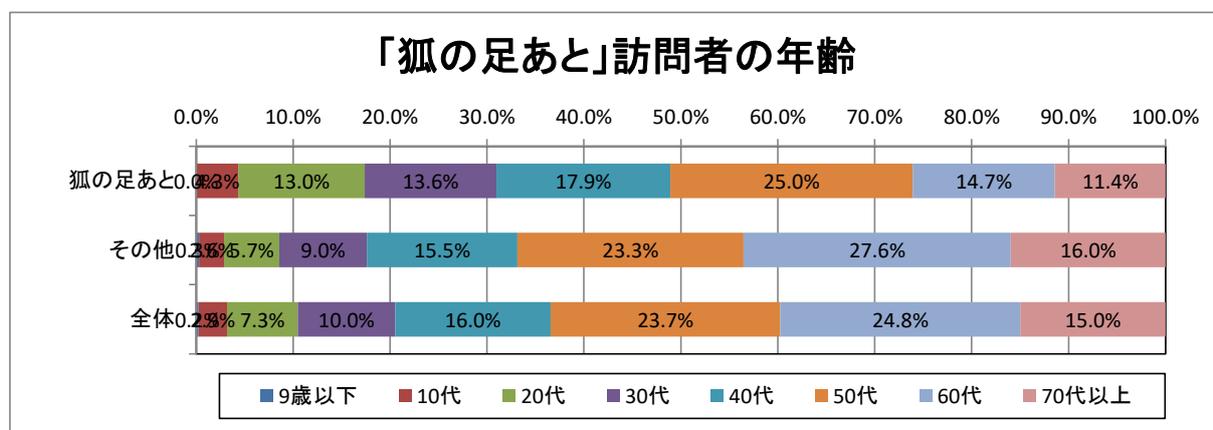
(2) 「狐の足あと」訪問者の年齢

表 1-3-2 は、「狐の足あと」訪問者の年齢を示したものである。20～50代の割合が比較的高く、それぞれで13%を超えている。その他と比較して60代や70代以上は少ないことがわかる。

表 1-3-2 「狐の足あと」訪問者の年齢

	訪問者数			割合		
	狐の足あと	その他	全体	狐の足あと	その他	全体
9歳以下		2	2	0.0%	0.3%	0.2%
10代	8	17	25	4.3%	2.6%	2.9%
20代	24	38	62	13.0%	5.7%	7.3%
30代	25	60	85	13.6%	9.0%	10.0%
40代	33	103	136	17.9%	15.5%	16.0%
50代	46	155	201	25.0%	23.3%	23.7%
60代	27	183	210	14.7%	27.6%	24.8%
70代以上	21	106	127	11.4%	16.0%	15.0%
合計	184	664	848	100.0%	100.0%	100.0%

図 1-3-2 「狐の足あと」訪問者の年齢



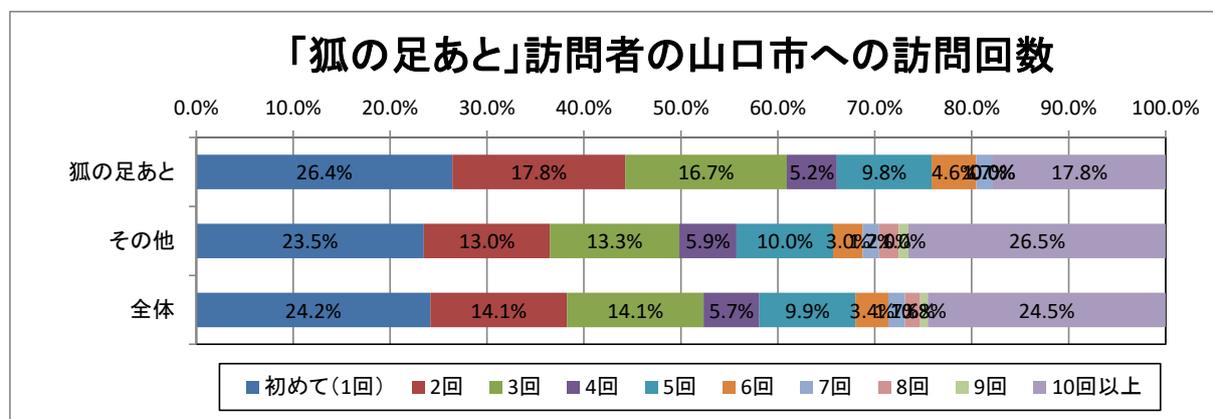
(3) 「狐の足あと」訪問者の山口市への訪問回数

表 1-3-3 は、「狐の足あと」訪問者の山口市への訪問回数を示したものである。初めて（1回）の訪問者が 26.4%を占め、その他に比べて多くなっている。一方、4 回以上の訪問回数では「狐の足あと」を訪れる人は比較的少なくなっている。

表 1-3-3 「狐の足あと」訪問者の山口市への訪問回数

	訪問者数			割合		
	狐の足あと	その他	全体	狐の足あと	その他	全体
初めて(1回)	46	139	185	26.4%	23.5%	24.2%
2回	31	77	108	17.8%	13.0%	14.1%
3回	29	79	108	16.7%	13.3%	14.1%
4回	9	35	44	5.2%	5.9%	5.7%
5回	17	59	76	9.8%	10.0%	9.9%
6回	8	18	26	4.6%	3.0%	3.4%
7回	3	10	13	1.7%	1.7%	1.7%
8回		12	12	0.0%	2.0%	1.6%
9回		6	6	0.0%	1.0%	0.8%
10回以上	31	157	188	17.8%	26.5%	24.5%
合計	174	592	766	100.0%	100.0%	100.0%

図 1-3-3 「狐の足あと」訪問者の山口市への訪問回数



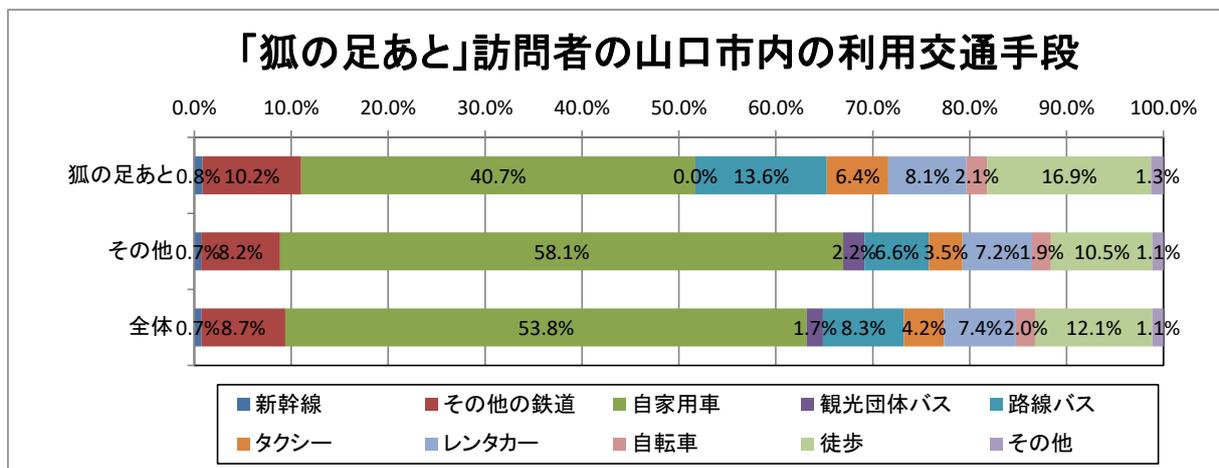
(4) 「狐の足あと」訪問者の山口市内の利用交通手段

表 1-3-4 は、「狐の足あと」訪問者の山口市内の利用交通手段を示したものである。狐の足あとの訪問者は、自家用車が 40.7% で最も多くなっているが、その他と比べると低い比率となっている。また、その他に比べて、徒歩の 16.9%、その他鉄道の 10.2%、路線バスの 13.6%、タクシーの 6.4% が相対的に多くなっている。

表 1-3-4 「狐の足あと」訪問者の山口市内の利用交通手段

	訪問者数			割合		
	狐の足あと	その他	全体	狐の足あと	その他	全体
新幹線	2	5	7	0.8%	0.7%	0.7%
その他の鉄道	24	59	83	10.2%	8.2%	8.7%
自家用車	96	420	516	40.7%	58.1%	53.8%
観光団体バス	0	16	16	0.0%	2.2%	1.7%
路線バス	32	48	80	13.6%	6.6%	8.3%
タクシー	15	25	40	6.4%	3.5%	4.2%
レンタカー	19	52	71	8.1%	7.2%	7.4%
自転車	5	14	19	2.1%	1.9%	2.0%
徒歩	40	76	116	16.9%	10.5%	12.1%
その他	3	8	11	1.3%	1.1%	1.1%
合計	236	723	959	100.0%	100.0%	100.0%

図 1-3-4 「狐の足あと」訪問者の山口市内の利用交通手段



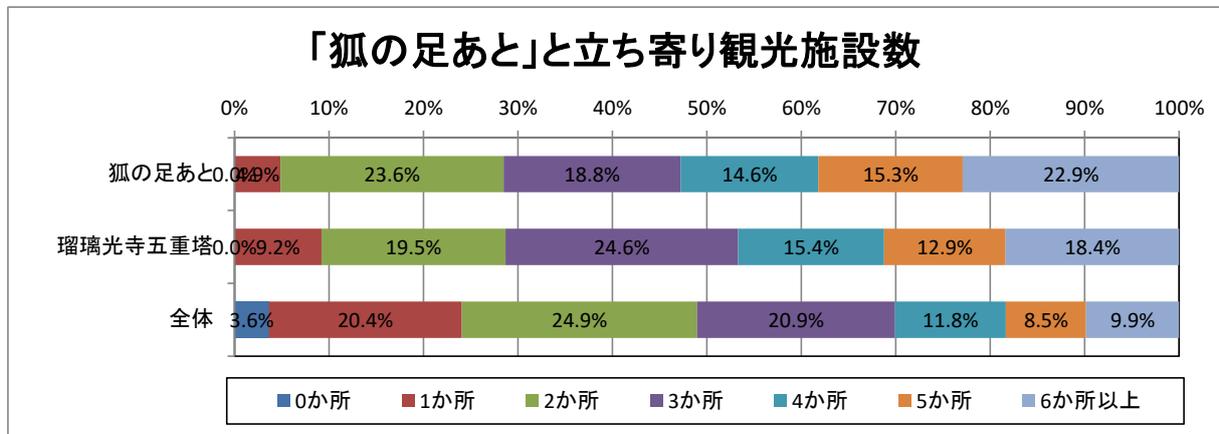
(5) 「狐の足あと」と立ち寄り観光施設数

表 1-3-5 は、「狐の足あと」訪問者の立ち寄り観光施設数を示したものである。比較対象として例年訪問数の多い瑠璃光寺五重塔を取り上げてみると、狐の足あとの訪問者は、5か所以上の割合が高くなっている（湯田温泉と狐の足あとは地域として重複しているため比較として除外している）。全体では、3か所までで半数を占めるが、狐の足あとを訪問することで立ち寄り観光施設数が多くなっていることがわかる。

表 1-3-5 「狐の足あと」と立ち寄り観光施設数

	訪問者数			割合		
	狐の足あと	瑠璃光寺五重塔	全体	狐の足あと	瑠璃光寺五重塔	全体
0か所	0	0	21	0.0%	0.0%	3.6%
1か所	7	25	118	4.9%	9.2%	20.4%
2か所	34	53	144	23.6%	19.5%	24.9%
3か所	27	67	121	18.8%	24.6%	20.9%
4か所	21	42	68	14.6%	15.4%	11.8%
5か所	22	35	49	15.3%	12.9%	8.5%
6か所以上	33	50	57	22.9%	18.4%	9.9%
合計	144	272	578	100.0%	100.0%	100.0%

図 1-3-5 「狐の足あと」と立ち寄り観光施設数



(6) 「狐の足あと」から他の観光施設への訪問率

表 1-3-6 は、「狐の足あと」から他の観光施設への訪問率を示したものである。比較対象として瑠璃光寺五重塔を取り上げている。狐の足あとを訪問した 189 人が、その他にどの観光施設を訪問したかをみると、瑠璃光寺五重塔が 85 人（45.0%）であり、同様にしてみると、湯田温泉が 76.2%、中原中也記念館が 43.9%となっている。主要観光地への訪問者数を合計すると延べ 725 人で、189 人を分母とすると、383.6%となる。これは、狐の足あとの訪問者が平均的に 3.8 か所の観光地を訪問している計算にもなる。

一方で、瑠璃光寺五重塔をみると、402 人の訪問者はその他に、湯田温泉に 55.5%、山口サビエル記念聖堂に 32.8%、常栄寺雪舟庭に 27.9%が訪問している。合計は延べ 1312 人で 326.4%となり、平均的に 3.3 か所の観光地を訪問している計算になる。

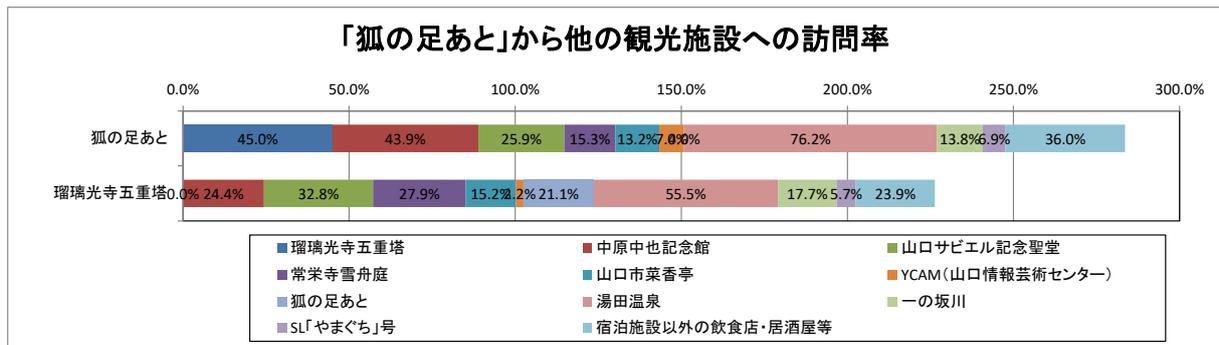
総じて、狐の足あとの訪問者の方が主要観光施設への周遊施設数が多いことを示している。また、2つの施設から他の施設への訪問割合をみると、比較的距離の近いところへ周遊していることもわかり、自転車や徒歩（まち歩き）による周遊も検討事項としてあげられる。

表 1-3-6 「狐の足あと」から他の観光施設への訪問率

	訪問者数		訪問率	
	狐の足あと	瑠璃光寺五重塔	狐の足あと	瑠璃光寺五重塔
瑠璃光寺五重塔	85	402	45.0%	-
中原中也記念館	83	98	43.9%	24.4%
山口サビエル記念聖堂	49	132	25.9%	32.8%
常栄寺雪舟庭	29	112	15.3%	27.9%
山口市菜香亭	25	61	13.2%	15.2%
YCAM(山口情報芸術センター)	14	9	7.4%	2.2%
狐の足あと	189	85	-	21.1%
湯田温泉	144	223	76.2%	55.5%
一の坂川	26	71	13.8%	17.7%
SL「やまぐち」号	13	23	6.9%	5.7%
宿泊施設以外の飲食店・居酒屋等	68	96	36.0%	23.9%
合計	725	1,312	383.6%	326.4%

注) 訪問率の分母は、「狐の足あと」と「瑠璃光寺五重塔」のそれぞれの訪問者数。

図 1-3-6 「狐の足あと」から他の観光施設への訪問率



1-3-2 情報媒体としての「狐の足あと」

(1) 利用情報媒体別の立ち寄り観光施設数

表 1-3-7 は、山口市内での旅行中に利用した情報媒体別の立ち寄り観光施設数を示したものである。狐の足あとを媒体とした場合、2～4か所の立ち寄り観光施設数が全体より高い比率となっている。利用した媒体はないと答えた人は目的施設だけかせいぜい1か所だけに立ち寄る傾向が強い。

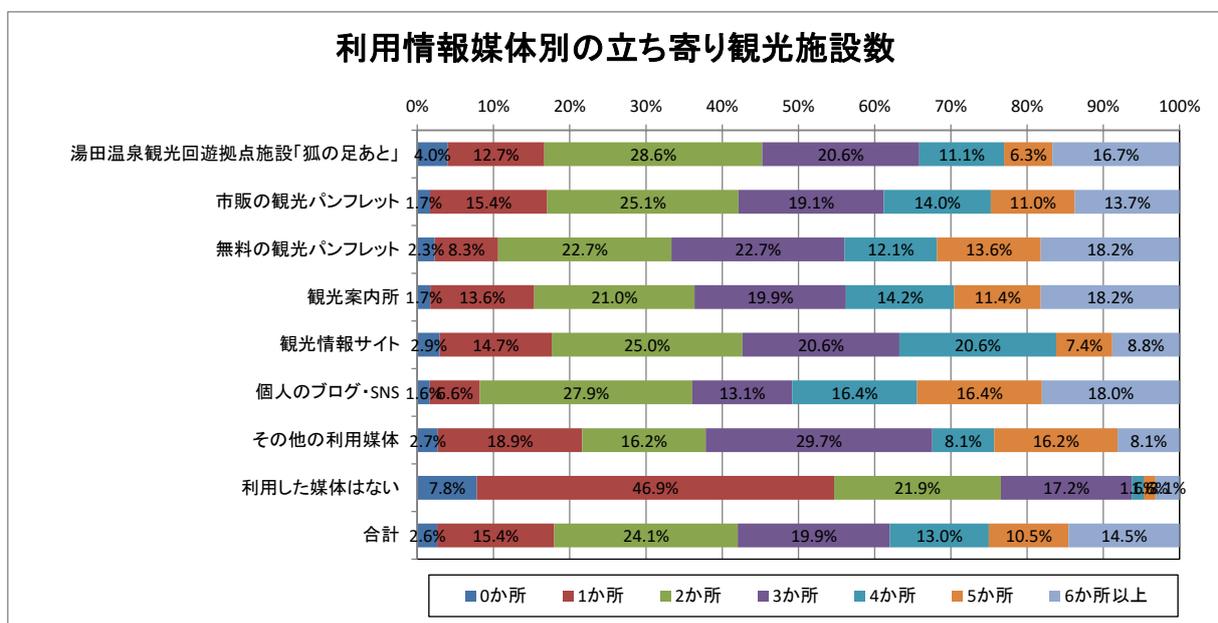
表 1-3-7 利用情報媒体別の立ち寄り観光施設数

	0か所	1か所	2か所	3か所	4か所	5か所	6か所以上	合計
湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」	5	16	36	26	14	8	21	126
市販の観光パンフレット	5	46	75	57	42	33	41	299
無料の観光パンフレット	3	11	30	30	16	18	24	132
観光案内所	3	24	37	35	25	20	32	176
観光情報サイト	2	10	17	14	14	5	6	68
個人のブログ・SNS	1	4	17	8	10	10	11	61
その他の利用媒体	1	7	6	11	3	6	3	37
利用した媒体はない	5	30	14	11	1	1	2	64
合計	25	148	232	192	125	101	140	963

【構成比】

	0か所	1か所	2か所	3か所	4か所	5か所	6か所以上	合計
湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」	4.0%	12.7%	28.6%	20.6%	11.1%	6.3%	16.7%	100.0%
市販の観光パンフレット	1.7%	15.4%	25.1%	19.1%	14.0%	11.0%	13.7%	100.0%
無料の観光パンフレット	2.3%	8.3%	22.7%	22.7%	12.1%	13.6%	18.2%	100.0%
観光案内所	1.7%	13.6%	21.0%	19.9%	14.2%	11.4%	18.2%	100.0%
観光情報サイト	2.9%	14.7%	25.0%	20.6%	20.6%	7.4%	8.8%	100.0%
個人のブログ・SNS	1.6%	6.6%	27.9%	13.1%	16.4%	16.4%	18.0%	100.0%
その他の利用媒体	2.7%	18.9%	16.2%	29.7%	8.1%	16.2%	8.1%	100.0%
利用した媒体はない	7.8%	46.9%	21.9%	17.2%	1.6%	1.6%	3.1%	100.0%
合計	2.6%	15.4%	24.1%	19.9%	13.0%	10.5%	14.5%	100.0%

図 1-3-7 利用情報媒体別の立ち寄り観光施設数



(2) 利用情報媒体別の欲しい情報の取得

表 1-3-8 は、山口市内での旅行中に利用した情報媒体別の欲しい情報の取得状況を示したものである。狐の足あとを媒体とした場合、得られたとする回答の割合は十分に高いが、個人ブログ・SNS や無料の観光パンフレットで得られたとする回答に比べてやや低くなっており、有人施設として情報発信などに改善の余地があることを示唆している。

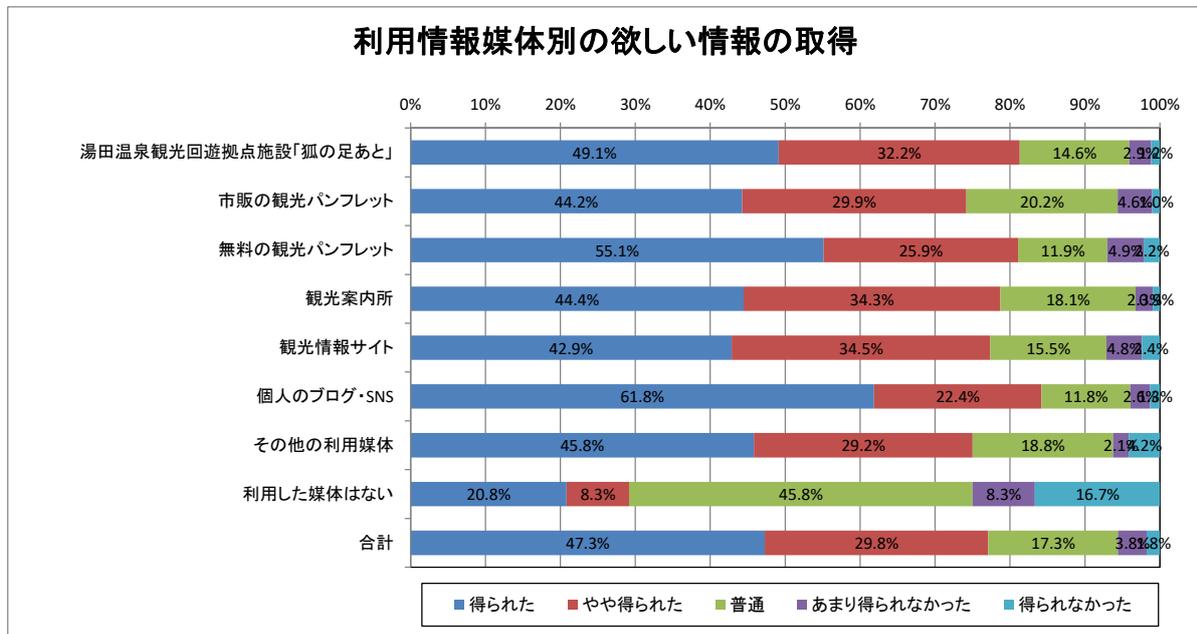
表 1-3-8 利用情報媒体別の欲しい情報の取得

	得られた	やや得られた	普通	あまり得られなかった	得られなかった	合計
湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」	84	55	25	5	2	171
市販の観光パンフレット	173	117	79	18	4	391
無料の観光パンフレット	102	48	22	9	4	185
観光案内所	96	74	39	5	2	216
観光情報サイト	36	29	13	4	2	84
個人のブログ・SNS	47	17	9	2	1	76
その他の利用媒体	22	14	9	1	2	48
利用した媒体はない	5	2	11	2	4	24
合計	565	356	207	46	21	1,195

【構成比】

	得られた	やや得られた	普通	あまり得られなかった	得られなかった	合計
湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」	49.1%	32.2%	14.6%	2.9%	1.2%	100.0%
市販の観光パンフレット	44.2%	29.9%	20.2%	4.6%	1.0%	100.0%
無料の観光パンフレット	55.1%	25.9%	11.9%	4.9%	2.2%	100.0%
観光案内所	44.4%	34.3%	18.1%	2.3%	0.9%	100.0%
観光情報サイト	42.9%	34.5%	15.5%	4.8%	2.4%	100.0%
個人のブログ・SNS	61.8%	22.4%	11.8%	2.6%	1.3%	100.0%
その他の利用媒体	45.8%	29.2%	18.8%	2.1%	4.2%	100.0%
利用した媒体はない	20.8%	8.3%	45.8%	8.3%	16.7%	100.0%
合計	47.3%	29.8%	17.3%	3.8%	1.8%	100.0%

図 1-3-8 利用情報媒体別の欲しい情報の取得



(3) 利用情報媒体別の情報入手のしやすさ

表 1-3-9 は、山口市内での旅行中に利用した情報媒体別の欲しい情報の取得状況を示したものである。狐の足あとを媒体とした場合、入手しやすかったとする回答の割合は全体とほぼ同程度の 60%程度となっている。入手しやすかったとする回答をみると、個人のブログ・SNS が 69.3%と全体より高いことから、インターネットを活用した情報提供の有効性が示唆される。

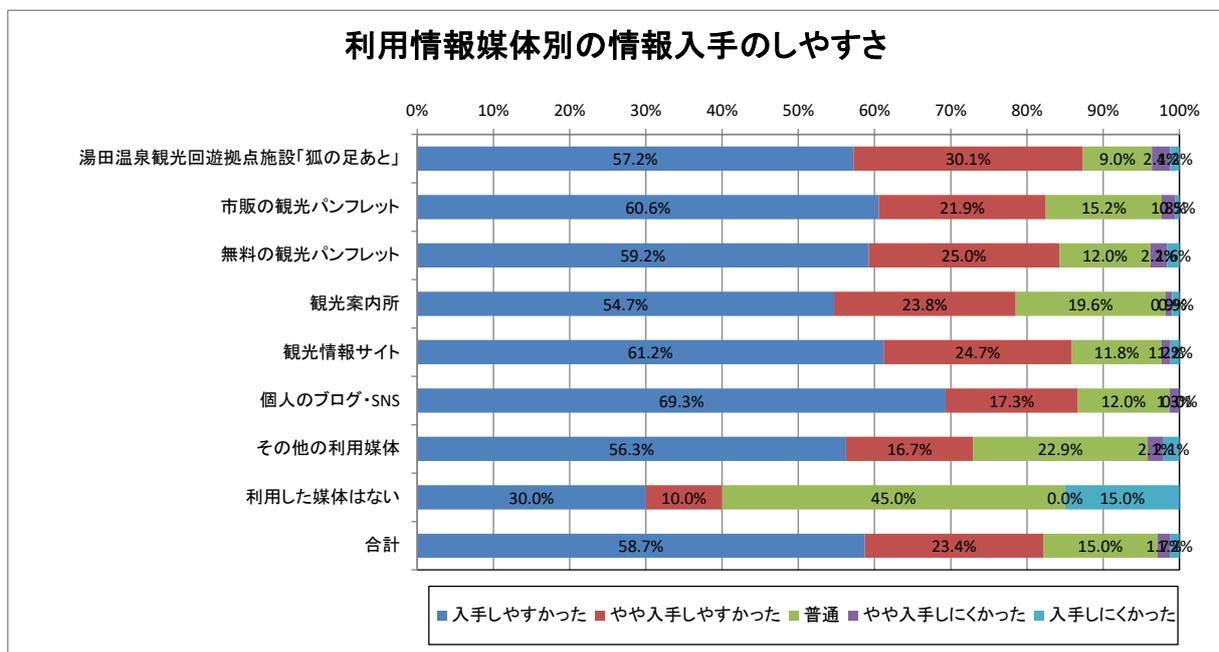
表 1-3-9 利用情報媒体別の情報入手のしやすさ

	入手しやすかった	やや入手しやすかった	普通	やや入手しにくかった	入手しにくかった	合計
湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」	95	50	15	4	2	166
市販の観光パンフレット	235	85	59	7	2	388
無料の観光パンフレット	109	46	22	4	3	184
観光案内所	117	51	42	2	2	214
観光情報サイト	52	21	10	1	1	85
個人のブログ・SNS	52	13	9	1	0	75
その他の利用媒体	27	8	11	1	1	48
利用した媒体はない	6	2	9	0	3	20
合計	693	276	177	20	14	1,180

【構成比】

	入手しやすかった	やや入手しやすかった	普通	やや入手しにくかった	入手しにくかった	合計
湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」	57.2%	30.1%	9.0%	2.4%	1.2%	100.0%
市販の観光パンフレット	60.6%	21.9%	15.2%	1.8%	0.5%	100.0%
無料の観光パンフレット	59.2%	25.0%	12.0%	2.2%	1.6%	100.0%
観光案内所	54.7%	23.8%	19.6%	0.9%	0.9%	100.0%
観光情報サイト	61.2%	24.7%	11.8%	1.2%	1.2%	100.0%
個人のブログ・SNS	69.3%	17.3%	12.0%	1.3%	0.0%	100.0%
その他の利用媒体	56.3%	16.7%	22.9%	2.1%	2.1%	100.0%
利用した媒体はない	30.0%	10.0%	45.0%	0.0%	15.0%	100.0%
合計	58.7%	23.4%	15.0%	1.7%	1.2%	100.0%

図 1-3-9 利用情報媒体別の情報入手のしやすさ



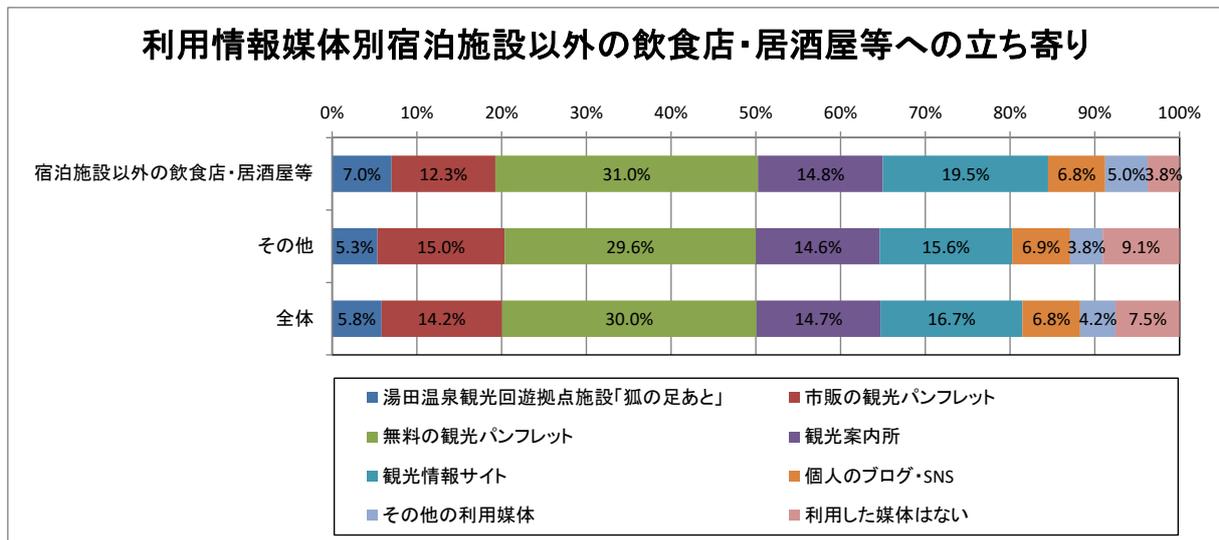
(4) 利用情報媒体別宿泊施設以外の飲食店・居酒屋等への立ち寄り

表 1-3-10 は、山口市内での旅行中に利用した情報媒体別の、宿泊施設以外の飲食店・居酒屋等への立ち寄り割合を示したものである。狐の足あとを媒体とした場合、飲食店・居酒屋等への立ち寄り割合が高い。宿泊施設以外の飲食店の情報も狐の足あとや観光情報サイトが一定の機能を担っていることを示唆している。

表 1-3-10 利用情報媒体別宿泊施設以外の飲食店・居酒屋等への立ち寄り割合

	宿泊施設 以外の飲食 店・居 酒屋等	その他	全体	宿泊施設以 外の飲食 店・居酒 屋等	その他	全体
湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」	28	53	81	7.0%	5.3%	5.8%
市販の観光パンフレット	49	149	198	12.3%	15.0%	14.2%
無料の観光パンフレット	124	294	418	31.0%	29.6%	30.0%
観光案内所	59	145	204	14.8%	14.6%	14.7%
観光情報サイト	78	155	233	19.5%	15.6%	16.7%
個人のブログ・SNS	27	68	95	6.8%	6.9%	6.8%
その他の利用媒体	20	38	58	5.0%	3.8%	4.2%
利用した媒体はない	15	90	105	3.8%	9.1%	7.5%
合計	400	992	1,392	100.0%	100.0%	100.0%

図 1-3-10 利用情報媒体別宿泊施設以外の飲食店・居酒屋等への立ち寄り割合



1-4 旅行の評価と満足度

1-4-1 山口市までの交通手段別の評価

ここでは、山口市まで訪問する際に利用した主要交通手段別に、交通の便に関する項目の評価をみていく。なお、ここでは乗り継ぎ、道路標識、観光案内板の3つについて集計する。

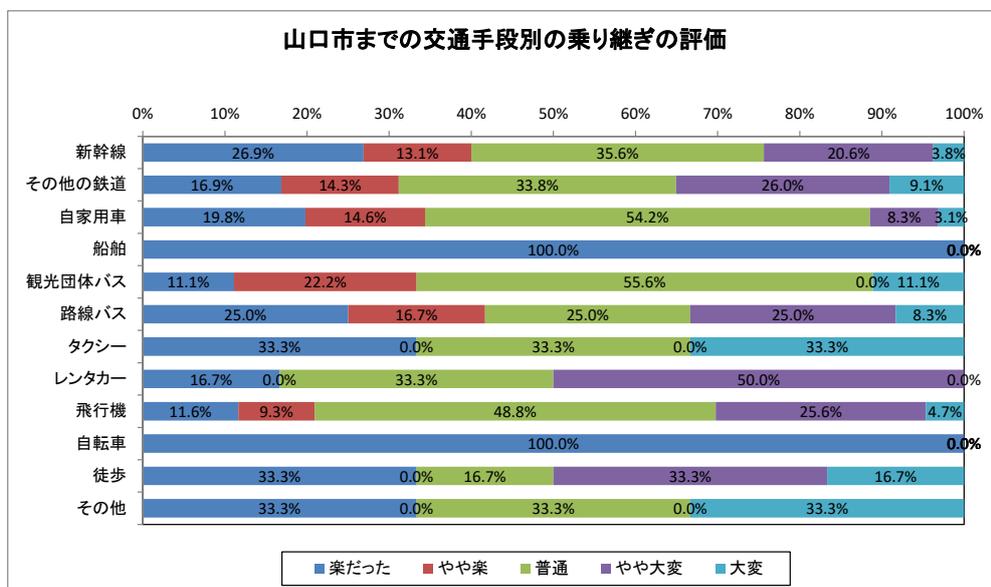
(1) 乗り継ぎ

表 1-4-1 は、利用交通手段別の乗り継ぎの評価を示したものである。乗り継ぎについては、全体的に普通とやや大変の割合が高い結果となった。観光団体バス・タクシーを除いて、全体的に楽だったとする割合は少なく、比較的乗り継ぎが困難なことがわかる。

表 1-4-1 利用交通手段別の乗り継ぎの評価

回答数	楽だった	やや楽	普通	やや大変	大変	合計
新幹線	43	21	57	33	6	160
その他の鉄道	13	11	26	20	7	77
自家用車	38	28	104	16	6	192
船舶	3	0	0	0	0	3
観光団体バス	1	2	5	0	1	9
路線バス	6	4	6	6	2	24
タクシー	1	0	1	0	1	3
レンタカー	1	0	2	3		6
飛行機	5	4	21	11	2	43
自転車	1	0	0	0	0	1
徒歩	2	0	1	2	1	6
その他	1	0	1	0	1	3
合計	115	70	224	91	27	527

図 1-4-1 利用交通手段別の乗り継ぎの評価



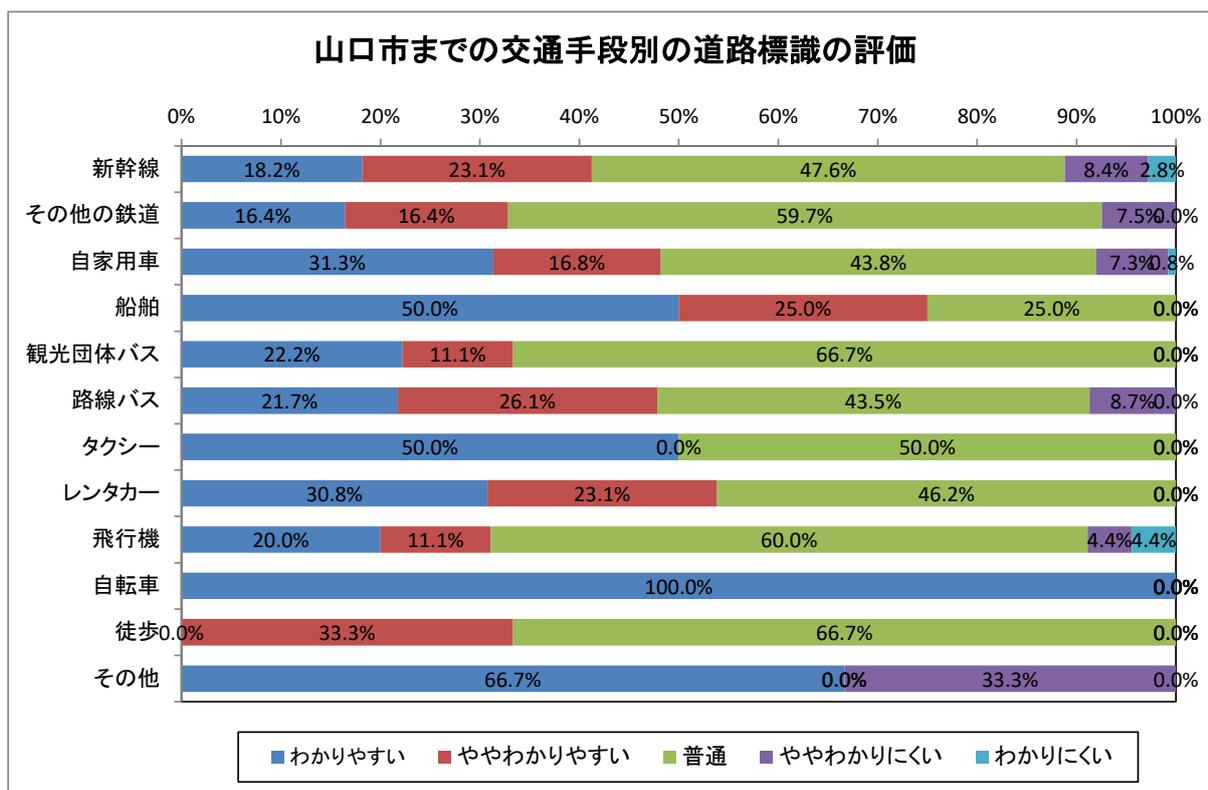
(2) 道路標識

表 1-4-2 は、利用交通手段別の道路標識の評価を示したものである。道路標識については、普通と回答されたものが5割弱を占める。道路標識を比較的多く目にすると考えられる自家用車やレンタカーはわかりやすいとややわかりやすいを合わせると、わかりやすいとする回答が45%以上を占めている。

表 1-4-2 利用交通手段別の道路標識の評価

回答数	わかりやすい	ややわかりやすい	普通	ややわかりにくい	わかりにくい	合計
新幹線	26	33	68	12	4	143
その他の鉄道	11	11	40	5	0	67
自家用車	121	65	169	28	3	386
船舶	2	1	1	0	0	4
観光団体バス	2	1	6	0	0	9
路線バス	5	6	10	2	0	23
タクシー	1	0	1	0	0	2
レンタカー	4	3	6	0	0	13
飛行機	9	5	27	2	2	45
自転車	2	0	0	0	0	2
徒歩	0	2	4	0	0	6
その他	2	0	0	1	0	3
合計	185	127	332	50	9	703

図 1-4-2 利用交通手段別の道路標識の評価



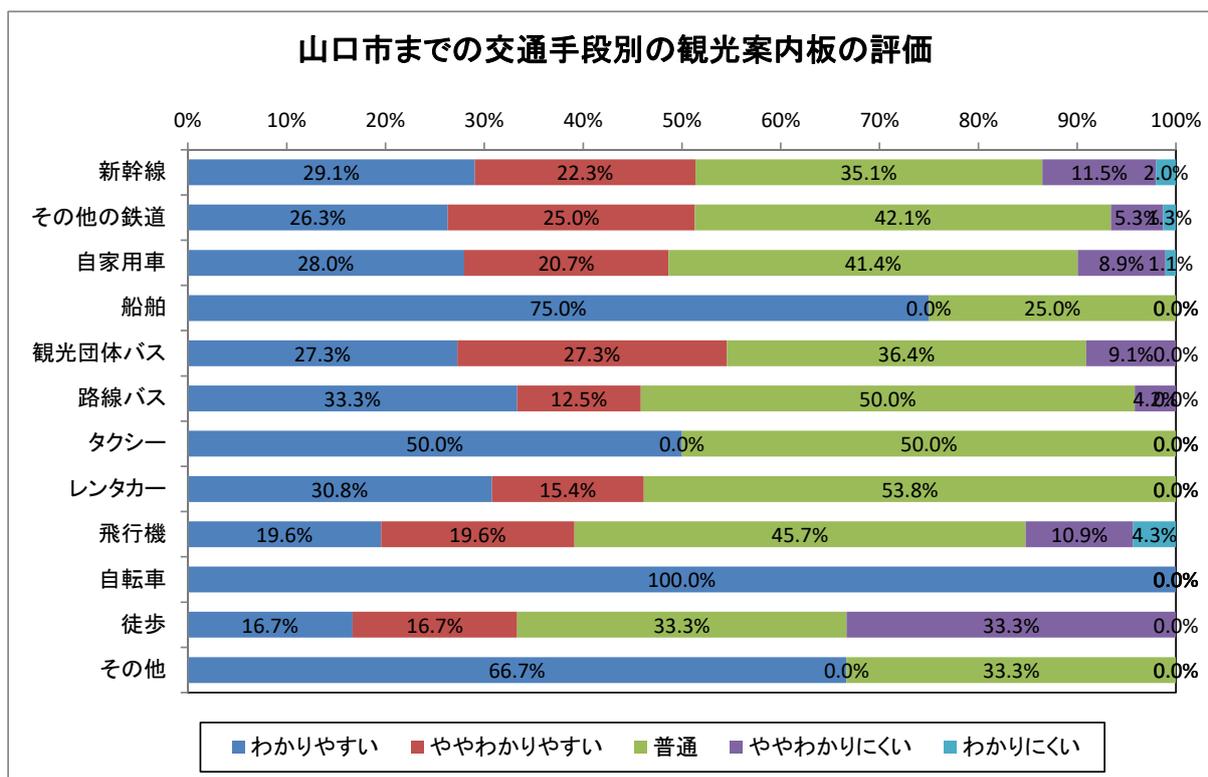
(3) 観光案内板

表 1-4-3 は、利用交通手段別の観光案内板の評価を示したものである。観光案内板については、普通の評価が大半の割合を占めている。道路標識と同様に、道路を利用する交通手段では比較的わかりやすいとする評価が高くなっている。一方で、路線バスの利用者は、乗り継ぎ、道路標識、観光案内板の評価でいずれもわかりにくいとする評価が高くなっているため、路線バス利用者の対策が必要である。

表 1-4-3 利用交通手段別の観光案内板の評価

回答数	わかりやすい	ややわかりやすい	普通	ややわかりにくい	わかりにくい	合計
新幹線	43	33	52	17	3	148
その他の鉄道	20	19	32	4	1	76
自家用車	104	77	154	33	4	372
船舶	3	0	1	0	0	4
観光団体バス	3	3	4	1	0	11
路線バス	8	3	12	1	0	24
タクシー	1	0	1	0	0	2
レンタカー	4	2	7	0	0	13
飛行機	9	9	21	5	2	46
自転車	2	0	0	0	0	2
徒歩	1	1	2	2	0	6
その他	2	0	1	0	0	3
合計	200	147	287	63	10	707

図 1-4-3 利用交通手段別の観光案内板の評価



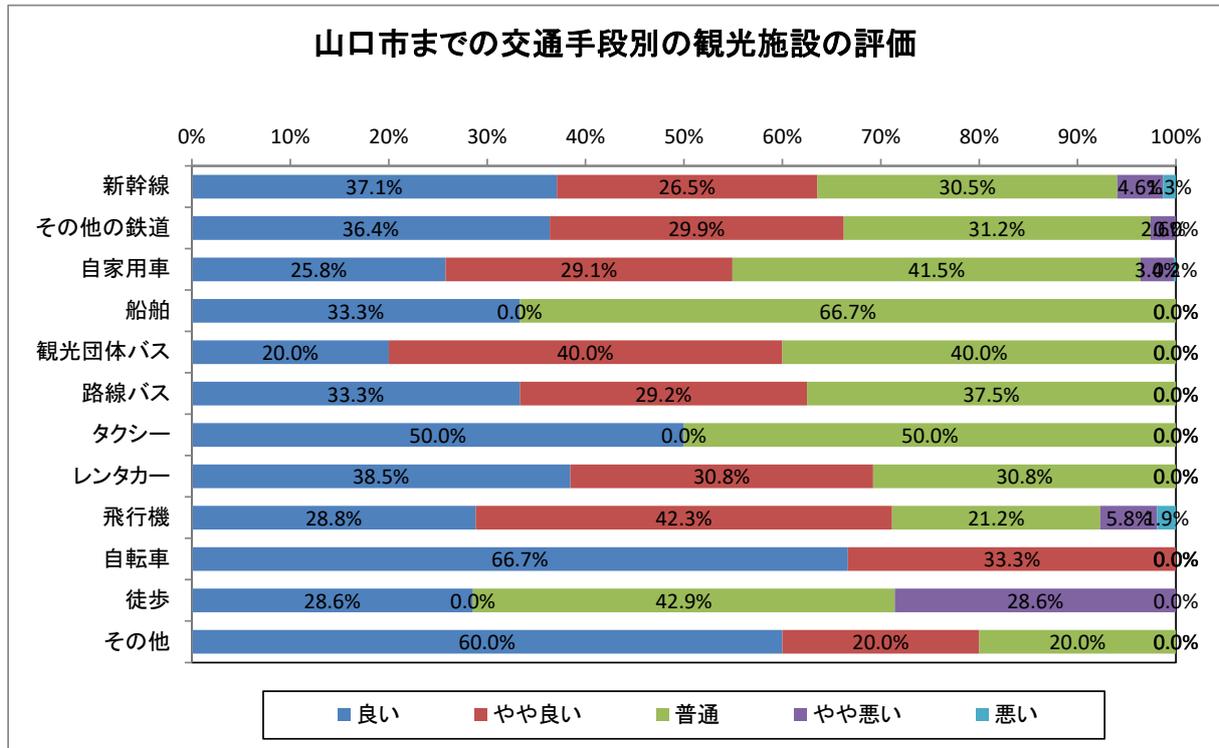
(4) 観光施設の評価

表 1-4-4 は、利用交通手段別の立ち寄った観光施設の評価を示したものである。良いとやや良いを合わせると、ほとんどの利用交通手段で 50%以上が良いとしている。

表 1-4-4 利用交通手段別の観光施設の評価

回答数	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
新幹線	56	40	46	7	2	151
その他の鉄道	28	23	24	2	0	77
自家用車	115	130	185	15	1	446
船舶	1	0	2	0	0	3
観光団体バス	3	6	6	0	0	15
路線バス	8	7	9	0	0	24
タクシー	1	0	1	0	0	2
レンタカー	5	4	4	0	0	13
飛行機	15	22	11	3	1	52
自転車	2	1	0	0	0	3
徒歩	2	0	3	2	0	7
その他	3	1	1	0	0	5
合計	239	234	292	29	4	798

図 1-4-4 利用交通手段別の観光施設の評価



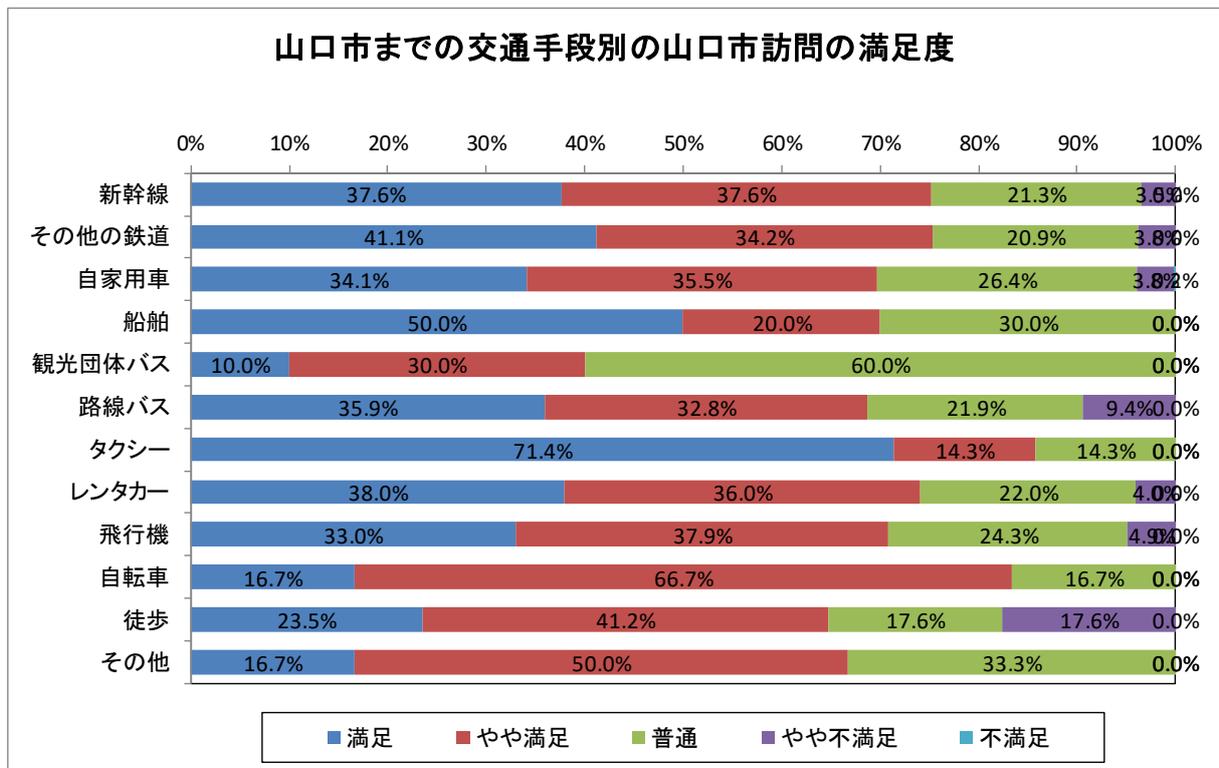
(5) 山口市訪問の満足度

表 1-4-5 は、利用交通手段別の山口市訪問の満足度を示したものである。概ね 70%以上が満足、やや満足としており、やや不満足との回答が多かった路線バスでも約 70%と高い傾向にある。

表 1-4-5 利用交通手段別の山口市訪問の満足度

回答数	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	合計
新幹線	118	118	67	11	0	314
その他の鉄道	65	54	33	6	0	158
自家用車	226	235	175	25	1	662
船舶	5	2	3	0	0	10
観光団体バス	1	3	6	0	0	10
路線バス	23	21	14	6	0	64
タクシー	5	1	1	0	0	7
レンタカー	19	18	11	2	0	50
飛行機	34	39	25	5	0	103
自転車	1	4	1	0	0	6
徒歩	4	7	3	3	0	17
その他	1	3	2	0	0	6
合計	502	505	341	58	1	1407

図 1-4-5 利用交通手段別の山口市訪問の満足度



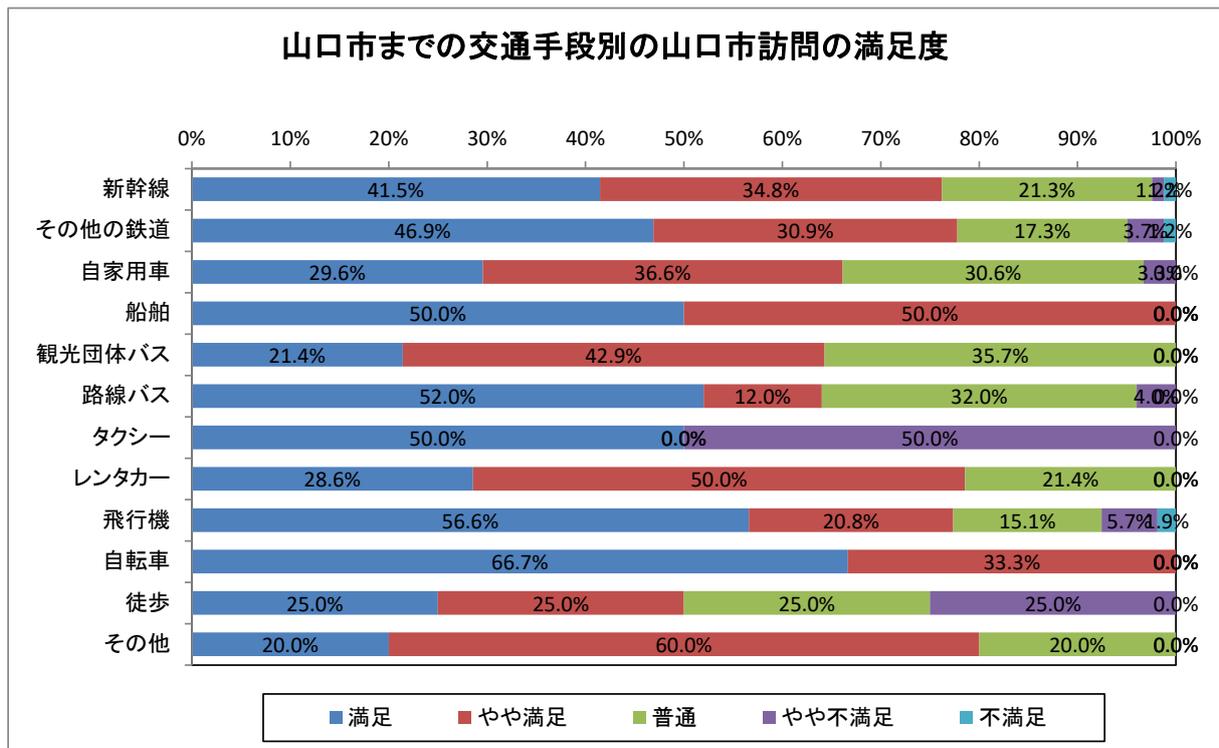
(6) 今回の旅行の満足度

表 1-4-6 は、利用交通手段別の今回の旅行の満足度を示したものである。調査数の多い利用交通手段については、満足が約 40% で一番多くの割合を占めるなど、やや満足を合わせると 70% 以上が満足と評価している。自家用車は満足の比率がやや低くなっている。

表 1-4-6 利用交通手段別の今回の旅行の満足度

回答数	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	合計
新幹線	68	57	35	2	2	164
その他の鉄道	38	25	14	3	1	81
自家用車	144	178	149	16	0	487
船舶	2	2	0	0	0	4
観光団体バス	3	6	5	0	0	14
路線バス	13	3	8	1	0	25
タクシー	1	0	0	1	0	2
レンタカー	4	7	3	0	0	14
飛行機	30	11	8	3	1	53
自転車	2	1	0	0	0	3
徒歩	2	2	2	2	0	8
その他	1	3	1	0	0	5
合計	308	295	225	28	4	860

図 1-4-6 利用交通手段別の今回の旅行の満足度



1-4-2 山口市内での移動手段別の評価

ここでは、山口市内で利用した移動手段別に交通の便に関する項目の評価についてみる。なお、船舶、飛行機は、山口市内の移動では現実的に利用困難なため、ここでは除外する。

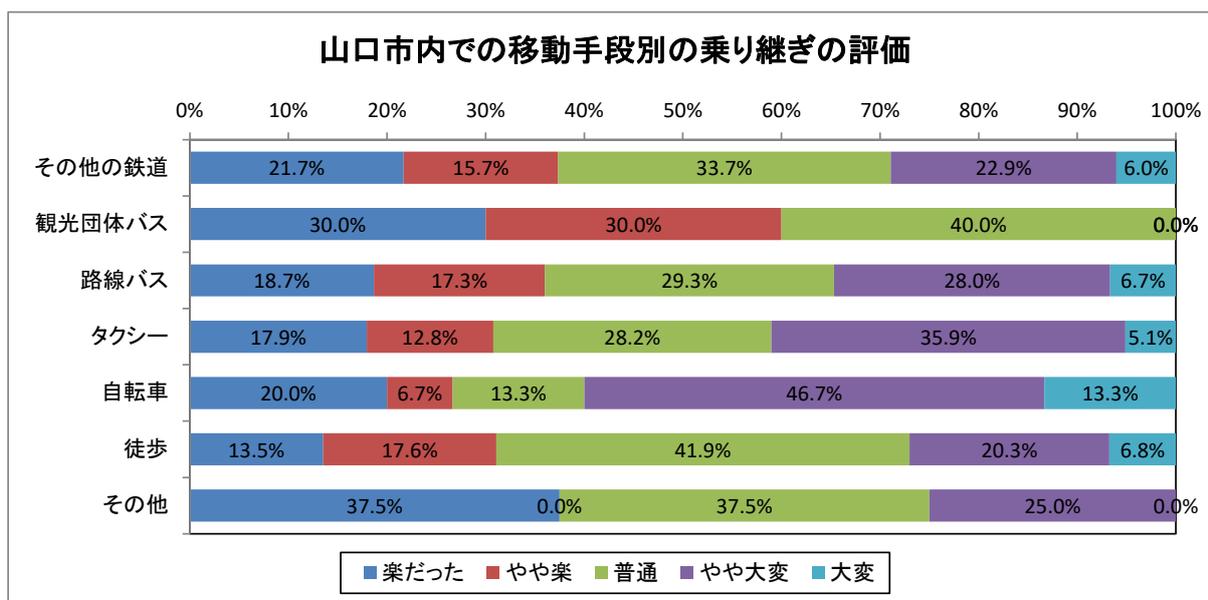
(1) 乗り継ぎの評価

表 1-4-7は、移動手段別の乗り継ぎの評価を示したものである。観光団体バスを除くどの移動手段においてもやや大変とする割合が高い。路線バスについては、やや大変だったとする回答の割合が相対的に高く、改善の余地がある。

表 1-4-7 移動手段別の乗り継ぎの評価

回答数	楽だった	やや楽	普通	やや大変	大変	合計
その他の鉄道	18	13	28	19	5	83
観光団体バス	3	3	4			10
路線バス	14	13	22	21	5	75
タクシー	7	5	11	14	2	39
自転車	3	1	2	7	2	15
徒歩	10	13	31	15	5	74
その他	3		3	2		8
合計	58	48	101	78	19	304

図 1-4-7 移動手段別の乗り継ぎの評価



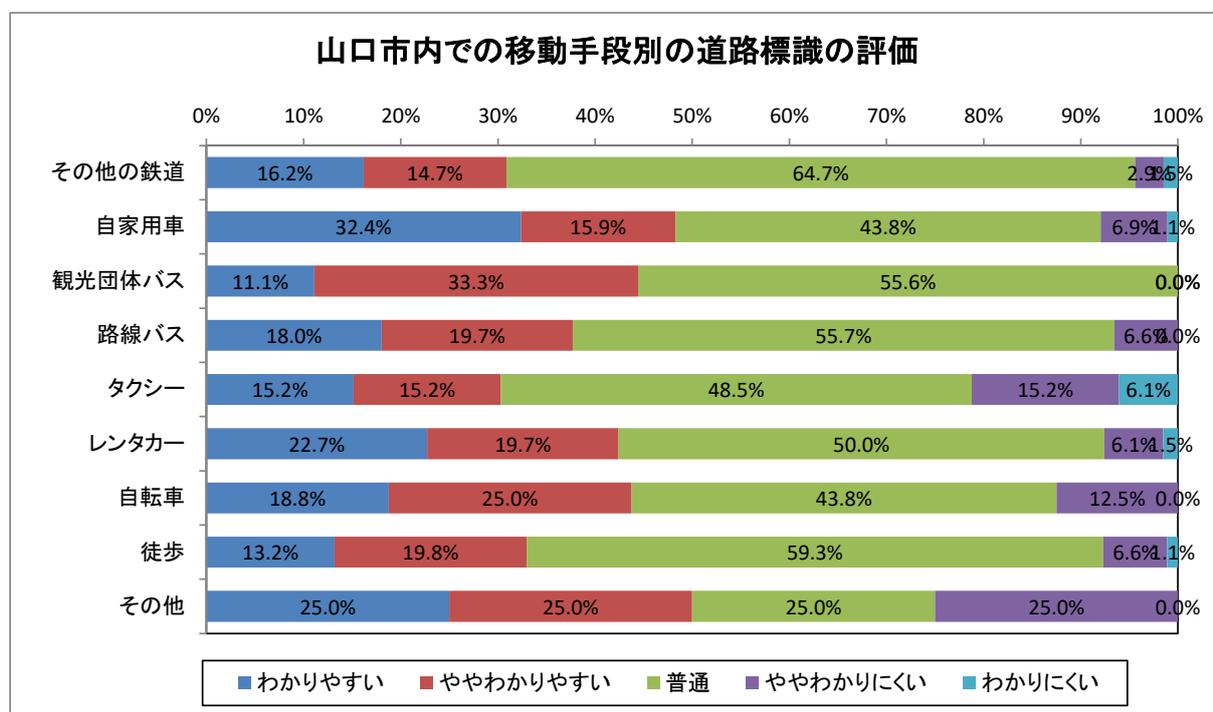
(2) 道路標識の評価

表 1-4-8 は、移動手段別の道路標識の評価を示したものである。約半数が普通と回答している。

表 1-4-8 移動手段別の道路標識の評価

回答数	わかりやすい	ややわかりやすい	普通	ややわかりにくい	わかりにくい	合計
その他の鉄道	11	10	44	2	1	68
自家用車	122	60	165	26	4	377
観光団体バス	1	3	5	0	0	9
路線バス	11	12	34	4	0	61
タクシー	5	5	16	5	2	33
レンタカー	15	13	33	4	1	66
自転車	3	4	7	2	0	16
徒歩	12	18	54	6	1	91
その他	2	2	2	2	0	8
合計	182	127	360	51	9	729

図 1-4-8 移動手段別の道路標識の評価



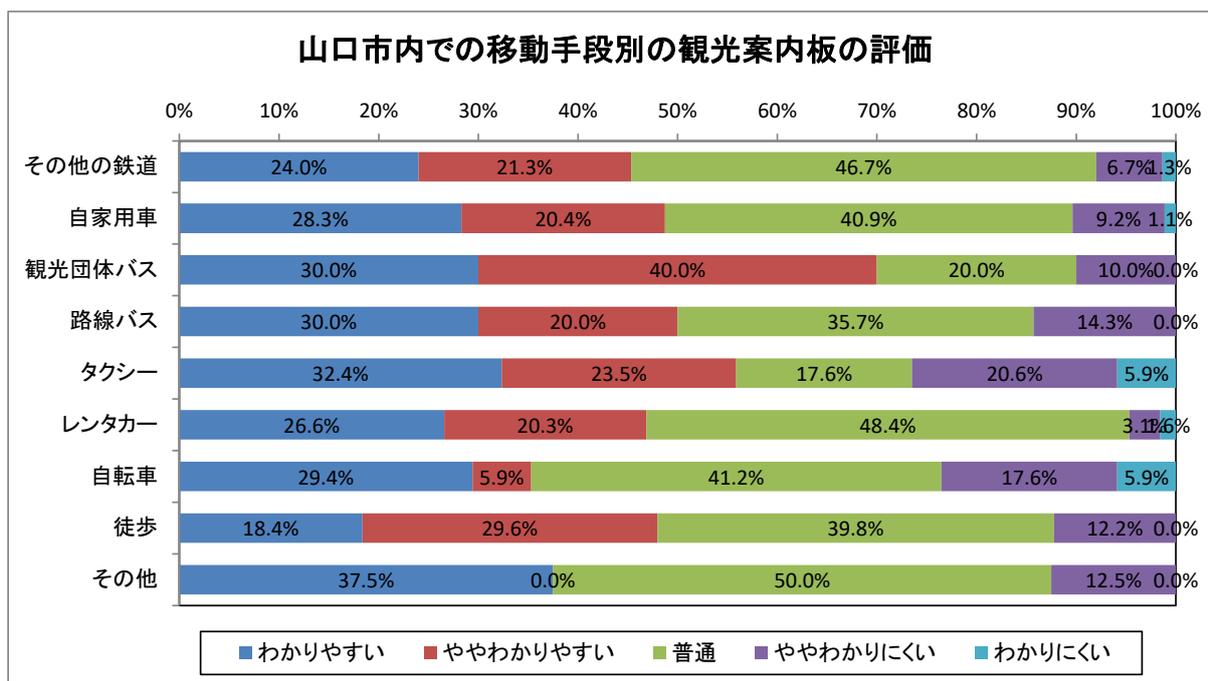
(3) 観光案内板の評価

表 1-4-9 は、移動手段別の観光案内板の評価を示したものである。すべての評価で、普通の割合が多数を占めている。その他の鉄道でわかりやすいとする評価が低く、自転車ではわかりにくいとする回答の割合が高くなっている。

表 1-4-9 移動手段別の観光案内板の評価

回答数	わかりやすい	ややわかりやすい	普通	ややわかりにくい	わかりにくい	合計
その他の鉄道	18	16	35	5	1	75
自家用車	101	73	146	33	4	357
観光団体バス	3	4	2	1	0	10
路線バス	21	14	25	10	0	70
タクシー	11	8	6	7	2	34
レンタカー	17	13	31	2	1	64
自転車	5	1	7	3	1	17
徒歩	18	29	39	12	0	98
その他	3		4	1	0	8
合計	197	158	295	74	9	733

図 1-4-9 移動手段別の観光案内板の評価



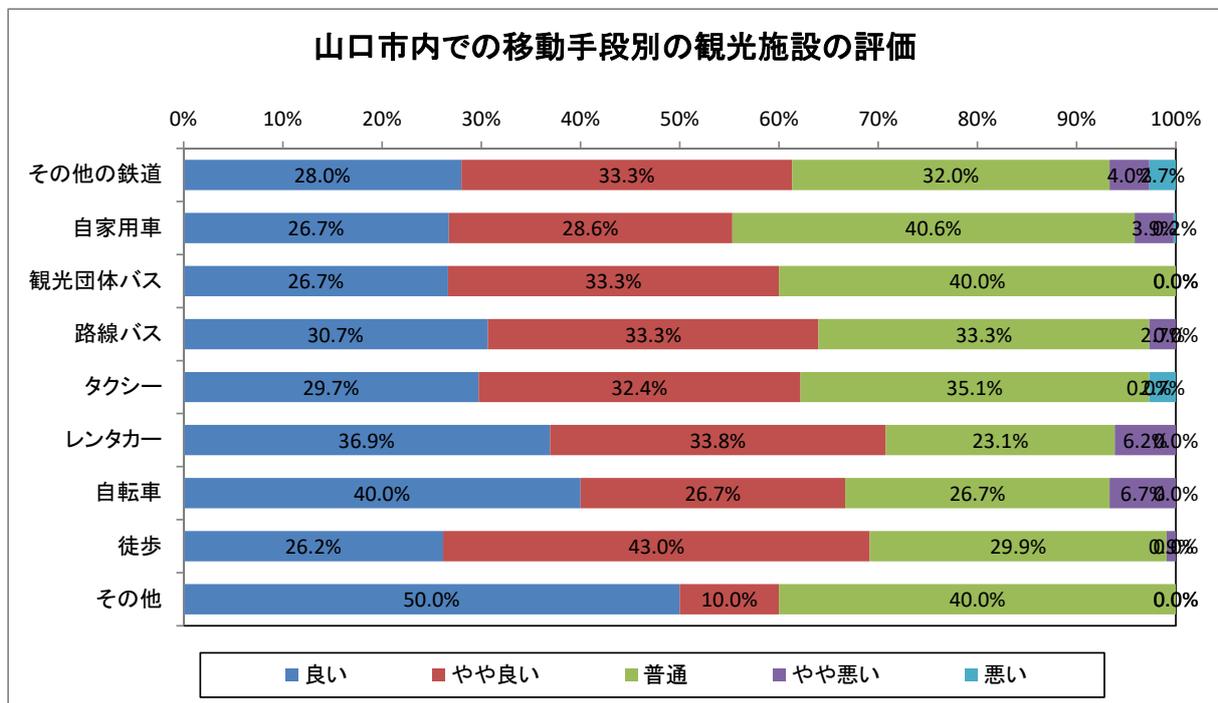
(4) 観光施設の評価

表 1-4-10 は、移動手段別の観光施設の評価を示したものである。主要な移動手段で良い、やや良いを合わせた評価が 60%を超えている。自家用車でやや評価が低い。

表 1-4-10 移動手段別の観光施設の評価

回答数	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
その他の鉄道	21	25	24	3	2	75
自家用車	116	124	176	17	1	434
観光団体バス	4	5	6	0	0	15
路線バス	23	25	25	2	0	75
タクシー	11	12	13	0	1	37
レンタカー	24	22	15	4	0	65
自転車	6	4	4	1	0	15
徒歩	28	46	32	1	0	107
その他	5	1	4	0	0	10
合計	238	264	299	28	4	833

図 1-4-10 移動手段別の観光施設の評価



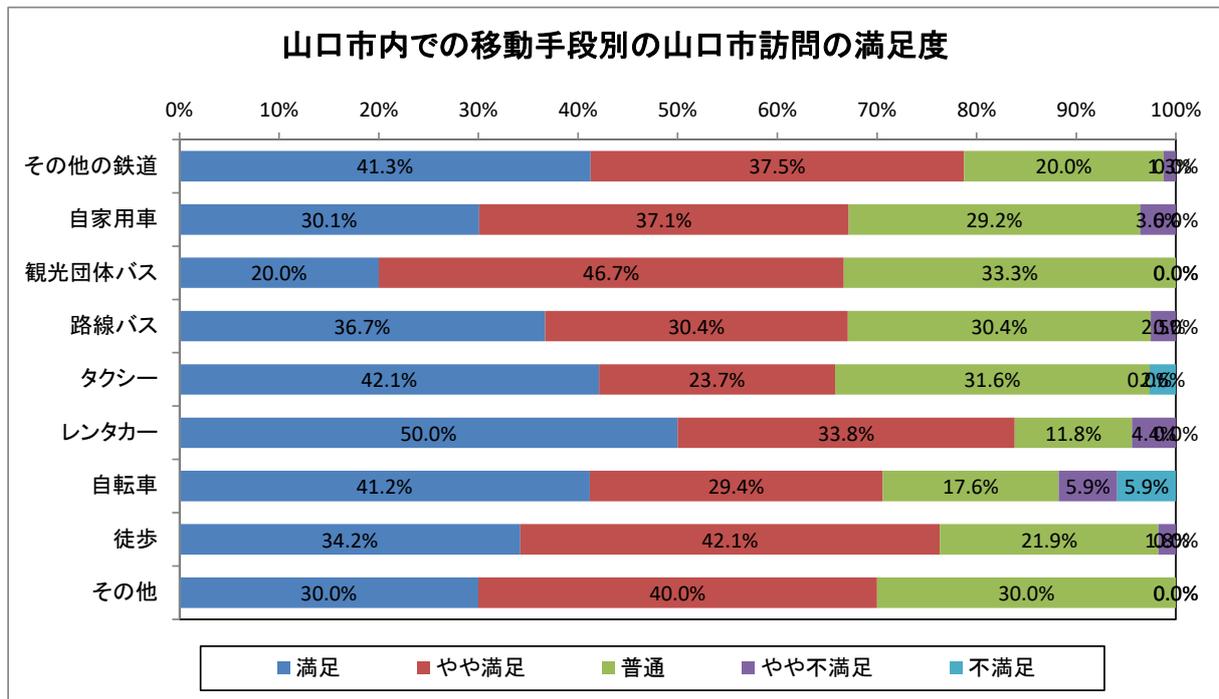
(5) 山口市訪問の満足度

表 1-4-11 は、移動手段別の山口市訪問の満足度を示したものである。満足とやや満足を合わせると、いずれも約 70% が満足と回答している。とりわけその他鉄道とレンタカーの満足度が高い。観光団体バスではやや満足度が低くなっている。

表 1-4-11 移動手段別の山口市訪問の満足度

回答数	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	合計
その他の鉄道	33	30	16	1	0	80
自家用車	142	175	138	17	0	472
観光団体バス	3	7	5	0	0	15
路線バス	29	24	24	2	0	79
タクシー	16	9	12	0	1	38
レンタカー	34	23	8	3	0	68
自転車	7	5	3	1	1	17
徒歩	39	48	25	2	0	114
その他	3	4	3	0	0	10
合計	306	325	234	26	2	893

図 1-4-11 移動手段別の山口市訪問の満足度



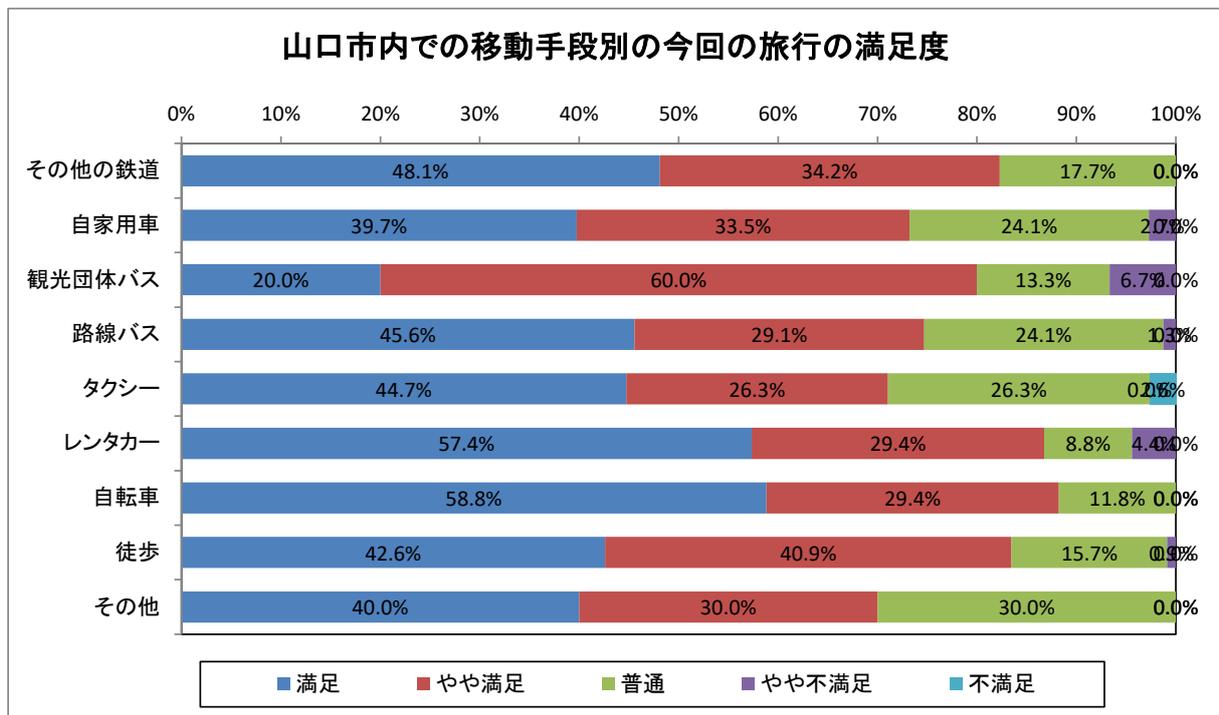
(6) 今回の旅行の満足度

表 1-4-12 は、移動手段別の今回の旅行の満足度を示したものである。満足とやや満足を合わせると、自家用車と路線バス、タクシーではやや低い評価であるが、その他は約 80% が満足としている。

表 1-4-12 移動手段別の今回の旅行の満足度

回答数	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	合計
その他の鉄道	38	27	14	0	0	79
自家用車	190	160	115	13	0	478
観光団体バス	3	9	2	1	0	15
路線バス	36	23	19	1	0	79
タクシー	17	10	10	0	1	38
レンタカー	39	20	6	3	0	68
自転車	10	5	2	0	0	17
徒歩	49	47	18	1	0	115
その他	4	3	3	0	0	10
合計	386	304	189	19	1	899

図 1-4-12 移動手段別の今回の旅行の満足度



1-4-3 山口市内の周遊行動における満足度

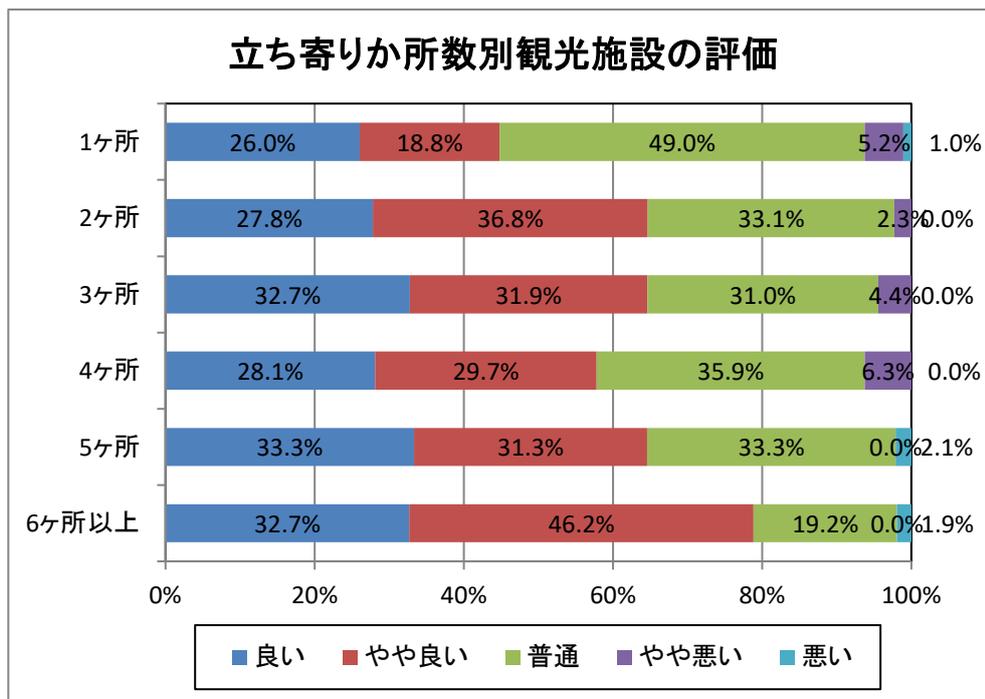
(1) 立ち寄りか所数別の観光施設の評価

表 1-4-13、図 1-4-13 は、山口市内で立ち寄った観光地の数と観光施設の評価を示したものである。全体として立ち寄りか所が多くなると、良いとする評価の割合が 60%以上と高くなっている。多くの観光施設に立ち寄るように周遊行動を促進することで、満足度を高くすることが可能になると考えられる。

表 1-4-13 立ち寄りか所数別観光施設の評価（回答数）

立ち寄りヶ所	観光施設の満足度					計
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	
1ヶ所	25	18	47	5	1	96
2ヶ所	37	49	44	3	0	133
3ヶ所	37	36	35	5	0	113
4ヶ所	18	19	23	4	0	64
5ヶ所	16	15	16	0	1	48
6ヶ所以上	17	24	10	0	1	52

図 1-4-13 立ち寄りか所数別観光施設の評価



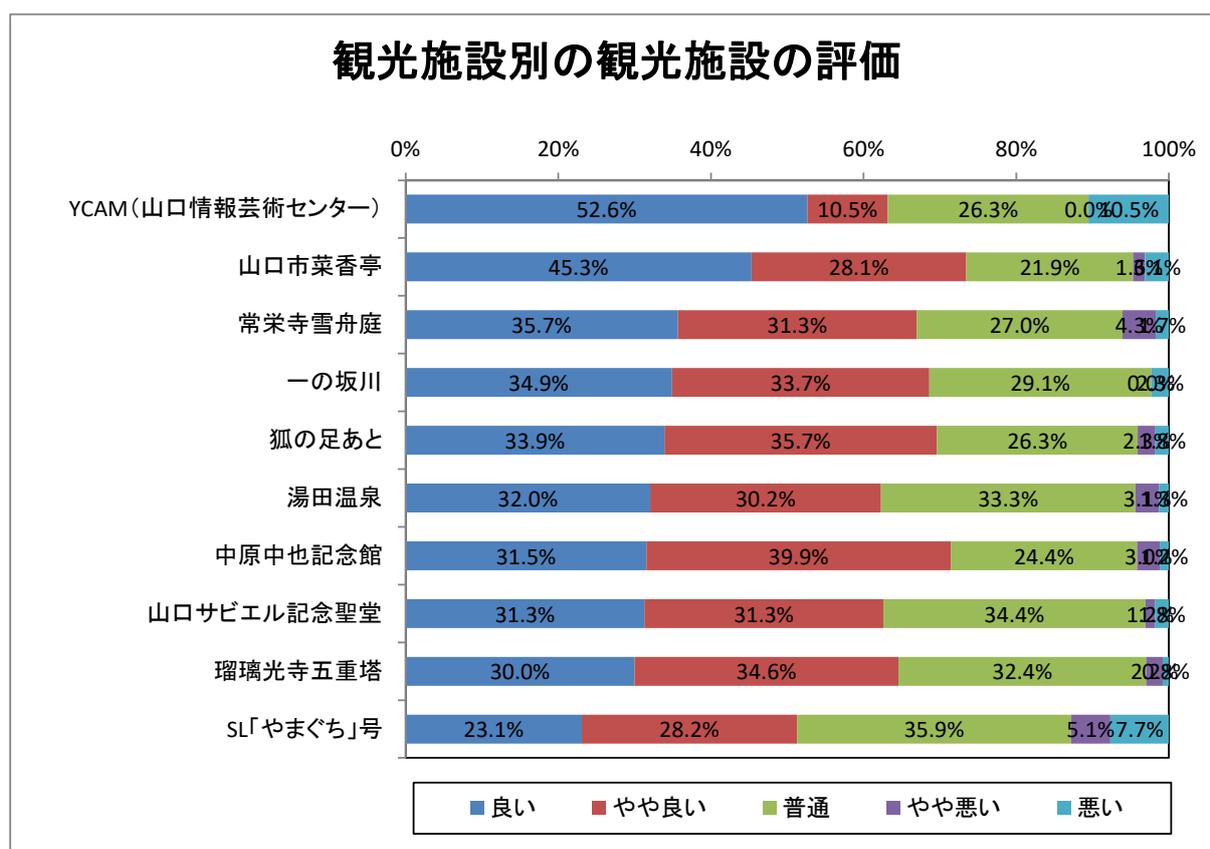
(2) 立ち寄り観光施設と観光施設の評価

表 1-4-14 は、回答数の多い観光施設について、観光施設の評価を集計したものである。概ね良い、やや良いとする回答割合が過半数を越えている。一方で、悪いとする訪問者は少ないものの、普通と評価する訪問者も多いため、全体の底上げが必要である（回答数の少ない施設を除く）。

表 1-4-14 立ち寄り観光施設別の観光施設の評価

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
湯田温泉	124	117	129	12	5	387
瑠璃光寺五重塔	110	127	119	8	3	367
狐の足あと	58	61	45	4	3	171
中原中也記念館	53	67	41	5	2	168
山口サビエル記念聖堂	51	51	56	2	3	163
常栄寺雪舟庭	41	36	31	5	2	115
一の坂川	30	29	25	0	2	86
山口市菜香亭	29	18	14	1	2	64
SL「やまぐち」号	9	11	14	2	3	39
YCAM(山口情報芸術センター)	10	2	5	0	2	19

図 1-4-14 立ち寄り観光施設別の観光施設の評価



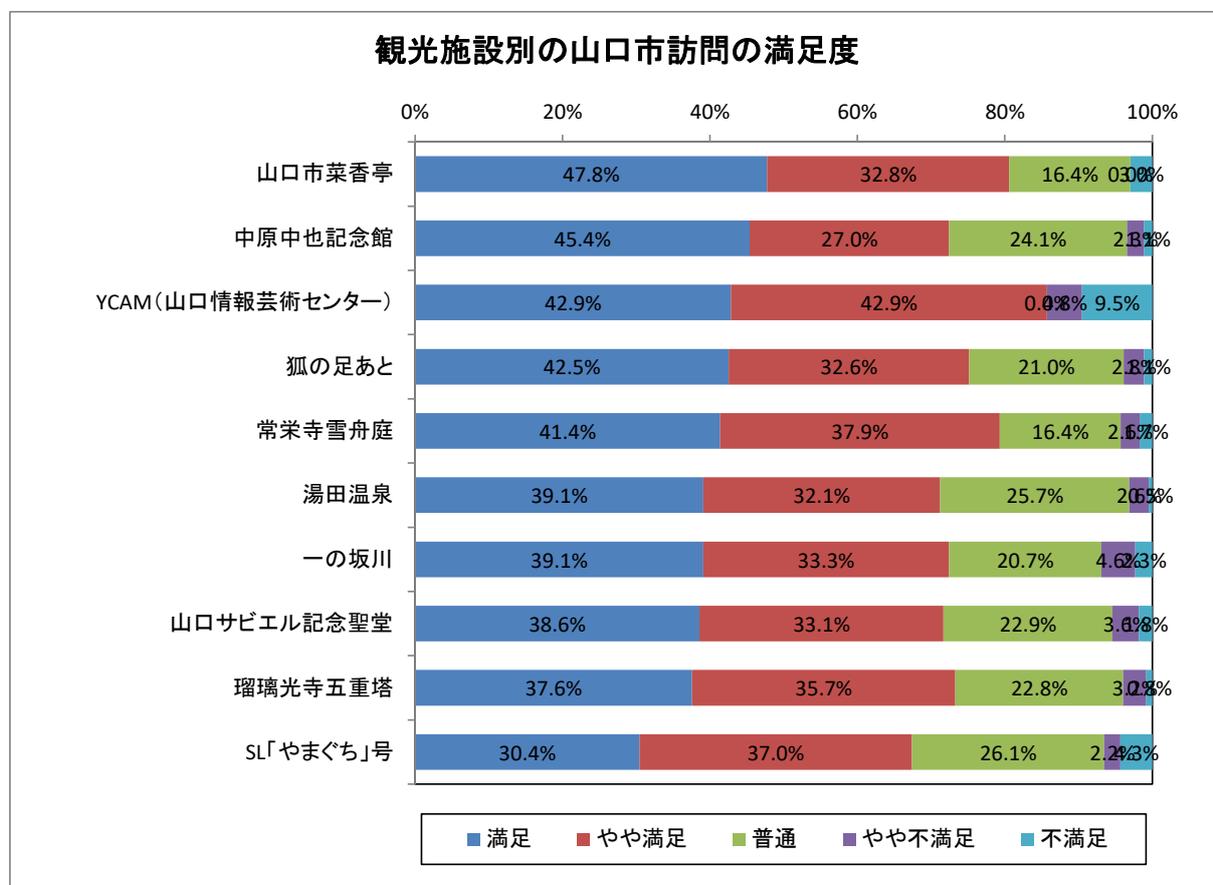
(3) 主要観光施設と山口市訪問の満足度

表 1-4-15 は、主要観光施設における山口市訪問の満足度を示したものである。各施設とも満足とやや満足を合わせると約 70% となっている。

表 1-4-15 立ち寄り観光施設別の山口市訪問の満足度

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	合計
湯田温泉	163	134	107	11	2	417
瑠璃光寺五重塔	142	135	86	12	3	378
狐の足あと	77	59	38	5	2	181
中原中也記念館	79	47	42	4	2	174
山口サビエル記念聖堂	64	55	38	6	3	166
常栄寺雪舟庭	48	44	19	3	2	116
一の坂川	34	29	18	4	2	87
山口市菜香亭	32	22	11	0	2	67
SL「やまぐち」号	14	17	12	1	2	46
YCAM(山口情報芸術センター)	9	9	0	1	2	21

図 1-4-15 立ち寄り観光施設別の山口市訪問の満足度



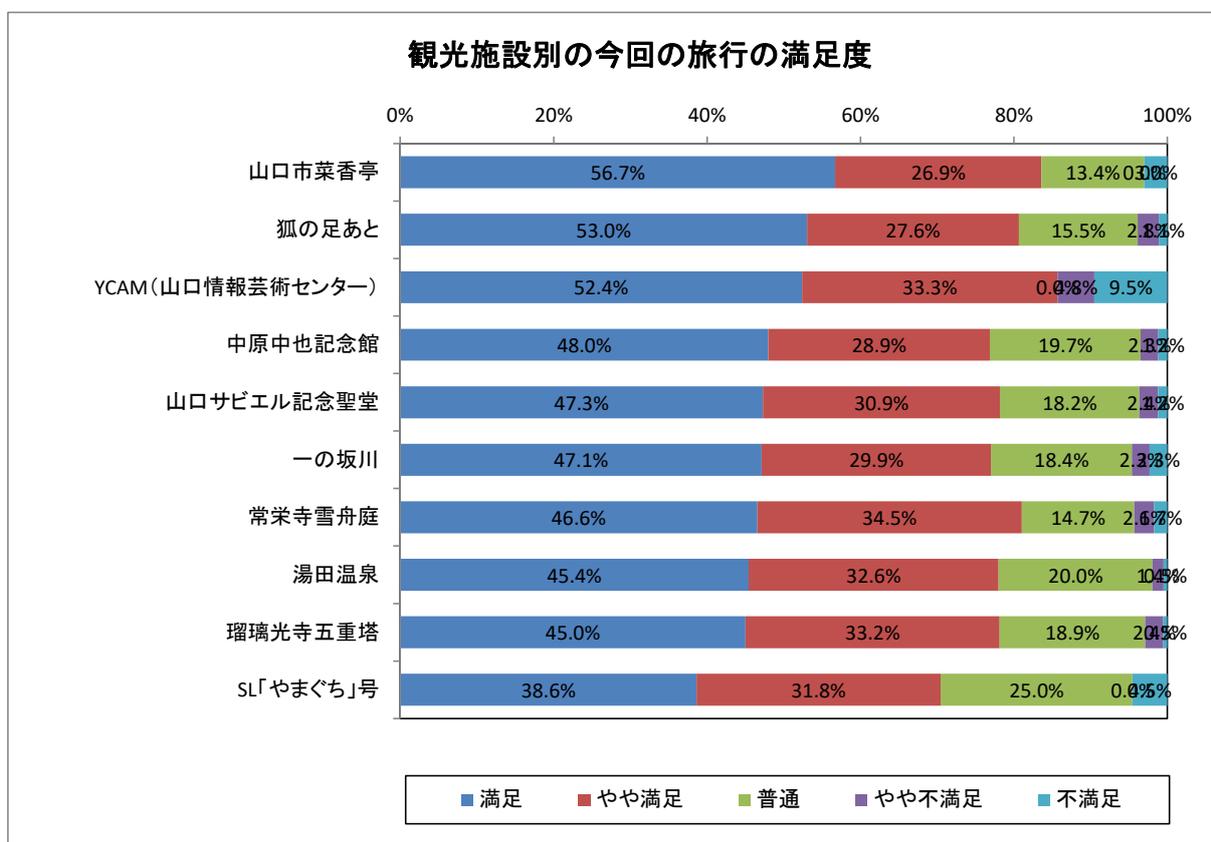
(4) 主要観光施設と今回の旅行の満足度

表 1-4-16 は、主要観光施設における今回の旅行の満足度を示したものである。満足とやや満足を合計すると全体的に 70%超が満足しているといえる。

表 1-4-16 立ち寄り観光施設別の今回の旅行の満足度

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	合計
湯田温泉	188	135	83	6	2	414
瑠璃光寺五重塔	171	126	72	9	2	380
狐の足あと	96	50	28	5	2	181
中原中也記念館	83	50	34	4	2	173
山口サビエル記念聖堂	78	51	30	4	2	165
常栄寺雪舟庭	54	40	17	3	2	116
一の坂川	41	26	16	2	2	87
山口市菜香亭	38	18	9	0	2	67
SL「やまぐち」号	17	14	11	0	2	44
YCAM(山口情報芸術センター)	11	7	0	1	2	21

図 1-4-16 立ち寄り観光施設別の今回の旅行の満足度



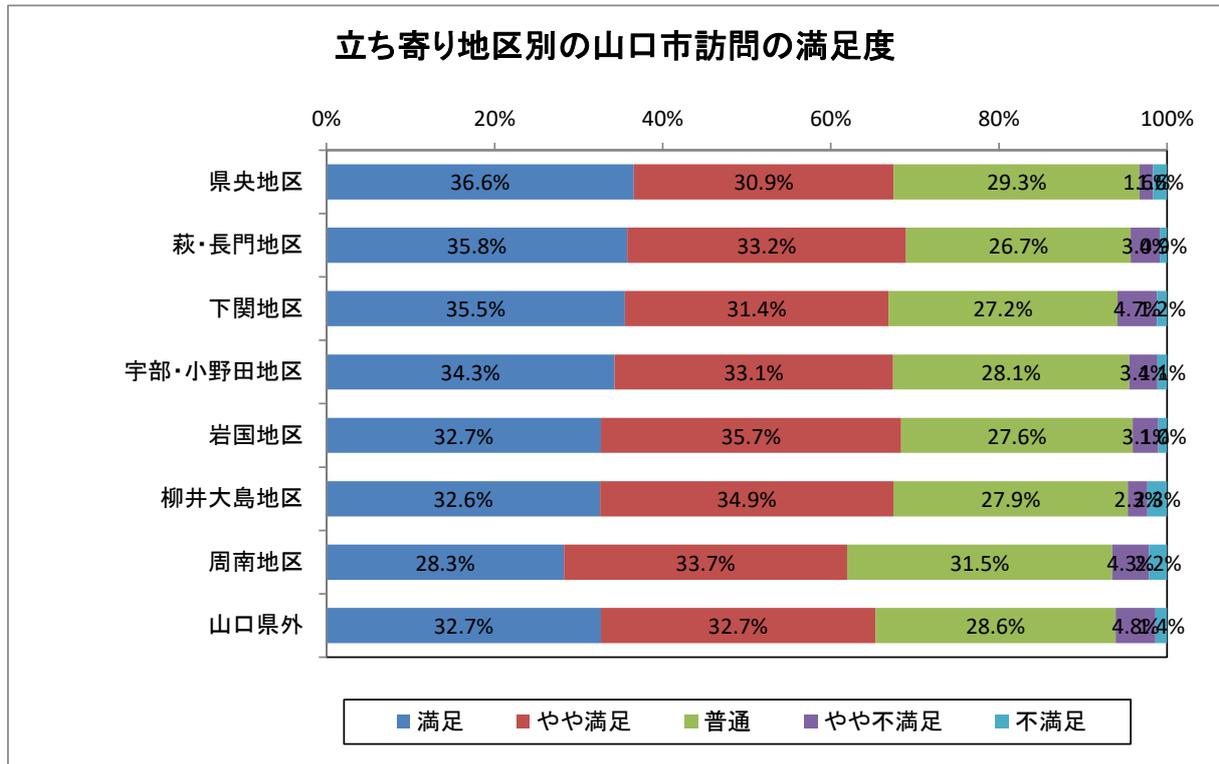
(5) 立ち寄り地区別の山口市訪問の満足度

表 1-4-17 は、立ち寄り地区別の山口市訪問の満足度を示したものである。満足とやや満足を合計すると全体的に 60% 超が満足しているといえる。

表 1-4-17 立ち寄り地区別の山口市訪問の満足度

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	合計
萩・長門地区	83	77	62	8	2	232
宇部・小野田地区	61	59	50	6	2	178
下関地区	60	53	46	8	2	169
県央地区	45	38	36	2	2	123
岩国地区	32	35	27	3	1	98
周南地区	26	31	29	4	2	92
柳井大島地区	14	15	12	1	1	43
山口県外	48	48	42	7	2	147

図 1-4-17 立ち寄り地区別の山口市訪問の満足度



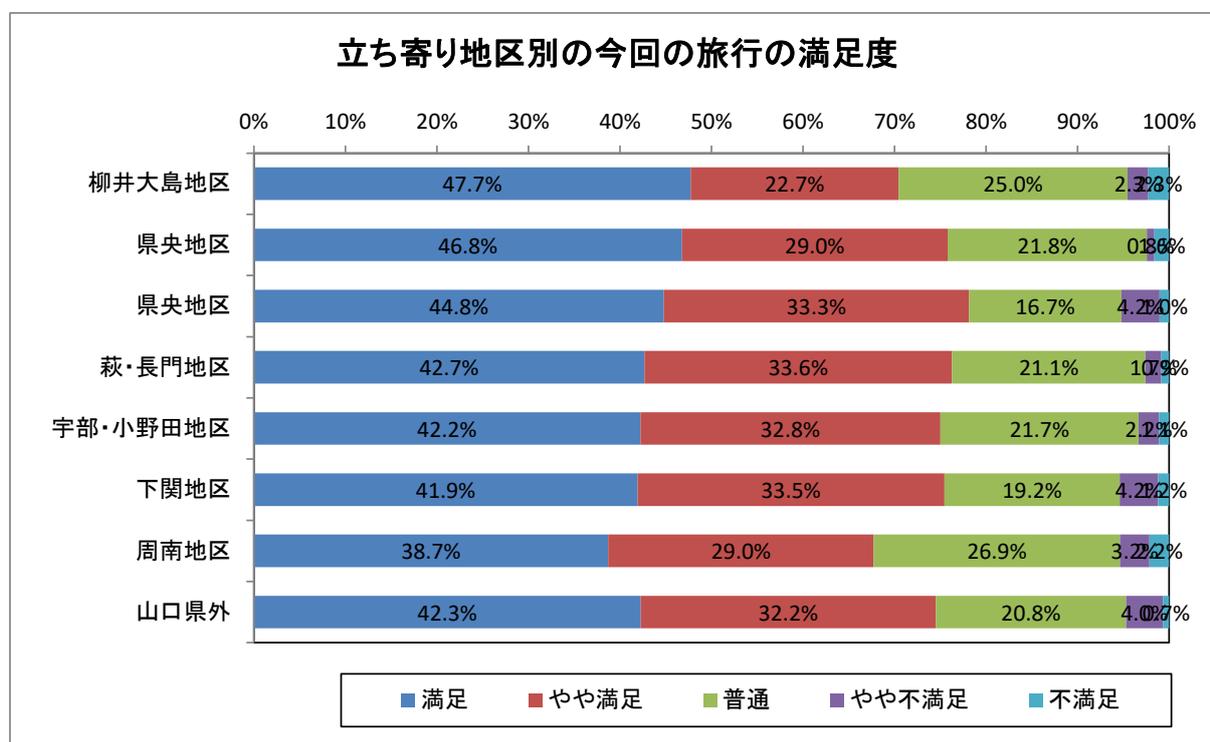
(6) 立ち寄り地区別の今回の旅行の満足度

表 1-4-18 は、立ち寄り地区別の今回の旅行の満足度を示したものである。満足と回答した割合は高い地区と低い地区では 10 ポイント程度の差がある。やや満足と合わせると柳井大島地区の割合がやや低くなっている。

表 1-4-18 立ち寄り地区別の今回の旅行の満足度

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	合計
萩・長門地区	99	78	49	4	2	232
宇部・小野田地区	76	59	39	4	2	180
下関地区	70	56	32	7	2	167
県央地区	58	36	27	1	2	124
県央地区	43	32	16	4	1	96
周南地区	36	27	25	3	2	93
柳井大島地区	21	10	11	1	1	44
山口県外	63	48	31	6	1	149

図 1-4-18 立ち寄り地区別の今回の旅行の満足度



1-4-4 満足度の決定要因

(1) 評価と満足度

表 1-4-19 は、山口市を訪れた旅行者の項目別の評価と満足度を集計したものである。満足度は観光地の魅力度と密接な指標であり、満足度の高い観光地は良い評価とともに口コミなどによって潜在的な観光客に紹介される。一方、満足度が低いと逆の効果もたらされ、観光客数やリピーター数の減少につながる。したがって、満足度を向上させることは、訪れた観光客の再訪を促すという直接的な効果のほかに、潜在的な観光客を惹きつける効果も期待される。

図 1-4-19 は、項目別の評価と満足度を示したグラフである。満足度の特徴は、主に 2 点あり、普通と評価されている項目が目立つこと、乗り継ぎに関してやや悪いと評価する割合が目立つことである。

まず、普通と評価されている項目が目立つことに関しては、とりわけ、宿泊施設の料金と土産物の価格と品揃えについて、50～80%程度の旅行者が普通と評価している。なかでも土産物の価格は約 80%、品揃えは 65%程度が普通としている。

また、交通の便の満足度に関しては、他の項目よりもやや悪いと評価される傾向にあるが、とりわけ、乗り継ぎについては、やや悪いが 14.5%であり、他の項目に比べて数値が高い。そのため、山口市における観光政策を計画するうえで、交通の便の満足度を向上させるような計画を立案することは必要である。

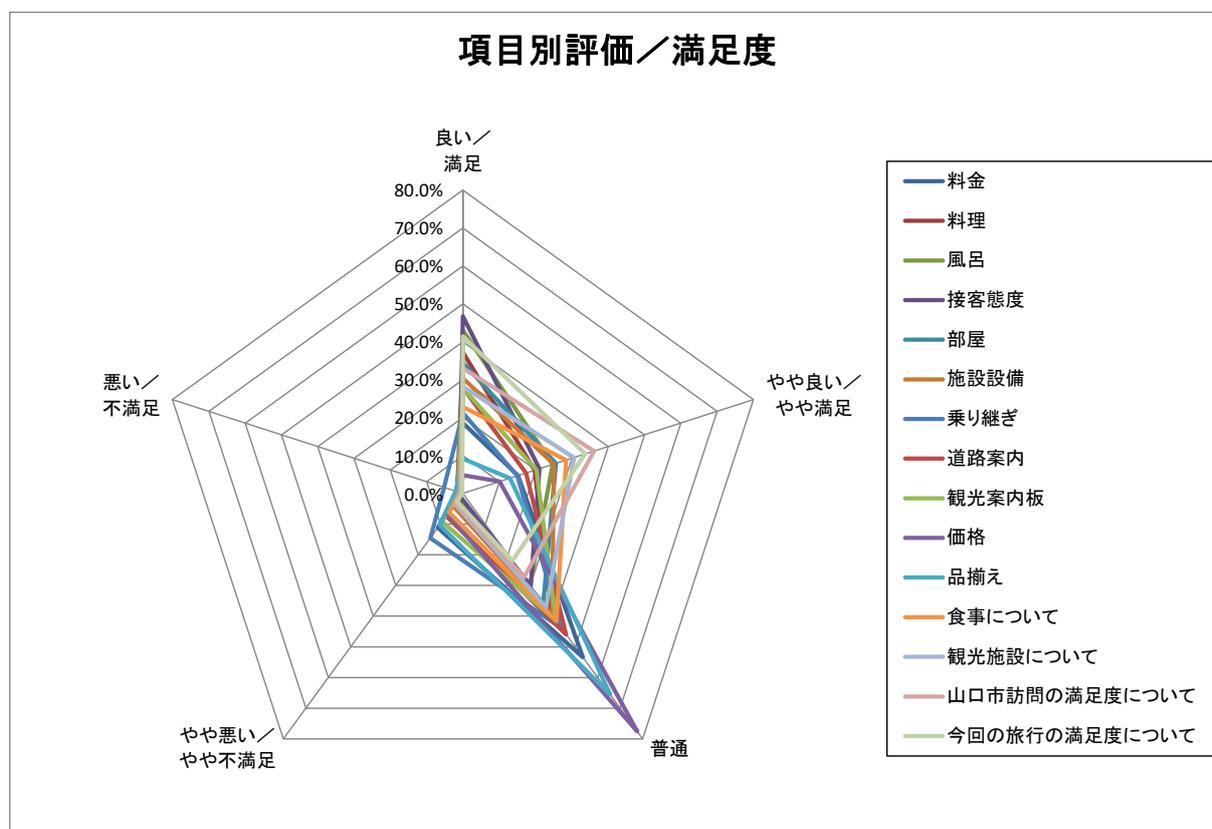
表 1-4-19 項目別評価／満足度

		良い／満足	やや良い／やや満足	普通	やや悪い／やや不満足	悪い／不満足	合計
宿泊施設について	料金	98	80	282	59	9	528
	料理	190	101	201	11	8	511
	風呂	225	129	156	8	5	523
	接客態度	251	113	162	6	5	537
	部屋	180	134	187	18	4	523
	施設設備	159	131	208	22	4	524
交通の便について	乗り継ぎ	98	69	203	67	24	461
	道路案内	176	110	291	47	9	633
	観光案内板	174	127	260	58	9	628
土産物について	価格	35	73	561	49	5	723
	品揃え	62	88	445	70	14	679
食事について		163	169	351	28	7	718
観光施設について		205	223	270	26	5	729
山口市訪問の満足度について		259	283	214	25	3	784
今回の旅行の満足度について		326	265	173	21	2	787

【構成比】

		良い／満足	やや良い／やや満足	普通	やや悪い／やや不満足	悪い／不満足	合計
宿泊施設について	料金	18.6%	15.2%	53.4%	11.2%	1.7%	100.0%
	料理	37.2%	19.8%	39.3%	2.2%	1.6%	100.0%
	風呂	43.0%	24.7%	29.8%	1.5%	1.0%	100.0%
	接客態度	46.7%	21.0%	30.2%	1.1%	0.9%	100.0%
	部屋	34.4%	25.6%	35.8%	3.4%	0.8%	100.0%
	施設設備	30.3%	25.0%	39.7%	4.2%	0.8%	100.0%
交通の便について	乗り継ぎ	21.3%	15.0%	44.0%	14.5%	5.2%	100.0%
	道路案内	27.8%	17.4%	46.0%	7.4%	1.4%	100.0%
	観光案内板	27.7%	20.2%	41.4%	9.2%	1.4%	100.0%
土産物について	価格	4.8%	10.1%	77.6%	6.8%	0.7%	100.0%
	品揃え	9.1%	13.0%	65.5%	10.3%	2.1%	100.0%
食事について		22.7%	23.5%	48.9%	3.9%	1.0%	100.0%
観光施設について		28.1%	30.6%	37.0%	3.6%	0.7%	100.0%
山口市訪問の満足度について		33.0%	36.1%	27.3%	3.2%	0.4%	100.0%
今回の旅行の満足度について		41.4%	33.7%	22.0%	2.7%	0.3%	100.0%

図 1-4-19 項目別評価／満足度



(2) 満足度の相関係数

満足度を向上させるための方策を検討する情報を得るために、ここでは、満足度がどのような要因によって決定されるのかを分析する。まず、満足度に関する各項目の評価を5段階で点数化し、相関関係を集約したものが表 1-4-20 である。いずれの項目間についても数値が正の値であることから概ね正の相関関係があるといえる。なお、文字が赤色の項目は相関係数が 0.5 を超えるものであり、さらに背景が黄色の項目は、相関係数が 0.8 以上のものである。相関係数が高いことはそれぞれ項目における満足度が互いに影響を及ぼし合っていると解釈できる（あるいは背後に影響を与えている共通の要因があると解釈できる）。

とりわけ、宿泊施設における満足度の項目間では数値が高くなっており、それぞれの項目について比較的強い相関があることがわかる。また、道路標識と観光案内板、お土産の価格と品揃えの相関も強い。

また、山口市訪問の満足度に着目すると、観光施設との間で相関関係が比較的高いことがわかる。さらに、今回の旅行の満足度については、当然のことながら山口市訪問の満足度と相関が強く、その他に観光施設との相関が強い。旅行の満足度としては観光施設の充実が課題といえる。

表 1-4-20 各項目の評価の相関係数

	料金	料理	風呂	接客態度	部屋	施設設備	乗り継ぎ	道路標識	観光案内板	価格	品揃え	食事	観光施設	山口市訪問の満足度	今回の旅行の満足度	
宿泊施設	料金	1.000														
	料理	0.780	1.000													
	風呂	0.781	0.858	1.000												
	接客態度	0.820	0.847	0.886	1.000											
	部屋	0.800	0.833	0.877	0.921	1.000										
	施設設備	0.802	0.823	0.856	0.917	0.930	1.000									
交通	乗り継ぎ	0.329	0.317	0.315	0.333	0.337	0.328	1.000								
	道路標識	0.339	0.323	0.335	0.345	0.350	0.365	0.350	1.000							
	観光案内板	0.377	0.369	0.384	0.392	0.398	0.411	0.407	0.760	1.000						
土産物	価格	0.286	0.318	0.323	0.329	0.326	0.331	0.352	0.355	0.370	1.000					
	品揃え	0.238	0.303	0.305	0.298	0.313	0.327	0.344	0.332	0.365	0.711	1.000				
食事		0.214	0.204	0.237	0.270	0.240	0.258	0.314	0.252	0.275	0.485	0.434	1.000			
観光施設		0.220	0.222	0.253	0.262	0.259	0.276	0.259	0.315	0.381	0.452	0.387	0.501	1.000		
山口市訪問の満足度		0.294	0.303	0.328	0.345	0.343	0.350	0.296	0.367	0.410	0.454	0.409	0.463	0.668	1.000	
今回の旅行の満足度		0.308	0.324	0.340	0.364	0.357	0.362	0.251	0.353	0.382	0.482	0.405	0.489	0.674	0.866	1.000

(3) 山口市訪問の満足度（重回帰式）

山口市訪問の満足度を被説明変数とし、他の項目を説明変数として重回帰分析を行ったところ、次に示す推定結果となった。

山口市訪問の満足度

$$\begin{aligned} &= 1.173 \quad - 0.004 \times \text{料金} \quad + 0.004 \times \text{料理} \quad - 0.002 \times \text{風呂} \\ &\quad (12.6) \quad ** \quad (-0.111) \quad (0.113) \quad (-0.049) \\ &\quad + 0.038 \times \text{接客態度} \quad + 0.045 \times \text{部屋} \quad - 0.007 \times \text{施設設備} \\ &\quad (0.744) \quad (0.834) \quad (-0.138) \\ &\quad + 0.012 \times \text{乗り継ぎ} \quad + 0.048 \times \text{道路標識} \quad + 0.044 \times \text{観光案内板} \\ &\quad (0.569) \quad (1.631) \quad (1.454) \\ &\quad + 0.069 \times \text{土産物の価格} \quad + 0.048 \times \text{土産物の品揃え} \\ &\quad (1.704) \quad (1.416) \\ &\quad + 0.088 \times \text{食事} \quad + 0.441 \times \text{観光施設} \\ &\quad (3.288) \quad ** \quad (16.9) \quad ** \end{aligned}$$

n（標本数）=867、決定係数：0.515、自由度修正済み決定係数：0.508、F値=69.71**
係数の下の（ ）はt値であり、*は5%有意、**は1%有意を示す。

重回帰分析の結果、有意水準5%で有意の変数をみると、山口市訪問の満足度は、食事、観光施設について有意な関係が認められる。つまり、山口市訪問の満足度を有意に高めると判断されるのは、食事と観光施設の評価が高くなることである（なお、係数がマイナスになっている変数があるが、これについては符号条件が一致しないため解釈しない）。

係数そのものをみると、観光施設が0.441と最も高く、次に食事が0.088となっていることから、観光施設と食事の満足度を上げることは、山口市訪問の満足度を上げる効果的な項目といえる。

(4) 今回の旅行の満足度 (重回帰式)

山口市訪問の満足度と同様に、今回の旅行の満足度を被説明変数とする重回帰分析を行った。推定結果は以下の式の通りである。

今回の旅行の満足度

$$\begin{aligned} &= 1.217 + 0.001 \times \text{料金} + 0.034 \times \text{料理} - 0.021 \times \text{風呂} \\ &\quad (13.20) ** \quad (0.041) \quad (0.951) \quad (-0.535) \\ &\quad + 0.056 \times \text{接客態度} + 0.055 \times \text{部屋} - 0.024 \times \text{施設設備} \\ &\quad \quad (1.110) \quad (1.038) \quad (-0.465) \\ &\quad - 0.036 \times \text{乗り継ぎ} + 0.055 \times \text{道路標識} + 0.014 \times \text{観光案内板} \\ &\quad \quad (-1.694) \quad (1.901) \quad (0.454) \\ &\quad + 0.139 \times \text{土産物の価格} + 0.011 \times \text{土産物の品揃え} \\ &\quad \quad (3.440) ** \quad (0.313) \\ &\quad + 0.122 \times \text{食事} + 0.441 \times \text{観光施設} \\ &\quad \quad (4.572) ** \quad (17.05) ** \end{aligned}$$

n (標本数) = 867、決定係数 : 0.533、自由度修正済み決定係数 : 0.526、F 値 = 75**
係数の下の () は t 値であり、*は 5%有意、**は 1%有意を示す。

重回帰分析の結果、有意水準 5% で有意な変数をみると、今回の旅行の満足度は、土産物の価格、食事、観光施設の項目について有意な関係が認められる。旅行全体の満足度を有意に高めると判断されるのは、土産物の価格、食事、そして観光施設であった (なお、係数がマイナスになっている変数があるが、これについては符号条件が一致しないため解釈しない)。

符号条件の一致しないものを除いて、係数そのものをみると、観光施設が 0.441、土産物の価格が 0.139 と高く、旅行全体の満足度に大きな影響を及ぼすといえる。

調査票（2020年版）

（表面）



7 5 3 8 7 9 0

山口市亀山町2番1号
山口市役所 ふるさと創生部 観光交流課行



〒	〒	市	町	番	号
〒		郡・区	町・郷	番	号
〒		TEL() -			
性別	1. 男	2. 女	年齢	歳	
職業について当てはまるものを1つだけ○で囲んでください。 1. 会社員 2. 農林漁業 3. 自営業 4. 公務員・団体職員 5. 学生 6. 主婦・主夫 7. アルバイト・パート 8. 無業・定年退職 9. その他()					
山口市にあつたら良いもの又は不足しているものは何ですか。					
普段から旅行情報の収集に利用する媒体（旅行雑誌・HP等）の名称をご記入下さい。					
山口市の観光についてのご感想・ご意見をご記入下さい。					
今回の旅行で山口市以外にお立ち寄りになった地区番号とその番号を○で囲んでください。 1. 岩国地区（岩国市、岩国市） 2. 柳井大島地区（柳井市、高防大島町、平生町、上関町、田布施町） 3. 高橋地区（高橋市、下関市、光市） 4. 鹿島地区（防府市） 5. 萩・長門地区（萩市、長門市、阿武町） 6. 下関地区（下関市） 7. 宇部・小野田地区（宇部市、山崎小野田市、美祿市） 8. 山口県外（広島県・福岡県・その他） 9. 山口市以外に立ち寄った地区はない					

真面目につづきます。

山口市観光動態アンケート

「山口市」へようこそいらっしゃいました。
みなさまのご旅行をより楽しくしていただくための資料といたしますので、恐れ入りますが、アンケートにご回答いただき、切り取り線で切り離し、お近くのポストにご投函ください。（切手不要）

抽選で山口市の記念品をプレゼント!

※プレゼントの当選は発送をもってかえさせていただきます。

～アンケートの記入について（お願い）～

左枠内におとこ、おなまえ等をご記入いただき、裏面のアンケートにご協力ください。

山口県



お問い合わせ

山口市ふるさと創生部
観光交流課
TEL 083-934-2810
FAX 083-934-2549

山口大学経済学部
観光経済経営研究プロジェクト
・野村研究室 TEL/FAX 083-933-5572

★山口市観光公式サイト 西の京やまぐち 検索 <http://yamaguchi-city.jp/>

※アンケート結果による個人情報について
ご記入いただいた個人情報（プレゼントの抽選及びお問い合わせ）ご意見をいただいた場合の連絡のみに使用させていただきます。

第 2 部 2009 年～2020 年における時系列の集計結果

第 2 部では、2009 年から 2020 年において行ったアンケート調査結果を 12 年の時系列としてまとめる。なお、12 年を経過するなかで、アンケートの調査項目や選択肢が変更されているものがあるが、12 年で比較できるものを中心に整理し、新しい項目については 3 年以上のものを掲載している。また、項目名については同様の意味とされるものについて便宜上統一して表示している。

2-1 性別

表 2-1-1 は、2009 年から 2020 年までの性別の回答数と構成比の推移を表したものである。男性が約 40%、女性が約 60%で推移しており、12 年間の推移に大きな変化はなく、いずれも男性よりも女性が多い結果となっている。

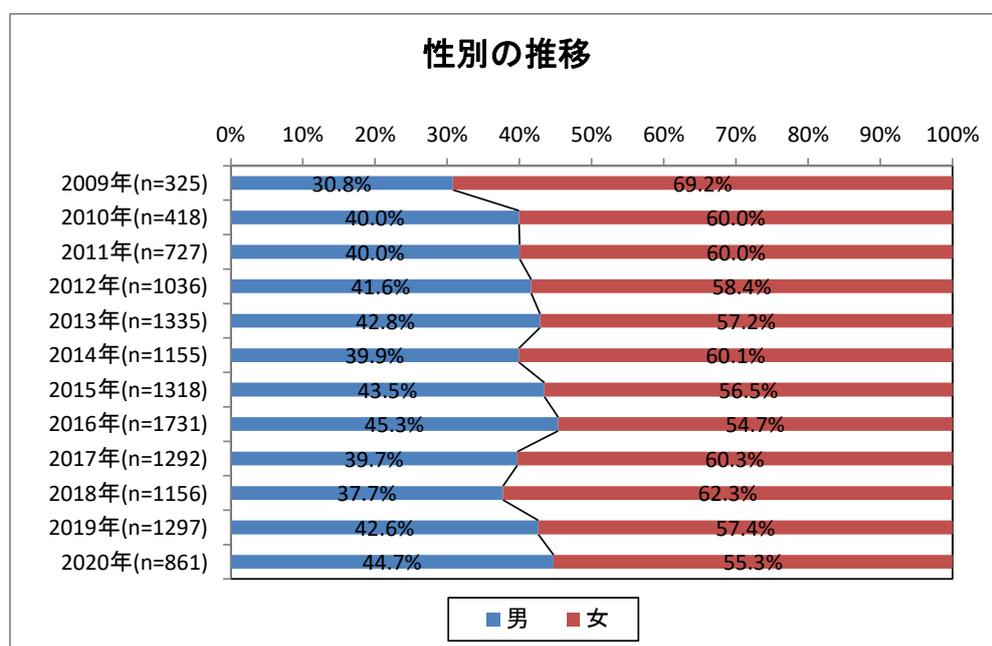
表 2-1-1 性別の回答数

性別	男	女	合計
2009年	100	225	325
2010年	167	251	418
2011年	291	436	727
2012年	431	605	1,036
2013年	572	763	1,335
2014年	461	694	1,155
2015年	573	745	1,318
2016年	785	946	1,731
2017年	513	779	1,292
2018年	436	720	1,156
2019年	553	744	1,297
2020年	385	476	861

【構成比】

性別	男	女	合計
2009年	30.8%	69.2%	100.0%
2010年	40.0%	60.0%	100.0%
2011年	40.0%	60.0%	100.0%
2012年	41.6%	58.4%	100.0%
2013年	42.8%	57.2%	100.0%
2014年	39.9%	60.1%	100.0%
2015年	43.5%	56.5%	100.0%
2016年	45.3%	54.7%	100.0%
2017年	39.7%	60.3%	100.0%
2018年	37.7%	62.3%	100.0%
2019年	42.6%	57.4%	100.0%
2020年	44.7%	55.3%	100.0%

図 2-1-1 性別の推移



2-2 年齢

表 2-2-1 は、2009 年から 2020 年までの年齢別の回答数の推移を表したものである。いずれの年も 50 代、60 代の割合が多い。一方、最も少ない年齢層は 9 歳以下で、続いて 10 代という傾向がある。

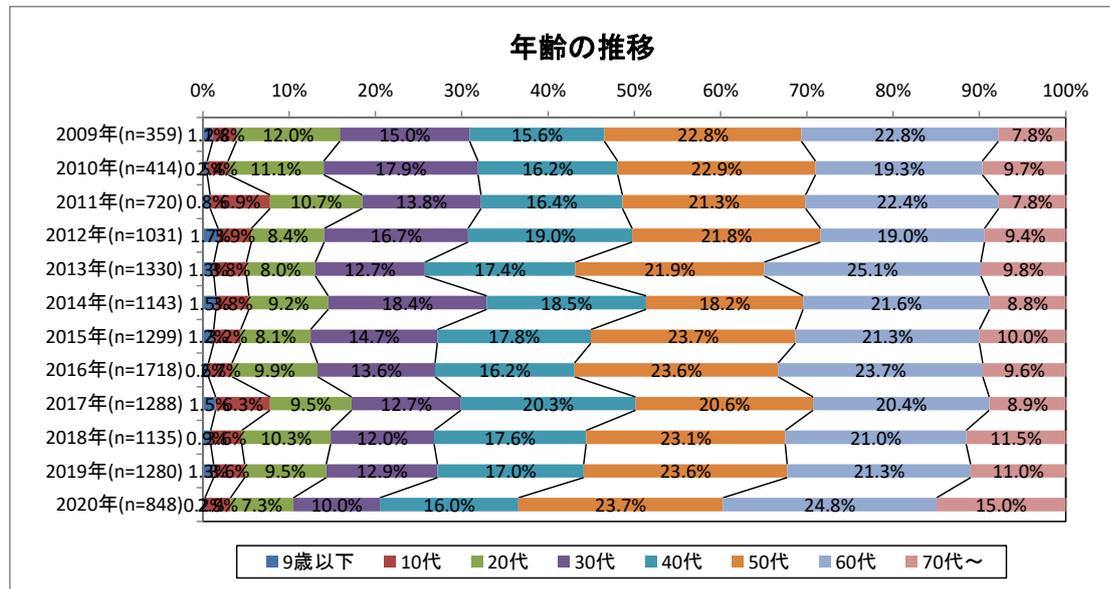
表 2-2-1 年齢別の回答数

年齢	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
2009年	4	10	43	54	56	82	82	28	359
2010年	2	10	46	74	67	95	80	40	414
2011年	6	50	77	99	118	153	161	56	720
2012年	18	40	87	172	196	225	196	97	1,031
2013年	17	50	106	169	232	291	334	131	1,330
2014年	17	44	105	210	211	208	247	101	1,143
2015年	16	41	105	191	231	308	277	130	1,299
2016年	11	47	170	234	278	405	408	165	1,718
2017年	19	81	122	163	261	265	263	114	1,288
2018年	10	41	117	136	200	262	238	131	1,135
2019年	16	46	121	165	217	302	272	141	1,280
2020年	2	25	62	85	136	201	210	127	848

【構成比】

年齢	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
2009年	1.1%	2.8%	12.0%	15.0%	15.6%	22.8%	22.8%	7.8%	100.0%
2010年	0.5%	2.4%	11.1%	17.9%	16.2%	22.9%	19.3%	9.7%	100.0%
2011年	0.8%	6.9%	10.7%	13.8%	16.4%	21.3%	22.4%	7.8%	100.0%
2012年	1.7%	3.9%	8.4%	16.7%	19.0%	21.8%	19.0%	9.4%	100.0%
2013年	1.3%	3.8%	8.0%	12.7%	17.4%	21.9%	25.1%	9.8%	100.0%
2014年	1.5%	3.8%	9.2%	18.4%	18.5%	18.2%	21.6%	8.8%	100.0%
2015年	1.2%	3.2%	8.1%	14.7%	17.8%	23.7%	21.3%	10.0%	100.0%
2016年	0.6%	2.7%	9.9%	13.6%	16.2%	23.6%	23.7%	9.6%	100.0%
2017年	1.5%	6.3%	9.5%	12.7%	20.3%	20.6%	20.4%	8.9%	100.0%
2018年	0.9%	3.6%	10.3%	12.0%	17.6%	23.1%	21.0%	11.5%	100.0%
2019年	1.3%	3.6%	9.5%	12.9%	17.0%	23.6%	21.3%	11.0%	100.0%
2020年	0.2%	2.9%	7.3%	10.0%	16.0%	23.7%	24.8%	15.0%	100.0%

図 2-2-1 年齢の推移



2-3 職業

表 2-3-1 は、2009 年から 2020 年までの職業別の回答数の推移を表したものである。いずれの年も最も多いのは会社員であり、次が、主婦・主夫という傾向である。

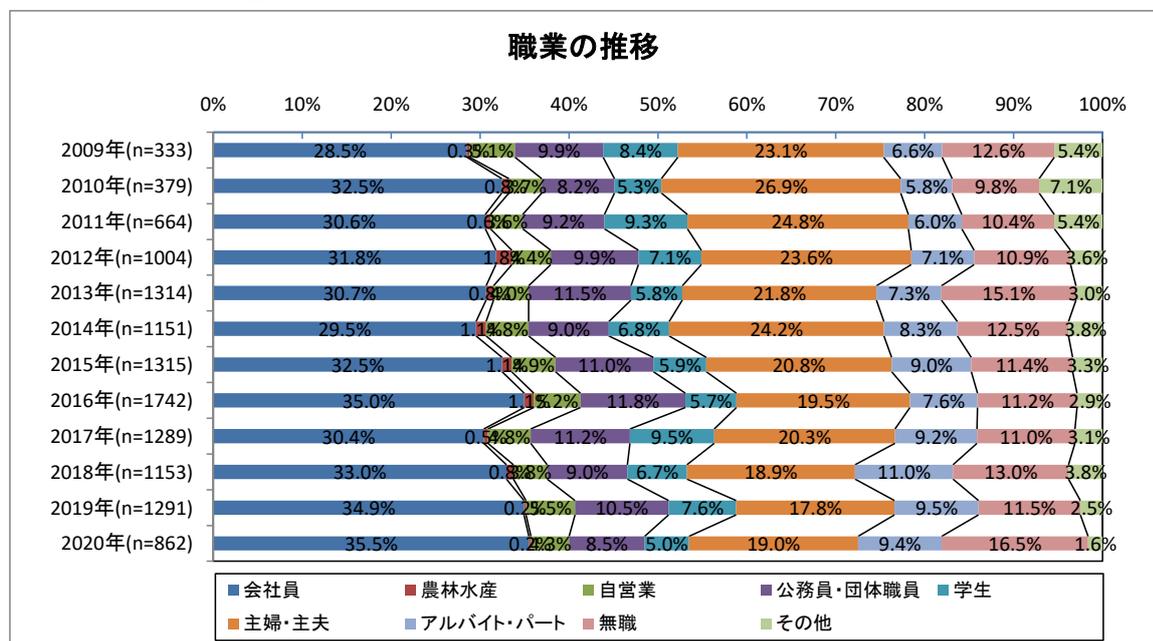
表 2-3-1 職業

職業	会社員	農林水産	自営業	公務員・団体職員	学生	主婦・主夫	アルバイト・パート	無職	その他	合計
2009年	95	1	17	33	28	77	22	42	18	333
2010年	123	3	14	31	20	102	22	37	27	379
2011年	203	4	24	61	62	165	40	69	36	664
2012年	319	18	44	99	71	237	71	109	36	1,004
2013年	403	11	52	151	76	287	96	199	39	1,314
2014年	340	13	55	104	78	278	95	144	44	1,151
2015年	427	14	65	145	78	274	118	150	44	1,315
2016年	609	19	91	206	100	340	132	195	50	1,742
2017年	392	6	62	144	122	262	119	142	40	1,289
2018年	380	9	44	104	77	218	127	150	44	1,153
2019年	451	3	71	136	98	230	122	148	32	1,291
2020年	306	2	37	73	43	164	81	142	14	862

【構成比】

職業	会社員	農林水産	自営業	公務員・団体職員	学生	主婦・主夫	アルバイト・パート	無職	その他	合計
2009年	28.5%	0.3%	5.1%	9.9%	8.4%	23.1%	6.6%	12.6%	5.4%	100.0%
2010年	32.5%	0.8%	3.7%	8.2%	5.3%	26.9%	5.8%	9.8%	7.1%	100.0%
2011年	30.6%	0.6%	3.6%	9.2%	9.3%	24.8%	6.0%	10.4%	5.4%	100.0%
2012年	31.8%	1.8%	4.4%	9.9%	7.1%	23.6%	7.1%	10.9%	3.6%	100.0%
2013年	30.7%	0.8%	4.0%	11.5%	5.8%	21.8%	7.3%	15.1%	3.0%	100.0%
2014年	29.5%	1.1%	4.8%	9.0%	6.8%	24.2%	8.3%	12.5%	3.8%	100.0%
2015年	32.5%	1.1%	4.9%	11.0%	5.9%	20.8%	9.0%	11.4%	3.3%	100.0%
2016年	35.0%	1.1%	5.2%	11.8%	5.7%	19.5%	7.6%	11.2%	2.9%	100.0%
2017年	30.4%	0.5%	4.8%	11.2%	9.5%	20.3%	9.2%	11.0%	3.1%	100.0%
2018年	33.0%	0.8%	3.8%	9.0%	6.7%	18.9%	11.0%	13.0%	3.8%	100.0%
2019年	34.9%	0.2%	5.5%	10.5%	7.6%	17.8%	9.5%	11.5%	2.5%	100.0%
2020年	35.5%	0.2%	4.3%	8.5%	5.0%	19.0%	9.4%	16.5%	1.6%	100.0%

図 2-3-1 職業の推移



2-4 居住地

表 2-4-1 は、2009 年から 2020 年までの居住地別の回答数の推移を表したものである。山口県内外に区分した場合、いずれの年も山口県外の居住者が多い結果となった。

居住地構成を地方で見ると、どの地方も増減を繰り返している。

なお、2009 年～2011 年までと 2012 年以降の山口県内の地域区分（東・中・北・西部）は異なるので、山口県内の地区を比較する際は注意が必要である。

表 2-4-1 居住地別の回答数

居住地	山口県内				山口県外									合計
	東部	中部	北部	西部	北海道	東北	関東	甲信越	東海	近畿	中国	四国	九州	
2009年	46	39	3	23	2	2	45	2	26	47	173	9	50	467
2010年	58	42	1	34	1	17	38	6	19	35	161	7	56	475
2011年	94	97	7	68	4	30	68	8	27	76	132	17	94	722
2012年	118	94	11	107	9	14	143	13	69	147	184	23	114	1,046
2013年	149	91	16	120	8	20	197	24	68	189	232	27	205	1,346
2014年	121	92	3	132	9	9	172	23	67	128	215	33	165	1,169
2015年	103	124	12	92	11	17	231	17	56	193	268	33	177	1,334
2016年	120	119	6	107	8	10	279	17	67	294	434	63	233	1,757
2017年	128	100	7	79	8	6	221	23	59	191	249	47	183	1,307
2018年	104	92	8	111	9	7	195	17	54	158	212	29	170	1,166
2019年	102	84	12	95	7	7	205	18	67	195	280	28	202	1,302
2020年	129	80	7	95	6	3	89	9	24	120	171	18	116	867

【構成比】

居住地	山口県内				山口県外									合計
	東部	中部	北部	西部	北海道	東北	関東	甲信越	東海	近畿	中国	四国	九州	
2009年	9.9%	8.4%	0.6%	4.9%	0.4%	0.4%	9.6%	0.4%	5.6%	10.1%	37.0%	1.9%	10.7%	100.0%
2010年	12.2%	8.8%	0.2%	7.2%	0.2%	3.6%	8.0%	1.3%	4.0%	7.4%	33.9%	1.5%	11.8%	100.0%
2011年	13.0%	13.4%	1.0%	9.4%	0.6%	4.2%	9.4%	1.1%	3.7%	10.5%	18.3%	2.4%	13.0%	100.0%
2012年	11.3%	9.0%	1.1%	10.2%	0.9%	1.3%	13.7%	1.2%	6.6%	14.1%	17.6%	2.2%	10.9%	100.0%
2013年	11.1%	6.8%	1.2%	8.9%	0.6%	1.5%	14.6%	1.8%	5.1%	14.0%	17.2%	2.0%	15.2%	100.0%
2014年	10.4%	7.9%	0.3%	11.3%	0.8%	0.8%	14.7%	2.0%	5.7%	10.9%	18.4%	2.8%	14.1%	100.0%
2015年	7.7%	9.3%	0.9%	6.9%	0.8%	1.3%	17.3%	1.3%	4.2%	14.5%	20.1%	2.5%	13.3%	100.0%
2016年	6.8%	6.8%	0.3%	6.1%	0.5%	0.6%	15.9%	1.0%	3.8%	16.7%	24.7%	3.6%	13.3%	100.0%
2017年	9.8%	7.7%	0.5%	6.1%	0.6%	0.5%	17.0%	1.8%	4.5%	14.7%	19.1%	3.6%	14.1%	100.0%
2018年	8.9%	7.9%	0.7%	9.5%	0.8%	0.6%	16.7%	1.5%	4.6%	13.6%	18.2%	2.5%	14.6%	100.0%
2019年	7.8%	6.5%	0.9%	7.3%	0.5%	0.5%	15.7%	1.4%	5.1%	15.0%	21.5%	2.2%	15.5%	100.0%
2020年	14.9%	9.2%	0.8%	11.0%	0.7%	0.3%	10.3%	1.0%	2.8%	13.8%	19.7%	2.1%	13.4%	100.0%

図 2-4-1 居住地の推移（山口県内・県外別）

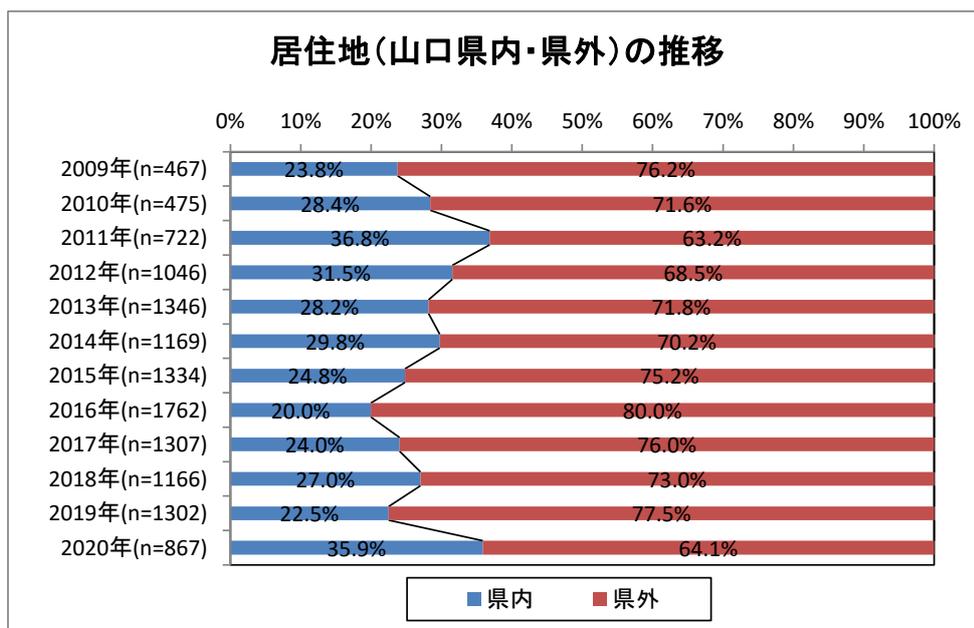
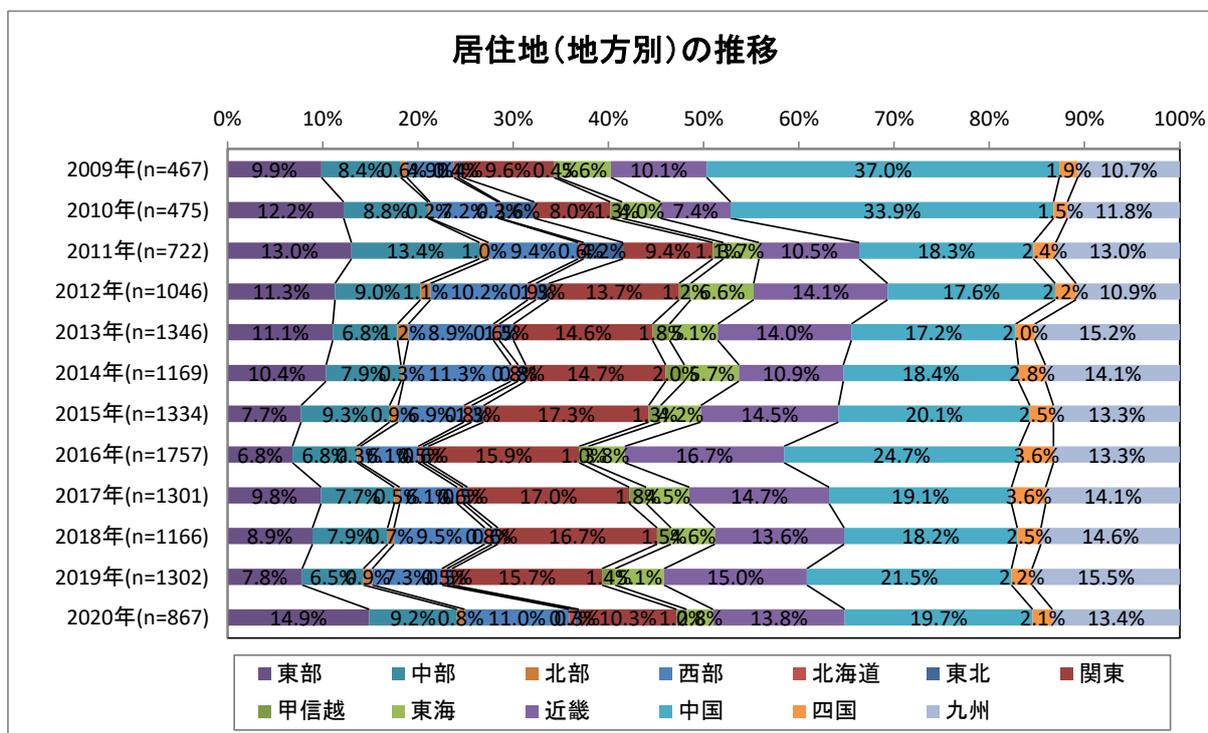


図 2-4-2 居住地構成の推移（地方別）



2-5 山口市以外の立ち寄りエリア

表 2-5-1 は、2009 年から 2020 年までの山口市以外で立ち寄った地域の割合を表したものである。いずれの年も山口県内においては、萩・長門地区が最も多く、それに続き宇部・小野田地区と下関地区が高い割合を占めている。また、2014 年以降は全体的に立ち寄りエリアの数が減少していたが、2017 年に再び増加したが 2020 年は再び減少した。

表 2-5-1 立ち寄りエリアの回答（複数回答）

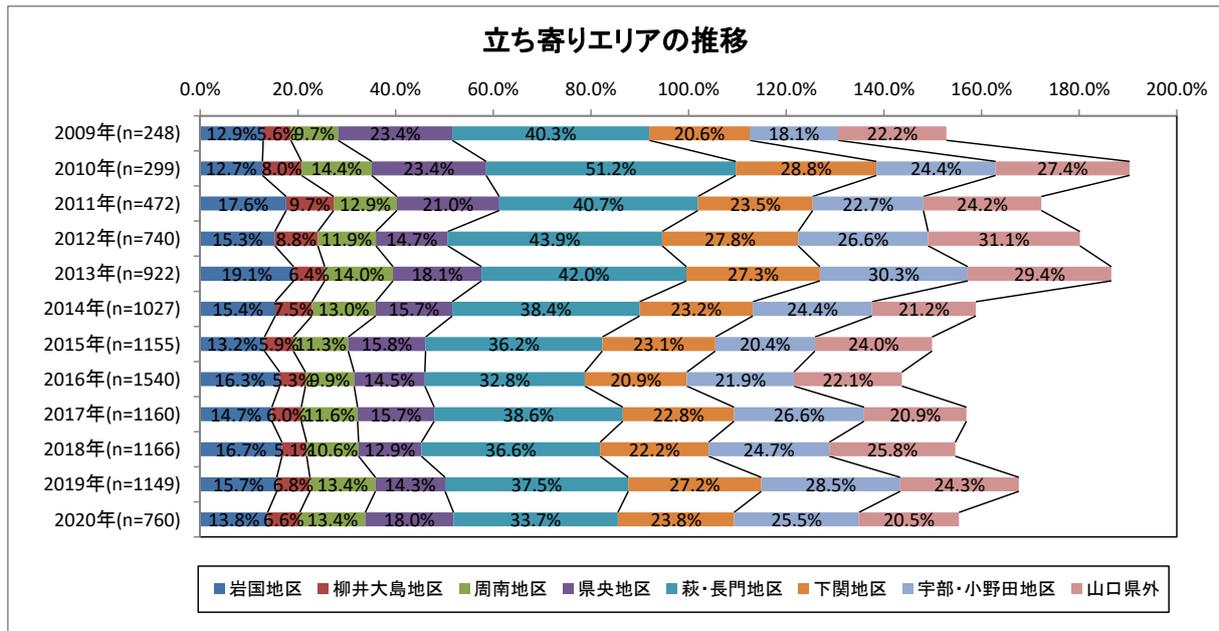
立ち寄り エリア	岩国 地区	柳井大島 地区	周南 地区	県央 地区	萩・長門 地区	下関 地区	宇部・小 野田地区	山口県外	合計	回答者数
2009年	32	14	24	58	100	51	45	55	379	248
2010年	38	24	43	70	153	86	73	82	569	299
2011年	83	46	61	99	192	111	107	114	813	472
2012年	113	65	88	109	325	206	197	230	1,333	740
2013年	176	59	129	167	387	252	279	271	1,720	922
2014年	158	77	134	161	394	238	251	218	1,631	1,027
2015年	152	68	130	183	418	267	236	277	1,731	1,155
2016年	251	81	153	223	505	322	337	341	2,213	1,540
2017年	170	70	134	182	448	264	309	243	1,820	1,160
2018年	195	59	124	150	427	259	288	301	1,803	1,166
2019年	180	78	154	164	431	313	327	279	1,926	1,149
2020年	105	50	102	137	256	181	194	156	1,181	760

【構成比】

立ち寄り エリア	岩国 地区	柳井大島 地区	周南 地区	県央 地区	萩・長門 地区	下関 地区	宇部・小 野田地区	山口県外	合計	回答者数
2009年	12.9%	5.6%	9.7%	23.4%	40.3%	20.6%	18.1%	22.2%	152.8%	100.0%
2010年	12.7%	8.0%	14.4%	23.4%	51.2%	28.8%	24.4%	27.4%	190.3%	100.0%
2011年	17.6%	9.7%	12.9%	21.0%	40.7%	23.5%	22.7%	24.2%	172.2%	100.0%
2012年	15.3%	8.8%	11.9%	14.7%	43.9%	27.8%	26.6%	31.1%	180.1%	100.0%
2013年	19.1%	6.4%	14.0%	18.1%	42.0%	27.3%	30.3%	29.4%	186.6%	100.0%
2014年	15.4%	7.5%	13.0%	15.7%	38.4%	23.2%	24.4%	21.2%	158.8%	100.0%
2015年	13.2%	5.9%	11.3%	15.8%	36.2%	23.1%	20.4%	24.0%	149.9%	100.0%
2016年	16.3%	5.3%	9.9%	14.5%	32.8%	20.9%	21.9%	22.1%	143.7%	100.0%
2017年	14.7%	6.0%	11.6%	15.7%	38.6%	22.8%	26.6%	20.9%	156.9%	100.0%
2018年	16.7%	5.1%	10.6%	12.9%	36.6%	22.2%	24.7%	25.8%	154.6%	100.0%
2019年	15.7%	6.8%	13.4%	14.3%	37.5%	27.2%	28.5%	24.3%	167.6%	100.0%
2020年	13.8%	6.6%	13.4%	18.0%	33.7%	23.8%	25.5%	20.5%	155.4%	100.0%

注) 複数回答項目であるため合計は 100% とならない。

図 2-5-1 立ち寄りエリアの推移（複数回答）



2-6 旅行の主な目的

表 2-6-1 は、2009 年から 2020 年までの旅行の主な目的を表したものである。いずれの年も観光・旅行・温泉を目的とした訪問が最も多くなっている。2011 年は、大会・イベント出席の割合が増加しているが、山口国体・山口大会の影響と考えられ、その後の割合は低下している。

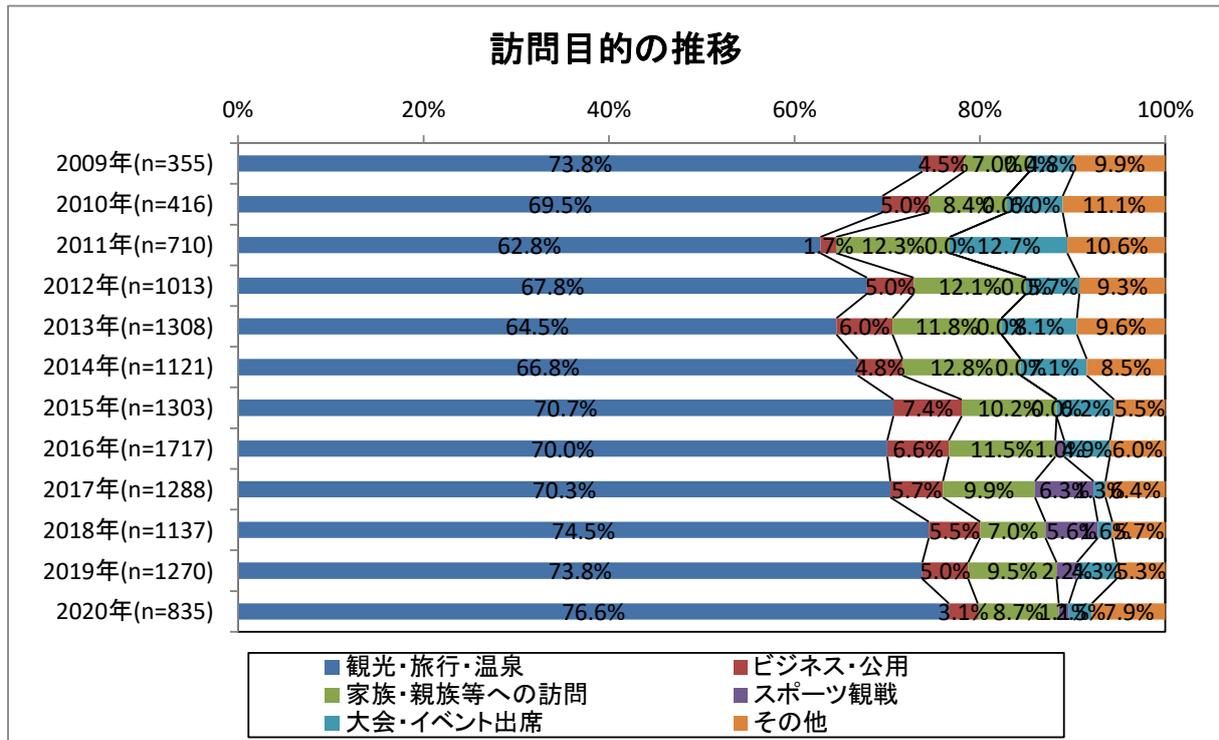
表 2-6-1 訪問目的の回答数

訪問目的	観光・旅行・温泉	ビジネス・公用	家族・親族等への訪問	スポーツ観戦	大会・イベント出席	その他	合計
2009年	262	16	25	－	17	35	355
2010年	289	21	35	－	25	46	416
2011年	446	12	87	－	90	75	710
2012年	687	51	123	－	58	94	1,013
2013年	844	79	154	－	106	125	1,308
2014年	749	54	143	－	80	95	1,121
2015年	921	96	133	－	81	72	1,303
2016年	1,202	114	197	17	84	103	1,717
2017年	906	73	128	81	17	83	1,288
2018年	847	63	80	64	18	65	1,137
2019年	937	63	121	28	54	67	1,270
2020年	640	26	73	9	21	66	835

【構成比】

訪問目的	観光・旅行・温泉	ビジネス・公用	家族・親族等への訪問	スポーツ観戦	大会・イベント出席	その他	合計
2009年	73.8%	4.5%	7.0%	－	4.8%	9.9%	100.0%
2010年	69.5%	5.0%	8.4%	－	6.0%	11.1%	100.0%
2011年	62.8%	1.7%	12.3%	－	12.7%	10.6%	100.0%
2012年	67.8%	5.0%	12.1%	－	5.7%	9.3%	100.0%
2013年	64.5%	6.0%	11.8%	－	8.1%	9.6%	100.0%
2014年	66.8%	4.8%	12.8%	－	7.1%	8.5%	100.0%
2015年	70.7%	7.4%	10.2%	－	6.2%	5.5%	100.0%
2016年	70.0%	6.6%	11.5%	1.0%	4.9%	6.0%	100.0%
2017年	70.3%	5.7%	9.9%	6.3%	1.3%	6.4%	100.0%
2018年	74.5%	5.5%	7.0%	5.6%	1.6%	5.7%	100.0%
2019年	73.8%	5.0%	9.5%	2.2%	4.3%	5.3%	100.0%
2020年	76.6%	3.1%	8.7%	1.1%	2.5%	7.9%	100.0%

図 2-6-1 訪問目的の推移



2-7 山口市を候補にあげたきっかけの媒体

表 2-7-1 は、2009 年から 2020 年までの山口市を旅行先の候補にあげたきっかけの媒体別の回答数である。本質問は、回答数を 1 つのみ選択するものである。いずれの年もその他が最も多く、続いて知人・友人が多い割合を占めている。2015 年と 2018 年は例年に比べテレビの割合が高くなっており、大河ドラマの放映ややまぐち夢花博の開催が影響していると考えられる。旅行誌の項目は 2018 年以降はガイドブックを含んだ数値、インターネットの項目は 2017 年以降は観光情報サイトの数値である。

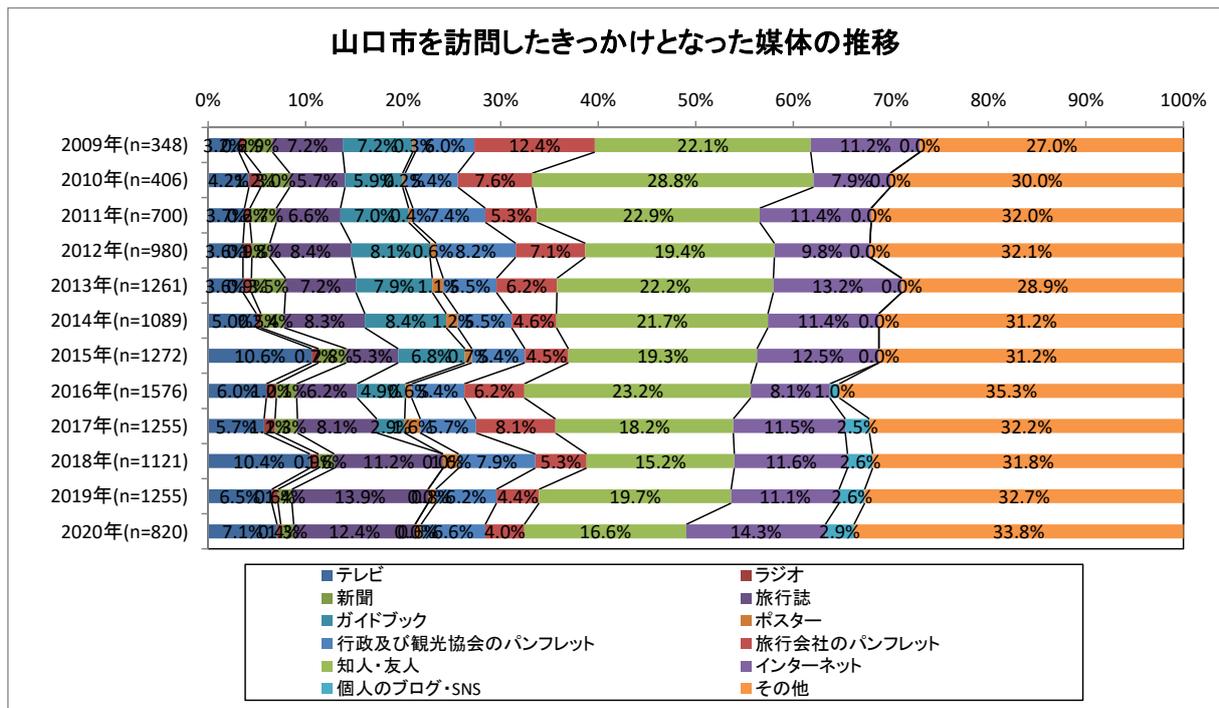
表 2-7-1 山口市を候補にあげたきっかけの媒体

山口市を訪問したきっかけ	テレビ	ラジオ	新聞	旅行誌	ガイドブック	ポスター	行政及び観光協会のパンフレット	旅行会社のパンフレット	知人・友人	インターネット	個人のブログ・SNS	その他	合計
2009年	11	2	10	25	25	1	21	43	77	39	-	94	348
2010年	17	5	12	23	24	1	22	31	117	32	-	122	406
2011年	26	4	19	46	49	3	52	37	160	80	-	224	700
2012年	35	9	18	82	79	6	80	70	190	96	-	315	980
2013年	45	11	44	91	99	14	69	78	280	166	-	364	1,261
2014年	54	5	26	90	91	13	60	50	236	124	-	340	1,089
2015年	135	9	36	68	87	9	69	57	246	159	-	397	1,272
2016年	94	16	33	98	78	10	85	97	366	128	15	556	1,576
2017年	72	14	29	102	36	20	72	102	229	144	31	404	1,255
2018年	117	10	18	125	-	18	88	59	170	130	29	357	1,121
2019年	82	8	18	175	-	10	78	55	247	139	33	410	1,255
2020年	58	3	11	102	-	5	54	33	136	117	24	277	820

【構成比】

山口市を訪問したきっかけ	テレビ	ラジオ	新聞	旅行誌	ガイドブック	ポスター	行政及び観光協会のパンフレット	旅行会社のパンフレット	知人・友人	インターネット	個人のブログ・SNS	その他	合計
2009年	3.2%	0.6%	2.9%	7.2%	7.2%	0.3%	6.0%	12.4%	22.1%	11.2%	-	27.0%	100.0%
2010年	4.2%	1.2%	3.0%	5.7%	5.9%	0.2%	5.4%	7.6%	28.8%	7.9%	-	30.0%	100.0%
2011年	3.7%	0.6%	2.7%	6.6%	7.0%	0.4%	7.4%	5.3%	22.9%	11.4%	-	32.0%	100.0%
2012年	3.6%	0.9%	1.8%	8.4%	8.1%	0.6%	8.2%	7.1%	19.4%	9.8%	-	32.1%	100.0%
2013年	3.6%	0.9%	3.5%	7.2%	7.9%	1.1%	5.5%	6.2%	22.2%	13.2%	-	28.9%	100.0%
2014年	5.0%	0.5%	2.4%	8.3%	8.4%	1.2%	5.5%	4.6%	21.7%	11.4%	-	31.2%	100.0%
2015年	10.6%	0.7%	2.8%	5.3%	6.8%	0.7%	5.4%	4.5%	19.3%	12.5%	-	31.2%	100.0%
2016年	6.0%	1.0%	2.1%	6.2%	4.9%	0.6%	5.4%	6.2%	23.2%	8.1%	1.0%	35.3%	100.0%
2017年	5.7%	1.1%	2.3%	8.1%	2.9%	1.6%	5.7%	8.1%	18.2%	11.5%	2.5%	32.2%	100.0%
2018年	10.4%	0.9%	1.6%	11.2%	-	1.6%	7.9%	5.3%	15.2%	11.6%	2.6%	31.8%	100.0%
2019年	6.5%	0.6%	1.4%	13.9%	-	0.8%	6.2%	4.4%	19.7%	11.1%	2.6%	32.7%	100.0%
2020年	7.1%	0.4%	1.3%	12.4%	-	0.6%	6.6%	4.0%	16.6%	14.3%	2.9%	33.8%	100.0%

図 2-7-1 山口市を候補にあげたきっかけの媒体の推移



2-8 旅行の同行者

表 2-8-1 は、旅行の同行者との関係について示したものである。いずれの年も家族が最も多く、続いて夫婦と友人・知人の割合が例年高くなっている。2015 年以降はひとりの割合が増加している。

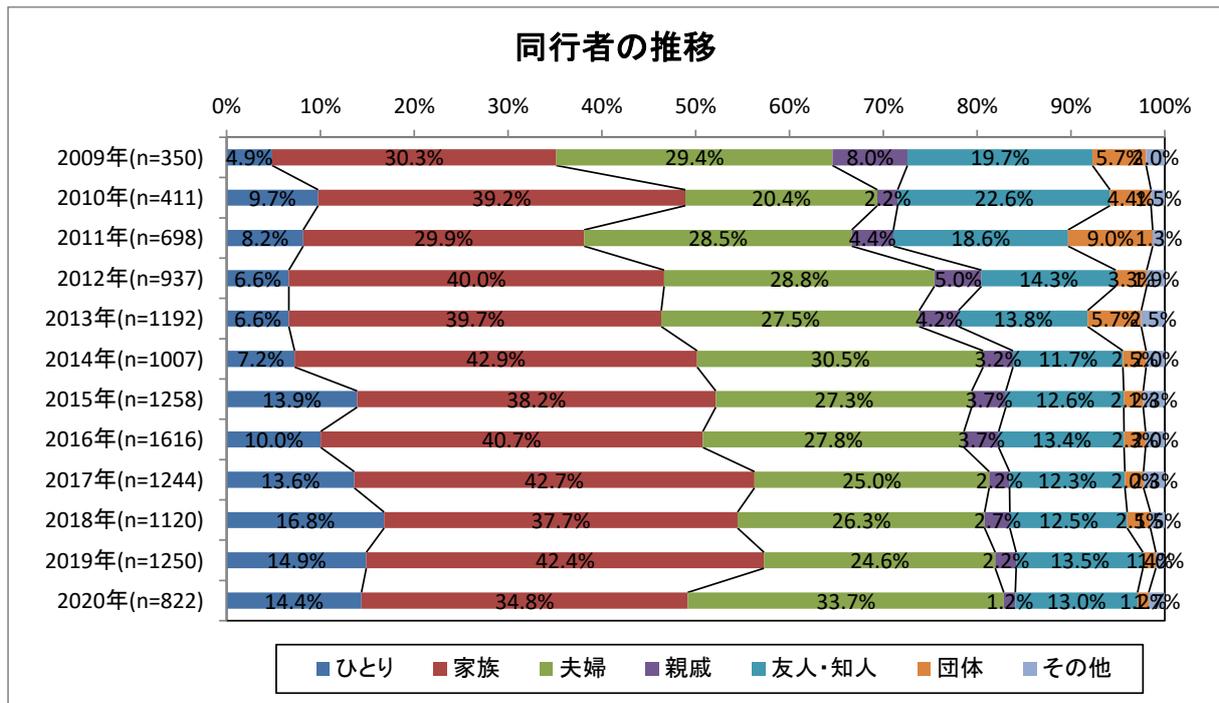
表 2-8-1 旅行の同行者

同行者	ひとり	家族	夫婦	親戚	友人・知人	団体	その他	合計
2009年	17	106	103	28	69	20	7	350
2010年	40	161	84	9	93	18	6	411
2011年	57	209	199	31	130	63	9	698
2012年	62	375	270	47	134	31	18	937
2013年	79	473	328	50	164	68	30	1,192
2014年	73	432	307	32	118	25	20	1,007
2015年	175	481	343	46	158	26	29	1,258
2016年	162	658	450	60	216	37	33	1,616
2017年	169	531	311	27	153	25	28	1,244
2018年	188	422	295	30	140	28	17	1,120
2019年	186	530	308	28	169	17	12	1,250
2020年	118	286	277	10	107	10	14	822

【構成比】

同行者	ひとり	家族	夫婦	親戚	友人・知人	団体	その他	合計
2009年	4.9%	30.3%	29.4%	8.0%	19.7%	5.7%	2.0%	100.0%
2010年	9.7%	39.2%	20.4%	2.2%	22.6%	4.4%	1.5%	100.0%
2011年	8.2%	29.9%	28.5%	4.4%	18.6%	9.0%	1.3%	100.0%
2012年	6.6%	40.0%	28.8%	5.0%	14.3%	3.3%	1.9%	100.0%
2013年	6.6%	39.7%	27.5%	4.2%	13.8%	5.7%	2.5%	100.0%
2014年	7.2%	42.9%	30.5%	3.2%	11.7%	2.5%	2.0%	100.0%
2015年	13.9%	38.2%	27.3%	3.7%	12.6%	2.1%	2.3%	100.0%
2016年	10.0%	40.7%	27.8%	3.7%	13.4%	2.3%	2.0%	100.0%
2017年	13.6%	42.7%	25.0%	2.2%	12.3%	2.0%	2.3%	100.0%
2018年	16.8%	37.7%	26.3%	2.7%	12.5%	2.5%	1.5%	100.0%
2019年	14.9%	42.4%	24.6%	2.2%	13.5%	1.4%	1.0%	100.0%
2020年	14.4%	34.8%	33.7%	1.2%	13.0%	1.2%	1.7%	100.0%

図 2-8-1 旅行の同行者の推移



2-9 旅行の同行人数

表 2-9-1 は、2009 年から 2020 年までの旅行の同行者の人数の推移を示したものである。いずれの年も 2 人が最も多くなっている。また、どの項目も大きな変動は無い。

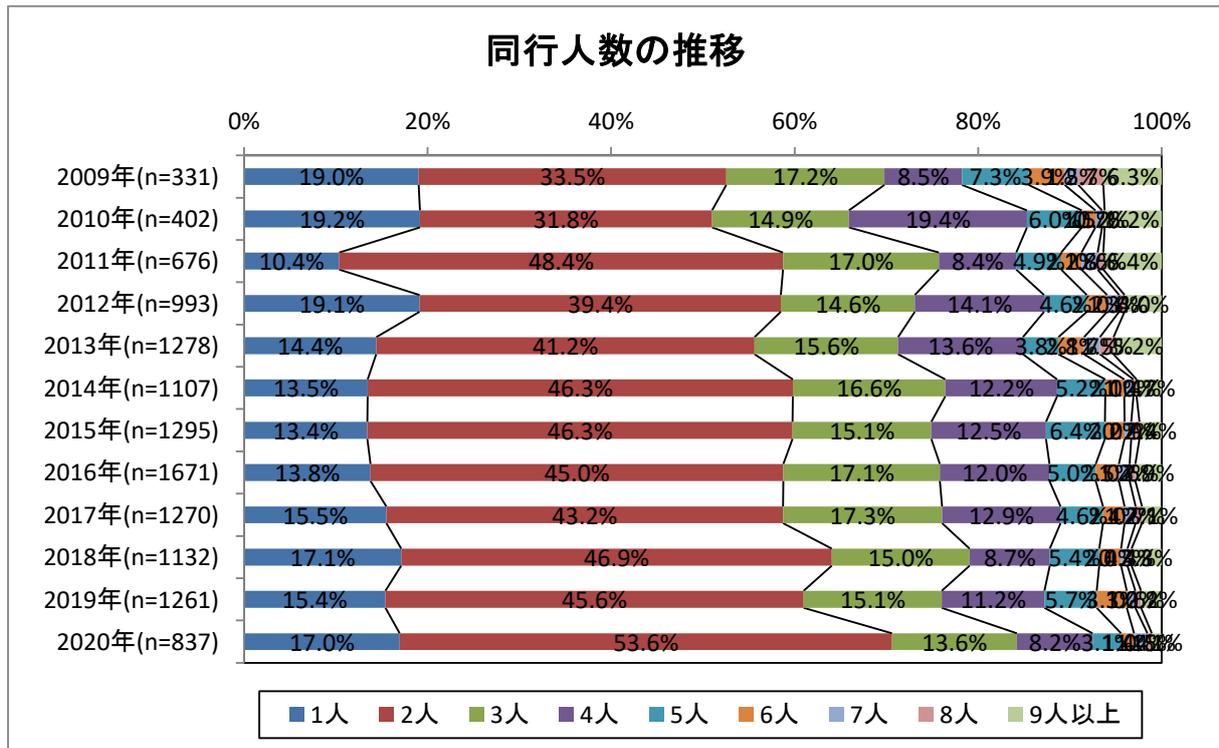
表 2-9-1 旅行の同行人数

同行人数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人以上	合計
2009年	63	111	57	28	24	13	5	9	21	331
2010年	77	128	60	78	24	6	3	1	25	402
2011年	70	327	115	57	33	15	12	4	43	676
2012年	190	391	145	140	46	22	13	6	40	993
2013年	184	527	200	174	49	36	22	19	67	1,278
2014年	149	513	184	135	58	23	11	4	30	1,107
2015年	174	600	196	162	83	28	9	12	31	1,295
2016年	230	752	285	200	84	42	20	10	48	1,671
2017年	197	549	220	164	59	30	15	9	27	1,270
2018年	194	531	170	99	61	27	8	5	37	1,132
2019年	194	575	190	141	72	41	12	8	28	1,261
2020年	142	449	114	69	26	12	12	4	9	837

【構成比】

同行人数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人以上	合計
2009年	19.0%	33.5%	17.2%	8.5%	7.3%	3.9%	1.5%	2.7%	6.3%	100.0%
2010年	19.2%	31.8%	14.9%	19.4%	6.0%	1.5%	0.7%	0.2%	6.2%	100.0%
2011年	10.4%	48.4%	17.0%	8.4%	4.9%	2.2%	1.8%	0.6%	6.4%	100.0%
2012年	19.1%	39.4%	14.6%	14.1%	4.6%	2.2%	1.3%	0.6%	4.0%	100.0%
2013年	14.4%	41.2%	15.6%	13.6%	3.8%	2.8%	1.7%	1.5%	5.2%	100.0%
2014年	13.5%	46.3%	16.6%	12.2%	5.2%	2.1%	1.0%	0.4%	2.7%	100.0%
2015年	13.4%	46.3%	15.1%	12.5%	6.4%	2.2%	0.7%	0.9%	2.4%	100.0%
2016年	13.8%	45.0%	17.1%	12.0%	5.0%	2.5%	1.2%	0.6%	2.9%	100.0%
2017年	15.5%	43.2%	17.3%	12.9%	4.6%	2.4%	1.2%	0.7%	2.1%	100.0%
2018年	17.1%	46.9%	15.0%	8.7%	5.4%	2.4%	0.7%	0.4%	3.3%	100.0%
2019年	15.4%	45.6%	15.1%	11.2%	5.7%	3.3%	1.0%	0.6%	2.2%	100.0%
2020年	17.0%	53.6%	13.6%	8.2%	3.1%	1.4%	1.4%	0.5%	1.1%	100.0%

図 2-9-1 旅行の同行者人数の推移



2-10 山口市への旅行回数

表 2-10-1 は、2009 年から 2020 年までの山口市への旅行回数の推移を示したものである。いずれの年も初めて(1回)と 2回、10回以上の割合が高い傾向がある。

図 2-10-1 は、2009 年から 2020 年までの山口市に初めて訪れた旅行者とリピーターの構成の推移を示したグラフである。近年、初めて訪れた旅行者の割合が徐々に増加してきたが、2020 年は減少した。

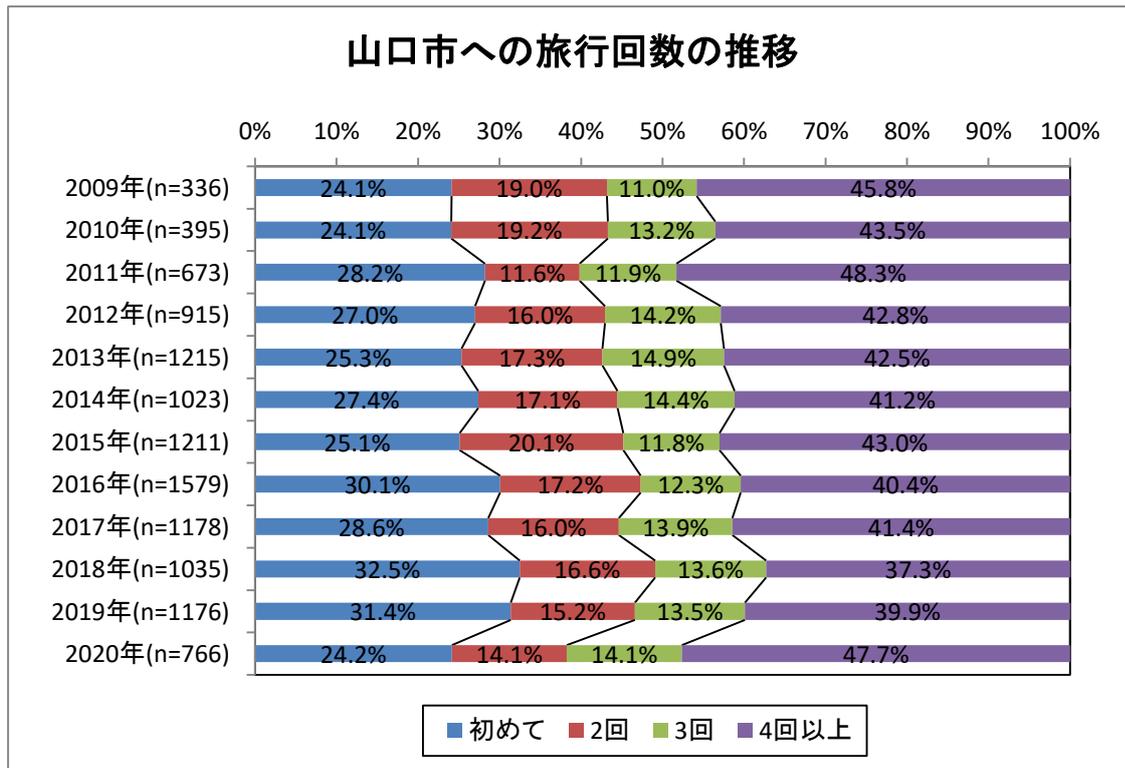
表 2-10-1 山口市への旅行回数

旅行回数	初めて (1回)	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回 以上	合計
2009年	81	64	37	10	37	8	5	0	1	93	336
2010年	95	76	52	25	34	13	7	5	0	88	395
2011年	190	78	80	33	61	21	14	5	1	190	673
2012年	247	146	130	52	101	26	21	7	1	184	915
2013年	308	210	181	76	120	29	28	13	6	244	1,215
2014年	280	175	147	49	103	39	14	14	1	201	1,023
2015年	304	243	143	78	131	29	24	20	4	235	1,211
2016年	475	272	194	91	169	48	31	23	8	268	1,579
2017年	337	189	164	78	119	30	17	23	1	220	1,178
2018年	336	172	141	67	75	24	15	21	1	183	1,035
2019年	369	179	159	68	104	31	15	16	1	234	1,176
2020年	185	108	108	44	76	26	13	12	6	188	766

【構成比】

旅行回数	初めて (1回)	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回 以上	合計
2009年	24.1%	19.0%	11.0%	3.0%	11.0%	2.4%	1.5%	0.0%	0.3%	27.7%	100.0%
2010年	24.1%	19.2%	13.2%	6.3%	8.6%	3.3%	1.8%	1.3%	0.0%	22.3%	100.0%
2011年	28.2%	11.6%	11.9%	4.9%	9.1%	3.1%	2.1%	0.7%	0.1%	28.2%	100.0%
2012年	27.0%	16.0%	14.2%	5.7%	11.0%	2.8%	2.3%	0.8%	0.1%	20.1%	100.0%
2013年	25.3%	17.3%	14.9%	6.3%	9.9%	2.4%	2.3%	1.1%	0.5%	20.1%	100.0%
2014年	27.4%	17.1%	14.4%	4.8%	10.1%	3.8%	1.4%	1.4%	0.1%	19.6%	100.0%
2015年	25.1%	20.1%	11.8%	6.4%	10.8%	2.4%	2.0%	1.7%	0.3%	19.4%	100.0%
2016年	30.1%	17.2%	12.3%	5.8%	10.7%	3.0%	2.0%	1.5%	0.5%	17.0%	100.0%
2017年	28.6%	16.0%	13.9%	6.6%	10.1%	2.5%	1.4%	2.0%	0.1%	18.7%	100.0%
2018年	32.5%	16.6%	13.6%	6.5%	7.2%	2.3%	1.4%	2.0%	0.1%	17.7%	100.0%
2019年	31.4%	15.2%	13.5%	5.8%	8.8%	2.6%	1.3%	1.4%	0.1%	19.9%	100.0%
2020年	24.2%	14.1%	14.1%	5.7%	9.9%	3.4%	1.7%	1.6%	0.8%	24.5%	100.0%

図 2-10-1 旅行への旅行回数の推移



2-11 山口市への訪問月

表 2-11-1 は、山口市への訪問月を示したものである。なお、本調査は、2012 年から通年の実施となったため、2012 年からの推移を示す。

2013 年以降は 1 月～5 月の訪問割合が高くなっている。逆に 6 月と 7 月の割合は減少傾向にある（ただし 2016 年では 7 月が増加している）。2015 年 12 月と 2016 年 8 月の割合は大きく増加している。2018 年は 4 月と 5 月の割合が大きく増加している。2019 年は 8 月と 9 月の割合が大きくなっている。2020 年は新型コロナウイルス感染症の影響で 5 月が少なく 10 月と 11 月の割合が大きくなっている。

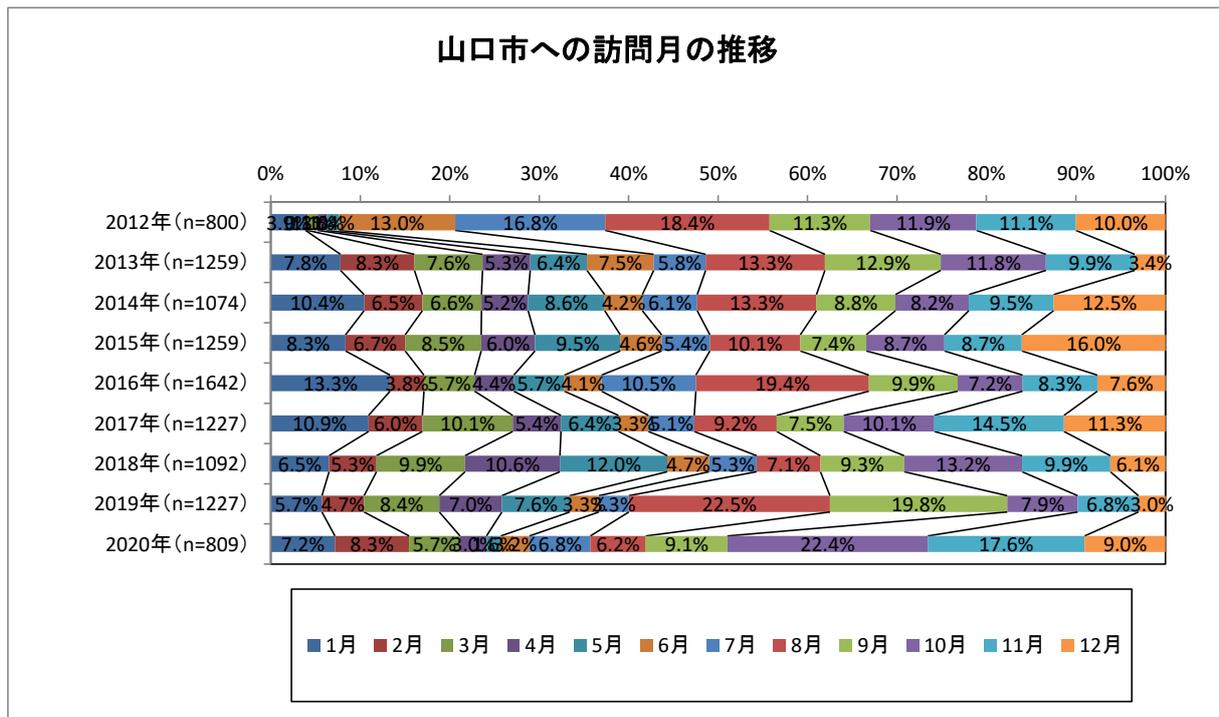
表 2-11-1 山口市への訪問月

訪問月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2012年	31	2	9	8	11	104	134	147	90	95	89	80	800
2013年	98	104	96	67	80	94	73	168	163	148	125	43	1,259
2014年	112	70	71	56	92	45	66	143	95	88	102	134	1,074
2015年	105	84	107	76	120	58	68	127	93	110	109	202	1,259
2016年	219	62	93	72	93	68	173	318	163	119	137	125	1,642
2017年	134	74	124	66	79	41	63	113	92	124	178	139	1,227
2018年	71	58	108	116	131	51	58	78	102	144	108	67	1,092
2019年	70	58	103	86	93	40	41	276	243	97	83	37	1,227
2020年	58	67	46	24	13	26	55	50	74	181	142	73	809

【構成比】

訪問月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2012年	3.9%	0.3%	1.1%	1.0%	1.4%	13.0%	16.8%	18.4%	11.3%	11.9%	11.1%	10.0%	100.0%
2013年	7.8%	8.3%	7.6%	5.3%	6.4%	7.5%	5.8%	13.3%	12.9%	11.8%	9.9%	3.4%	100.0%
2014年	10.4%	6.5%	6.6%	5.2%	8.6%	4.2%	6.1%	13.3%	8.8%	8.2%	9.5%	12.5%	100.0%
2015年	8.3%	6.7%	8.5%	6.0%	9.5%	4.6%	5.4%	10.1%	7.4%	8.7%	8.7%	16.0%	100.0%
2016年	13.3%	3.8%	5.7%	4.4%	5.7%	4.1%	10.5%	19.4%	9.9%	7.2%	8.3%	7.6%	100.0%
2017年	10.9%	6.0%	10.1%	5.4%	6.4%	3.3%	5.1%	9.2%	7.5%	10.1%	14.5%	11.3%	100.0%
2018年	6.5%	5.3%	9.9%	10.6%	12.0%	4.7%	5.3%	7.1%	9.3%	13.2%	9.9%	6.1%	100.0%
2019年	5.7%	4.7%	8.4%	7.0%	7.6%	3.3%	3.3%	22.5%	19.8%	7.9%	6.8%	3.0%	100.0%
2020年	7.2%	8.3%	5.7%	3.0%	1.6%	3.2%	6.8%	6.2%	9.1%	22.4%	17.6%	9.0%	100.0%

図 2-11-1 旅行への訪問月の推移



2-12 山口市までの主な交通手段

表 2-12-1 は、2009 年から 2020 年までの山口市までの主な交通手段の推移を示したものである。いずれの年も自家用車が最も多い割合を占めている。次が新幹線となっている。団体観光バスは年々減少傾向にあるが、飛行機は変動があるものの増加傾向にあると言える。2014 年から自転車、徒歩を選択肢として加えているが、いずれも割合は低い。

表 2-12-1 山口市までの主な交通手段（複数回答）

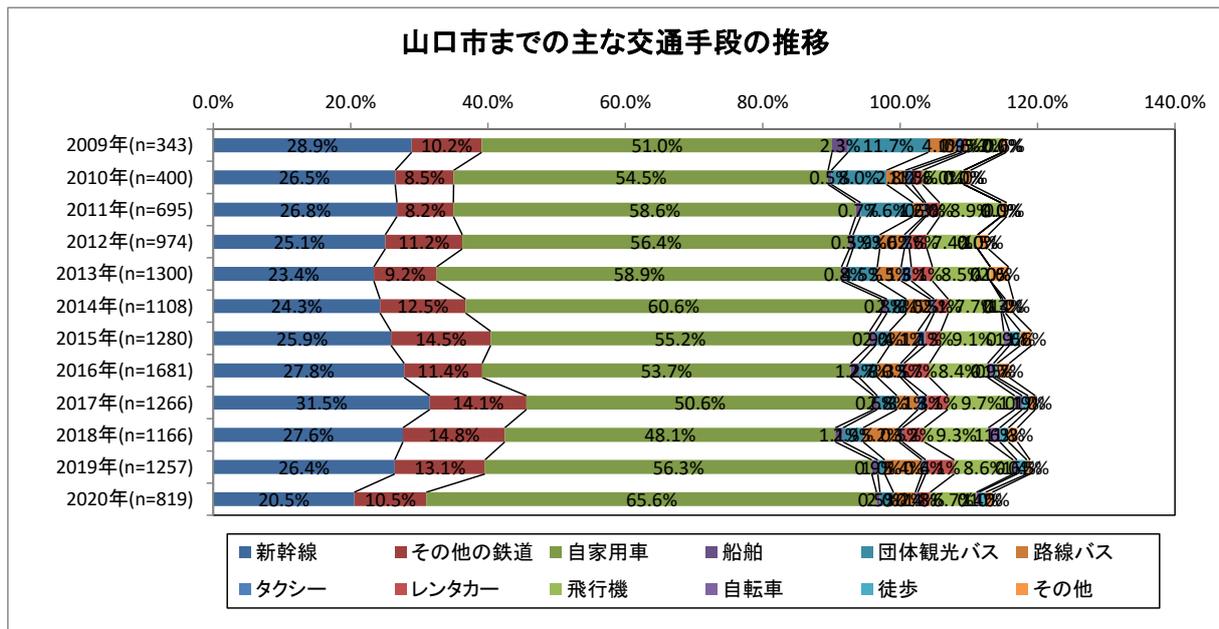
山口市までの交通手段	新幹線	その他の鉄道	自家用車	船舶	団体観光バス	路線バス	タクシー	レンタカー	飛行機	自転車	徒歩	その他	合計	回答者数
2009年	99	35	175	8	40	14	3	2	18	-	-	2	396	343
2010年	106	34	218	2	32	11	4	6	24	-	-	4	441	400
2011年	186	57	407	5	53	11	2	14	62	-	-	6	803	695
2012年	244	109	549	5	38	35	7	25	72	-	-	15	1,099	974
2013年	304	119	766	10	58	45	19	40	110	-	-	34	1,505	1,300
2014年	269	138	671	9	31	39	6	23	85	3	4	13	1,291	1,108
2015年	331	186	706	11	26	53	14	29	117	11	20	21	1,525	1,280
2016年	467	191	902	21	45	56	8	63	142	15	9	29	1,948	1,681
2017年	399	178	640	7	36	39	16	39	123	14	11	13	1,515	1,266
2018年	322	173	561	13	34	61	6	37	109	19	15	15	1,365	1,166
2019年	332	165	708	11	13	68	7	52	108	7	18	6	1,495	1,257
2020年	168	86	537	4	16	26	3	15	55	3	8	8	929	819

【構成比】

山口市までの交通手段	新幹線	その他の鉄道	自家用車	船舶	団体観光バス	路線バス	タクシー	レンタカー	飛行機	自転車	徒歩	その他	合計	回答者数
2009年	28.9%	10.2%	51.0%	2.3%	11.7%	4.1%	0.9%	0.6%	5.2%	-	-	0.6%	115.5%	100.0%
2010年	26.5%	8.5%	54.5%	0.5%	8.0%	2.8%	1.0%	1.5%	6.0%	-	-	1.0%	110.3%	100.0%
2011年	26.8%	8.2%	58.6%	0.7%	7.6%	1.6%	0.3%	2.0%	8.9%	-	-	0.9%	115.5%	100.0%
2012年	25.1%	11.2%	56.4%	0.5%	3.9%	3.6%	0.7%	2.6%	7.4%	-	-	1.5%	112.8%	100.0%
2013年	23.4%	9.2%	58.9%	0.8%	4.5%	3.5%	1.5%	3.1%	8.5%	-	-	2.6%	115.8%	100.0%
2014年	24.3%	12.5%	60.6%	0.8%	2.8%	3.5%	0.5%	2.1%	7.7%	0.3%	0.4%	1.2%	116.5%	100.0%
2015年	25.9%	14.5%	55.2%	0.9%	2.0%	4.1%	1.1%	2.3%	9.1%	0.9%	1.6%	1.6%	119.1%	100.0%
2016年	27.8%	11.4%	53.7%	1.2%	2.7%	3.3%	0.5%	3.7%	8.4%	0.9%	0.5%	1.7%	115.9%	100.0%
2017年	31.5%	14.1%	50.6%	0.6%	2.8%	3.1%	1.3%	3.1%	9.7%	1.1%	0.9%	1.0%	119.7%	100.0%
2018年	27.6%	14.8%	48.1%	1.1%	2.9%	5.2%	0.5%	3.2%	9.3%	1.6%	1.3%	1.3%	117.1%	100.0%
2019年	26.4%	13.1%	56.3%	0.9%	1.0%	5.4%	0.6%	4.1%	8.6%	0.6%	1.4%	0.5%	118.9%	100.0%
2020年	20.5%	10.5%	65.6%	0.5%	2.0%	3.2%	0.4%	1.8%	6.7%	0.4%	1.0%	1.0%	113.4%	100.0%

注)複数回答項目である。

図 2-12-1 山口市までの主な交通手段の推移（複数回答）



2-13 山口市内での主な移動手段

表 2-13-1 は、2009 年から 2020 年までの山口市内での主な移動手段の推移を示したものである。いずれの年も自家用車が最も多い割合を占めている。その他の鉄道と路線バスは増加傾向にあるが、団体観光バスは減少傾向にある。2014 年から新しく選択肢に加えた自転車と徒歩により、全体として市内での移動手段が増加したが 2017 年以降は減少傾向にある。

表 2-13-1 山口市内での主な移動手段（複数回答）

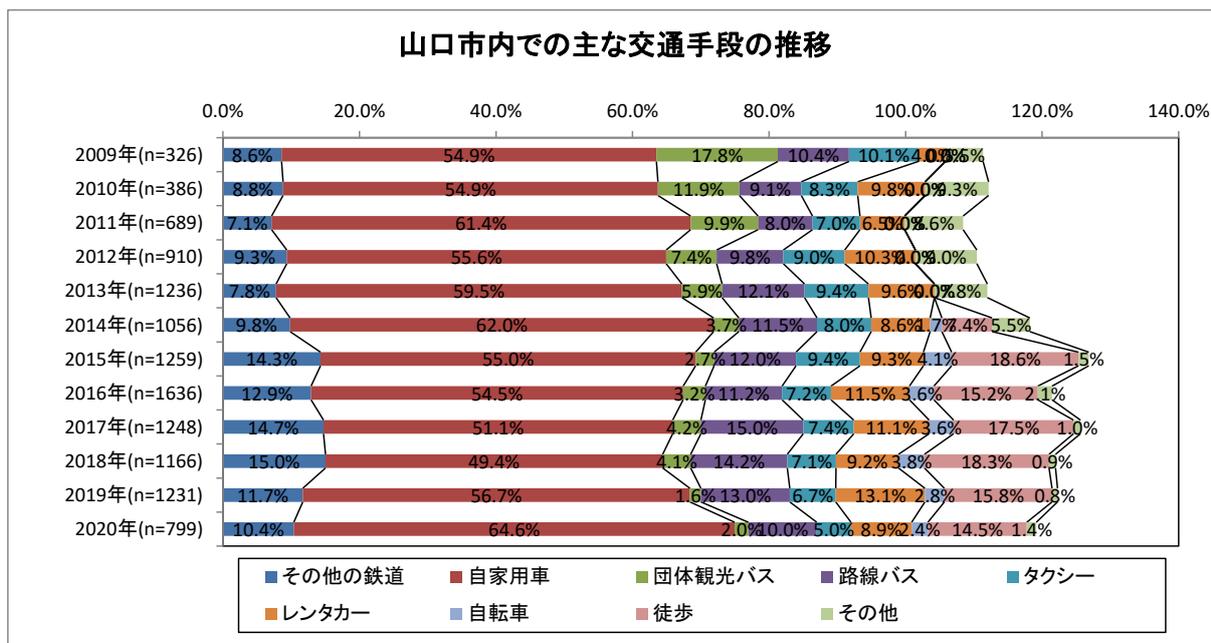
山口市内での 主な交通手段	新幹線	その他 の鉄道	自家用 車	船舶	団体観光 バス	路線 バス	タクシー	レンタ カー	飛行機	自転車	徒歩	その他	合計	回答者数
2009年	2	28	179	1	58	34	33	13	0	-	-	18	366	326
2010年	3	34	212	0	46	35	32	38	0	-	-	36	436	386
2011年	2	49	423	1	68	55	48	45	0	-	-	59	750	689
2012年	6	85	506	0	67	89	82	94	0	-	-	82	1,014	910
2013年	10	96	735	3	73	149	116	119	0	-	-	96	1,397	1,236
2014年	9	104	655	0	39	121	84	91	0	18	78	58	1,257	1,056
2015年	9	180	692	0	34	151	118	117	0	52	234	19	1,606	1,259
2016年	8	211	892	0	53	184	117	188	0	59	249	34	1,995	1,636
2017年	7	184	638	1	52	187	92	138	1	45	219	13	1,577	1,248
2018年	8	175	576	0	48	165	83	107	3	44	213	11	1,433	1,166
2019年	0	144	698	0	20	160	83	161	0	35	194	10	1,505	1,231
2020年	7	83	516	0	16	80	40	71	0	19	116	11	959	799

【構成比】

山口市内での 主な交通手段	新幹線	その他 の鉄道	自家用 車	船舶	団体観光 バス	路線 バス	タクシー	レンタ カー	飛行機	自転車	徒歩	その他	合計	回答者数
2009年	0.6%	8.6%	54.9%	0.3%	17.8%	10.4%	10.1%	4.0%	0.0%	-	-	5.5%	112.3%	100.0%
2010年	0.8%	8.8%	54.9%	0.0%	11.9%	9.1%	8.3%	9.8%	0.0%	-	-	9.3%	113.0%	100.0%
2011年	0.3%	7.1%	61.4%	0.1%	9.9%	8.0%	7.0%	6.5%	0.0%	-	-	8.6%	108.9%	100.0%
2012年	0.7%	9.3%	55.6%	0.0%	7.4%	9.8%	9.0%	10.3%	0.0%	-	-	9.0%	111.4%	100.0%
2013年	0.8%	7.8%	59.5%	0.2%	5.9%	12.1%	9.4%	9.6%	0.0%	-	-	7.8%	113.0%	100.0%
2014年	0.9%	9.8%	62.0%	0.0%	3.7%	11.5%	8.0%	8.6%	0.0%	1.7%	7.4%	5.5%	119.0%	100.0%
2015年	0.7%	14.3%	55.0%	0.0%	2.7%	12.0%	9.4%	9.3%	0.0%	4.1%	18.6%	1.5%	127.6%	100.0%
2016年	0.5%	12.9%	54.5%	0.0%	3.2%	11.2%	7.2%	11.5%	0.0%	3.6%	15.2%	2.1%	121.9%	100.0%
2017年	0.6%	14.7%	51.1%	0.1%	4.2%	15.0%	7.4%	11.1%	0.1%	3.6%	17.5%	1.0%	126.4%	100.0%
2018年	0.7%	15.0%	49.4%	0.0%	4.1%	14.2%	7.1%	9.2%	0.3%	3.8%	18.3%	0.9%	122.9%	100.0%
2019年	0.0%	11.7%	56.7%	0.0%	1.6%	13.0%	6.7%	13.1%	0.0%	2.8%	15.8%	0.8%	122.3%	100.0%
2020年	0.9%	10.4%	64.6%	0.0%	2.0%	10.0%	5.0%	8.9%	0.0%	2.4%	14.5%	1.4%	120.0%	100.0%

注)複数回答項目である。

図 2-13-1 山口市内での主な移動手段の推移（複数回答）



注) 新幹線、船舶、飛行機は現実的に考えられないため除外している。

2-14 今回の旅行の全行程

表 2-14-1 は、2009 年から 2020 年までの今回の旅行の全行程の推移を示している。宿泊のうち 1 泊が最も多い。日帰りは 2016 年まではやや減少傾向にあったが、2018 年にかけて増加し、2020 年も高い水準を維持している。2 泊、3 泊以上の割合は 2017 年にかけて増加してきたが、その後は低下傾向にある。

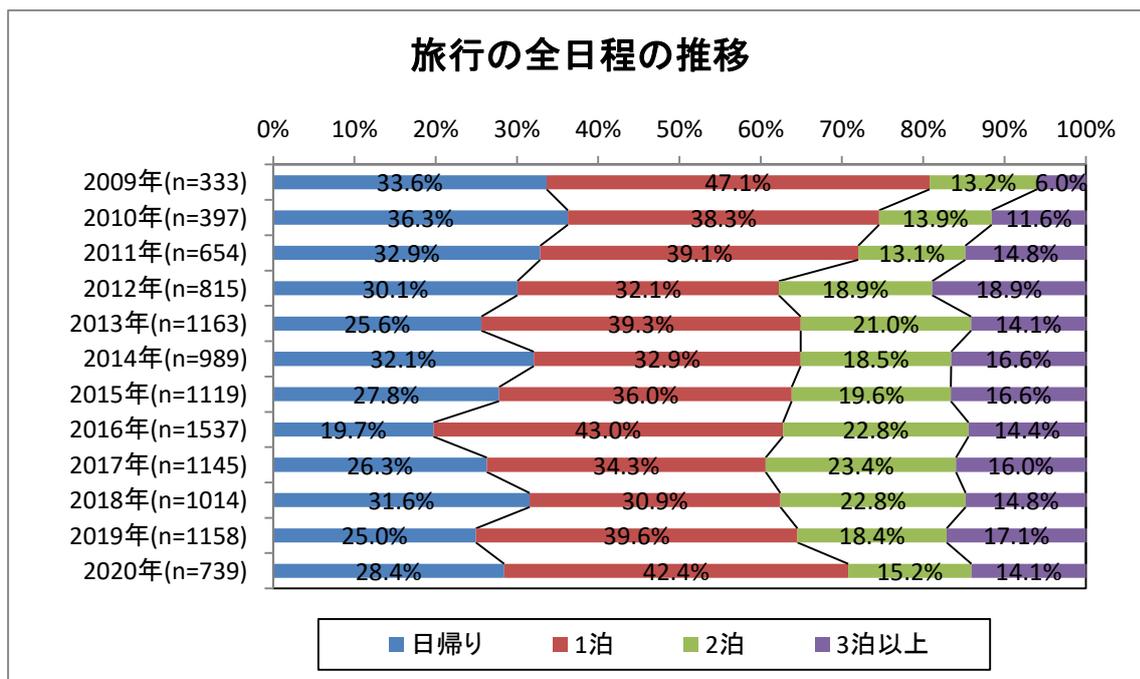
表 2-14-1 旅行の全行程

旅行の全日程	日帰り	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10泊	11泊以上	合計
2009年	112	157	44	9	4	3	0	1	0	0	1	2	333
2010年	144	152	55	23	12	8	0	1	1	1	0	1	397
2011年	215	256	86	35	15	35	3	3	2	1	2	1	654
2012年	245	262	154	68	38	16	9	12	0	0	3	8	815
2013年	298	457	244	77	32	14	12	14	3	1	4	7	1,163
2014年	317	325	183	65	40	20	9	7	2	4	10	7	989
2015年	311	403	219	94	37	17	15	6	3	4	1	9	1,119
2016年	303	661	351	121	33	36	12	5	2	1	4	8	1,537
2017年	301	393	268	75	42	22	16	11	6	4	2	5	1,145
2018年	320	313	231	80	23	9	16	6	5	0	1	10	1,014
2019年	289	458	213	101	38	20	15	6	2	6	3	7	1,158
2020年	210	313	112	51	15	12	8	2	1	4	3	8	739

【構成比】

旅行の全日程	日帰り	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10泊	11泊以上	合計
2009年	33.6%	47.1%	13.2%	2.7%	1.2%	0.9%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.3%	0.6%	100.0%
2010年	36.3%	38.3%	13.9%	5.8%	3.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.3%	0.0%	0.3%	100.0%
2011年	32.9%	39.1%	13.1%	5.4%	2.3%	5.4%	0.5%	0.5%	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%	100.0%
2012年	30.1%	32.1%	18.9%	8.3%	4.7%	2.0%	1.1%	1.5%	0.0%	0.0%	0.4%	1.0%	100.0%
2013年	25.6%	39.3%	21.0%	6.6%	2.8%	1.2%	1.0%	1.2%	0.3%	0.1%	0.3%	0.6%	100.0%
2014年	32.1%	32.9%	18.5%	6.6%	4.0%	2.0%	0.9%	0.7%	0.2%	0.4%	1.0%	0.7%	100.0%
2015年	27.8%	36.0%	19.6%	8.4%	3.3%	1.5%	1.3%	0.5%	0.3%	0.4%	0.1%	0.8%	100.0%
2016年	19.7%	43.0%	22.8%	7.9%	2.1%	2.3%	0.8%	0.3%	0.1%	0.1%	0.3%	0.5%	100.0%
2017年	26.3%	34.3%	23.4%	6.6%	3.7%	1.9%	1.4%	1.0%	0.5%	0.3%	0.2%	0.4%	100.0%
2018年	31.6%	30.9%	22.8%	7.9%	2.3%	0.9%	1.6%	0.6%	0.5%	0.0%	0.1%	1.0%	100.0%
2019年	25.0%	39.6%	18.4%	8.7%	3.3%	1.7%	1.3%	0.5%	0.2%	0.5%	0.3%	0.6%	100.0%
2020年	28.4%	42.4%	15.2%	6.9%	2.0%	1.6%	1.1%	0.3%	0.1%	0.5%	0.4%	1.1%	100.0%

図 2-14-1 旅行の全行程の推移



2-15 山口市内での宿泊数

表 2-15-1 は、2009 年から 2020 年までの山口市内の宿泊数の推移を示している。いずれの年も 1 泊が最も多く、続いて 2 泊となっている。2011 年では 3 泊以上の割合が大きく増えている。

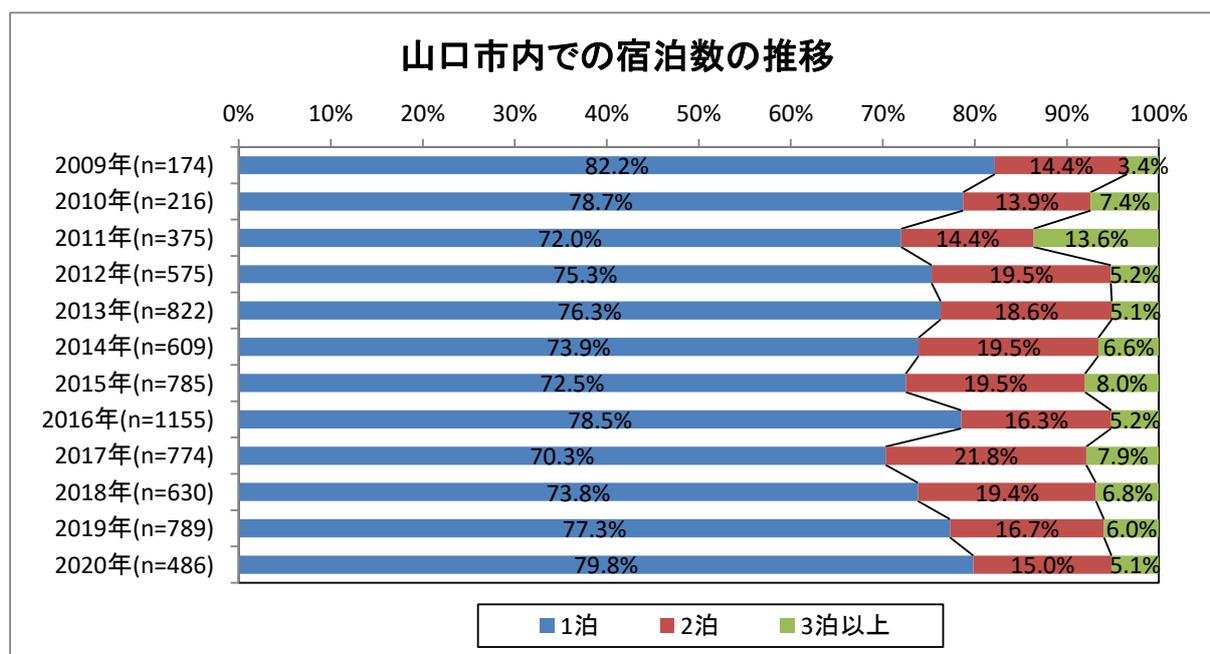
表 2-15-1 山口市内での宿泊日数

山口市内での 宿泊数	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊 以上	合計
2009年	143	25	3	1	1	1	174
2010年	170	30	10	2	3	1	216
2011年	270	54	14	8	26	3	375
2012年	433	112	13	8	3	6	575
2013年	627	153	25	8	3	6	822
2014年	450	119	16	17	3	4	609
2015年	569	153	42	7	4	10	785
2016年	907	188	33	11	7	9	1,155
2017年	544	169	37	14	4	6	774
2018年	465	122	30	5	1	7	630
2019年	610	132	34	7	2	4	789
2020年	388	73	16	3	0	6	486

【構成比】

山口市内での 宿泊数	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊 以上	合計
2009年	82.2%	14.4%	1.7%	0.6%	0.6%	0.6%	100.0%
2010年	78.7%	13.9%	4.6%	0.9%	1.4%	0.5%	100.0%
2011年	72.0%	14.4%	3.7%	2.1%	6.9%	0.8%	100.0%
2012年	75.3%	19.5%	2.3%	1.4%	0.5%	1.0%	100.0%
2013年	76.3%	18.6%	3.0%	1.0%	0.4%	0.7%	100.0%
2014年	73.9%	19.5%	2.6%	2.8%	0.5%	0.7%	100.0%
2015年	72.5%	19.5%	5.4%	0.9%	0.5%	1.3%	100.0%
2016年	78.5%	16.3%	2.9%	1.0%	0.6%	0.8%	100.0%
2017年	70.3%	21.8%	4.8%	1.8%	0.5%	0.8%	100.0%
2018年	73.8%	19.4%	4.8%	0.8%	0.2%	1.1%	100.0%
2019年	77.3%	16.7%	4.3%	0.9%	0.3%	0.5%	100.0%
2020年	79.8%	15.0%	3.3%	0.6%	0.0%	1.2%	100.0%

図 2-15-1 山口市内での宿泊日数の推移



注) グラフでは、3泊以上を合計している。

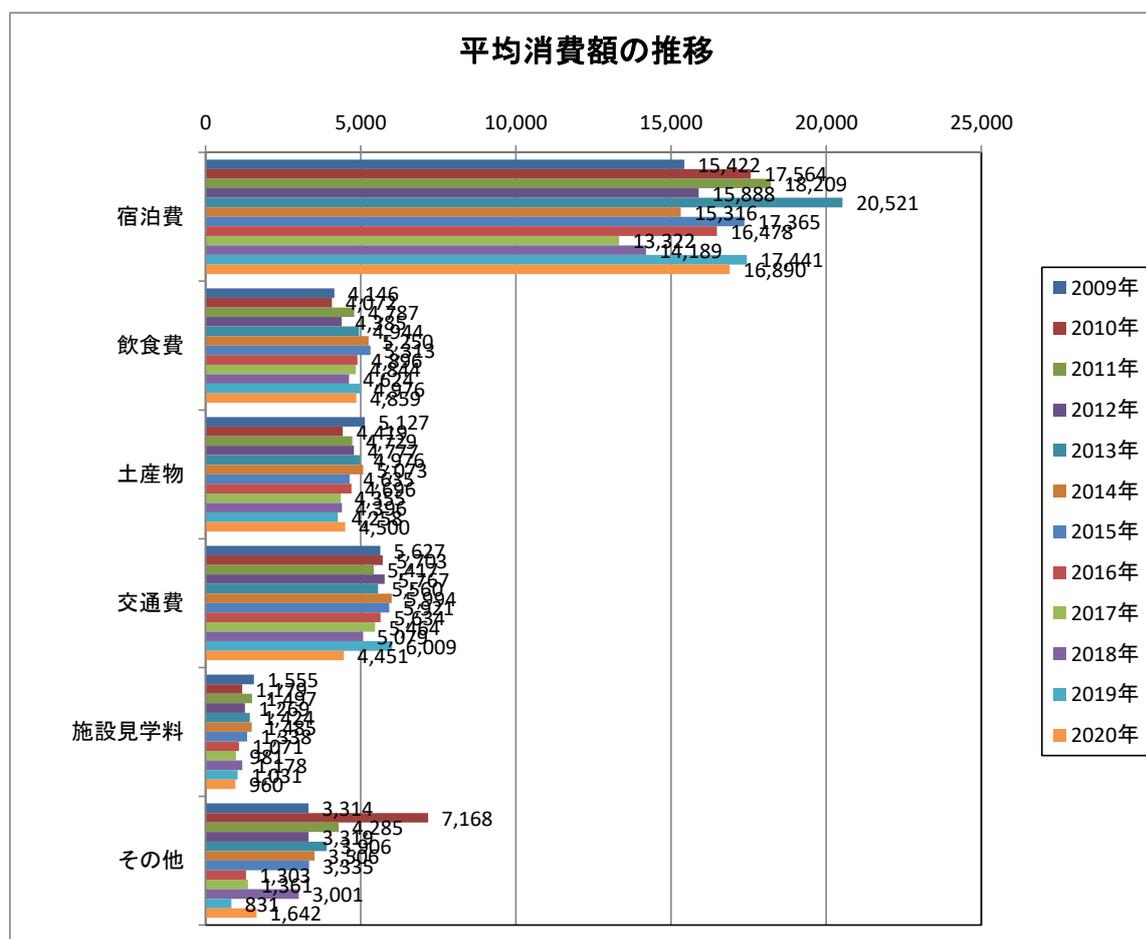
2-16 山口市内での平均消費額

表 2-16-1 は、山口市内での平均消費額の推移を示したものである。2013 年の宿泊費が大幅に増加しているが、2017 年は大幅に減少している。その他では 2010 年が大きく増加しているが翌年以降は減少し、2016 年以降は割合が大きく減少している。飲食費が増加傾向にある。

表 2-16-1 山口市内での平均消費額

平均消費額	宿泊費	飲食費	土産物	交通費	施設見学科	その他	合計
2009年	15,422	4,146	5,127	5,627	1,555	3,314	35,190
2010年	17,564	4,072	4,419	5,703	1,179	7,168	40,104
2011年	18,209	4,787	4,729	5,417	1,497	4,285	38,924
2012年	15,888	4,385	4,777	5,767	1,269	3,319	35,406
2013年	20,521	4,944	4,976	5,560	1,424	3,906	41,330
2014年	15,316	5,250	5,073	5,994	1,485	3,506	36,624
2015年	17,365	5,313	4,635	5,921	1,338	3,335	37,907
2016年	16,478	4,896	4,696	5,634	1,071	1,303	34,078
2017年	13,322	4,844	4,355	5,464	981	1,361	30,327
2018年	14,189	4,624	4,396	5,079	1,178	3,001	32,467
2019年	17,441	4,976	4,258	6,009	1,031	831	34,546
2020年	16,890	4,859	4,500	4,451	960	1,642	33,302

図 2-16-1 山口市内での平均消費額の推移



2-17 山口市内での宿泊地

表 2-17-1 は、山口市内での宿泊地の推移を示したものである。なお、宿泊地の質問は、2012年の調査から開始しているため、2012年からの推移となっている。

いずれの年も湯田温泉の割合が高く、7～8割の間となっている。新山口駅と山口駅周辺が7～10%前後の割合となっている。

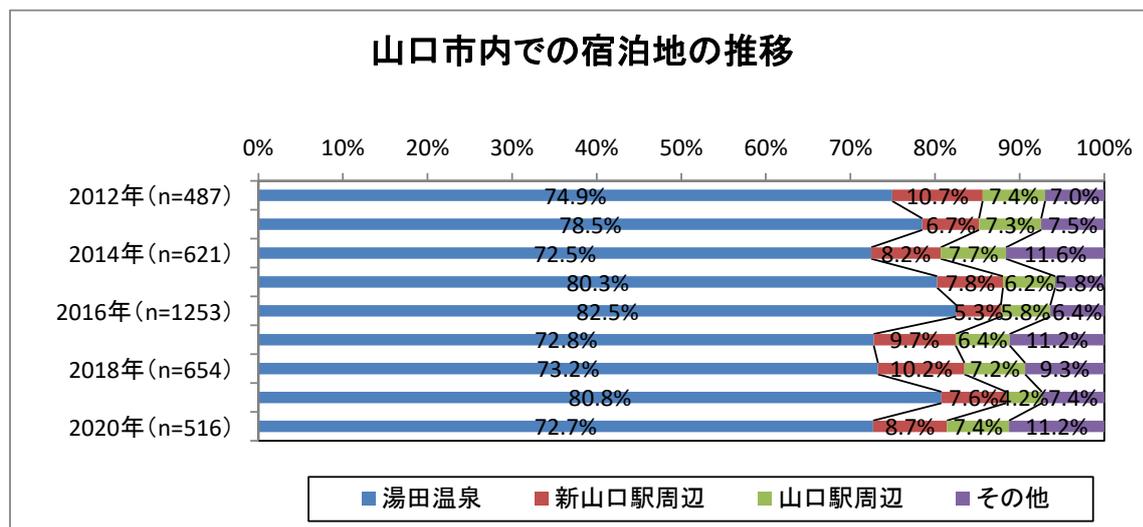
表 2-17-1 山口市内での宿泊地

山口市内での宿泊地	湯田温泉	新山口駅周辺	山口駅周辺	その他	合計
2012年	365	52	36	34	487
2013年	621	53	58	59	791
2014年	450	51	48	72	621
2015年	651	63	50	47	811
2016年	1,034	66	73	80	1,253
2017年	580	77	51	89	797
2018年	479	67	47	61	654
2019年	689	65	36	63	853
2020年	375	45	38	58	516

【構成比】

山口市内での宿泊地	湯田温泉	新山口駅周辺	山口駅周辺	その他	合計
2012年	74.9%	10.7%	7.4%	7.0%	100.0%
2013年	78.5%	6.7%	7.3%	7.5%	100.0%
2014年	72.5%	8.2%	7.7%	11.6%	100.0%
2015年	80.3%	7.8%	6.2%	5.8%	100.0%
2016年	82.5%	5.3%	5.8%	6.4%	100.0%
2017年	72.8%	9.7%	6.4%	11.2%	100.0%
2018年	73.2%	10.2%	7.2%	9.3%	100.0%
2019年	80.8%	7.6%	4.2%	7.4%	100.0%
2020年	72.7%	8.7%	7.4%	11.2%	100.0%

図 2-17-1 山口市内での宿泊地の推移



2-18 旅行の評価と満足度

(1) 宿泊施設の料金についての評価

表 2-18-1 は、宿泊施設における料金についての満足度を 5 段階評価で示したものである。いずれの年も料金に関しては普通の割合が最も多く、高いが最も低かった。

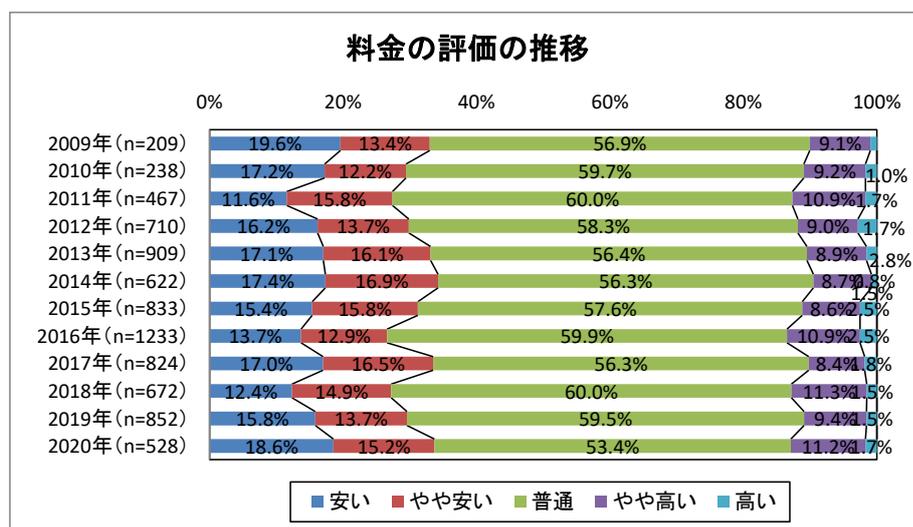
表 2-18-1 料金の評価

料金	安い	やや安い	普通	やや高い	高い	合計
2009年	41	28	119	19	2	209
2010年	41	29	142	22	4	238
2011年	54	74	280	51	8	467
2012年	115	97	414	64	20	710
2013年	155	146	513	81	14	909
2014年	108	105	350	54	5	622
2015年	128	132	480	72	21	833
2016年	169	159	739	135	31	1,233
2017年	140	136	464	69	15	824
2018年	83	100	403	76	10	672
2019年	135	117	507	80	13	852
2020年	98	80	282	59	9	528

【構成比】

料金	安い	やや安い	普通	やや高い	高い	合計
2009年	19.6%	13.4%	56.9%	9.1%	1.0%	100.0%
2010年	17.2%	12.2%	59.7%	9.2%	1.7%	100.0%
2011年	11.6%	15.8%	60.0%	10.9%	1.7%	100.0%
2012年	16.2%	13.7%	58.3%	9.0%	2.8%	100.0%
2013年	17.1%	16.1%	56.4%	8.9%	1.5%	100.0%
2014年	17.4%	16.9%	56.3%	8.7%	0.8%	100.0%
2015年	15.4%	15.8%	57.6%	8.6%	2.5%	100.0%
2016年	13.7%	12.9%	59.9%	10.9%	2.5%	100.0%
2017年	17.0%	16.5%	56.3%	8.4%	1.8%	100.0%
2018年	12.4%	14.9%	60.0%	11.3%	1.5%	100.0%
2019年	15.8%	13.7%	59.5%	9.4%	1.5%	100.0%
2020年	18.6%	15.2%	53.4%	11.2%	1.7%	100.0%

図 2-18-1 料金の評価の推移



(2) 宿泊施設の料理についての評価

表 2-18-2 は、宿泊施設における料理についての満足度を 5 段階評価で示したものである。これも普通の評価が最も多かった。また、良いとやや良いとする回答の割合も高く、高い評価を得ている。2019 年以降は良いとする評価が多い。

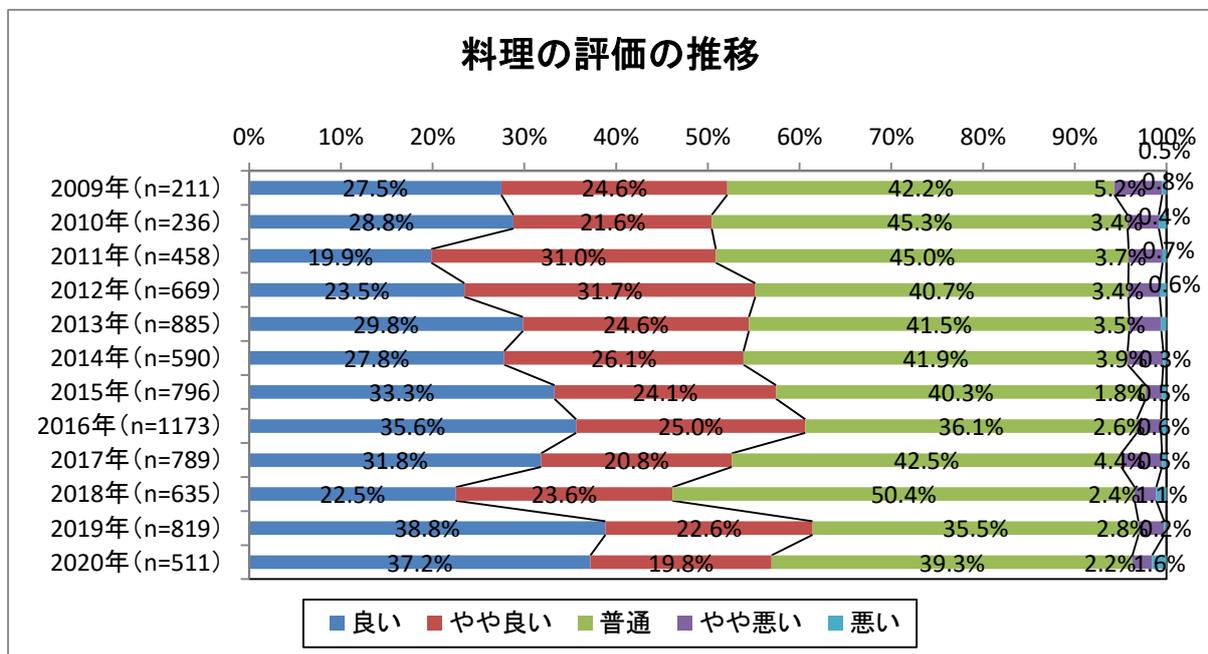
表 2-18-2 料理の評価

料理	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2009年	58	52	89	11	1	211
2010年	68	51	107	8	2	236
2011年	91	142	206	17	2	458
2012年	157	212	272	23	5	669
2013年	264	218	367	31	5	885
2014年	164	154	247	23	2	590
2015年	265	192	321	14	4	796
2016年	418	293	424	31	7	1,173
2017年	251	164	335	35	4	789
2018年	143	150	320	15	7	635
2019年	318	185	291	23	2	819
2020年	190	101	201	11	8	511

【構成比】

料理	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2009年	27.5%	24.6%	42.2%	5.2%	0.5%	100.0%
2010年	28.8%	21.6%	45.3%	3.4%	0.8%	100.0%
2011年	19.9%	31.0%	45.0%	3.7%	0.4%	100.0%
2012年	23.5%	31.7%	40.7%	3.4%	0.7%	100.0%
2013年	29.8%	24.6%	41.5%	3.5%	0.6%	100.0%
2014年	27.8%	26.1%	41.9%	3.9%	0.3%	100.0%
2015年	33.3%	24.1%	40.3%	1.8%	0.5%	100.0%
2016年	35.6%	25.0%	36.1%	2.6%	0.6%	100.0%
2017年	31.8%	20.8%	42.5%	4.4%	0.5%	100.0%
2018年	22.5%	23.6%	50.4%	2.4%	1.1%	100.0%
2019年	38.8%	22.6%	35.5%	2.8%	0.2%	100.0%
2020年	37.2%	19.8%	39.3%	2.2%	1.6%	100.0%

図 2-18-2 料理の評価の推移



(3) 宿泊施設の風呂についての評価

表 2-18-3 は、宿泊施設における風呂についての満足度を 5 段階評価で示したものである。いずれの年をみても良い、やや良い、普通の評価の割合が高く、高い満足度を得ていることがわかる。2015～2016年は、良いとする評価の割合が高かったが、2017～2018年は低下傾向となっていた。2019年以降は良いとする評価が多い。

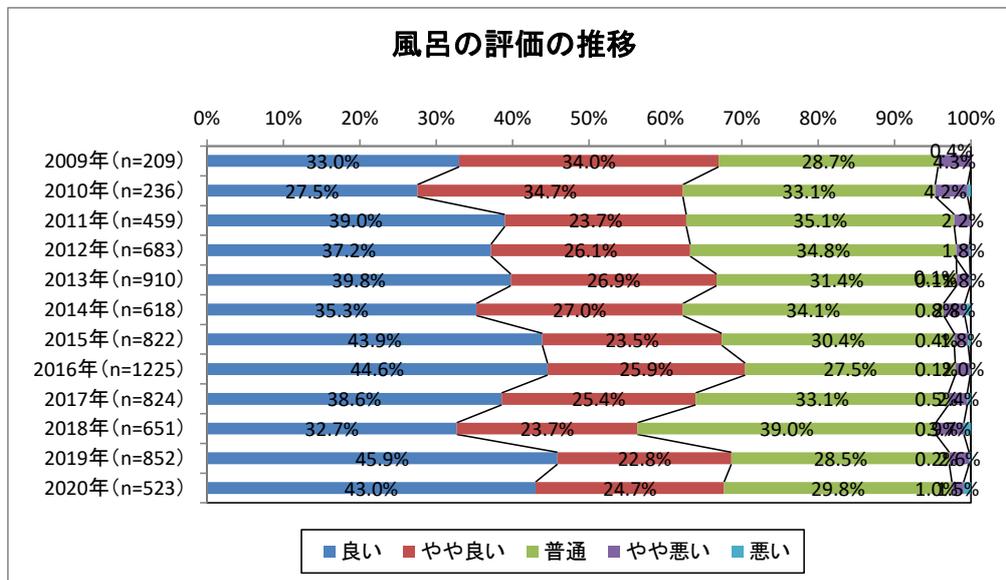
表 2-18-3 風呂についての評価

風呂	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2009年	69	71	60	9	0	209
2010年	65	82	78	10	1	236
2011年	179	109	161	10	0	459
2012年	254	178	238	12	1	683
2013年	362	245	286	16	1	910
2014年	218	167	211	17	5	618
2015年	361	193	250	15	3	822
2016年	546	317	337	24	1	1,225
2017年	318	209	273	20	4	824
2018年	213	154	254	24	6	651
2019年	391	194	243	22	2	852
2020年	225	129	156	8	5	523

【構成比】

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2009年	33.0%	34.0%	28.7%	4.3%	0.0%	100.0%
2010年	27.5%	34.7%	33.1%	4.2%	0.4%	100.0%
2011年	39.0%	23.7%	35.1%	2.2%	0.0%	100.0%
2012年	37.2%	26.1%	34.8%	1.8%	0.1%	100.0%
2013年	39.8%	26.9%	31.4%	1.8%	0.1%	100.0%
2014年	35.3%	27.0%	34.1%	2.8%	0.8%	100.0%
2015年	43.9%	23.5%	30.4%	1.8%	0.4%	100.0%
2016年	44.6%	25.9%	27.5%	2.0%	0.1%	100.0%
2017年	38.6%	25.4%	33.1%	2.4%	0.5%	100.0%
2018年	32.7%	23.7%	39.0%	3.7%	0.9%	100.0%
2019年	45.9%	22.8%	28.5%	2.6%	0.2%	100.0%
2020年	43.0%	24.7%	29.8%	1.5%	1.0%	100.0%

図 2-18-3 風呂についての評価の推移



(4) 宿泊施設の接客態度についての評価

表 2-18-4 は、宿泊施設における接客態度の満足度を 5 段階評価で示したものである。接客態度についても良い、やや良い、普通の評価の割合が高く、満足していることがわかる。

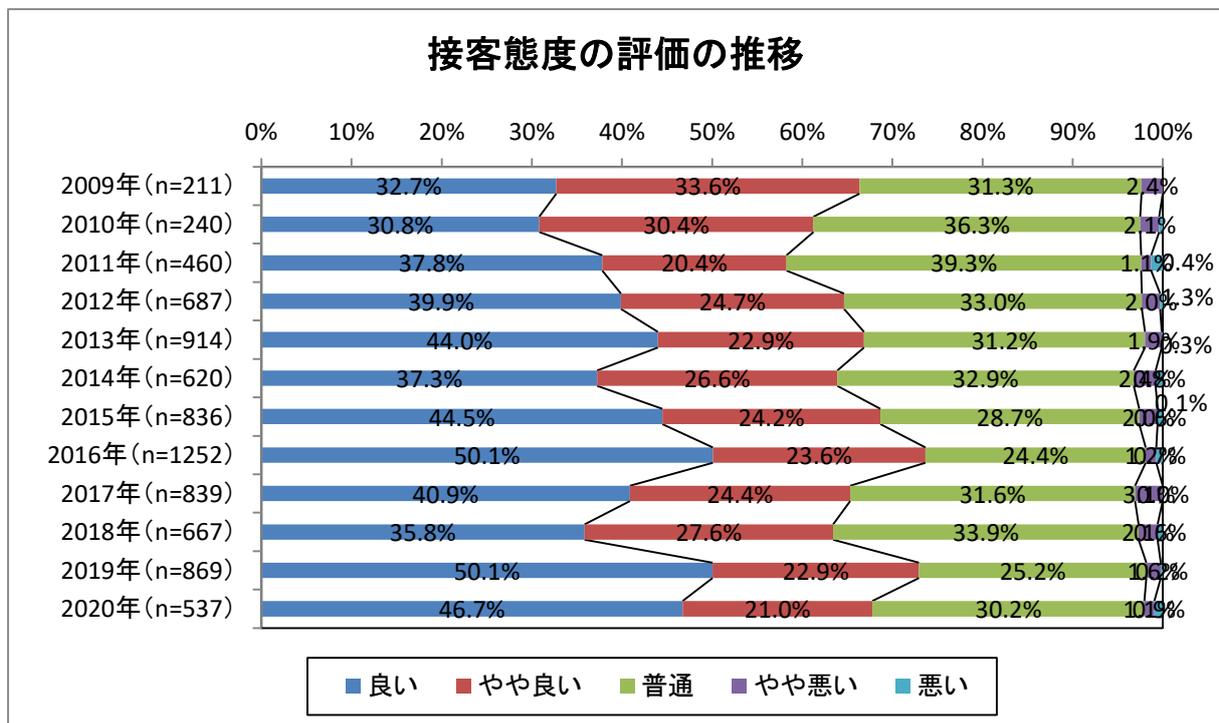
表 2-18-4 接客態度の評価

接客態度	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2009年	69	71	66	5	0	211
2010年	74	73	87	5	1	240
2011年	174	94	181	5	6	460
2012年	274	170	227	14	2	687
2013年	402	209	285	17	1	914
2014年	231	165	204	15	5	620
2015年	372	202	240	17	5	836
2016年	627	295	306	15	9	1,252
2017年	343	205	265	26	0	839
2018年	239	184	226	14	4	667
2019年	435	199	219	14	2	869
2020年	251	113	162	6	5	537

【構成比】

接客態度	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2009年	32.7%	33.6%	31.3%	2.4%	0.0%	100.0%
2010年	30.8%	30.4%	36.3%	2.1%	0.4%	100.0%
2011年	37.8%	20.4%	39.3%	1.1%	1.3%	100.0%
2012年	39.9%	24.7%	33.0%	2.0%	0.3%	100.0%
2013年	44.0%	22.9%	31.2%	1.9%	0.1%	100.0%
2014年	37.3%	26.6%	32.9%	2.4%	0.8%	100.0%
2015年	44.5%	24.2%	28.7%	2.0%	0.6%	100.0%
2016年	50.1%	23.6%	24.4%	1.2%	0.7%	100.0%
2017年	40.9%	24.4%	31.6%	3.1%	0.0%	100.0%
2018年	35.8%	27.6%	33.9%	2.1%	0.6%	100.0%
2019年	50.1%	22.9%	25.2%	1.6%	0.2%	100.0%
2020年	46.7%	21.0%	30.2%	1.1%	0.9%	100.0%

図 2-18-4 接客態度の評価の推移



(5) 宿泊施設の部屋についての評価

表 2-18-5 は、宿泊施設における部屋についての満足度を 5 段階評価で示したものである。いずれの年も普通の評価が多い。2011 年以降は良いがやや良いとする回答を上回り、高い評価を得ている。特に 2016 年と 2019 年は良いの評価が多くなっている。

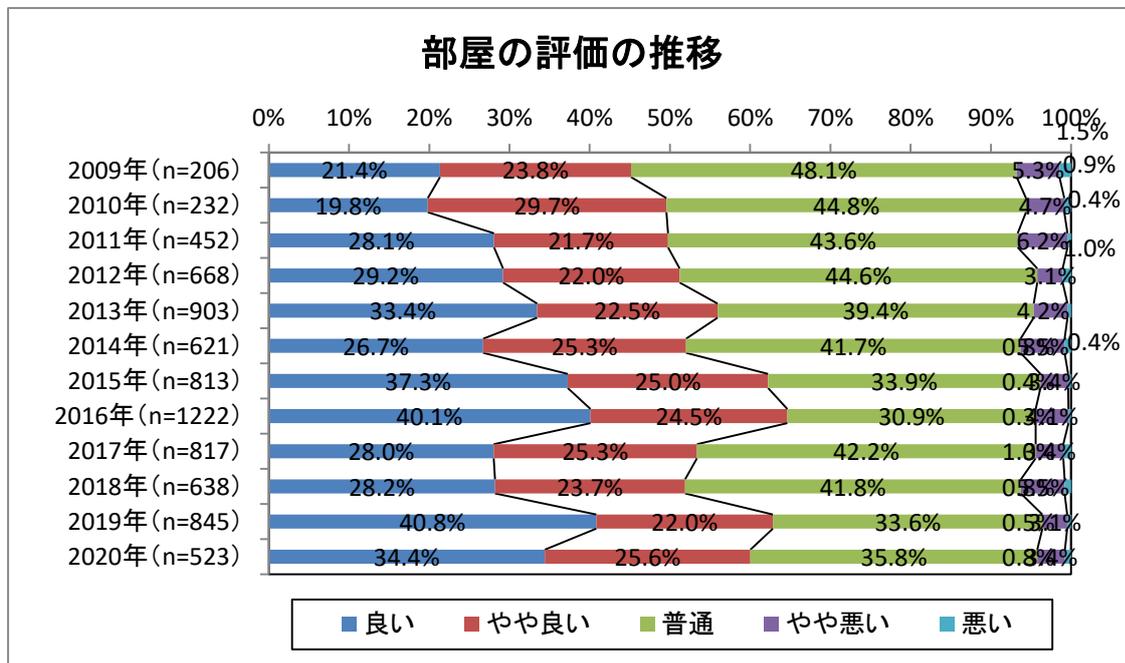
表 2-18-5 部屋についての評価

部屋	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2009年	44	49	99	11	3	206
2010年	46	69	104	11	2	232
2011年	127	98	197	28	2	452
2012年	195	147	298	21	7	668
2013年	302	203	356	38	4	903
2014年	166	157	259	34	5	621
2015年	303	203	276	28	3	813
2016年	490	300	378	50	4	1,222
2017年	229	207	345	28	8	817
2018年	180	151	267	35	5	638
2019年	345	186	284	26	4	845
2020年	180	134	187	18	4	523

【構成比】

部屋	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2009年	21.4%	23.8%	48.1%	5.3%	1.5%	100.0%
2010年	19.8%	29.7%	44.8%	4.7%	0.9%	100.0%
2011年	28.1%	21.7%	43.6%	6.2%	0.4%	100.0%
2012年	29.2%	22.0%	44.6%	3.1%	1.0%	100.0%
2013年	33.4%	22.5%	39.4%	4.2%	0.4%	100.0%
2014年	26.7%	25.3%	41.7%	5.5%	0.8%	100.0%
2015年	37.3%	25.0%	33.9%	3.4%	0.4%	100.0%
2016年	40.1%	24.5%	30.9%	4.1%	0.3%	100.0%
2017年	28.0%	25.3%	42.2%	3.4%	1.0%	100.0%
2018年	28.2%	23.7%	41.8%	5.5%	0.8%	100.0%
2019年	40.8%	22.0%	33.6%	3.1%	0.5%	100.0%
2020年	34.4%	25.6%	35.8%	3.4%	0.8%	100.0%

図 2-18-5 部屋についての評価の推移



(6) 宿泊施設の施設設備についての評価

表 2-18-6 は、宿泊施設における施設設備についての満足度を 5 段階評価で示したものである。いずれの年も普通の評価が多く、良いとやや良いは 20~30%の間で変動している。2019 年は良いという評価が多かった。

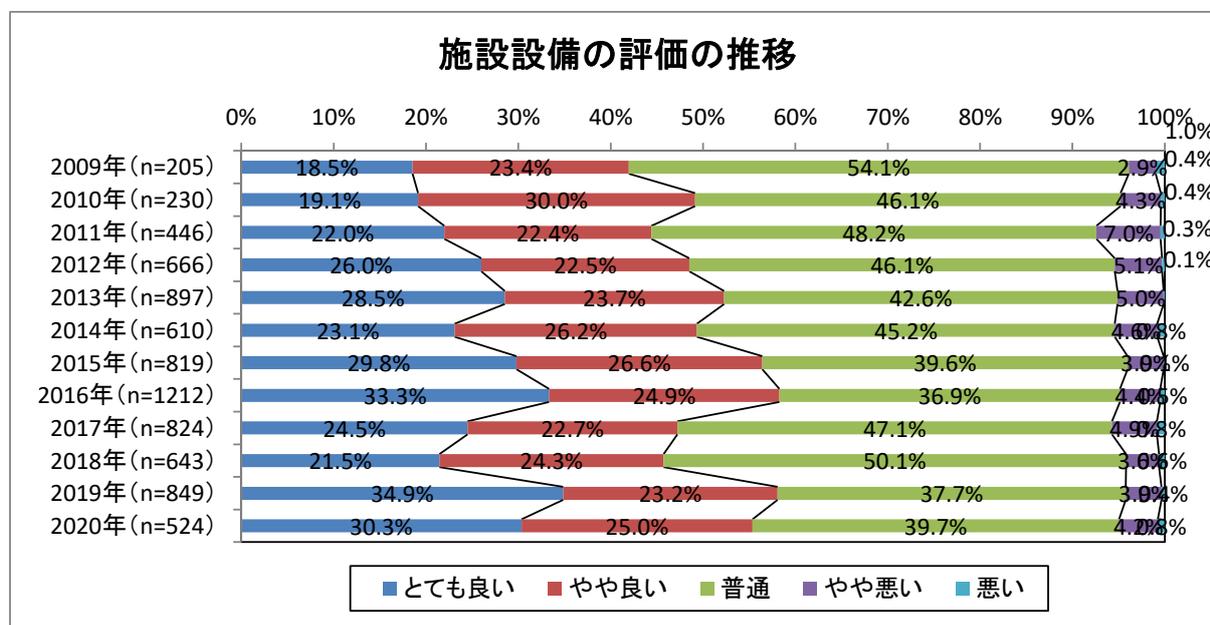
表 2-18-6 施設設備についての評価

施設設備	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2009年	38	48	111	6	2	205
2010年	44	69	106	10	1	230
2011年	98	100	215	31	2	446
2012年	173	150	307	34	2	666
2013年	256	213	382	45	1	897
2014年	141	160	276	28	5	610
2015年	244	218	324	32	1	819
2016年	404	302	447	53	6	1,212
2017年	202	187	388	40	7	824
2018年	138	156	322	23	4	643
2019年	296	197	320	33	3	849
2020年	159	131	208	22	4	524

【構成比】

施設設備	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2009年	18.5%	23.4%	54.1%	2.9%	1.0%	100.0%
2010年	19.1%	30.0%	46.1%	4.3%	0.4%	100.0%
2011年	22.0%	22.4%	48.2%	7.0%	0.4%	100.0%
2012年	26.0%	22.5%	46.1%	5.1%	0.3%	100.0%
2013年	28.5%	23.7%	42.6%	5.0%	0.1%	100.0%
2014年	23.1%	26.2%	45.2%	4.6%	0.8%	100.0%
2015年	29.8%	26.6%	39.6%	3.9%	0.1%	100.0%
2016年	33.3%	24.9%	36.9%	4.4%	0.5%	100.0%
2017年	24.5%	22.7%	47.1%	4.9%	0.8%	100.0%
2018年	21.5%	24.3%	50.1%	3.6%	0.6%	100.0%
2019年	34.9%	23.2%	37.7%	3.9%	0.4%	100.0%
2020年	30.3%	25.0%	39.7%	4.2%	0.8%	100.0%

図 2-18-6 施設設備についての評価の推移



(7) 交通の便の乗り継ぎについての評価

表 2-18-7 は、交通の便における乗り継ぎについて、2011 年から 2020 年の満足度を 5 段階評価で示したものである。2014 年には楽だったとする評価の割合が増加し、2015 年には、やや楽だったとする回答も増加し、評価が良くなっている。やや大変とする割合は 20%程度で推移しており、大変とする割合は 7%前後で推移している。2020 年は普通が増加してやや大変と大変が減少した。

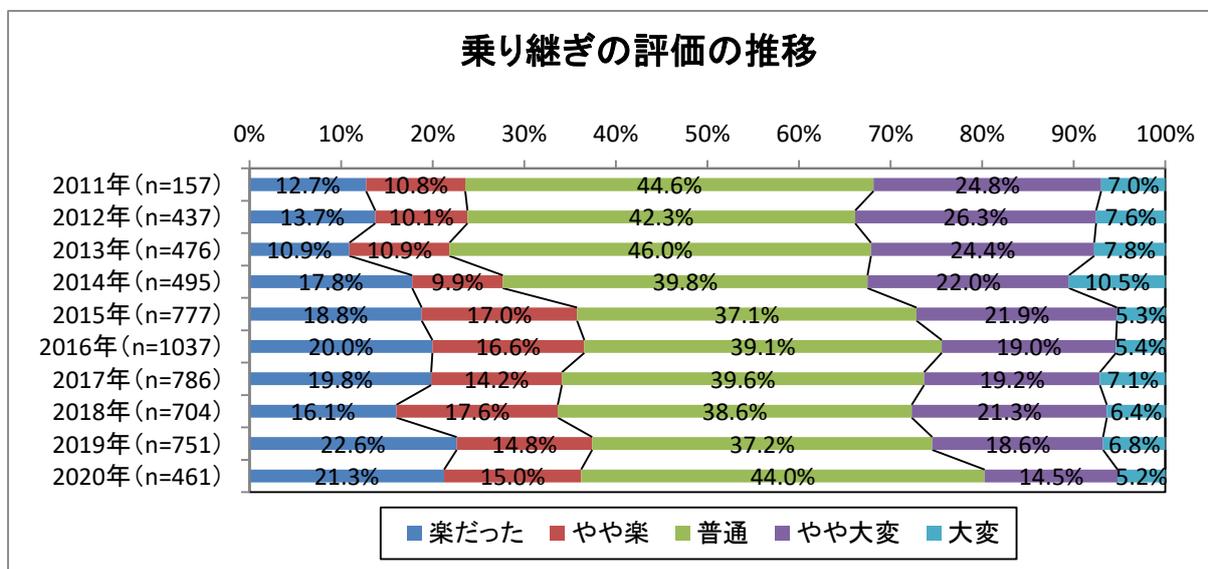
表 2-18-7 乗り継ぎについての評価

乗り継ぎ	楽だった	やや楽	普通	やや大変	大変	合計
2011年	20	17	70	39	11	157
2012年	60	44	185	115	33	437
2013年	52	52	219	116	37	476
2014年	88	49	197	109	52	495
2015年	146	132	288	170	41	777
2016年	207	172	405	197	56	1,037
2017年	156	112	311	151	56	786
2018年	113	124	272	150	45	704
2019年	170	111	279	140	51	751
2020年	98	69	203	67	24	461

【構成比】

乗り継ぎ	楽だった	やや楽	普通	やや大変	大変	合計
2011年	12.7%	10.8%	44.6%	24.8%	7.0%	100.0%
2012年	13.7%	10.1%	42.3%	26.3%	7.6%	100.0%
2013年	10.9%	10.9%	46.0%	24.4%	7.8%	100.0%
2014年	17.8%	9.9%	39.8%	22.0%	10.5%	100.0%
2015年	18.8%	17.0%	37.1%	21.9%	5.3%	100.0%
2016年	20.0%	16.6%	39.1%	19.0%	5.4%	100.0%
2017年	19.8%	14.2%	39.6%	19.2%	7.1%	100.0%
2018年	16.1%	17.6%	38.6%	21.3%	6.4%	100.0%
2019年	22.6%	14.8%	37.2%	18.6%	6.8%	100.0%
2020年	21.3%	15.0%	44.0%	14.5%	5.2%	100.0%

図 2-18-7 乗り継ぎについての評価の推移



(8) 交通の便の道路標識についての評価

表 2-18-8 は、交通の便における道路標識について、2011 年から 2020 年の満足度を 5 段階評価で示したものである。いずれの年も普通の割合が最も高く、続いてわかりやすい、ややわかりやすいとなっている。

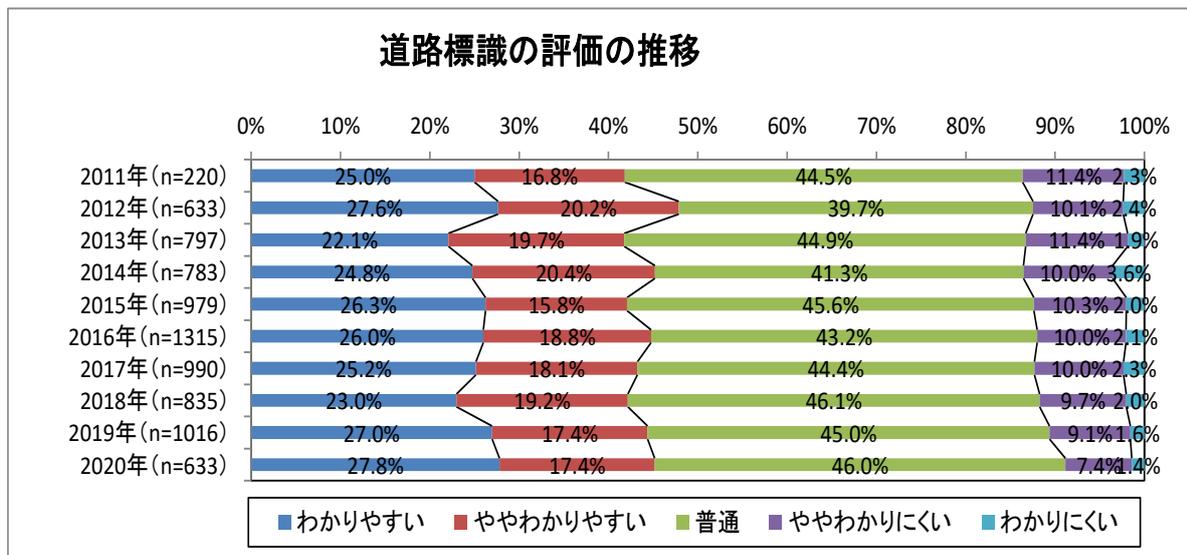
表 2-18-8 道路標識についての評価

道路標識	わかりやすい	ややわかりやすい	普通	ややわかりにくい	わかりにくい	合計
2011年	55	37	98	25	5	220
2012年	175	128	251	64	15	633
2013年	176	157	358	91	15	797
2014年	194	160	323	78	28	783
2015年	257	155	446	101	20	979
2016年	342	247	568	131	27	1,315
2017年	249	179	440	99	23	990
2018年	192	160	385	81	17	835
2019年	274	177	457	92	16	1,016
2020年	176	110	291	47	9	633

【構成比】

道路標識	わかりやすい	ややわかりやすい	普通	ややわかりにくい	わかりにくい	合計
2011年	25.0%	16.8%	44.5%	11.4%	2.3%	100.0%
2012年	27.6%	20.2%	39.7%	10.1%	2.4%	100.0%
2013年	22.1%	19.7%	44.9%	11.4%	1.9%	100.0%
2014年	24.8%	20.4%	41.3%	10.0%	3.6%	100.0%
2015年	26.3%	15.8%	45.6%	10.3%	2.0%	100.0%
2016年	26.0%	18.8%	43.2%	10.0%	2.1%	100.0%
2017年	25.2%	18.1%	44.4%	10.0%	2.3%	100.0%
2018年	23.0%	19.2%	46.1%	9.7%	2.0%	100.0%
2019年	27.0%	17.4%	45.0%	9.1%	1.6%	100.0%
2020年	27.8%	17.4%	46.0%	7.4%	1.4%	100.0%

図 2-18-8 道路標識についての評価の推移



(9) 交通の便の観光案内板についての評価

表 2-18-9 は、交通の便における観光案内板について、2011 年から 2020 年の満足度を 5 段階評価で示したものである。わかりやすい、ややわかりやすいとする評価の合計が全体の約半数を占めているが大きな変化はない。2015 年にはややわかりにくい、わかりにくいの評価の割合が減少したが、2017 年以降はややわかりにくいとの割合が再び 10% 台になっていたが 2019 年以降は改善している。

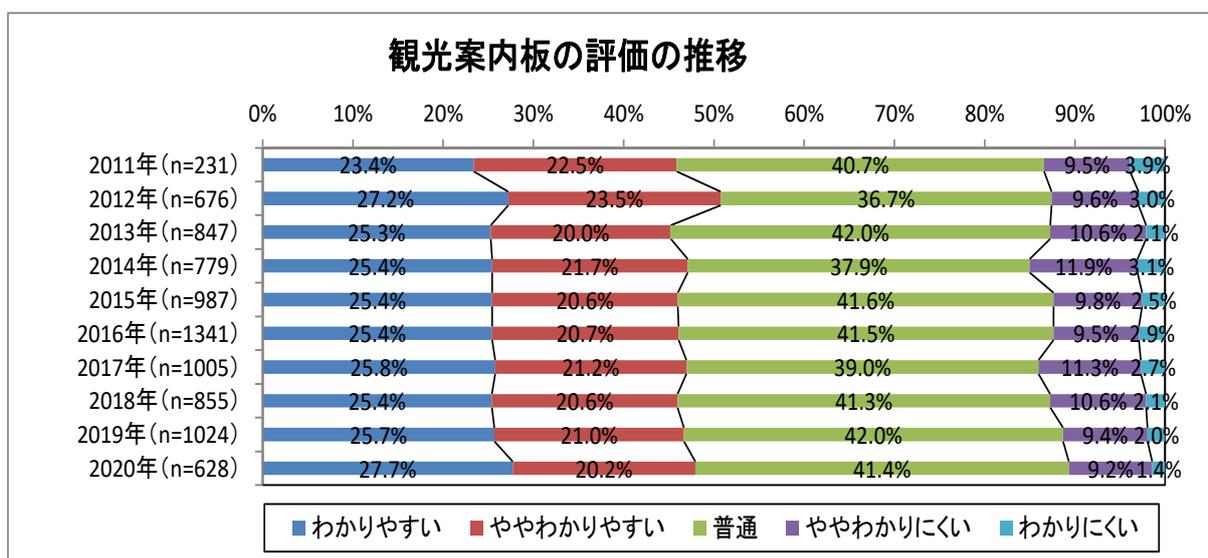
表 2-18-9 観光案内板についての評価

観光案内板	わかりやすい	ややわかりやすい	普通	ややわかりにくい	わかりにくい	合計
2011年	54	52	94	22	9	231
2012年	184	159	248	65	20	676
2013年	214	169	356	90	18	847
2014年	198	169	295	93	24	779
2015年	251	203	411	97	25	987
2016年	341	277	557	127	39	1,341
2017年	259	213	392	114	27	1,005
2018年	217	176	353	91	18	855
2019年	263	215	430	96	20	1,024
2020年	174	127	260	58	9	628

【構成比】

観光案内板	わかりやすい	ややわかりやすい	普通	ややわかりにくい	わかりにくい	合計
2011年	23.4%	22.5%	40.7%	9.5%	3.9%	100.0%
2012年	27.2%	23.5%	36.7%	9.6%	3.0%	100.0%
2013年	25.3%	20.0%	42.0%	10.6%	2.1%	100.0%
2014年	25.4%	21.7%	37.9%	11.9%	3.1%	100.0%
2015年	25.4%	20.6%	41.6%	9.8%	2.5%	100.0%
2016年	25.4%	20.7%	41.5%	9.5%	2.9%	100.0%
2017年	25.8%	21.2%	39.0%	11.3%	2.7%	100.0%
2018年	25.4%	20.6%	41.3%	10.6%	2.1%	100.0%
2019年	25.7%	21.0%	42.0%	9.4%	2.0%	100.0%
2020年	27.7%	20.2%	41.4%	9.2%	1.4%	100.0%

図 2-18-9 観光案内板についての評価の推移



(10) 土産物の価格についての評価

土産物については、2011年調査から価格と品揃えに分けて尋ねており、2011年から10年間の推移である。

表 2-18-10 は、土産物の価格についての 2011 年から 2020 年の満足度を 5 段階評価で示したものである。普通とする評価が 8 割前後と大きい。安いとする評価は 2014 年と 2016 年に約 3% と落ち込んでいるが、その他の年は 4~6% で推移しており、2015 年以降は 4% 前後である。やや高いは 2013 年以降 7% 前後の割合だったが、2017 年以降は約 6% に減少している。

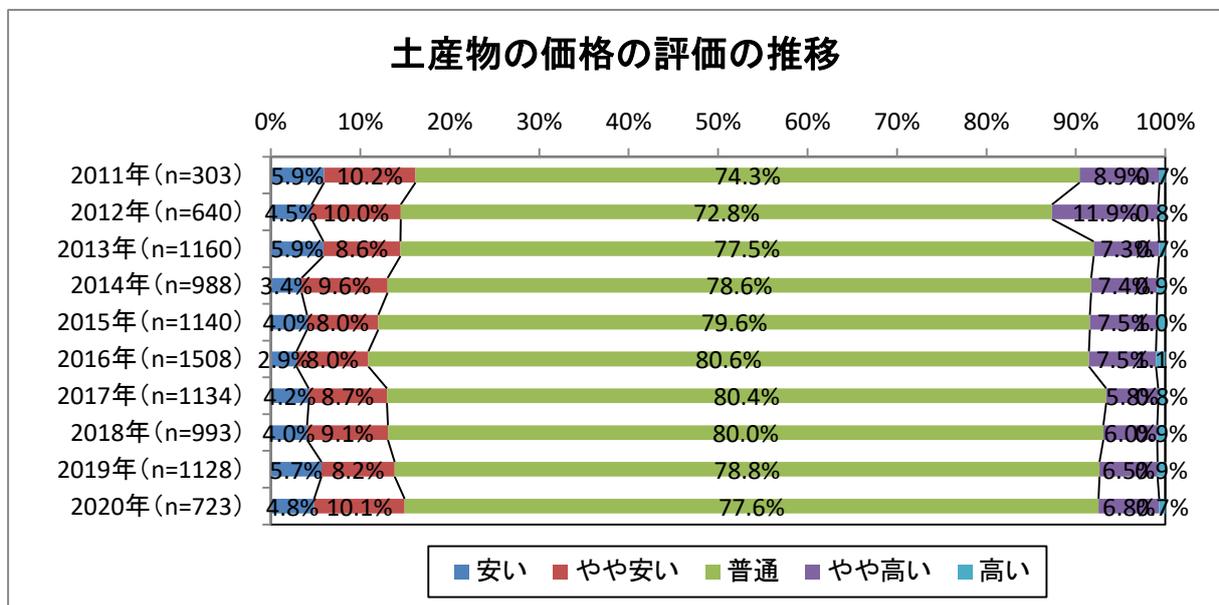
表 2-18-10 土産物の価格の評価

土産物の価格	安い	やや安い	普通	やや高い	高い	合計
2011年	18	31	225	27	2	303
2012年	29	64	466	76	5	640
2013年	68	100	899	85	8	1,160
2014年	34	95	777	73	9	988
2015年	46	91	907	85	11	1,140
2016年	43	121	1,215	113	16	1,508
2017年	48	99	912	66	9	1,134
2018年	40	90	794	60	9	993
2019年	64	92	889	73	10	1,128
2020年	35	73	561	49	5	723

【構成比】

土産物の価格	安い	やや安い	普通	やや高い	高い	合計
2011年	5.9%	10.2%	74.3%	8.9%	0.7%	100.0%
2012年	4.5%	10.0%	72.8%	11.9%	0.8%	100.0%
2013年	5.9%	8.6%	77.5%	7.3%	0.7%	100.0%
2014年	3.4%	9.6%	78.6%	7.4%	0.9%	100.0%
2015年	4.0%	8.0%	79.6%	7.5%	1.0%	100.0%
2016年	2.9%	8.0%	80.6%	7.5%	1.1%	100.0%
2017年	4.2%	8.7%	80.4%	5.8%	0.8%	100.0%
2018年	4.0%	9.1%	80.0%	6.0%	0.9%	100.0%
2019年	5.7%	8.2%	78.8%	6.5%	0.9%	100.0%
2020年	4.8%	10.1%	77.6%	6.8%	0.7%	100.0%

図 2-18-10 土産物の価格の評価の推移



(11) 土産物の品揃えについての評価

表 2-18-11 は、土産物の品揃えについての 2011 年から 2020 年の満足度を 5 段階評価で示したものである。普通が最も多く、いずれの項目も大きな変動はない。すべての年でやや悪いの割合が良いを上回っている。

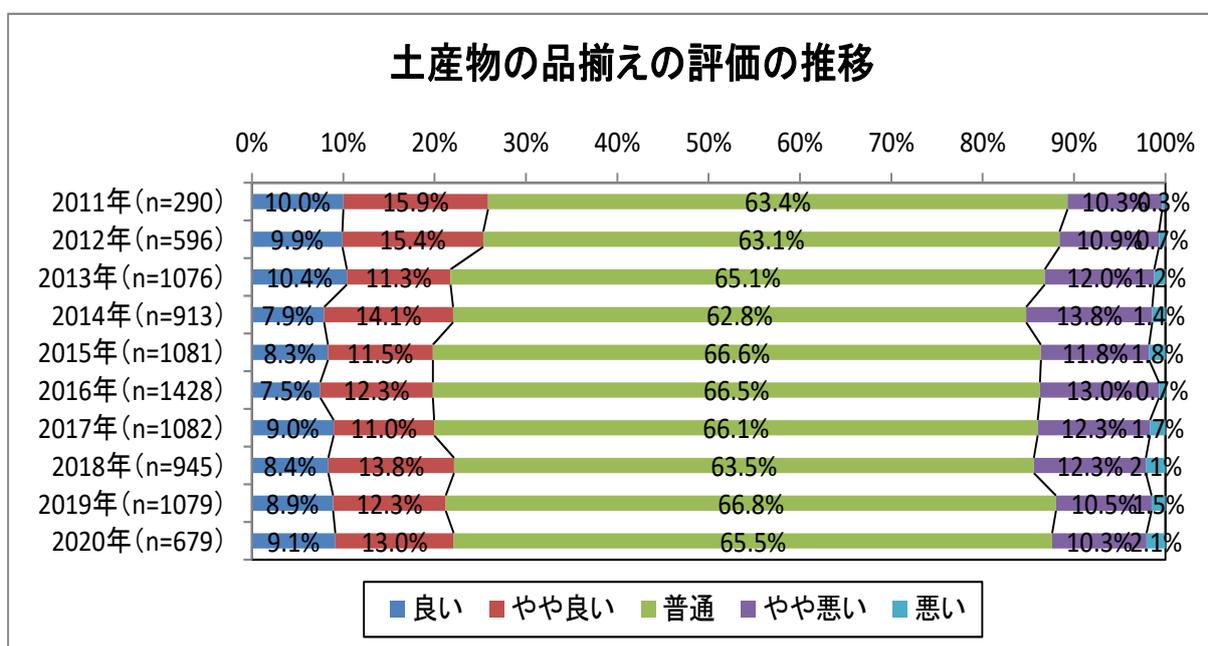
表 2-18-11 土産物の品揃えの評価

土産物の品揃え	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2011年	29	46	184	30	1	290
2012年	59	92	376	65	4	596
2013年	112	122	700	129	13	1,076
2014年	72	129	573	126	13	913
2015年	90	124	720	128	19	1,081
2016年	107	176	949	186	10	1,428
2017年	97	119	715	133	18	1,082
2018年	79	130	600	116	20	945
2019年	96	133	721	113	16	1,079
2020年	62	88	445	70	14	679

【構成比】

土産物の品揃え	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2011年	10.0%	15.9%	63.4%	10.3%	0.3%	100.0%
2012年	9.9%	15.4%	63.1%	10.9%	0.7%	100.0%
2013年	10.4%	11.3%	65.1%	12.0%	1.2%	100.0%
2014年	7.9%	14.1%	62.8%	13.8%	1.4%	100.0%
2015年	8.3%	11.5%	66.6%	11.8%	1.8%	100.0%
2016年	7.5%	12.3%	66.5%	13.0%	0.7%	100.0%
2017年	9.0%	11.0%	66.1%	12.3%	1.7%	100.0%
2018年	8.4%	13.8%	63.5%	12.3%	2.1%	100.0%
2019年	8.9%	12.3%	66.8%	10.5%	1.5%	100.0%
2020年	9.1%	13.0%	65.5%	10.3%	2.1%	100.0%

図 2-18-11 土産物の品揃えの評価の推移



(12) 食事についての評価

表 2-18-12 は、食事についての満足度を 5 段階評価で示したものである。いずれの年も普通の評価が多い。良い、やや良いの評価を合わせると約半数が良いと評価しているが、横ばいの傾向にある。

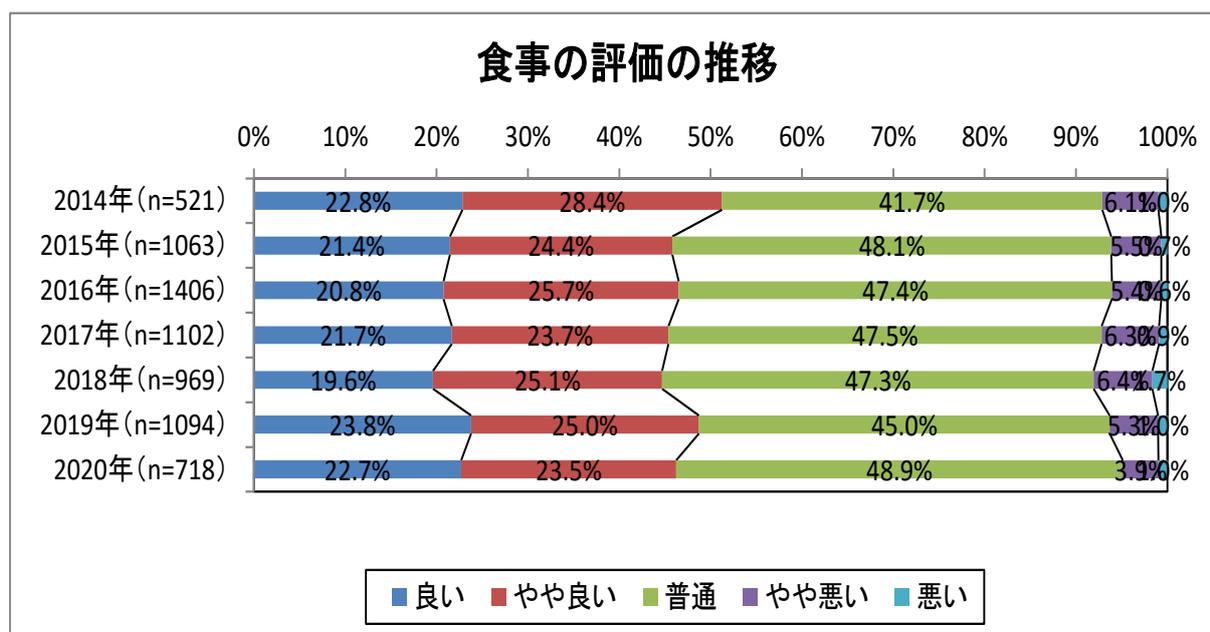
表 2-18-12 食事についての評価

食事	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2014年	119	148	217	32	5	521
2015年	228	259	511	58	7	1,063
2016年	292	362	667	76	9	1,406
2017年	239	261	523	69	10	1,102
2018年	190	243	458	62	16	969
2019年	260	273	492	58	11	1,094
2020年	163	169	351	28	7	718

【構成比】

食事	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2014年	22.8%	28.4%	41.7%	6.1%	1.0%	100.0%
2015年	21.4%	24.4%	48.1%	5.5%	0.7%	100.0%
2016年	20.8%	25.7%	47.4%	5.4%	0.6%	100.0%
2017年	21.7%	23.7%	47.5%	6.3%	0.9%	100.0%
2018年	19.6%	25.1%	47.3%	6.4%	1.7%	100.0%
2019年	23.8%	25.0%	45.0%	5.3%	1.0%	100.0%
2020年	22.7%	23.5%	48.9%	3.9%	1.0%	100.0%

図 2-18-12 食事についての評価の推移



(13) 観光施設についての評価

表 2-18-13 は、観光施設についての満足度を 5 段階評価で示したものである。いずれの年も普通の評価が多い。良い、やや良いの評価を合わせると半数以上が良いと評価しており、2011 年以降は増加傾向にあったが 2020 年は減少した。

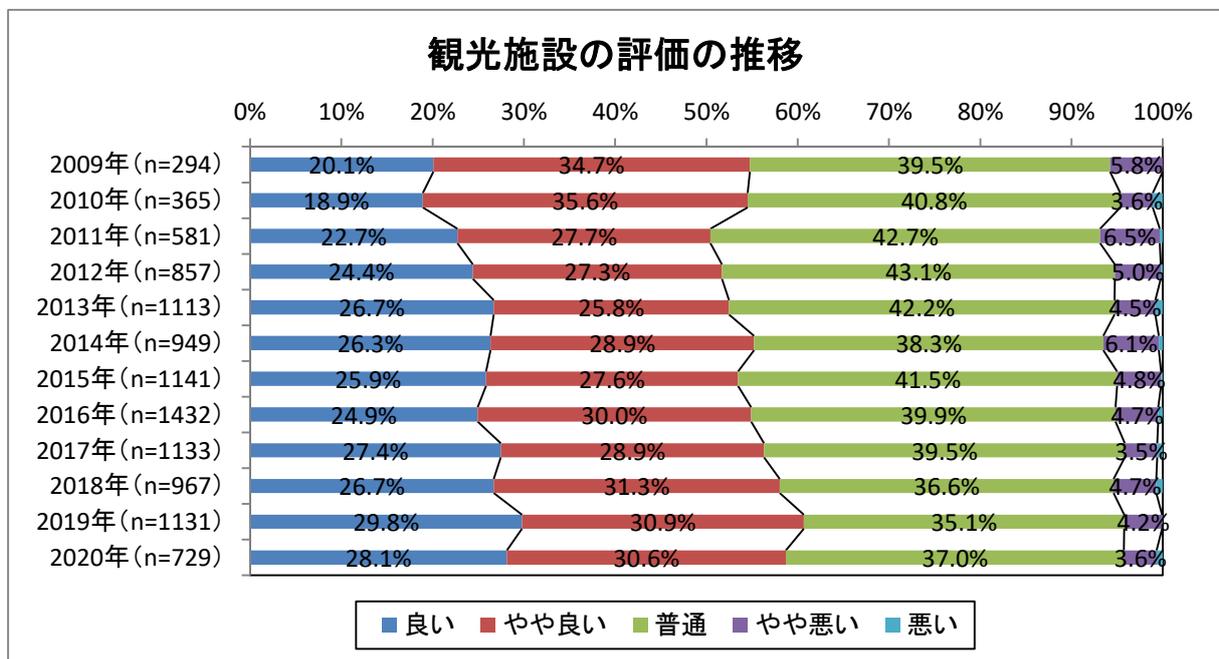
表 2-18-13 観光施設についての評価

観光施設	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2009年	59	102	116	17	0	294
2010年	69	130	149	13	4	365
2011年	132	161	248	38	2	581
2012年	209	234	369	43	2	857
2013年	297	287	470	50	9	1,113
2014年	250	274	363	58	4	949
2015年	295	315	474	55	2	1,141
2016年	357	429	572	67	7	1,432
2017年	311	327	448	40	7	1,133
2018年	258	303	354	45	7	967
2019年	337	349	397	47	1	1,131
2020年	205	223	270	26	5	729

【構成比】

観光施設	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2009年	20.1%	34.7%	39.5%	5.8%	0.0%	100.0%
2010年	18.9%	35.6%	40.8%	3.6%	1.1%	100.0%
2011年	22.7%	27.7%	42.7%	6.5%	0.3%	100.0%
2012年	24.4%	27.3%	43.1%	5.0%	0.2%	100.0%
2013年	26.7%	25.8%	42.2%	4.5%	0.8%	100.0%
2014年	26.3%	28.9%	38.3%	6.1%	0.4%	100.0%
2015年	25.9%	27.6%	41.5%	4.8%	0.2%	100.0%
2016年	24.9%	30.0%	39.9%	4.7%	0.5%	100.0%
2017年	27.4%	28.9%	39.5%	3.5%	0.6%	100.0%
2018年	26.7%	31.3%	36.6%	4.7%	0.7%	100.0%
2019年	29.8%	30.9%	35.1%	4.2%	0.1%	100.0%
2020年	28.1%	30.6%	37.0%	3.6%	0.7%	100.0%

図 2-18-13 観光施設についての評価の推移



(14) 山口市訪問の満足度についての評価

表 2-18-14 は、山口市訪問についての満足度を 5 段階評価で示したものである。いずれの年もやや満足とする評価が多く、2011 年からは満足が普通を上回り、山口市の満足度は高いものとなっている。

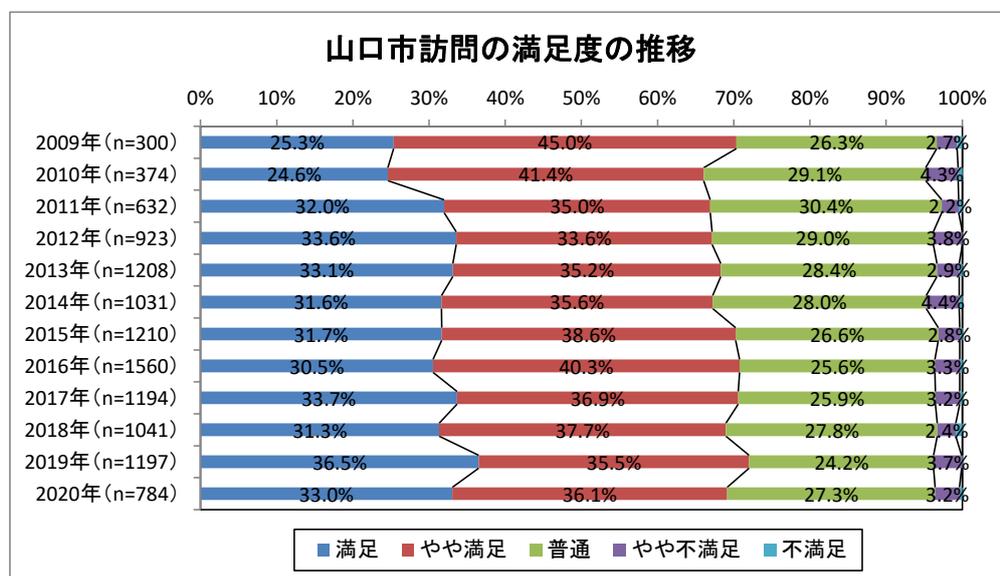
表 2-18-14 山口市訪問の満足度

山口市訪問	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	合計
2009年	76	135	79	8	2	300
2010年	92	155	109	16	2	374
2011年	202	221	192	14	3	632
2012年	310	310	268	35	0	923
2013年	400	425	343	35	5	1,208
2014年	326	367	289	45	4	1,031
2015年	383	467	322	34	4	1,210
2016年	476	628	400	51	5	1,560
2017年	402	441	309	38	4	1,194
2018年	326	392	289	25	9	1,041
2019年	437	425	290	44	1	1,197
2020年	259	283	214	25	3	784

【構成比】

山口市訪問	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	合計
2009年	25.3%	45.0%	26.3%	2.7%	0.7%	100.0%
2010年	24.6%	41.4%	29.1%	4.3%	0.5%	100.0%
2011年	32.0%	35.0%	30.4%	2.2%	0.5%	100.0%
2012年	33.6%	33.6%	29.0%	3.8%	0.0%	100.0%
2013年	33.1%	35.2%	28.4%	2.9%	0.4%	100.0%
2014年	31.6%	35.6%	28.0%	4.4%	0.4%	100.0%
2015年	31.7%	38.6%	26.6%	2.8%	0.3%	100.0%
2016年	30.5%	40.3%	25.6%	3.3%	0.3%	100.0%
2017年	33.7%	36.9%	25.9%	3.2%	0.3%	100.0%
2018年	31.3%	37.7%	27.8%	2.4%	0.9%	100.0%
2019年	36.5%	35.5%	24.2%	3.7%	0.1%	100.0%
2020年	33.0%	36.1%	27.3%	3.2%	0.4%	100.0%

図 2-18-14 山口市訪問の満足度の推移



(15) 今回の旅行の満足度についての評価

表 2-18-15 は、今回の旅行の満足度を 5 段階評価で示したものである。2011 年からやや満足度を満足が上回り、2017 年にピークとなった。2018 年は 35.8% と低下し、やや満足度を下回っていたが 2019 年は 44.6% と過去最高の割合となり 2020 年も 41.4% と高い水準となった。

表 2-18-15 今回の旅行の満足度

今回の旅行	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	合計
2009年	103	126	69	9	1	308
2010年	110	159	96	8	2	375
2011年	239	198	172	18	3	630
2012年	369	296	234	27	0	926
2013年	479	407	294	33	6	1,219
2014年	390	332	274	34	4	1,034
2015年	469	439	271	26	1	1,206
2016年	614	599	335	28	4	1,580
2017年	466	406	291	24	4	1,191
2018年	369	387	250	18	6	1,030
2019年	536	395	243	27	1	1,202
2020年	326	265	173	21	2	787

【構成比】

今回の旅行	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	合計
2009年	33.4%	40.9%	22.4%	2.9%	0.3%	100.0%
2010年	29.3%	42.4%	25.6%	2.1%	0.5%	100.0%
2011年	37.9%	31.4%	27.3%	2.9%	0.5%	100.0%
2012年	39.8%	32.0%	25.3%	2.9%	0.0%	100.0%
2013年	39.3%	33.4%	24.1%	2.7%	0.5%	100.0%
2014年	37.7%	32.1%	26.5%	3.3%	0.4%	100.0%
2015年	38.9%	36.4%	22.5%	2.2%	0.1%	100.0%
2016年	38.9%	37.9%	21.2%	1.8%	0.3%	100.0%
2017年	39.1%	34.1%	24.4%	2.0%	0.3%	100.0%
2018年	35.8%	37.6%	24.3%	1.7%	0.6%	100.0%
2019年	44.6%	32.9%	20.2%	2.2%	0.1%	100.0%
2020年	41.4%	33.7%	22.0%	2.7%	0.3%	100.0%

図 2-18-15 今回の旅行の満足度の推移

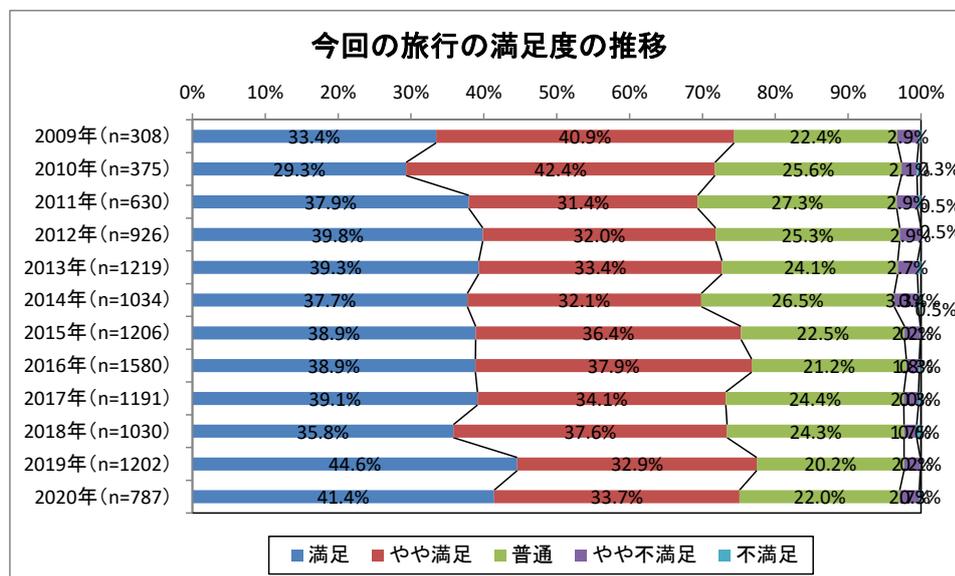
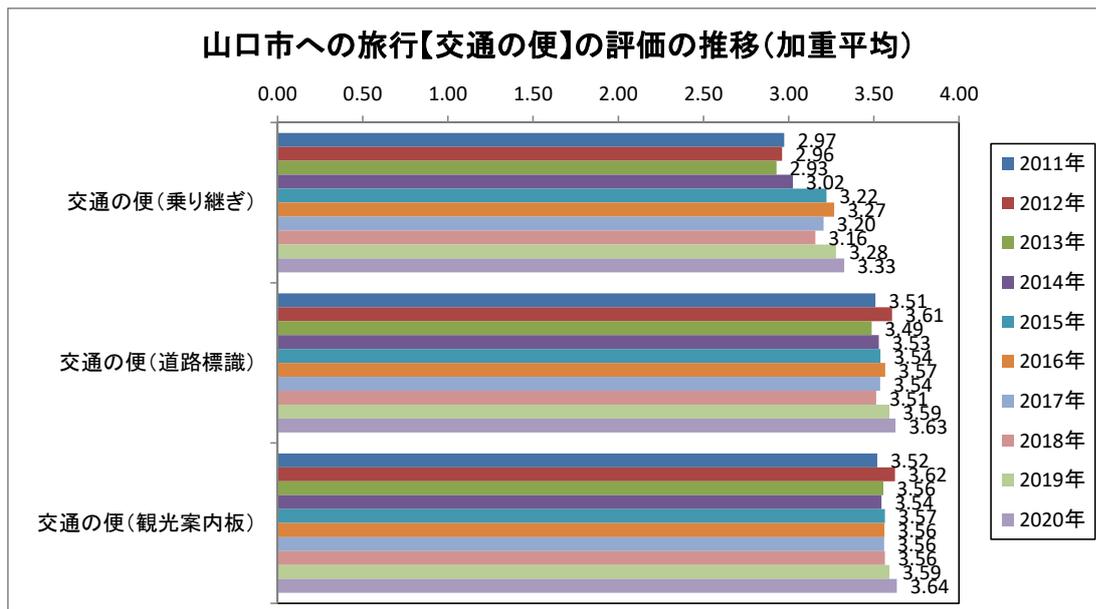
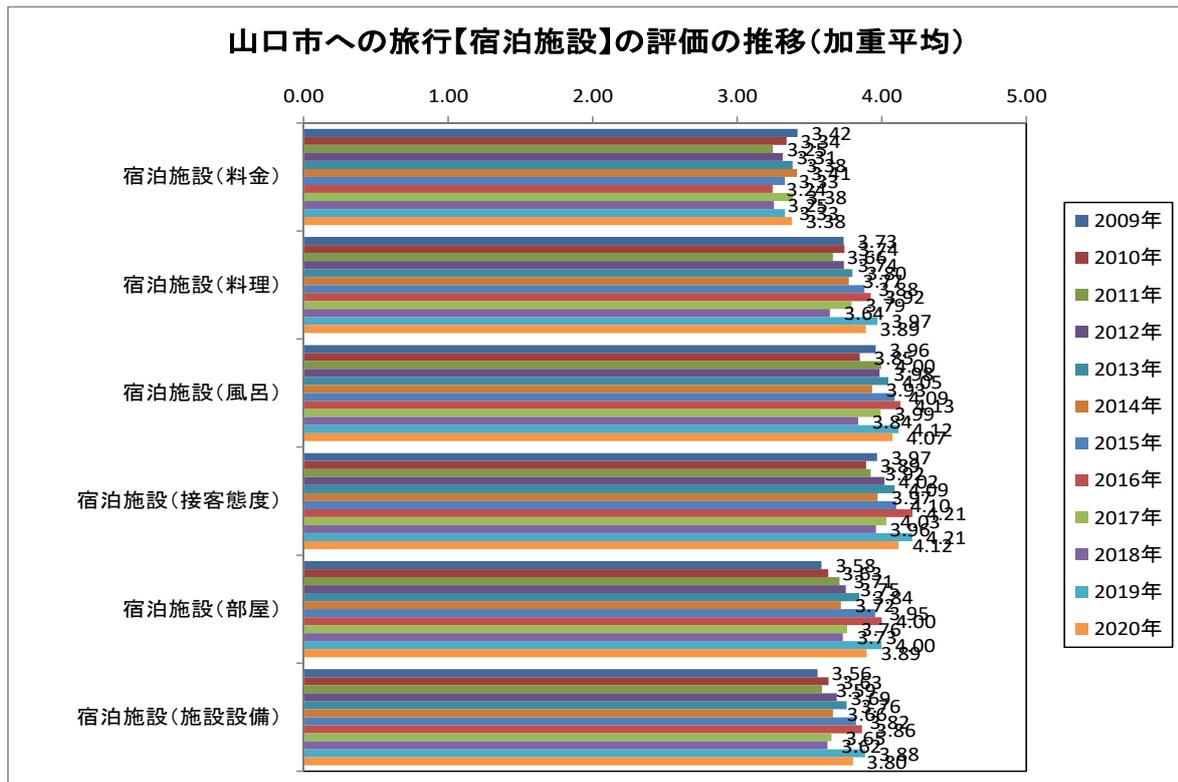


表 2-18-16 今回の旅行の満足度（加重平均）

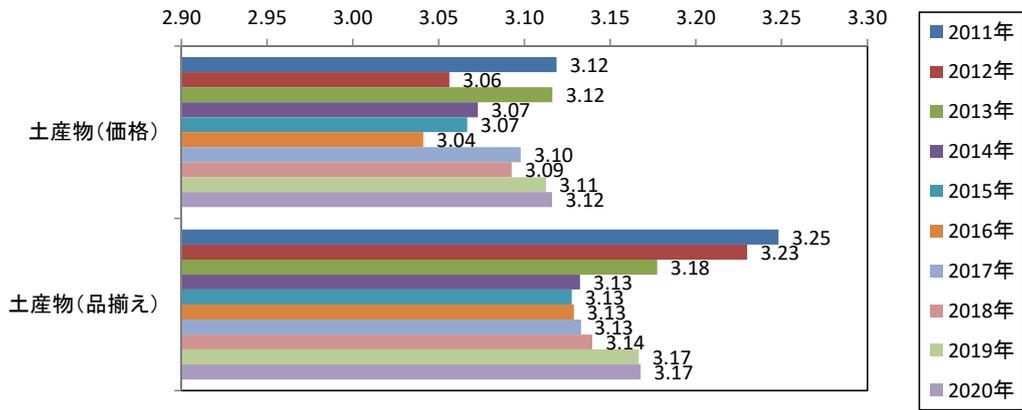
山口市への旅行の 評価	宿泊施設 （料金）	宿泊施設 （料理）	宿泊施設 （風呂）	宿泊施設 （接客 態度）	宿泊施設 （部屋）	宿泊施設 （施設設 備）
2009年	3.42	3.73	3.96	3.97	3.58	3.56
2010年	3.34	3.74	3.85	3.89	3.63	3.63
2011年	3.25	3.66	4.00	3.92	3.71	3.59
2012年	3.31	3.74	3.98	4.02	3.75	3.69
2013年	3.38	3.80	4.05	4.09	3.84	3.76
2014年	3.41	3.77	3.93	3.97	3.72	3.66
2015年	3.33	3.88	4.09	4.10	3.95	3.82
2016年	3.24	3.92	4.13	4.21	4.00	3.86
2017年	3.38	3.79	3.99	4.03	3.76	3.65
2018年	3.25	3.64	3.84	3.96	3.73	3.62
2019年	3.33	3.97	4.12	4.21	4.00	3.88
2020年	3.38	3.89	4.07	4.12	3.89	3.80

山口市への旅行の 評価	交通の 便（乗り 継ぎ）	交通の 便（道路 標識）	交通の 便（観光 案内板）	土産物 （価格）	土産物 （品揃 え）	食事	観光施 設	山口市 訪問の 満足度	今回の 旅行全 体の満 足度
2009年	-	-	-	-	-	-	3.69	3.92	4.04
2010年	-	-	-	-	-	-	3.68	3.85	3.98
2011年	2.97	3.51	3.52	3.12	3.25	-	3.66	3.96	4.03
2012年	2.96	3.61	3.62	3.06	3.23	-	3.71	3.97	4.09
2013年	2.93	3.49	3.56	3.12	3.18	-	3.73	3.98	4.08
2014年	3.02	3.53	3.54	3.07	3.13	3.66	3.75	3.94	4.03
2015年	3.22	3.54	3.57	3.07	3.13	3.60	3.74	3.98	4.12
2016年	3.27	3.57	3.56	3.04	3.13	3.61	3.74	3.97	4.13
2017年	3.20	3.54	3.56	3.10	3.13	3.59	3.79	4.00	4.10
2018年	3.16	3.51	3.56	3.09	3.14	3.55	3.79	3.96	4.06
2019年	3.28	3.59	3.59	3.11	3.17	3.65	3.86	4.05	4.20
2020年	3.33	3.63	3.64	3.12	3.17	3.63	3.82	3.98	4.13

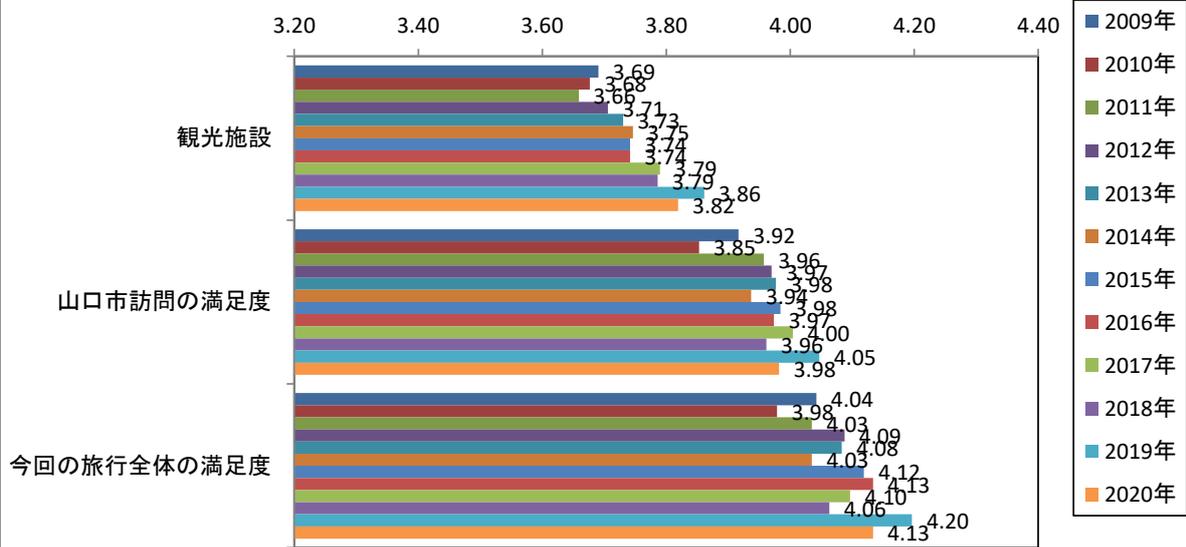
図 2-18-16 今回の旅行の満足度（加重平均）



山口市への旅行【土産物】の評価の推移(加重平均)



山口市への旅行【観光施設・満足度】の評価の推移(加重平均)



2-19 山口市の魅力（上位3つを選択）

表 2-19-1 と図 2-19-1 は山口市の魅力について上位3つを選択した結果の推移である。周辺観光地の宿泊地としての湯田温泉が40～60%と大きい。続いて、神社仏閣巡りが30%前後で推移している。無料の足湯（湯田温泉）とグルメ、明治維新の史跡も25%前後と比較的高い評価となっている。

表 2-19-1 山口市の魅力（2016～2020年）

山口市の魅力	湯田温泉（周辺観光地の宿泊地として）	湯田温泉（外来湯）	湯田温泉（無料の足湯）	温泉（湯田温泉以外）	グルメ（郷土料理や地酒など）	お土産	大内文化の史跡	明治維新の史跡
2016年	1015	226	423	87	430	213	251	473
2017年	632	195	341	66	309	172	197	351
2018年	537	161	278	55	252	160	192	337
2019年	728	157	315	77	347	189	157	317
2020年	442	125	214	58	237	110	151	175

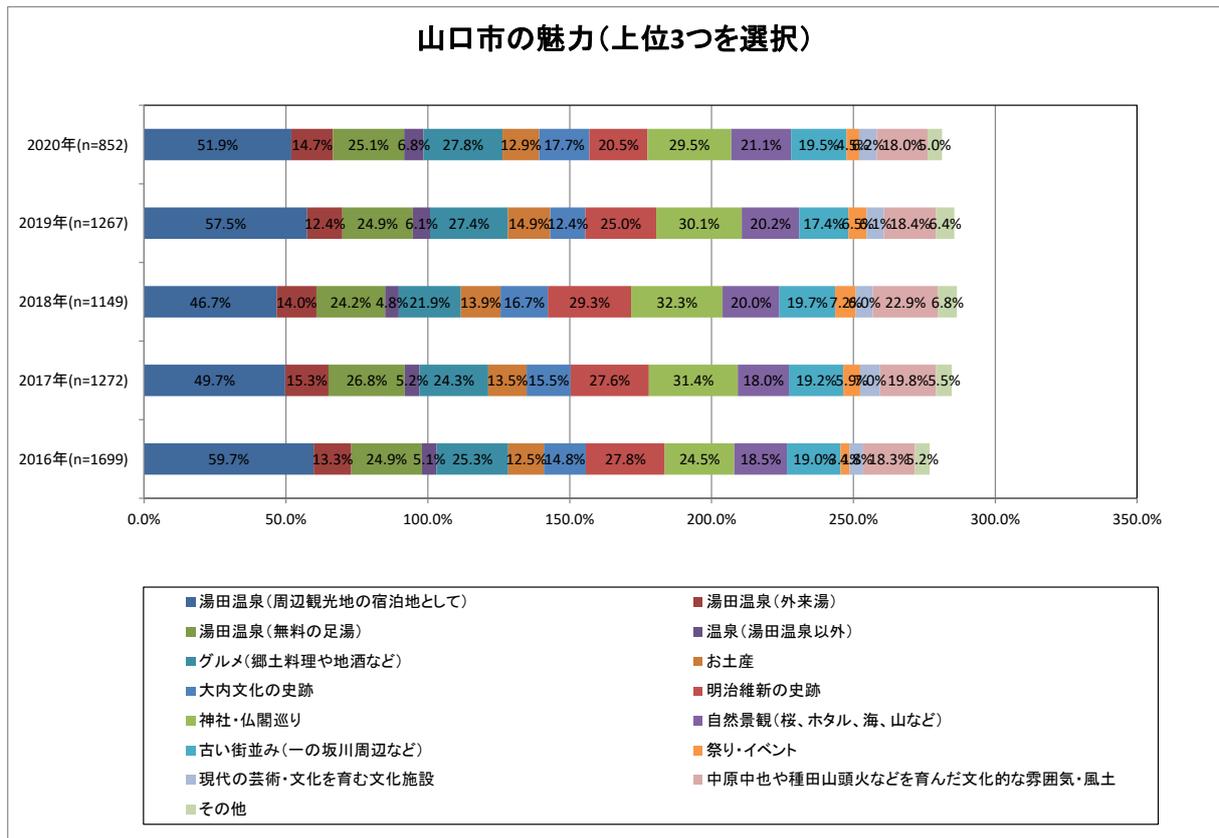
山口市の魅力	神社・仏閣巡り	自然景観（桜、ホタル、海、山など）	古い街並み（一の坂川周辺など）	祭り・イベント	現代の芸術・文化を育む文化施設	中原中也や種田山頭火などを育んだ文化的な雰囲気・風土	その他	回答者数
2016年	416	315	322	53	81	311	88	1699
2017年	399	229	244	75	89	252	70	1272
2018年	371	230	226	83	69	263	78	1149
2019年	382	256	220	82	77	233	81	1267
2020年	251	180	166	38	53	153	43	852

【構成比】

山口市の魅力	湯田温泉(周辺観光地の宿泊地として)	湯田温泉(外来湯)	湯田温泉(無料の足湯)	温泉(湯田温泉以外)	グルメ(郷土料理や地酒など)	お土産	大内文化の史跡	明治維新の史跡
2016年(n=1699)	59.7%	13.3%	24.9%	5.1%	25.3%	12.5%	14.8%	27.8%
2017年(n=1272)	49.7%	15.3%	26.8%	5.2%	24.3%	13.5%	15.5%	27.6%
2018年(n=1149)	46.7%	14.0%	24.2%	4.8%	21.9%	13.9%	16.7%	29.3%
2019年(n=1267)	57.5%	12.4%	24.9%	6.1%	27.4%	14.9%	12.4%	25.0%
2020年(n=852)	51.9%	14.7%	25.1%	6.8%	27.8%	12.9%	17.7%	20.5%

山口市の魅力	神社・仏閣巡り	自然景観(桜、ホテル、海、山など)	古い街並み(一の坂川周辺など)	祭り・イベント	現代の芸術・文化を育む文化施設	中原中や種田山頭火などを育んだ文化的な雰囲気・風土	その他	回答者数
2016年(n=1699)	24.5%	18.5%	19.0%	3.1%	4.8%	18.3%	5.2%	100.0%
2017年(n=1272)	31.4%	18.0%	19.2%	5.9%	7.0%	19.8%	5.5%	100.0%
2018年(n=1149)	32.3%	20.0%	19.7%	7.2%	6.0%	22.9%	6.8%	100.0%
2019年(n=1267)	30.1%	20.2%	17.4%	6.5%	6.1%	18.4%	6.4%	100.0%
2020年(n=852)	29.5%	21.1%	19.5%	4.5%	6.2%	18.0%	5.0%	100.0%

図 2-19-1 山口市の魅力（上位 3 つを選択）



2-20 山口市内で立ち寄った観光施設数

表 2-20-1 は、山口市内で立ち寄った観光施設数を示したものである。2010 年までは 3 か所が最も多いが、2011 年から 2015 年では 1 か所が最も多くなっており、続いて 2 か所、3 か所となっている。しかし、2016 年以降は 1 ヶ所の割合が減少し、2 ヶ所の割合が一番多くなっている。

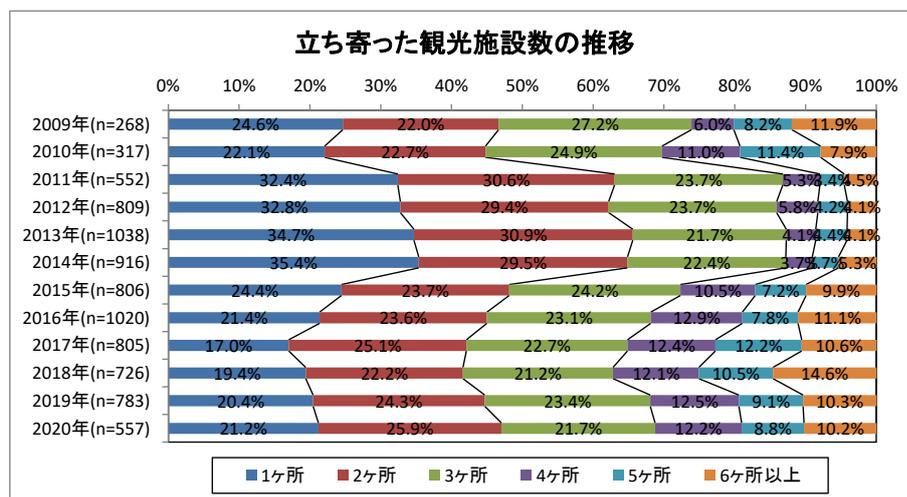
表 2-20-1 山口市内で立ち寄った観光施設数

立ち寄った観光施設数	1ヶ所	2ヶ所	3ヶ所	4ヶ所	5ヶ所	6ヶ所以上	合計
2009年	66	59	73	16	22	32	268
2010年	70	72	79	35	36	25	317
2011年	179	169	131	29	19	25	552
2012年	265	238	192	47	34	33	809
2013年	360	321	225	43	46	43	1,038
2014年	324	270	205	34	34	49	916
2015年	197	191	195	85	58	80	806
2016年	218	241	236	132	80	113	1,020
2017年	137	202	183	100	98	85	805
2018年	141	161	154	88	76	106	726
2019年	160	190	183	98	71	81	783
2020年	118	144	121	68	49	57	557

【構成比】

立ち寄った観光施設数	1ヶ所	2ヶ所	3ヶ所	4ヶ所	5ヶ所	6ヶ所以上	合計
2009年	24.6%	22.0%	27.2%	6.0%	8.2%	11.9%	100.0%
2010年	22.1%	22.7%	24.9%	11.0%	11.4%	7.9%	100.0%
2011年	32.4%	30.6%	23.7%	5.3%	3.4%	4.5%	100.0%
2012年	32.8%	29.4%	23.7%	5.8%	4.2%	4.1%	100.0%
2013年	34.7%	30.9%	21.7%	4.1%	4.4%	4.1%	100.0%
2014年	35.4%	29.5%	22.4%	3.7%	3.7%	5.3%	100.0%
2015年	24.4%	23.7%	24.2%	10.5%	7.2%	9.9%	100.0%
2016年	21.4%	23.6%	23.1%	12.9%	7.8%	11.1%	100.0%
2017年	17.0%	25.1%	22.7%	12.4%	12.2%	10.6%	100.0%
2018年	19.4%	22.2%	21.2%	12.1%	10.5%	14.6%	100.0%
2019年	20.4%	24.3%	23.4%	12.5%	9.1%	10.3%	100.0%
2020年	21.2%	25.9%	21.7%	12.2%	8.8%	10.2%	100.0%

図 2-20-1 山口市内で立ち寄った観光施設数の推移



2-21 山口市内での旅行中の情報

(1) 旅行中に利用した情報媒体

旅行中に利用した情報媒体については、2011年から調査を開始している。

表 2-21-1 は、旅行中に利用した情報媒体の推移を表したものである。無料の観光パンフレットが半数以上を占めているが、市販の観光パンフレットの利用率はやや減少傾向にある。2015年以降は新しい項目に変更されており、観光案内所と観光情報サイトが25～30%と比較的大きな割合で推移している。

表 2-21-1 旅行中の情報媒体（複数回答）

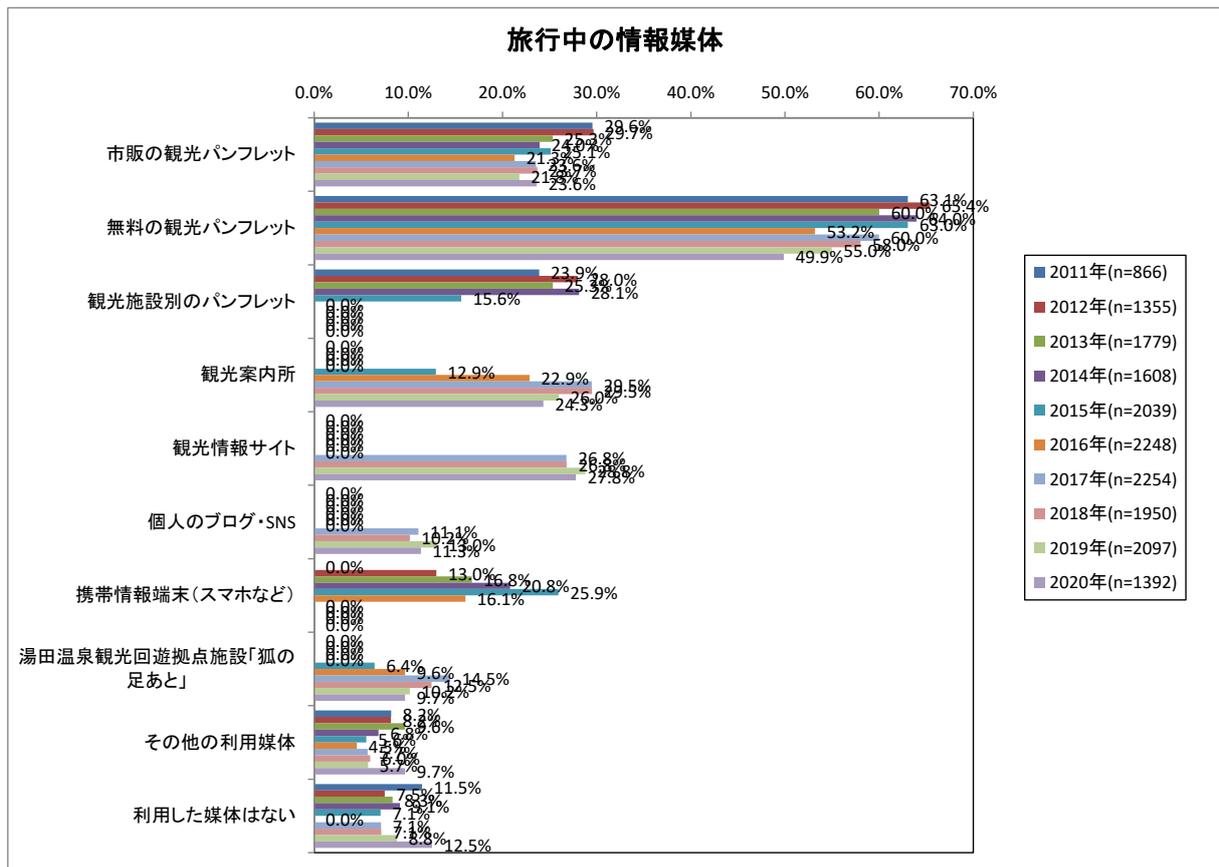
旅行中の情報媒体	市販の観光パンフレット	無料の観光パンフレット	観光施設別のパンフレット	観光案内所	観光情報サイト	個人のブログ・SNS	携帯情報端末（スマホなど）	湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」	その他の利用媒体	利用した媒体はない	合計	回答者数
2011年	188	401	152	-	-	-	-	-	52	73	866	636
2012年	265	584	250	-	-	-	116	-	73	67	1,355	893
2013年	310	734	310	-	-	-	205	-	118	102	1,779	1,223
2014年	252	673	296	-	-	-	219	-	72	96	1,608	1,052
2015年	317	795	197	163	-	-	327	81	70	89	2,039	1,261
2016年	375	937	-	403	-	-	283	170	80	0	2,248	1,762
2017年	298	759	-	373	339	140	-	183	72	90	2,254	1,265
2018年	266	651	-	331	301	114	-	140	67	80	1,950	1,122
2019年	270	681	-	322	357	161	-	126	71	109	2,097	1,239
2020年	198	418	-	204	233	95	-	81	58	105	1,392	838

【構成比】

旅行中の情報媒体	市販の観光パンフレット	無料の観光パンフレット	観光施設別のパンフレット	観光案内所	観光情報サイト	個人のブログ・SNS	携帯情報端末（スマホなど）	湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」	その他の利用媒体	利用した媒体はない	合計	回答者数
2011年	29.6%	63.1%	23.9%	-	-	-	-	-	8.2%	11.5%	136.2%	100.0%
2012年	29.7%	65.4%	28.0%	-	-	-	13.0%	-	8.2%	7.5%	151.7%	100.0%
2013年	25.3%	60.0%	25.3%	-	-	-	16.8%	-	9.6%	8.3%	145.5%	100.0%
2014年	24.0%	64.0%	28.1%	-	-	-	20.8%	-	6.8%	9.1%	152.9%	100.0%
2015年	25.1%	63.0%	15.6%	12.9%	-	-	25.9%	6.4%	5.6%	7.1%	161.7%	100.0%
2016年	21.3%	53.2%	-	22.9%	-	-	16.1%	9.6%	4.5%	0.0%	127.6%	100.0%
2017年	23.6%	60.0%	-	29.5%	26.8%	11.1%	-	14.5%	5.7%	7.1%	178.2%	100.0%
2018年	23.7%	58.0%	-	29.5%	26.8%	10.2%	-	12.5%	6.0%	7.1%	173.8%	100.0%
2019年	21.8%	55.0%	-	26.0%	28.8%	13.0%	-	10.2%	5.7%	8.8%	169.2%	100.0%
2020年	23.6%	49.9%	-	24.3%	27.8%	11.3%	-	9.7%	9.7%	12.5%	166.1%	100.0%

注) 複数回答項目である。携帯情報端末については、2012年から項目を入れている。

図 2-21-1 旅行中の情報媒体の推移（複数回答）



(2) 欲しい情報の取得状況

表 2-21-2 は、欲しい情報が得られたかどうかを示したものである。得られた、やや得られたとする回答を合わせると、80%程度で推移している。

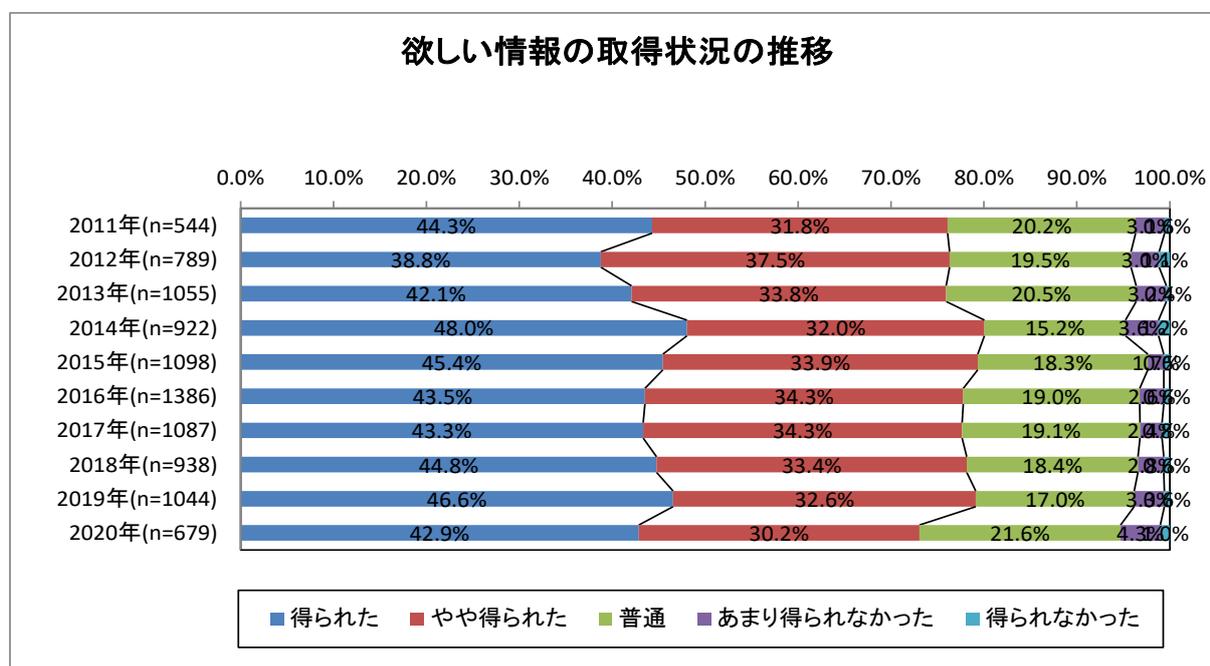
表 2-21-2 欲しい情報の取得状況

欲しい情報の取得状況	得られた	やや得られた	普通	あまり得られなかった	得られなかった	合計
2011年	241	173	110	17	3	544
2012年	306	296	154	24	9	789
2013年	444	357	216	34	4	1,055
2014年	443	295	140	33	11	922
2015年	499	372	201	19	7	1,098
2016年	603	475	263	36	9	1,386
2017年	471	373	208	26	9	1,087
2018年	420	313	173	26	6	938
2019年	486	340	178	34	6	1,044
2020年	291	205	147	29	7	679

【構成比】

欲しい情報の取得状況	得られた	やや得られた	普通	あまり得られなかった	得られなかった	合計
2011年	44.3%	31.8%	20.2%	3.1%	0.6%	100.0%
2012年	38.8%	37.5%	19.5%	3.0%	1.1%	100.0%
2013年	42.1%	33.8%	20.5%	3.2%	0.4%	100.0%
2014年	48.0%	32.0%	15.2%	3.6%	1.2%	100.0%
2015年	45.4%	33.9%	18.3%	1.7%	0.6%	100.0%
2016年	43.5%	34.3%	19.0%	2.6%	0.6%	100.0%
2017年	43.3%	34.3%	19.1%	2.4%	0.8%	100.0%
2018年	44.8%	33.4%	18.4%	2.8%	0.6%	100.0%
2019年	46.6%	32.6%	17.0%	3.3%	0.6%	100.0%
2020年	42.9%	30.2%	21.6%	4.3%	1.0%	100.0%

図 2-21-2 欲しい情報の取得状況の推移



(3) 情報の入手しやすさ

表 2-21-3 は、情報の入手しやすさを示したものである。入手しやすかったとやや入手しやすかったを合わせると、約 80%が入手しやすかったと評価しており、同程度で推移している。

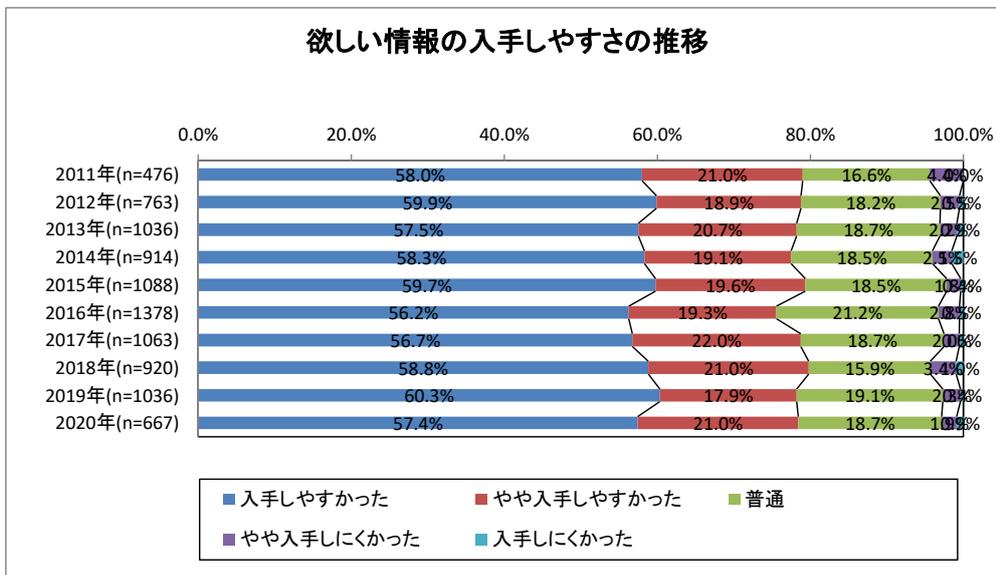
表 2-21-3 情報の入手しやすさ

情報の入手しやすさ	入手しやすかった	やや入手しやすかった	普通	やや入手しにくかった	入手しにくかった	合計
2011年	276	100	79	21	0	476
2012年	457	144	139	19	4	763
2013年	596	214	194	23	9	1,036
2014年	533	175	169	23	14	914
2015年	650	213	201	20	4	1,088
2016年	775	266	292	38	7	1,378
2017年	603	234	199	21	6	1,063
2018年	541	193	146	31	9	920
2019年	625	185	198	24	4	1,036
2020年	383	140	125	13	6	667

【構成比】

情報の入手しやすさ	入手しやすかった	やや入手しやすかった	普通	やや入手しにくかった	入手しにくかった	合計
2011年	58.0%	21.0%	16.6%	4.4%	0.0%	100.0%
2012年	59.9%	18.9%	18.2%	2.5%	0.5%	100.0%
2013年	57.5%	20.7%	18.7%	2.2%	0.9%	100.0%
2014年	58.3%	19.1%	18.5%	2.5%	1.5%	100.0%
2015年	59.7%	19.6%	18.5%	1.8%	0.4%	100.0%
2016年	56.2%	19.3%	21.2%	2.8%	0.5%	100.0%
2017年	56.7%	22.0%	18.7%	2.0%	0.6%	100.0%
2018年	58.8%	21.0%	15.9%	3.4%	1.0%	100.0%
2019年	60.3%	17.9%	19.1%	2.3%	0.4%	100.0%
2020年	57.4%	21.0%	18.7%	1.9%	0.9%	100.0%

図 2-21-3 情報の入手状況の推移



2-22 山口市への再訪問の意思

表 2-22-1 は、また山口市を訪れたいと思うかを尋ねたものである。2009 年から 2010 年までは、是非訪れたいが 30% 台であり、2011 年と 2012 年には高い水準に達したものの、その後は 52～55% の間で推移している。全体としては、再び訪れたいとする回答割合が高く、90% 台後半で推移している。

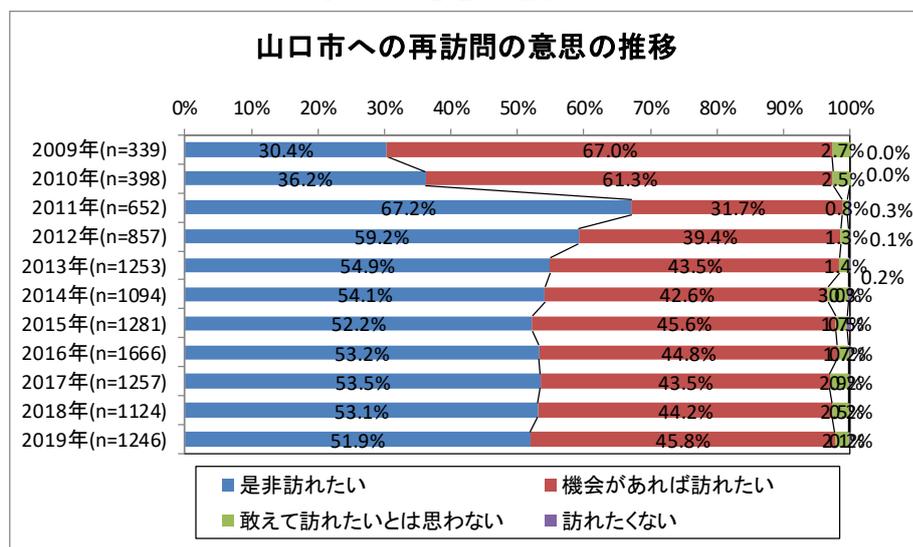
表 2-22-1 山口市への再訪問の意思

山口市への再訪問	是非訪れたい	機会があれば訪れたい	敢えて訪れたいとは思わない	訪れたくない	合計
2009年	103	227	9	0	339
2010年	144	244	10	0	398
2011年	438	207	5	2	652
2012年	507	338	11	1	857
2013年	688	545	18	2	1,253
2014年	592	466	33	3	1,094
2015年	669	584	22	6	1,281
2016年	887	747	29	3	1,666
2017年	672	547	36	2	1,257
2018年	597	497	28	2	1,124
2019年	647	571	26	2	1,246

【構成比】

山口市への再訪問	是非訪れたい	機会があれば訪れたい	敢えて訪れたいとは思わない	訪れたくない	合計
2009年	30.4%	67.0%	2.7%	0.0%	100.0%
2010年	36.2%	61.3%	2.5%	0.0%	100.0%
2011年	67.2%	31.7%	0.8%	0.3%	100.0%
2012年	59.2%	39.4%	1.3%	0.1%	100.0%
2013年	54.9%	43.5%	1.4%	0.2%	100.0%
2014年	54.1%	42.6%	3.0%	0.3%	100.0%
2015年	52.2%	45.6%	1.7%	0.5%	100.0%
2016年	53.2%	44.8%	1.7%	0.2%	100.0%
2017年	53.5%	43.5%	2.9%	0.2%	100.0%
2018年	53.1%	44.2%	2.5%	0.2%	100.0%
2019年	51.9%	45.8%	2.1%	0.2%	100.0%

図 2-22-1 山口市への再訪問の意思の推移



第3部 山口市における観光の現状・課題と提言

ここでは、第1部から第2部における集計と分析に基づいて、山口市観光の現状と課題を整理した後、観光振興へ向けた提言をまとめる。

3-1 山口市における観光の現状と課題

3-1-1 アンケート集計結果からみる山口市観光の現状

(1) 2020年における山口市への訪問者の現状

ここでは、2020年調査の単純集計結果からみえる山口市への訪問者の現状をまとめる。

- ・ 性別は、男性が44.7%、女性が55.3%で、女性が多かった。
- ・ 年齢は、50代から60代が同程度で最も多く20%前後である。次に多いのが40代の16.0%である。一方、最も少ない年齢層は9歳以下で0.2%であり、10代は2.9%、20代は7.3%となっている。
- ・ 職業は、最も多いのは会社員の35.5%であり、次いで主婦・主夫の19.0%である。3番目は無職の16.5%である。
- ・ 居住地別は、全回答を山口県内外に区分した場合、35.9%が山口県内居住者であり、64.1%が山口県外の居住者であった。
- ・ 山口県内の居住者を東部、中部、北部、西部の4地域に区分すると、東部地域が最も多く、次いで西部地域が多くなっている。また、近隣の県については、広島県が14.9%、福岡県が9.1%である。山口県内は35.9%であることから、山口市への訪問者は約半数が山口県民と両隣の県民ということになる。さらに地方別に区分すると、山口県を除く中国地方が19.7%と最も多く、次いで近畿が13.8%、九州が13.4%と続いている。
- ・ 山口市以外で立ち寄った地区は、複数回答項目であるため分母を回答者数の760として立ち寄り地区の割合を算出すると、山口県内においては、萩・長門地区が33.7%と最も多く、宇部・小野田地区が25.5%、下関地区が23.8%と続く。一方で、山口市以外に立ち寄った地区はないとする回答割合は22.5%であった。なお、山口県外への立ち寄り率は20.5%となっている。
- ・ 旅行の主な目的は、観光・旅行・温泉が76.6%と最も多く、次いで家族・親族等への訪問が8.7%である。ビジネス・公用は3.1%、大会・イベント出席は2.5%、スポーツ観戦は1.1%であった。
- ・ 山口市を旅行先の候補にあげた情報媒体別の回答数は、その他が33.8%と最も多いものの、友人・知人が16.6%、観光情報サイトが14.3%、旅行誌・ガイドブックが12.4%、となっている。
- ・ 旅行の同行者との関係は、家族が34.8%と最も多く、次いで夫婦が33.7%、ひとりが14.4%、知人・友人が13.0%となっている。
- ・ 旅行の同行者の自分自身を含めた人数は、2人が53.6%と最も多く、次に同行者なしの1人が17.0%、3人が13.6%である。

- ・ 山口市への旅行回数は、初めての1回が24.2%と多く、10回以上も24.5%と多くなっている。次いで2回と3回が14.1%となっている。初めて訪れた旅行者は全体の24.2%なので、リピーターは75.8%となった。
- ・ 山口市への来訪月は、10月が最も多く22.4%であり、次いで11月が17.6%であり、Go To Tトラベルの地域共通クーポン発行の時期(10月1日以降)に多かったことが分かる。一方で、緊急事態宣言が発出された5月が最も少なく1.6%であった。
- ・ 山口市までの主な交通手段は、複数回答項目であるため、回答者数を分母として利用割合を算出すると、自家用車が最も多く65.6%であった。次いで新幹線が20.5%、その他の鉄道が10.5%と続く。
- ・ 山口市内での主な移動手段は、複数回答項目であるため、回答者数を分母として利用割合を算出すると、自家用車が最も多く64.6%であった。次いで徒歩が14.5%、その他の鉄道が10.4%、路線バスが10.0%と続く。
- ・ 今回の旅行の全行程は、1泊が42.4%と最も多く、次いで日帰りの28.4%が多くなっている。なお、通常の旅行動向からいえば、日帰りの割合がもっと高くなるのが一般的であるが、県外からの旅行者が64.1%を占めるうえに、宿泊施設でもアンケート票を配布していることから宿泊者の回収数も多く、割合も高くなっていることが推測される。以下、本報告書で旅行の行程を考察する際はこの点に注意を要する。
- ・ 山口市内での宿泊数は、1泊が54.3%と最も多く、次いで日帰り(無泊)が31.9%、2泊が10.2%となっている。
- ・ 山口市内での平均消費額は、宿泊費が16,890円で最も多く、次いで、交通費が4,451円となっている。合計額は約33,302円となっている。
- ・ 山口市内での宿泊地は、複数回答であるが、便宜上合計値を分母として割合を算出すると、湯田温泉が72.7%で最も多く、次いで新山口駅周辺の8.7%となっている。
- ・ 宿泊施設の料金についての5段階評価は、普通が53.4%で最も多く、安いが18.6%、やや安いが15.2%であった。
- ・ 宿泊施設の料理についての評価は、普通が39.3%と最も多いが次いで、良いが37.2%、やや良いが19.8%と続いており、比較的良い評価になっている。
- ・ 宿泊施設の風呂についての評価は、良いが43.0%で最も多く、普通が29.8%、やや良いが24.7%であった。良い、やや良いとする回答を合わせると67.7%であり、7割近くの人で宿泊施設の風呂に対する評価が高いことがわかる。
- ・ 宿泊施設の接客態度についての評価は、良いが46.7%で最も多く、普通が30.2%、やや良いが21.0%である。接客態度も風呂と同様に評価が高い。
- ・ 宿泊施設の部屋についての評価は、普通が35.8%で最も多く、良いが34.4%、やや良いが25.6%である。部屋については良いと評価する回答は6割となっている。
- ・ 宿泊施設の施設設備についての評価は、普通が39.7%で最も多く、良いが30.3%、やや良いが25.0%であった。
- ・ 交通の便についての5段階評価について、乗り継ぎについては、普通が44.0%で最も多く、楽だったとやや楽だったをあわせて36.3%となっているが、大変とやや大変を合わせると19.7%となっており、他の評価に比べて大きな割合となっている。
- ・ 道路標識についての評価は、普通が46.0%、わかりやすいが27.8%、ややわかりやすいが17.4%である。ややわかりにくいとする回答も7.4%であった。

- ・ 観光案内板についての評価は、普通が 41.4%、わかりやすいが 27.7%、ややわかりやすいが 20.2%である。ややわかりにくいとする回答も 9.2%であった。
- ・ 土産物についての 5段階評価では、価格についての評価は、普通が 77.6%、やや安いと 10.1%、やや高いと 6.8%である。普通とする評価が極めて多くなっている。
- ・ 土産物の品揃えについての評価は、普通が 65.5%、良いと 9.1%、やや良いと 13.0%である一方、やや悪いと 10.3%であった。
- ・ 宿泊施設以外の食事についての評価は、普通が 45.0%と最も多いが、やや良いと 25.0%、良いと 23.8%で、良いとする評価が約 49%と悪いとする評価を大きく上回っている。
- ・ 観光施設についての評価は、普通が 48.9%、やや良いと 23.5%、良いと 22.7%である。観光施設については約 5割が良いと評価している。
- ・ 山口市訪問の満足度については、満足が 33.0%、やや満足が 36.1%で、合わせて約 7割が満足と評価している。
- ・ 今回の旅行の満足度は、満足が 41.4%、やや満足が 33.7%、普通が 20.0%である。全体で約 75%が満足と評価している。
- ・ 山口市の魅力については、回答者数を分母として回答割合を算出したところ、最も多かったのは、湯田温泉(周辺観光地の宿泊地として)で 51.9%であった。次に、神社仏閣巡りが 29.5%、3番目がグルメ(郷土料理や地酒など)で 27.8%であった。
- ・ 今回の旅行中に山口市内で立ち寄った観光施設数は、2か所が 23.4%と最も多く、次いで、3か所の 22.5%、1か所の 19.7%となっている。
- ・ 山口市内で訪れた観光施設のうち上位 21位までを示したものである。最も多くの旅行者が訪れているのは湯田温泉の 434人であり、訪問率は 50.1%であった。回答者のうち、約半数が湯田温泉を訪問していることになる。次いで、瑠璃光寺五重塔が 406人で訪問率が 46.8%、宿泊施設以外の飲食店・居酒屋等が 200人で 23.1%、狐の足あとが 189人で 21.8%、中原中也記念館が 186人で 21.5%であった。山口市への来訪者は、温泉を魅力に感じている人が多いが、文化的な雰囲気・風土についても併せて楽しんでおり、中原中也記念館への訪問者数もそれなりに多い。また、宿泊施設以外の飲食店・居酒屋等が湯田温泉に多いこと中原中也記念館・狐の足あとの近接性から湯田温泉内での周遊行動への相乗効果があったことも推測される。
- ・ 山口市内での旅行中に利用した情報媒体は、複数回答であるため、回答者数を分母として利用割合を算出すると、無料パンフレットが最も多く 48.2%であった。次いで、観光情報サイトは 26.9%、観光案内所が 23.5%であった。湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」は 9.3%であった。
- ・ 山口市内を旅行中に欲しい情報が得られたかは、得られたとする回答が 42.9%、やや得られたが 30.2%であり、両者を足すと約 73%が欲しい情報が得られたとしている。
- ・ 山口市内を旅行中に欲しい情報は入手しやすかったかは、入手しやすかったが 57.4%、やや入手しやすかったが 21.0%であった。入手しにくかったは 0.9%であり、やや入手しにくかったは 1.9%であった。
- ・ また山口市を訪れたいと思うかは、是非訪れたいが 54.7%、機会があれば訪れたいが 43.3%であった。この 2つの回答の合計値は 98.0%であり、山口市へ再び訪れたいという意向が高い結果になった。

(2) 時系列(2009年～2020年)でみる山口市への訪問者の傾向

ここでは、2009年～2020年の12年間の調査結果からみる山口市への訪問客の傾向をまとめる。

- ・ 性別は、男性が約40%、女性が約60%で推移しており、12年間の推移に大きな変化はなく、いずれも男性よりも女性が多い結果となっている。
- ・ 年齢は、いずれの年も50代、60代の割合が多い。一方、最も少ない年齢層は9歳以下で、続いて10代という傾向がある。
- ・ 職業は、いずれの年も最も多いのは会社員であり、次が、主婦・主夫という傾向である。
- ・ 居住地は、山口県内外に区分した場合、いずれの年も山口県外の居住者が多い結果となった。
- ・ 山口市以外の立ち寄りエリアは、いずれの年も山口県内においては、萩・長門地区が最も多く、それに続き宇部・小野田地区と下関地区が高い割合を占めている。また、2014年以降は全体的に立ち寄りエリアの数が減少していたが、2017年に再び増加したが2020年は再び減少した。
- ・ 旅行の主な目的は、いずれの年も観光・旅行・温泉を目的とした訪問が最も多くなっている。2011年は、大会・イベント出席の割合が増加しているが、山口国体・山口大会の影響と考えられ、その後の割合は低下している。
- ・ 山口市を候補にあげたきっかけの情報媒体は、いずれの年もその他が最も多く、続いて知人・友人が多い割合を占めている。2015年と2018年は例年に比べテレビの割合が高くなっており、大河ドラマの放映ややまぐち夢花博の開催が影響していると考えられる。
- ・ 旅行の同行者は、いずれの年も家族が最も多く、続いて夫婦と友人・知人の割合が例年高くなっている。2015年以降はひとりの割合が増加している。
- ・ 同行者の人数は、いずれの年も2人が最も多くなっている。また、どの項目も大きな変動は無い。
- ・ 山口市への旅行回数は、いずれの年も初めて(1回)と2回、10回以上の割合が高い傾向がある。
- ・ 山口市への訪問月は、2013年以降は1月～5月の訪問割合が高くなっている。逆に6月と7月の割合は減少傾向にある(ただし2016年では7月が増加している)。2015年12月と2016年8月の割合は大きく増加している。2018年は4月と5月の割合が大きく増加している。2019年は8月と9月の割合が大きな年であった。2020年は新型コロナウイルス感染症の影響で5月が少なく10月と11月の割合が大きくなっている。
- ・ 山口市までの主な交通手段は、いずれの年も自家用車が最も多い割合を占めている。次が新幹線となっている。団体観光バスは年々減少傾向にあるが、飛行機は変動があるものの増加傾向にあると言える。2014年から自転車、徒歩を選択肢として加えているが、いずれも割合は低い。
- ・ 山口市内での主な移動手段は、いずれの年も自家用車が最も多い割合を占めている。その他の鉄道と路線バスは増加傾向にあるが、団体観光バスは減少傾向にある。2014年から新しく選択肢に加えた自転車と徒歩により、全体として市内での移動手段が増加したが2017年以降は減少傾向にある。
- ・ 旅行の全行程の日程は、宿泊のうち1泊が最も多い。日帰りは2016年まではやや減少傾向にあったが、2018年にかけて増加し、2020年も高い水準を維持している。2泊、3泊以上の割合は2017年にかけて増加してきたが、その後は低下傾向にある。

- ・ 宿泊旅行者の山口市内での宿泊数は、いずれの年も1泊が最も多く、続いて2泊となっている。2011年では3泊以上の割合が大きく増えている。
- ・ 山口市での平均消費額は、2013年の宿泊費が大幅に増加しているが、2017年は大幅に減少している。その他では2010年が大きく増加しているが翌年以降は減少し、2016年以降は割合が大きく減少している。飲食費が増加傾向にある。
- ・ 山口市内での宿泊地は、いずれの年も湯田温泉の割合が高く、7～8割の間となっている。新山口駅と山口駅周辺が7～10%前後の割合となっている。
- ・ 旅行の満足度についての評価では、いずれの年も料金に関しては普通の割合が最も多く、高いが最も低かった。
- ・ 宿泊施設の料理については、普通の評価が最も多かった。また、良いとやや良いとする回答の割合も高く、高い評価を得ている。2019年以降は良いとする評価が多い。
- ・ 宿泊施設の風呂についての評価は、いずれの年をみても良い、やや良い、普通の評価の割合が高く、高い満足度を得ていることがわかる。2015～2016年は、良いとする評価の割合が高かったが、2017～2018年は低下傾向となっていた。2019年以降は良いとする評価が多い。
- ・ 宿泊施設の接客態度についての評価は、良い、やや良い、普通の評価の割合が高く、満足していることがわかる。
- ・ 宿泊施設の部屋についての評価は、いずれの年も普通の評価が多い。2011年以降は良いがやや良いとする回答を上回り、高い評価を得ている。特に2016年と2019年は良いの評価が多くなっている。
- ・ 宿泊施設の施設設備についての評価は、いずれの年も普通の評価が多く、良いとやや良いは20～30%の間で変動している。2019年は良いという評価が多かった。
- ・ 交通の便に関する評価では、乗り継ぎについては、2014年には楽だったとする評価の割合が増加し、2015年には、やや楽だったとする回答も増加し、評価が良くなっている。やや大変とする割合は20%程度で推移しており、大変とする割合は7%前後で推移している。2020年は普通が増加してやや大変と大変が減少した。
- ・ 交通の便の道路標識については、いずれの年も普通の割合が最も高く、続いてわかりやすい、ややわかりやすいとなっている。
- ・ 交通の便の観光案内板については、わかりやすい、ややわかりやすいとする評価の合計が全体の約半数を占めているが大きな変化はない。2015年にはややわかりにくい、わかりにくいの評価の割合が減少したが、2017年以降はややわかりにくいのが再び10%台になっていたが2019年以降は改善している。
- ・ 土産物の価格についての評価は、普通とする評価が8割前後と大きい。安いとする評価は2014年と2016年に約3%と落ち込んでいるが、その他の年は4～6%で推移しており、2015年以降は4%前後である。やや高いは2013年以降7%前後の割合だったが、2017年以降は約6%に減少している。
- ・ 土産物の品揃えについての評価は、普通が最も多く、いずれの項目も大きな変動はない。すべての年でやや悪いの割合が良いを上回っている。
- ・ 食事についての評価は、いずれの年も普通の評価が多い。良い、やや良いの評価を合わせると約半数が良いと評価しているが、横ばいの傾向にある。
- ・ 観光施設についての評価は、いずれの年も普通の評価が多い。良い、やや良いの評価を合わせると半数以上が良いと評価しており、2011年以降は増加傾向にあったが2020年は減少した。

- ・ 山口市訪問の満足度については、いずれの年もやや満足とする評価が多く、2011年からは満足が普通を上回り、山口市の満足度は高いものとなっている。
- ・ 今回の旅行の満足度については、2011年からやや満足を満足が上回り、2017年にピークとなった。2018年は35.8%と低下し、やや満足を下回っていたが2019年は44.6%と過去最高の割合となり2020年も41.4%と高い水準となった。
- ・ 山口市の魅力については、周辺観光地の宿泊地としての湯田温泉が40～60%と大きい。続いて、神社仏閣巡りが30%前後で推移している。無料の足湯(湯田温泉)とグルメ、明治維新の史跡も25%前後と比較的高い評価となっている。
- ・ 山口市内で立ち寄った観光施設数は、2010年までは3か所が最も多いが、2011年から2015年では1か所が最も多くなっており、続いて2か所、3か所となっている。しかし、2016年以降は1ヶ所の割合が減少し、2ヶ所の割合が一番多くなっている。
- ・ 旅行中に利用した情報媒体については、無料の観光パンフレットが半数以上を占めているが、市販の観光パンフレットの利用率はやや減少傾向にある。2015年以降は新しい項目に変更されており、観光案内所と観光情報サイトが25～30%と比較的大きな割合で推移している。
- ・ 旅行中に欲しい情報が取得できたかどうかについては、得られた、やや得られたとする回答を合わせると、80%程度で推移している。
- ・ 旅行中の情報の入手しやすさについては、入手しやすかったとやや入手しやすかったを合わせると、約80%が入手しやすかったと評価しており、同程度で推移している。
- ・ 山口市への再訪の意向については、2009年から2010年までは、是非訪れたいが30%台であり、2011年と2012年には高い水準に達したものの、その後は52～55%の間で推移している。全体としては、再び訪れたいとする回答割合が高く、90%台後半で推移している。

3-1-2 アンケート集計結果からみる山口市観光の課題

以下では、2020年の調査結果(クロス集計結果)と時系列の集計結果から見えてくる山口市観光における特性と課題について、いくつかの項目に分けて整理する。必ずしもすべての課題を網羅できているわけではないが、提言へ向けた主な課題として整理する。

(1) 観光のための情報

- ・ 山口県外居住者の情報源については、どの地域でも友人・知人の割合が最も高い。2015年と2018年の調査では、テレビをみて来訪する人が多くみられた。NHK大河ドラマや山口ゆめ花博の効果が考えられる。また、近年はスマホやインターネットの活用が増加しているが、旅行誌・ガイドブックなどを情報源とする旅行者も引き続き多い。このことから、多様なメディアをうまく活用した情報発信がこれからも必要であるといえる。
- ・ 山口市内での旅行中に利用した情報媒体別の欲しい情報の取得状況をみると、市販の観光パンフレットで得られたとする回答の割合がやや低いが、これは情報の取得形態の変化を反映しており、今後は有人の観光案内所や狐の足あとのような丁寧な情報提供とインターネットを経由した手軽な情報媒体の充実が求められていると考えられる。また、情報が入手しやすかったとする回答をみても、インターネット経由(個人のブログ・SNS)や観光案内所の割合が比較的高く、高齢者へは有人の観光案内所や狐の足あとの情報提供が好まれ、インターネッ

トに馴染みのある若年層でインターネット経由での情報提供が好まれていることを示唆している。

(2) 交通・移動

- ・ 路線バスの利用者は、乗り継ぎ、道路標識、観光案内板の評価でいずれもわかりにくいとする評価が高くなっているため、とりわけ路線バス利用者への対策が必要である。乗り継ぎは、全体での評価を時系列でみると 2016 年までは改善傾向にあったが近年では低下が続いており、その要因について検証が必要である。
- ・ 自家用車やレンタカー、自転車での旅行の満足度がやや低いことから、自動車や自転車向けの道路標識や観光案内板が十分に配慮されているかについても検討が必要である。

(3) 周遊行動

- ・ 山口市外の周辺地区を訪問した訪問者の全旅行日程では、日帰り、1泊、2泊が各地区で半数以上を占めている。これらの訪問者の山口市内での旅行日程ではすべての地区で 1泊が半数以上を占めている。このことより山口市を旅行の起点として宿泊している旅行者が多いと考えられる。2015 年の NHK 大河ドラマや世界遺産認定、明治維新 150 年で萩・長門地区への訪問者が増加している一方で、山口市の宿泊客数は近年減少しており、山口市を宿泊拠点とした周遊の魅力や利便性が低下している可能性がある。小郡萩道路の整備などにより自動車による周遊観光が容易になっており、自動車による周遊観光客を山口市に宿泊させるような工夫が求められている。
- ・ 狐の足あとを訪問したり、有人案内所を情報媒体として利用したりすることで、訪問する観光施設数が増加していることから、有人案内施設のより一層の充実が重要である。
- ・ 県外居住者で、鉄道や路線バスを利用して初めて山口市に来訪する若年層の旅行者を狐の足あとに積極的に呼び込み、観光施設の訪問数を増やす取り組みが望まれる。
- ・ 飲食店の利用増加を図るうえでも、食事の時間帯に一度狐の足あとや観光案内所に立ち寄るような仕掛けができれば、滞在時間を伸ばし、消費額を増加させる手段ともなりうる。
- ・ YCAM（山口芸術情報センター）への訪問数が伸び悩んでおり、2020 年の調査で YCAM を訪問したのは 22 人（2.5%）に過ぎない。また山口市の魅力として「現代の芸術・文化を育む文化施設」を選択したのは 38 人（4.5%）と少ない。YCAM の満足度は高水準となっているものの回答数が少なく年毎の変動も大きい。YCAM の全国におけるメディアアート分野での知名度は高く、適切なターゲットを絞った付加価値の高い観光プランが必要である。YCAM は独自性や希少性のあるコンテンツとして観光交流事業の戦略的な観光資源となり得る可能性があることから、その有効な活用について引き続き検討が求められる。

(4) 満足度

- ・ お土産物の価格・品揃え、食事、観光施設は、山口市訪問のほか、旅行全体の満足度に影響を及ぼす重要な要素であることに変わりはないことから、これらの改善への取り組みは引き続き必要である。とりわけ、お土産物は価格・品揃えとも評価は低い水準で推移しており、食事の評価も低下傾向にあることから、お土産物と食事での改善が喫緊の課題である。
- ・ 十朋亭、山口市菜香亭、一の坂川を訪問した旅行者の満足度が高い傾向にあり、一の坂川周辺のまち歩きなどの回遊を促進することも検討課題である。

3-2 山口市の観光振興へ向けての提言

3-2-1 提言

(1) 情報発信

- ・ 明治維新 150 年に関連してデスティネーションキャンペーンの実施や山口ゆめ花博の開催など積極的な情報発信が行われたが、その効果について詳細な分析が必要であり、特に県外からの誘客への効果を検証することが重要である。
- ・ 山口県観光プロモーションとして新キャッチフレーズ「YAMAGUCHIMAGIC！」が展開されているが、山口市の観光資源と山口県の他地域の観光資源を連携させる取り組みが必要である。
- ・ 山口市を旅行中の利用情報媒体は、無料の観光パンフレットの利用頻度が高いことから引き続き充実を図っていくとともに、インターネット情報端末の利用割合が増加していることから、情報端末で得やすいコンテンツの作成や情報の提供を行っていく必要がある。
- ・ 狐の足あとや観光案内所を経由することで、立ち寄り観光施設数が増加したり、欲しい情報を入手できたりする機会が増加したり、飲食店への立ち寄り割合が増加したりしていることから、有人施設における情報提供とスタッフの知識の蓄積、ならびにホスピタリティの強化が重要である。

(2) 自転車や徒歩を利用した回遊の促進

- ・ 山口市内で自転車や徒歩を利用した旅行は、自転車やまち歩きを中心とした回遊促進を積極化することが期待できるため、一の坂川周辺を基点とするまち歩きを強化していくことも考えられる。
- ・ サイクリングロードや歩道の拡充を図り、観光のみならず地域住民も利用しやすい環境を整えることも重要である。
- ・ 現在ある宿泊施設や駅前におけるレンタサイクルのほかに、レンタサイクルの基地を充実したり、利用しやすくしたりする工夫も必要である。また、自転車利用者の道路標識や観光案内板に対しての評価が低いことから、自転車や徒歩での旅行者にもわかりやすい案内板等の整備を行う必要もある。
- ・ また、自転車や徒歩で周遊する際は、自身の荷物やお土産などは持ち運びが不便になるため積極的な購入が期待しにくい。そこで、観光案内所や拠点となる施設での預かりサービスや配送サービス、あるいは、購入した商品を自宅まで簡素な手続きにより配送できるシステムがあれば便利である。

(3) 外国人観光客の誘致

- ・ 本調査においては把握できていないが、観光立国による全国的な外国人観光客の増加を受けて、山口市でも外国人観光客が増加傾向にあった。2020 年は新型コロナウイルス感染症のため外国人観光客の受け入れは停止している状態にあるが、先進国を中心にワクチンの効果も確認されており、外国人観光客の受け入れ体制の整備は継続すべきである。新型コロナウイルス感染症の拡大によって経済的に大きな打撃を受けた人々も多いが、比較的経済的に余

力があり、この間の往来禁止によって観光への欲求を高めている人々も多い。山口宇部空港などの外国人観光客の受け入れ体制を整備し、このような外国人観光客を受け入れる機会を逃さないように取り組むことが重要である。新型コロナウイルス感染症の影響で県内でも観光施設がいくつか閉業する事態となっている。一度失われた観光資源の復活は容易ではないことから、苦境にある観光施設について長期的な対応をしていく必要がある。

- ・ YCAM を中心としたメディアアートのほか、新山口駅の南北自由通路の壁面緑化など、外国人にもアピール可能な資源を積極的に PR する。
- ・ 今後は、外国人観光客を含めた観光動態の把握も検討されるべきである。

3-2-2 おわりに

本報告書では、山口市観光動態アンケート調査に基づいて、2020年の集計結果と2009年から2020年までの12年分の時系列での集計結果をまとめた。

2020年は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が全国的に発出され、観光にとっては大変に困難な年となった。山口県への緊急事態宣言は5月14日に解除となったが、新型コロナウイルス感染症と共に過ごす「新しい日常」の中で、観光の再開には時間がかかっている。政府は「GO TO キャンペーン」を7月から開始し、10月からは全国的に宿泊需要を大きく回復することに成功した。しかし、それと並行するように新型コロナウイルス感染症拡大の第3波が拡がり、12月28日には中断を余儀なくされた。このような政府の政策と呼応して、山口県や山口市でも宿泊や飲食への割引クーポンを発行して「マイクロツーリズム」への動きや疲弊した宿泊施設や飲食店への支援が試みられた。山口市では、新山口駅の橋上駅舎・南北自由通路や一の坂川周辺の整備が進み、「マイクロツーリズム」の観光拠点としての魅力も高めてきた。一方で、萩・長門地区への高速道路整備の充実・長門市の湯本温泉への大規模な環境整備もあり、「マイクロツーリズム」を巡る競争も強まっている。観光による地域への効果は宿泊に伴うものが大きく、宿泊数を増加させる取り組みが求められている。2015年に開館した湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」はこうした「マイクロツーリズム」への情報提供施設としても期待されている。新山口駅北地区拠点施設整備事業により山口市産業交流拠点施設「KDDI 維新ホール」が2021年4月に開業予定である。当面は厳しい環境の中で交流と賑わい、新たなビジネスの創出に向けて取り組むことになるが、「マイクロツーリズム」における新山口駅の魅力向上を図り、狐の足あとを活用した市内観光の活性化策の検討も求められる。

2016年には、地方創生のもと観光DMO（Destination Management/Marketing Organization）が山口県にも発足し、芸術、文化、スポーツを通じた魅力創出事業も推進されている。明治維新150年を迎え、取り組みも加速するなか、井上公園の活用やYCAMとの連携による一層の芸術・文化との融合が必要である。レノファ山口FCはJ2の5年目を迎え、昇格前後にあった大きな盛り上がり落ち着きつつある。また新型コロナウイルスの感染拡大のため、Jリーグ自体の開催も延期を余儀なくされ、厳戒体制の中での運営となった。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束した後はアウェイ観戦も再開されたが、平日開催などもあり、観客は大幅に減少している。スポーツツーリズムを意識した更なる施策や、サイクリングやトレッキングなどの健康増進と一体となった観光振興の有効性には変わりはないものの2021年も感染予防

を第一に取り組んでいくことになるであろう。観光政策は長年の蓄積の上に成り立っており、当面はこうした蓄積をいかに維持するかが重要な課題となる。

最後に、観光振興へ向けたより具体的な分析と提言を行うためには、アンケート調査における分析の視点を絞り込み、有益な集計結果（情報）を提供していくことも必要である。さらに、経済的な視野でデータを収集し、分析することもこれからの課題である。

本報告書では、12年分の時系列での集計結果もまとめている。12年分のデータの蓄積により大まかな傾向が見えてきた部分もあるし、そうでない部分もあるが、継続的な調査によって徐々にデータの蓄積が進んでおり、観光客の動態をより詳細に把握することが可能になりつつあるといえる。一方で、よりの確な観光動態の把握のために調査項目の改訂も行っている。これもデータの蓄積が進んだことで可能になったことである。山口市のさらなる観光の振興へ向けた課題の探索を行い、的確な分析、対策を検討するためにも継続的な調査によるデータの蓄積が重要である。